

6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル

<注意>

1. には2021,2019,2016のいずれかが入ります。
には1, 2, 3のいずれかが入ります。
には1, 2, 3, 4のいずれかが入ります。
2. 例えば、CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
において、が2021で が2の場合には、ファイル
2021CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ2台リリース配布版) .xlsm
を表します。
4. 実際のそれぞれの説明では、2021版3台の各ファイルを用いて説明していきます。
5. ファイル
CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 試用版.xlsm
CV-DataBaseAdvance 呼び出し印刷 Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xls
および
ファイル
CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 試用版.xlsm
CV-DataBaseAdvance スーパー呼び出し印刷 Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
には、入力シートの行数追加・削除に関するマクロ機能はありません。

<目次>

1. ファイル
 CV-DataBaseAdvance40Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P4
2. ファイル
 CV-DataBaseAdvance100Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P10
3. ファイル
 CV-DataBaseAdvance200Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P17
4. ファイル
 CV-DataBaseAdvance400Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
の場合：..... P24

5. ファイル

CV-DataBaseAdvance600Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P32

6. ファイル

CV-DataBaseAdvance800Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P39

7. ファイル

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P48

8. ファイル

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P57

9. ファイル

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P66

10. ファイル

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P75

11. ファイル

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P84

12. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合： P93

13. ファイル
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P100
14. ファイル
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P107
15. ファイル
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P114
16. ファイル
 調査書等各種証明書作成システム Ver1 試用版 (CV-DataBase8000Ver1 サンプル) .xlsm
 調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ 台リリース版
 サンプル) .xlsm
 の場合： P122
17. ファイル
 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版 (CV-DataBase100Ver1 サンプル) .xlsm
 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ 台リリー
 ス版) .xlsm
 の場合： P131
18. ファイル
 CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm
 CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P138
19. ファイル
 CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsm
 CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P147
20. ファイル
 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm
 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm
 の場合： P156

1. ファイル

CV-DataBaseAdvance40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance40Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックしてユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出7** を選択すると次の[図 1]の画面になります。

[図 1]



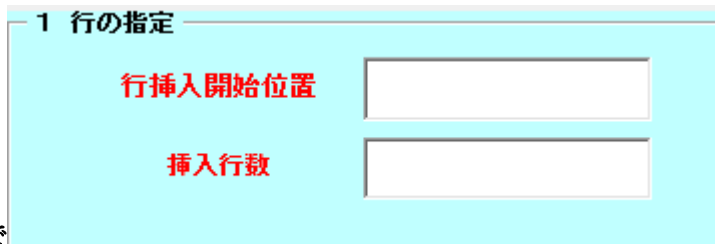
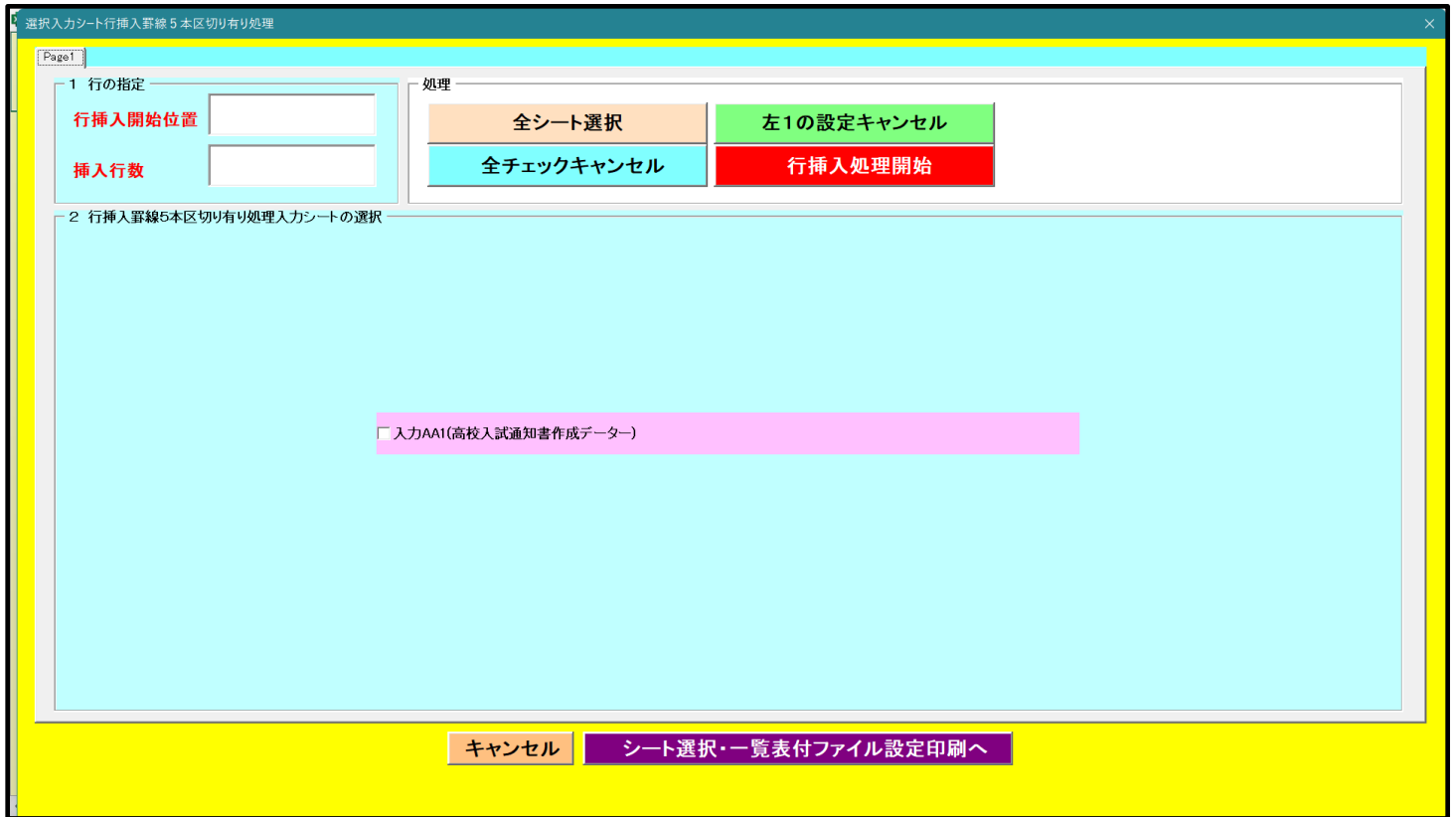
シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データー)」の最初の入力可能行数が 5 0 行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 1]のコマンドボタン

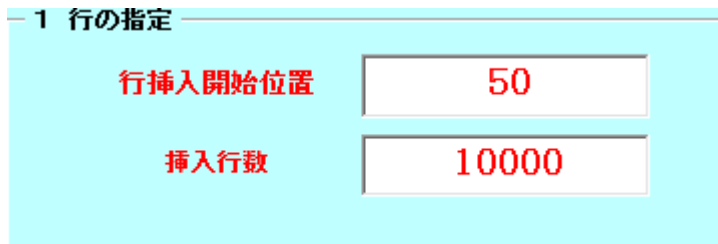
選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 2]の画面になります。

[図2]



上の[図2]の画面で の部分に



と入力し、

入力AA1(高校入試通知書作成データ) にチェックを入れて

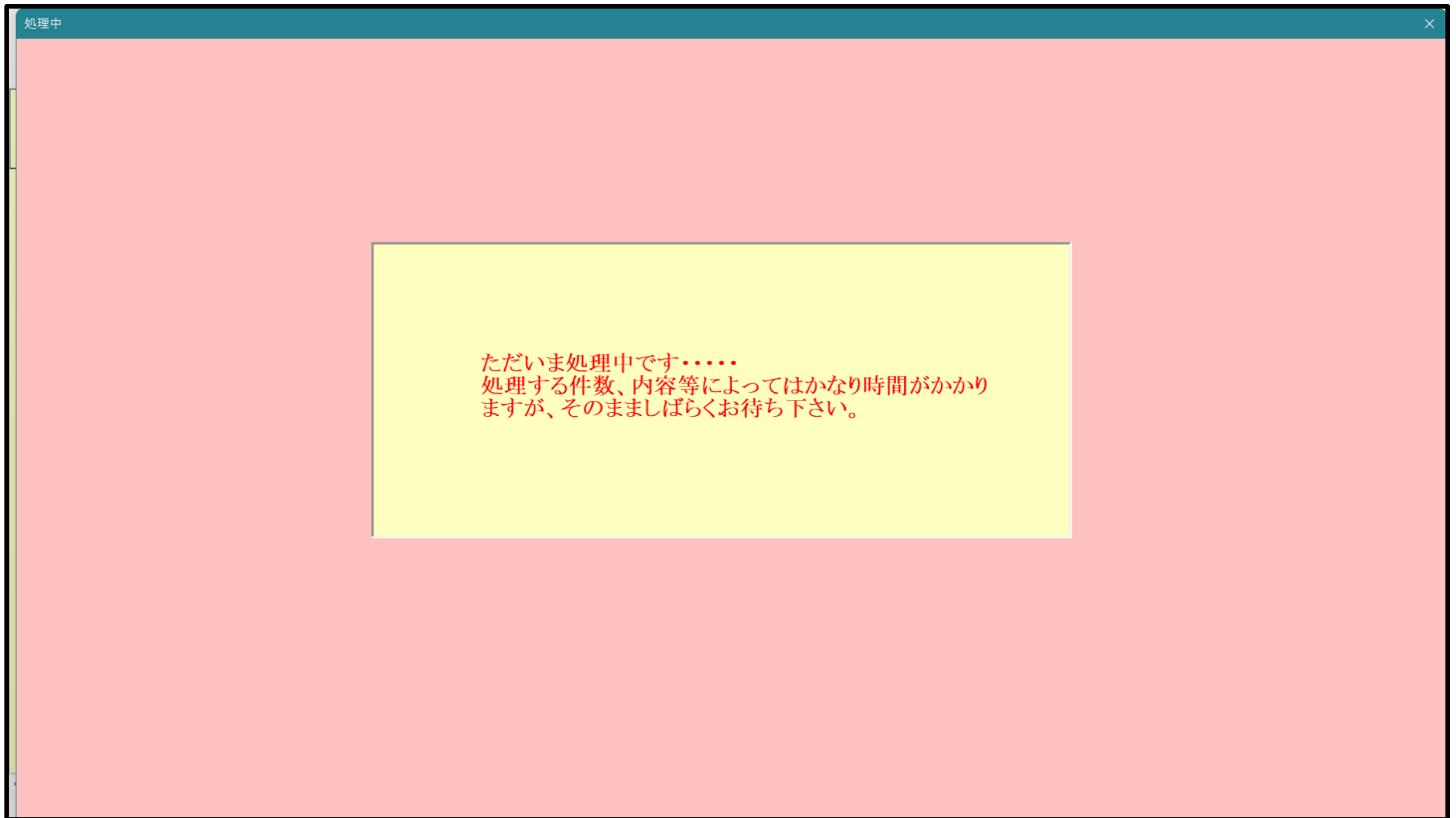
入力AA1(高校入試通知書作成データ) として、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図3]が表示され、

再び[図4]が表示されたら処理は完了です。

[図 3]

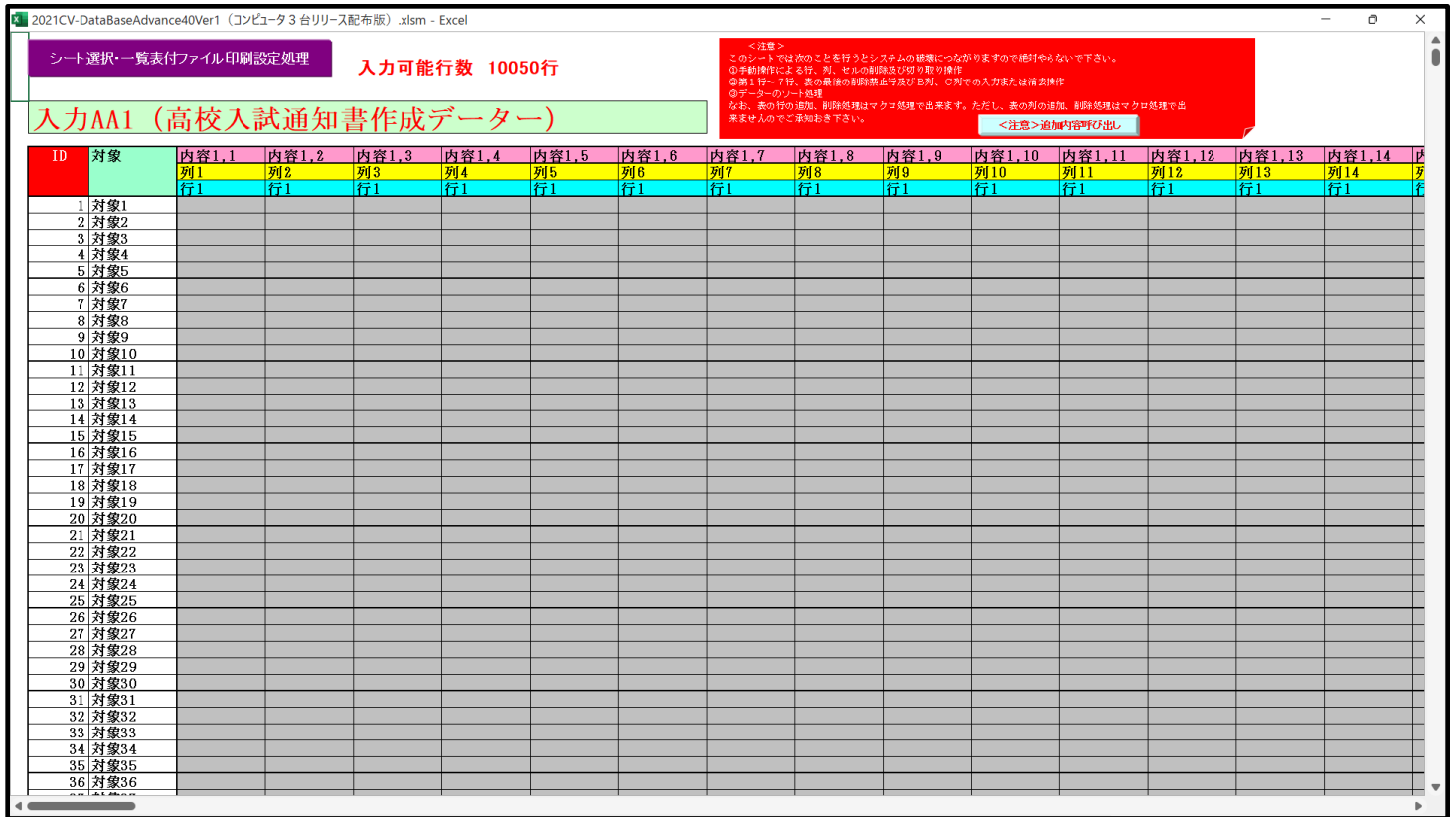


[図 4]



この処理の結果、シート「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 10050 行となり、シートの状況は次の[図 5]のようになります。

[図 5]



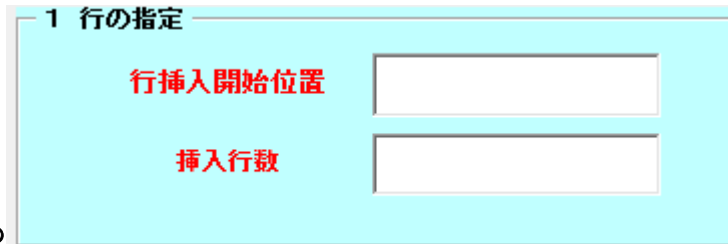
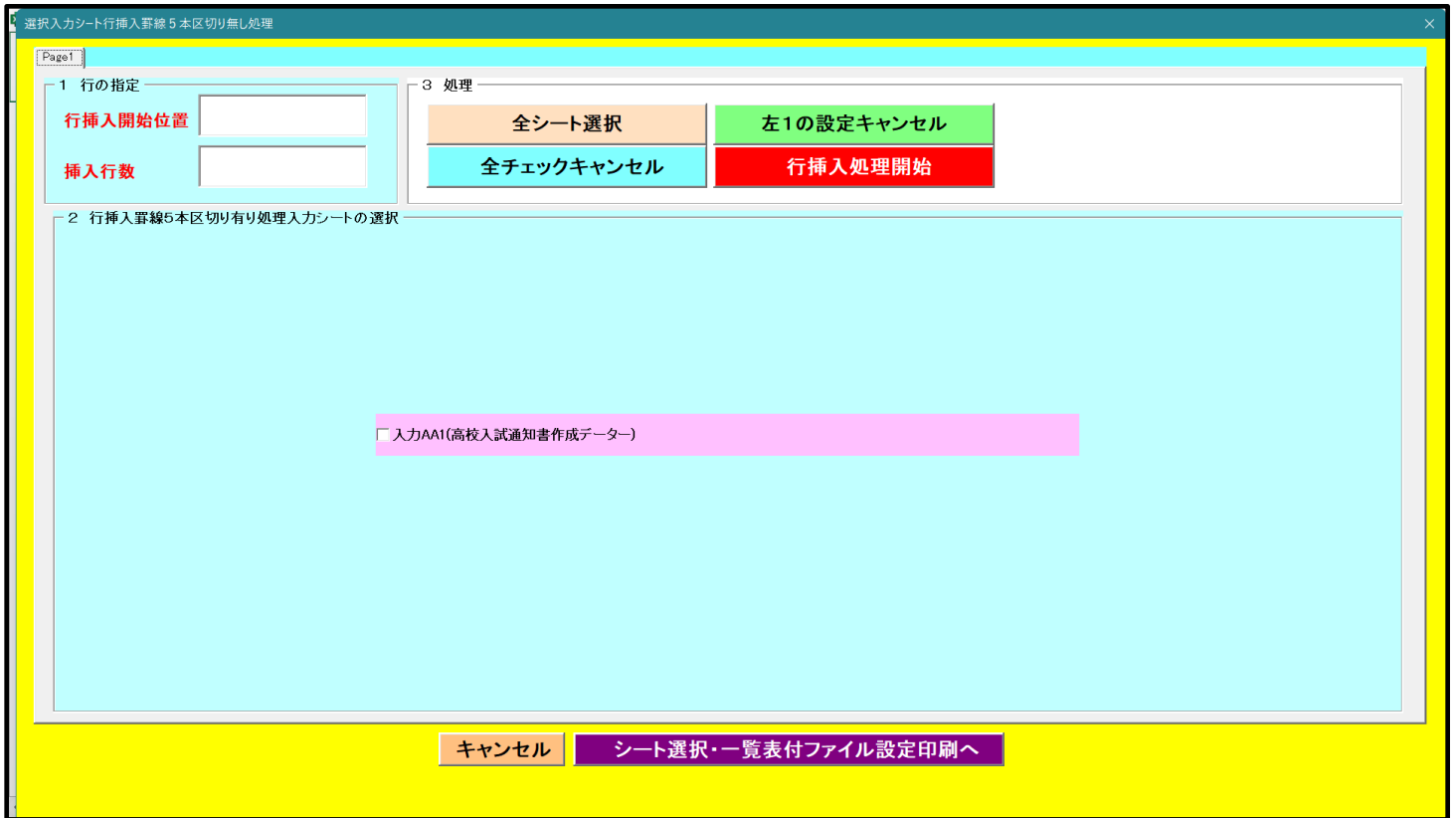
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量にしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 6]の画面が表示されます。

[図6]



[図6]の画面の の部分に



と入力し、

入力AA1(高校入試通知書作成データー) にチェックを入れ、

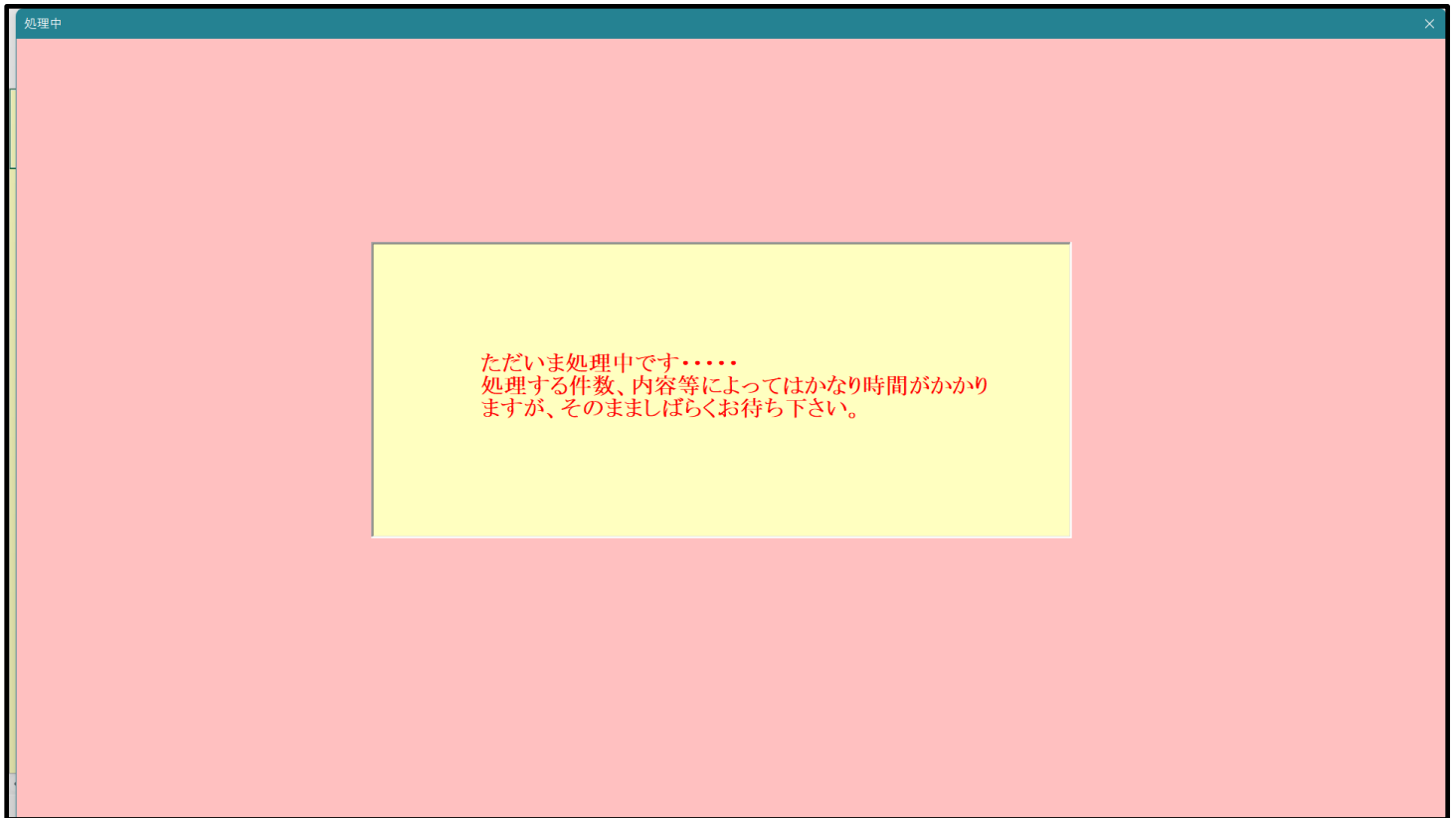
入力AA1(高校入試通知書作成データー) とし、コマンドボタン



をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図7]が表示され、

再び[図8]が表示されたら処理は完了です。

[図7]

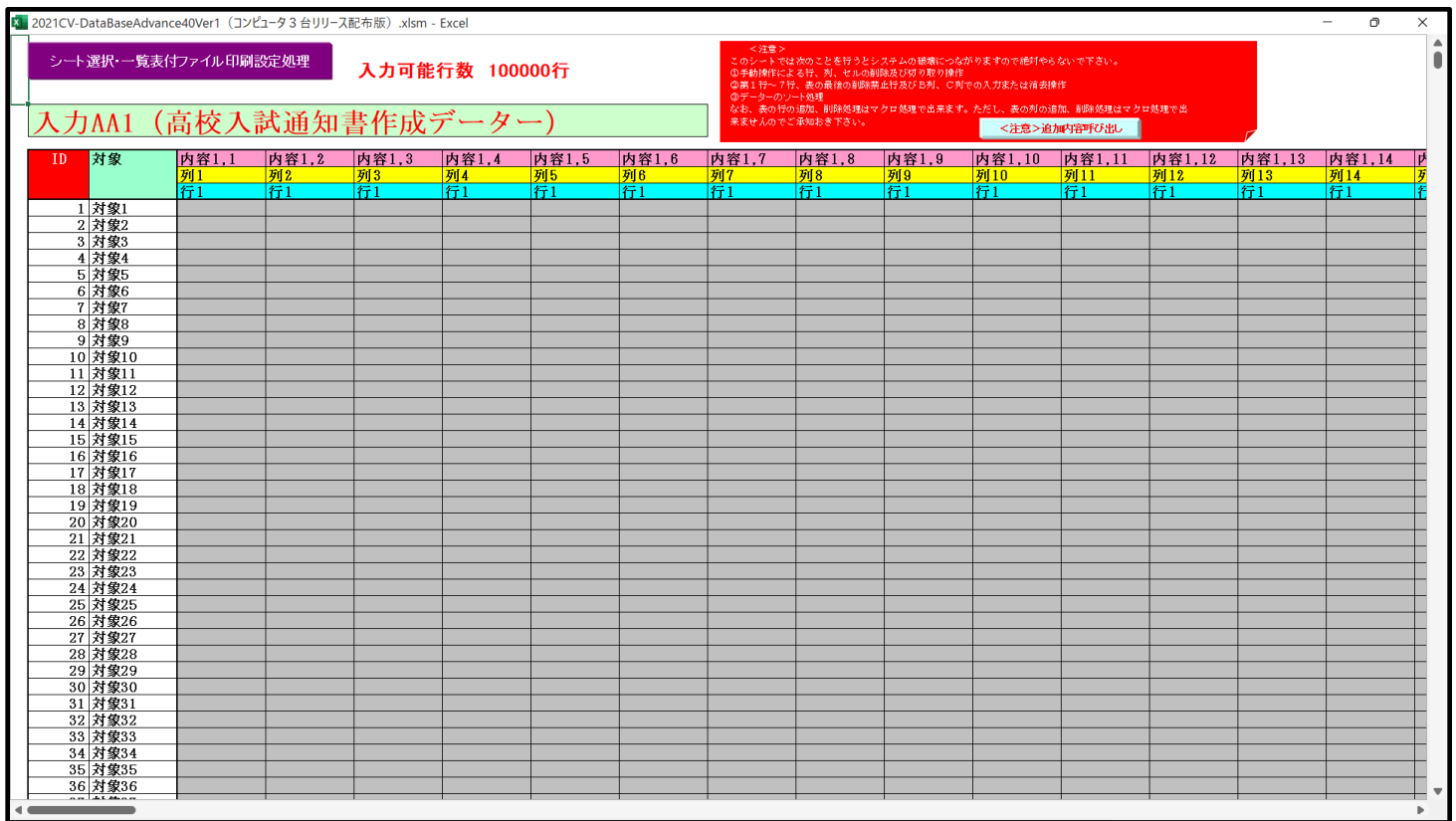


[図8]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 100000 行となり、シートの状況は次の[図9]のようになります。

[図 9]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮でき大変便利です。

2. ファイル



CV-DataBaseAdvance100Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2016CV-DataBaseAdvance100Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版).xlsm」を用いて説明いたします。

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

各シートに配置したコマンドボタン

をクリックしてユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ を選択すると次の[図10]画面になります。

[図 1 0]



シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の最初の入力可能行数が 5 0 行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

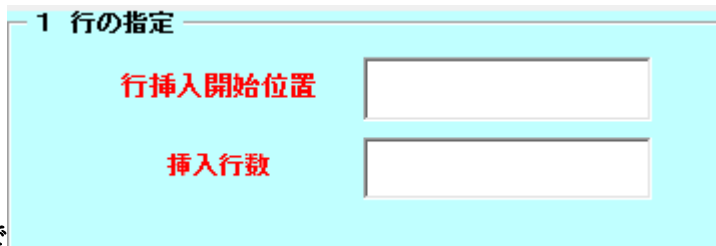
まず、上の[図 1 0]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリック

すると、次の[図 1 1]の画面になります。

[図 1 1]



上の[図 1 2]の画面で の部分に



と入力し、

入力AA1 (高校入試通知書等作成データ) にチェックを入れて

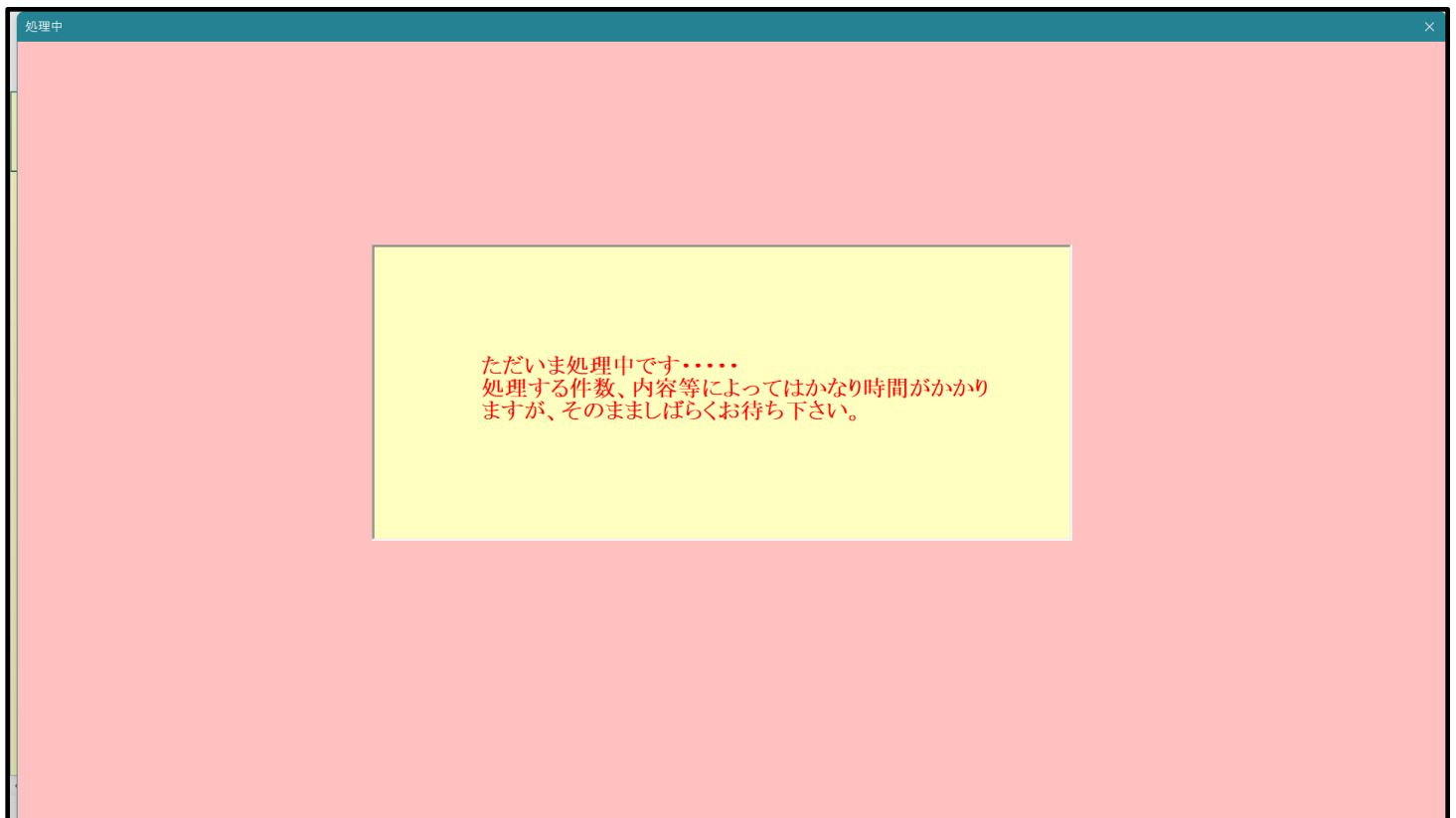
入力AA1 (高校入試通知書等作成データ) として、コマンドボタン

行挿入処理開始

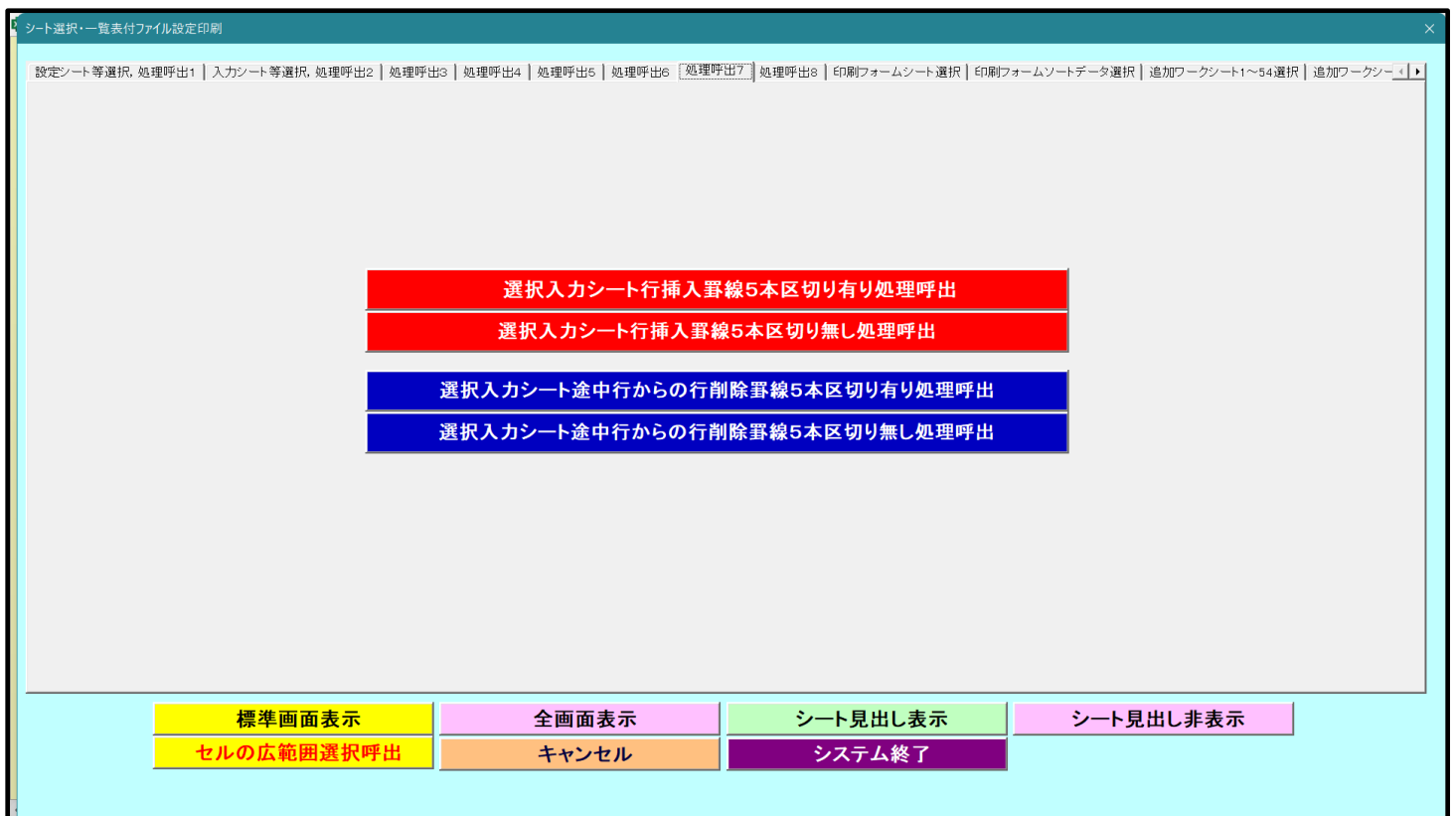
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 2]が表示され、

再び[図 1 3]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 2]

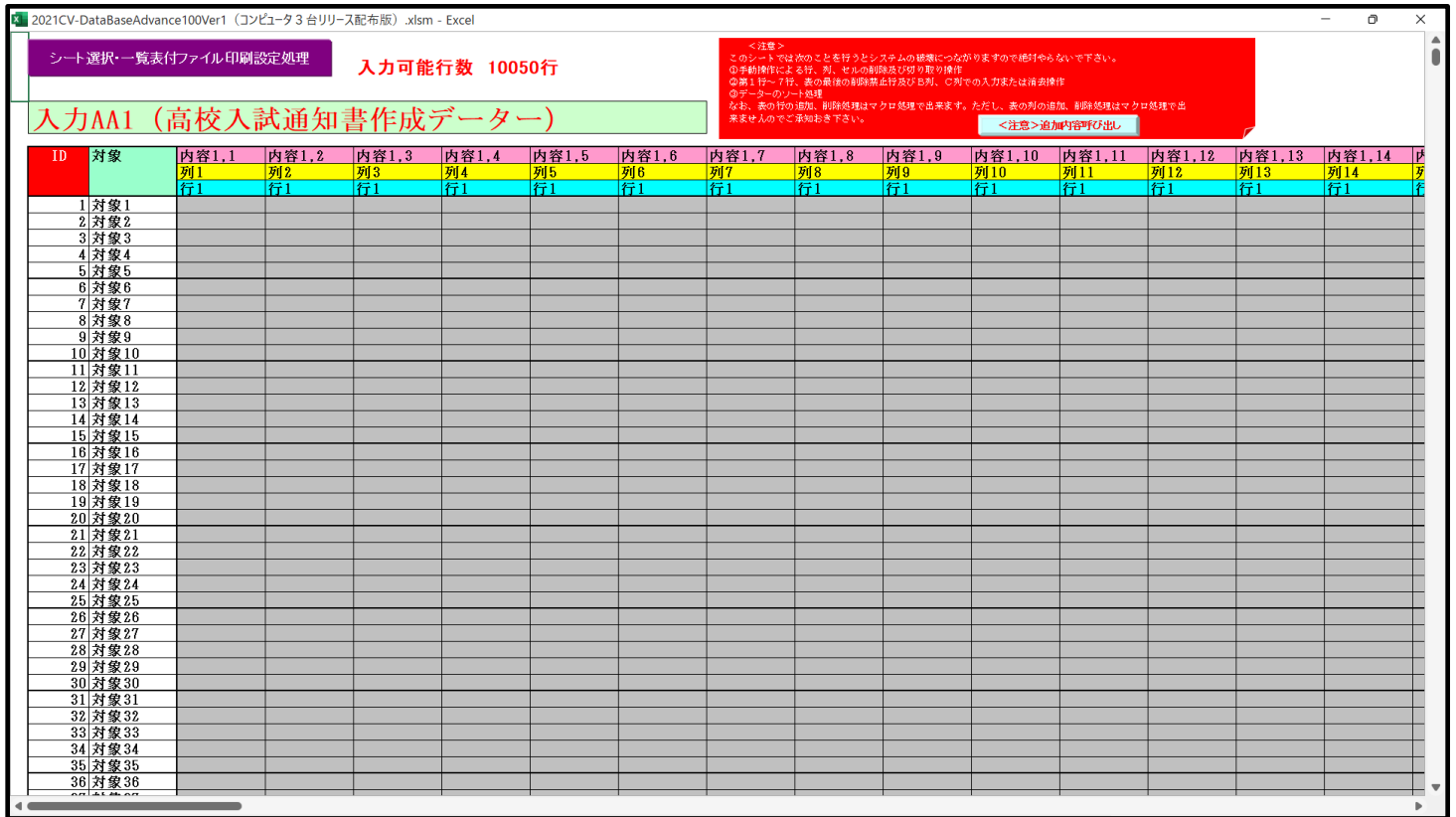


[図 1 3]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 10050 行となり、シートの状況は次の[図 1 4]のようになります。

[図 1 4]



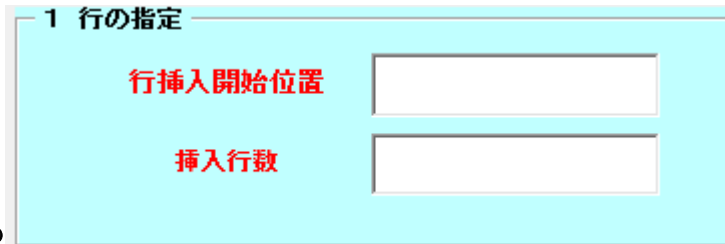
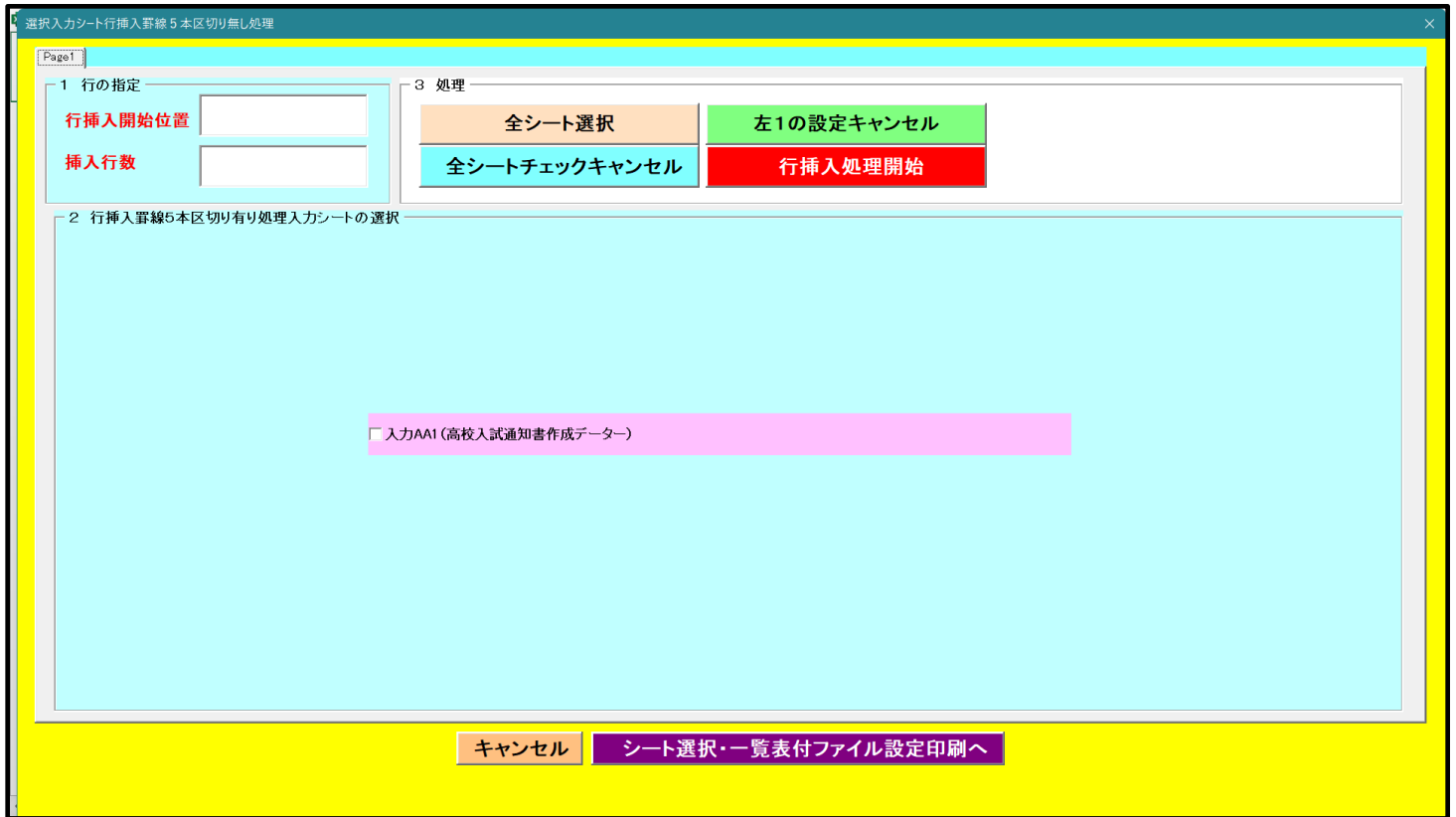
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量にしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1 0]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 1 5]の画面が表示されます。

[図 1 5]



上の[図 1 5]の画面の の部分に



と入力し、

入力AA1 (高校入試通知書作成データ) にチェックを入れ、

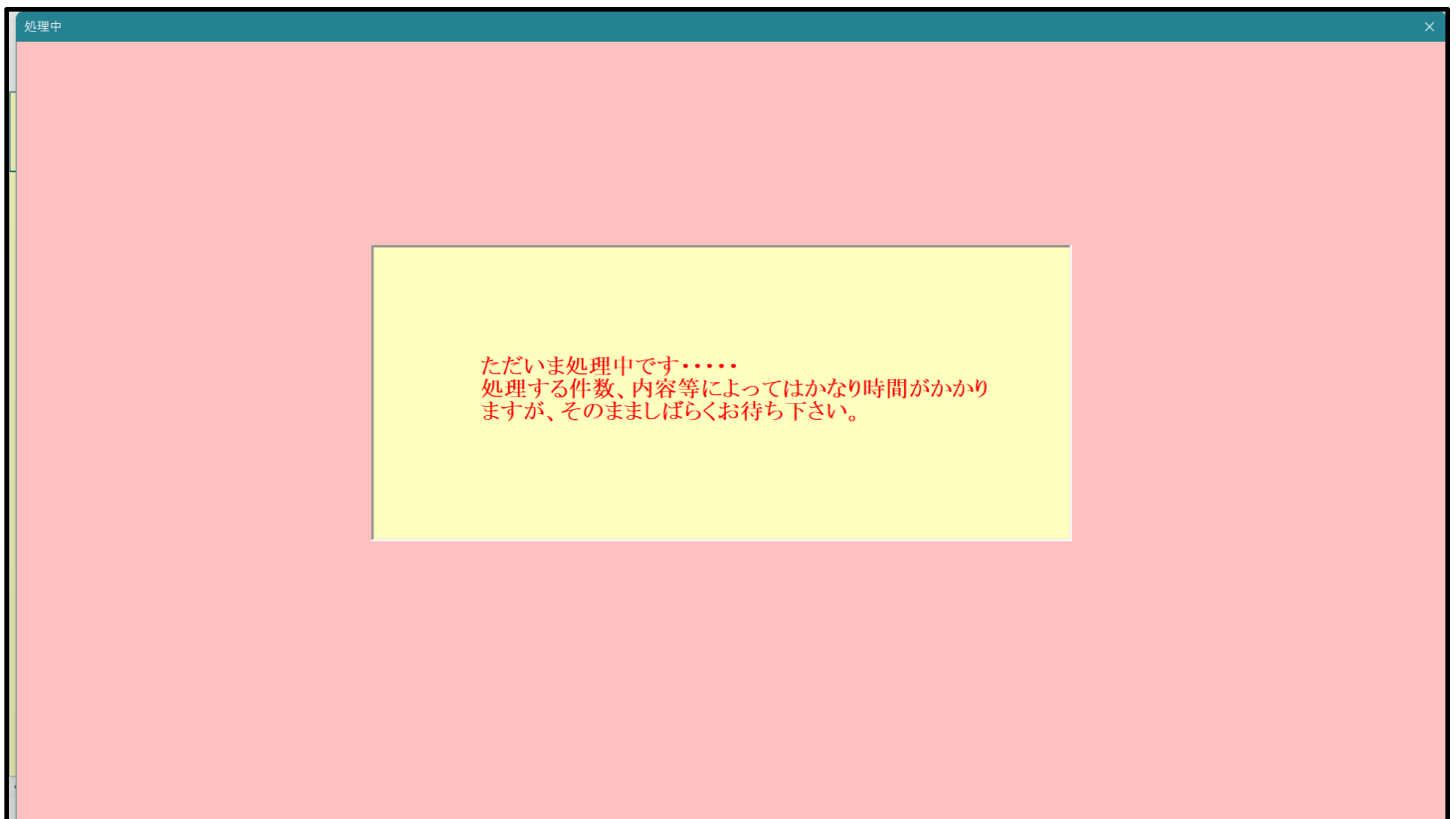
入力AA1 (高校入試通知書作成データ) とし、コマンドボタン

行挿入処理開始

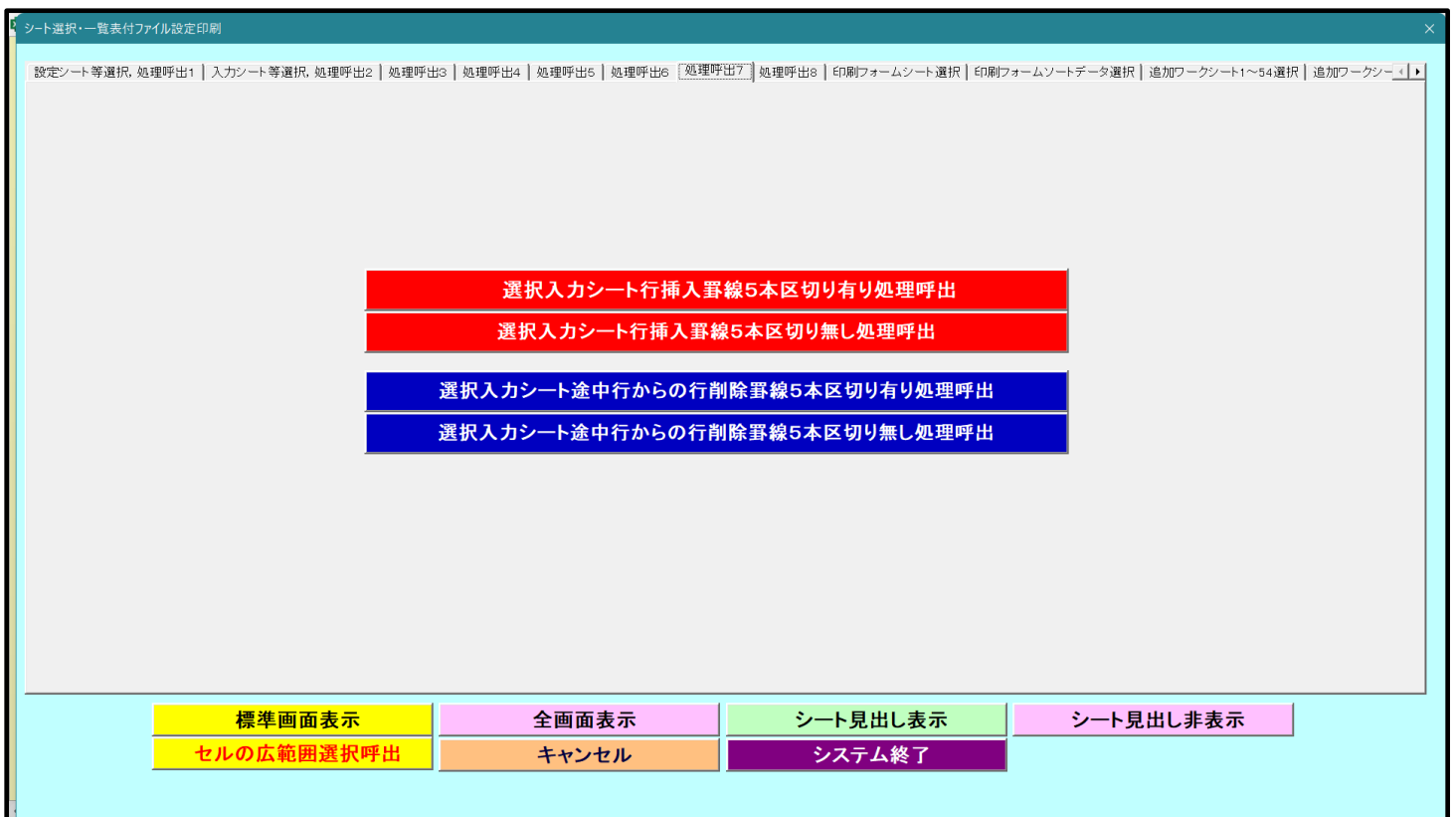
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 1 6]が表示され、再び[図 1 7]が表示されたら処理は完了です。

[図16]

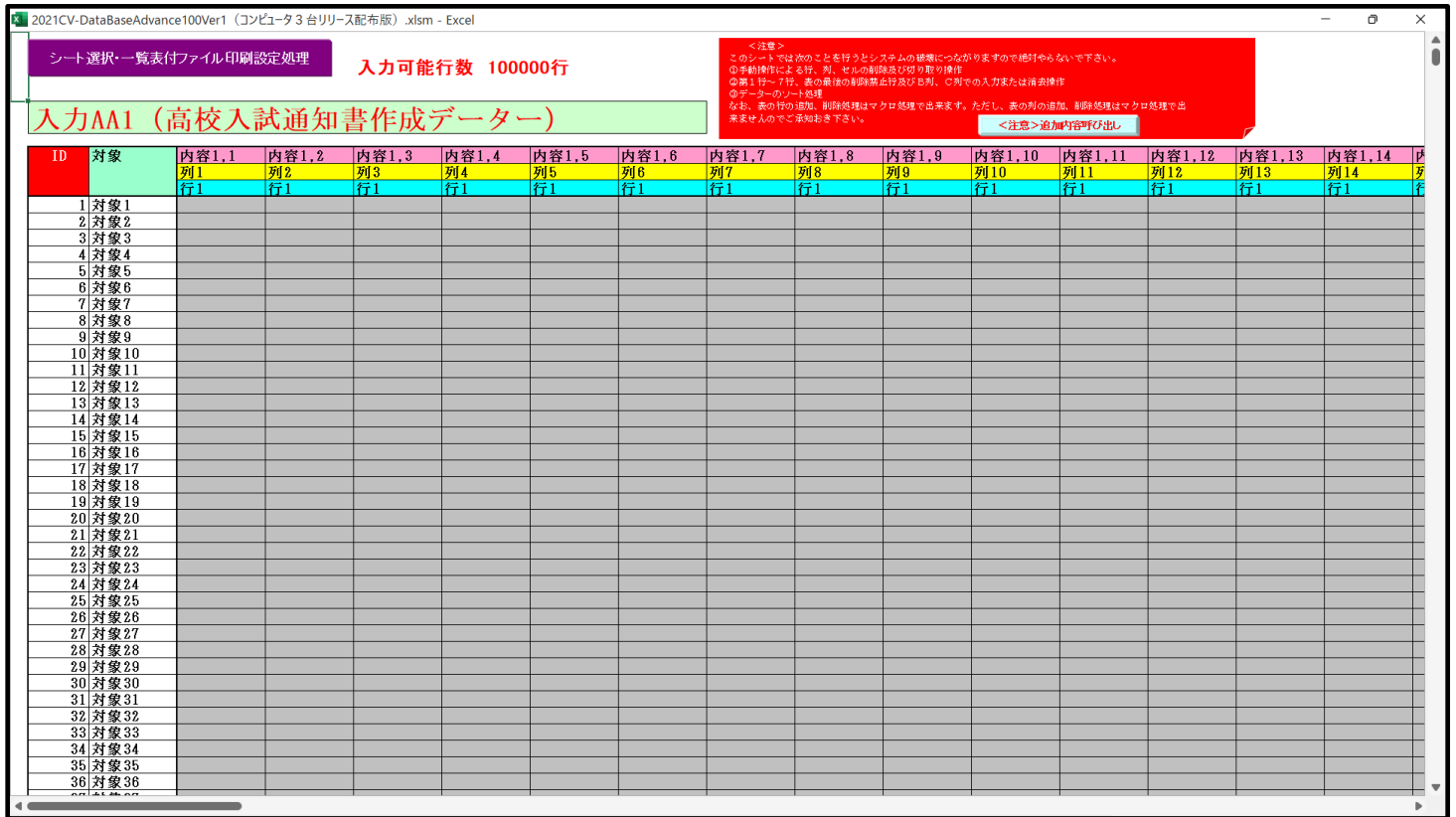


[図17]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 100000 行となり、シートの状況は次の[図18]のようになります。

[図 18]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

3. ファイル



CV-DataBaseAdvance200Ver1 試用版.xslm




CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance200Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン  をクリックしてユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ  を選択すると次の[図 19]の画面になります。

[図 19]



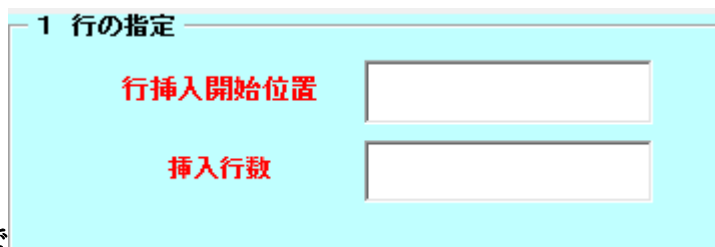
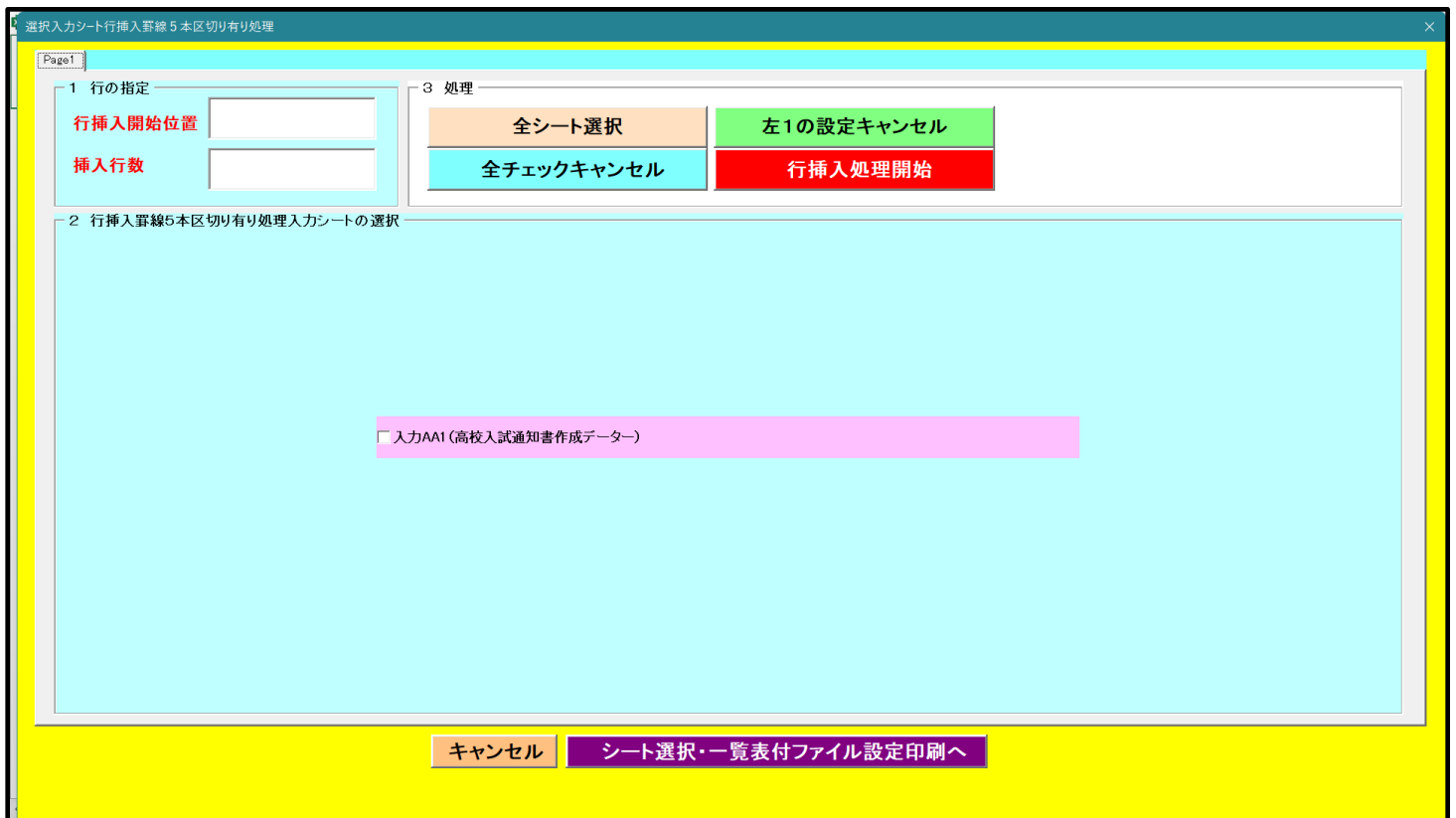
シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の最初の入力可能行数が50行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 19]のコマンドボタン

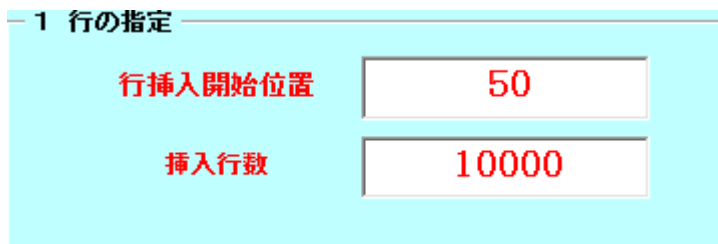
選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 20]の画面になります。

図 2 0]



上の[図 2 1]の画面で の部分に



と入力し、

入力AA1 (高校入試通知書作成データー) にチェックを入れて

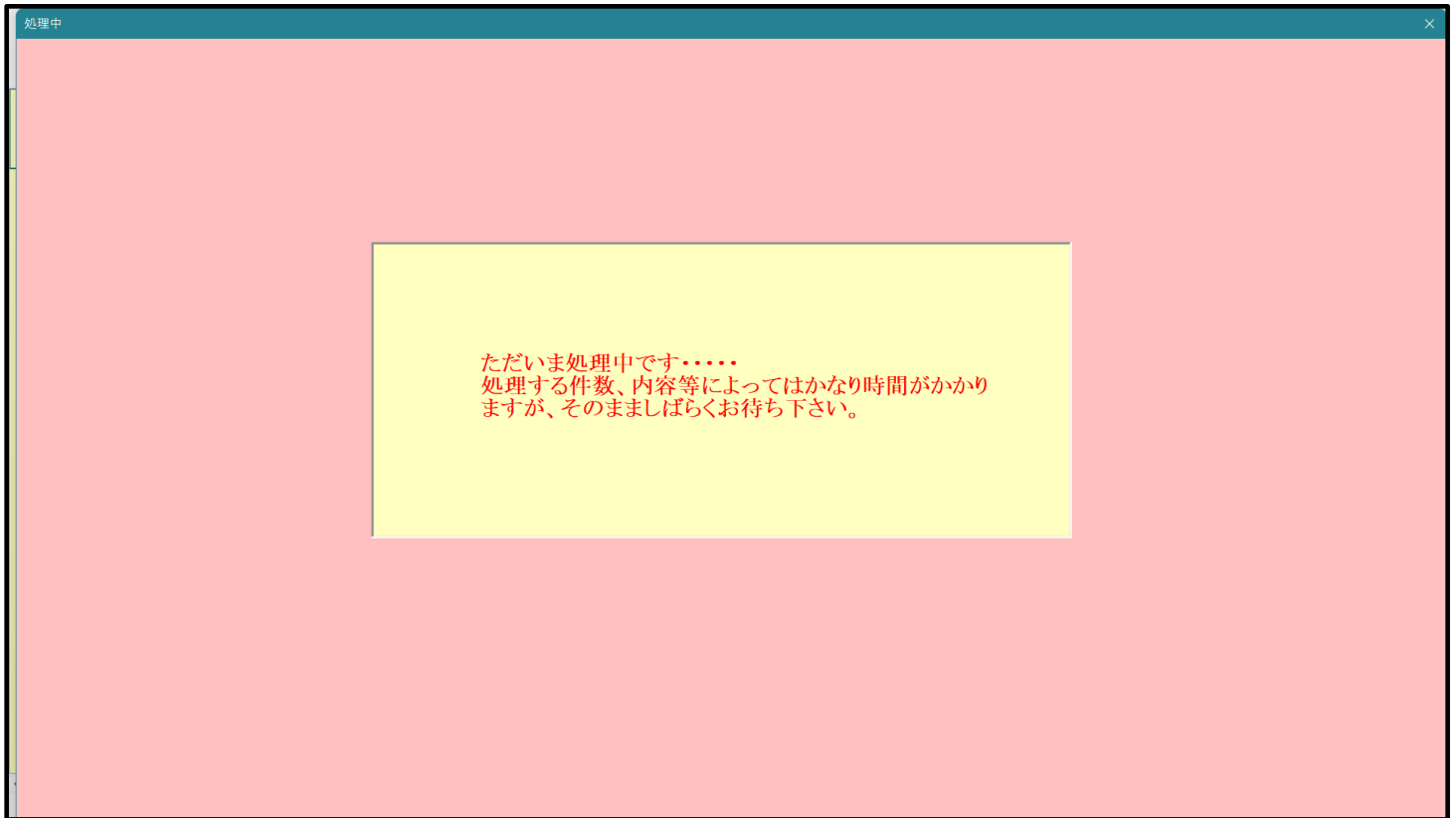
入力AA1 (高校入試通知書作成データー) として、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 2 1]が表示され、再び[図 2 2]が表示されたら処理は完了です。

[図 2 1]

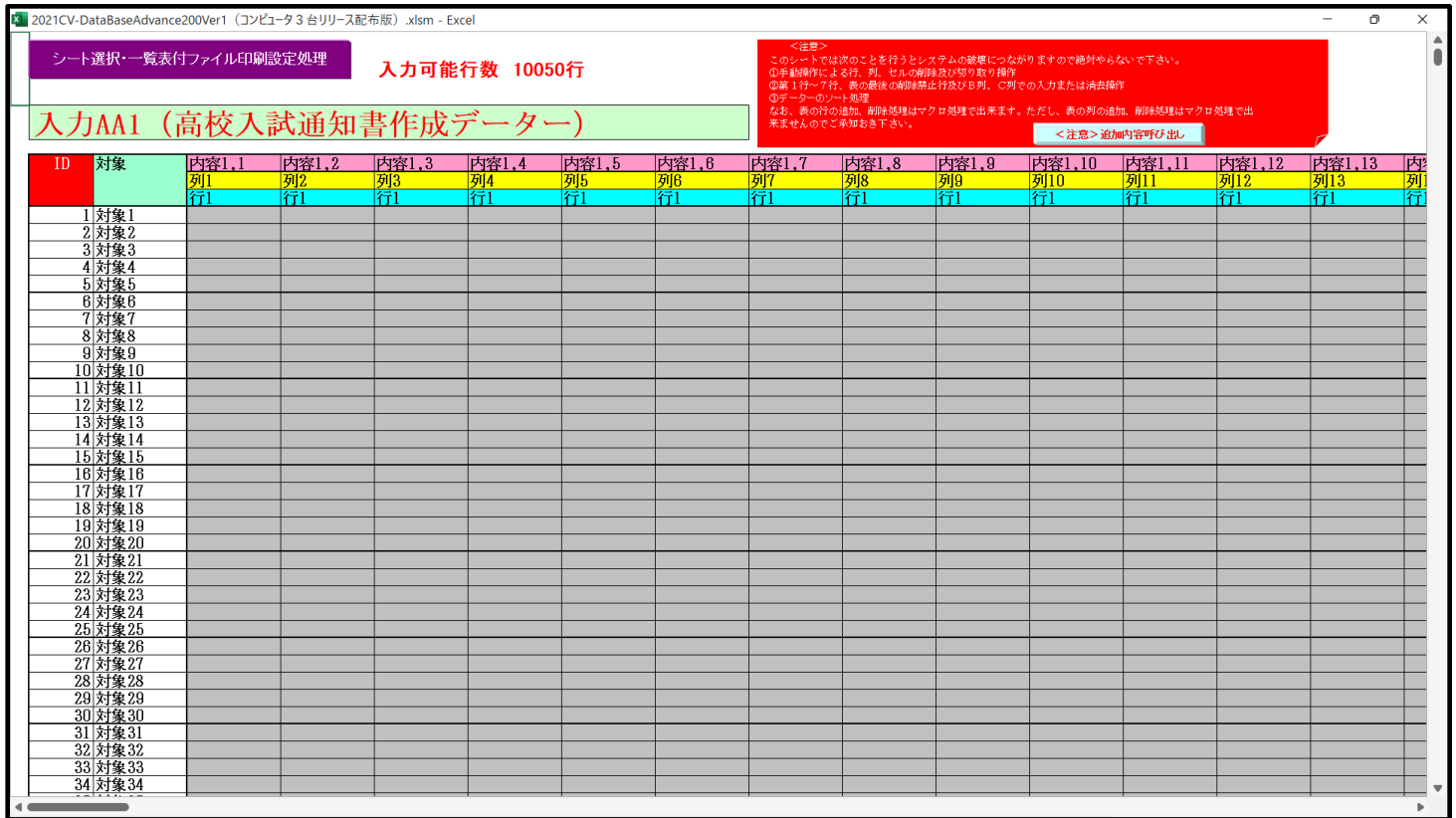


[図 2 2]



この処理の結果、シート「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 10050 行となり、シートの状況は次の[図 2 3]のようになります。

[図 2 3]

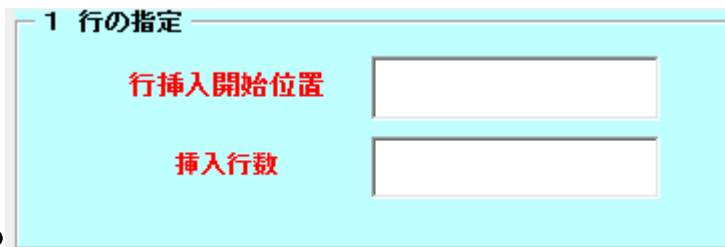
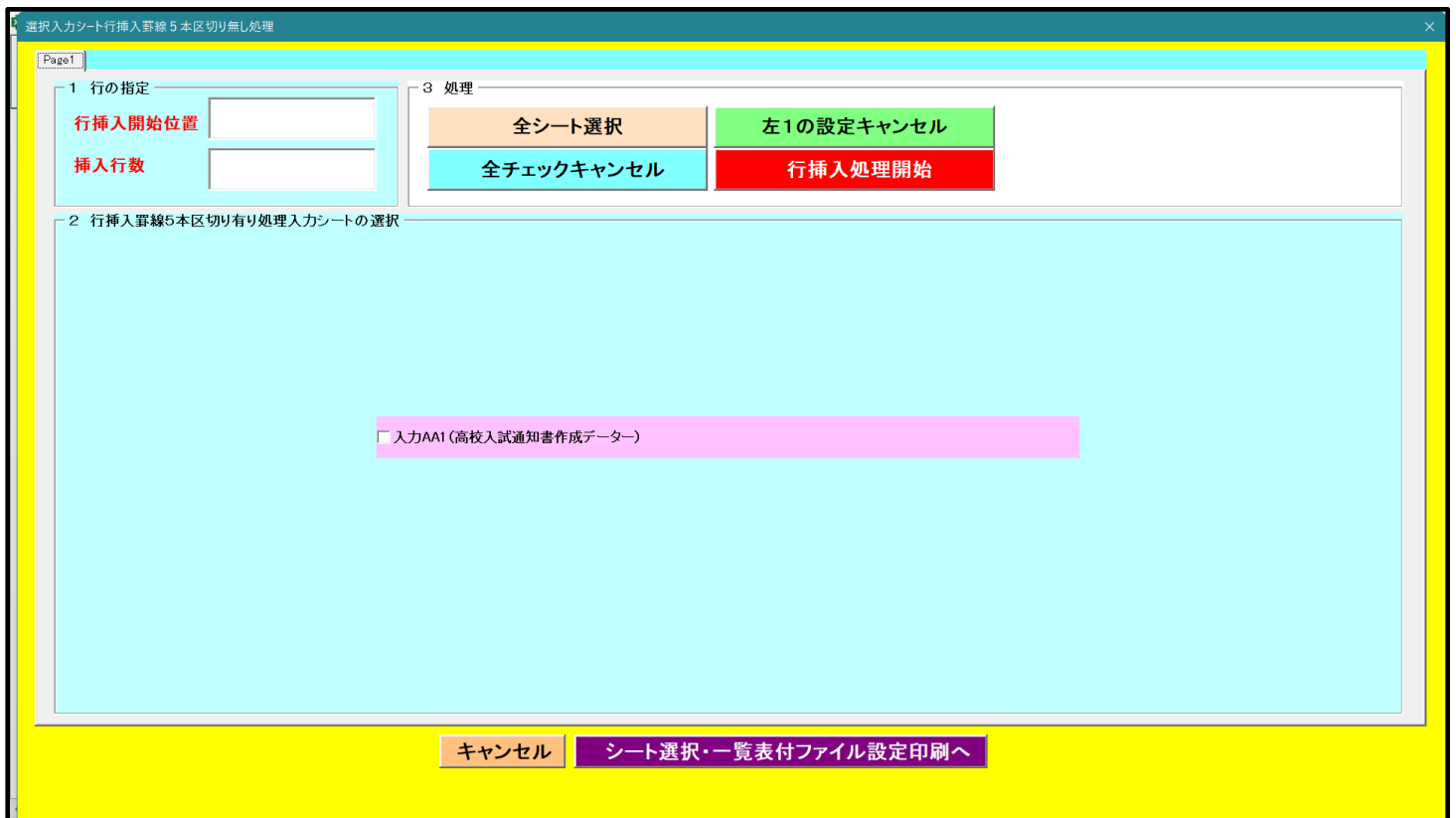


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量にしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 1 9]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 2 4]の画面が表示されます。

[図 2 4]



上の[図 2 4]の画面の の部分に



と入力し、

入力AA1 (高校入試通知書作成データー) にチェックを入れ、

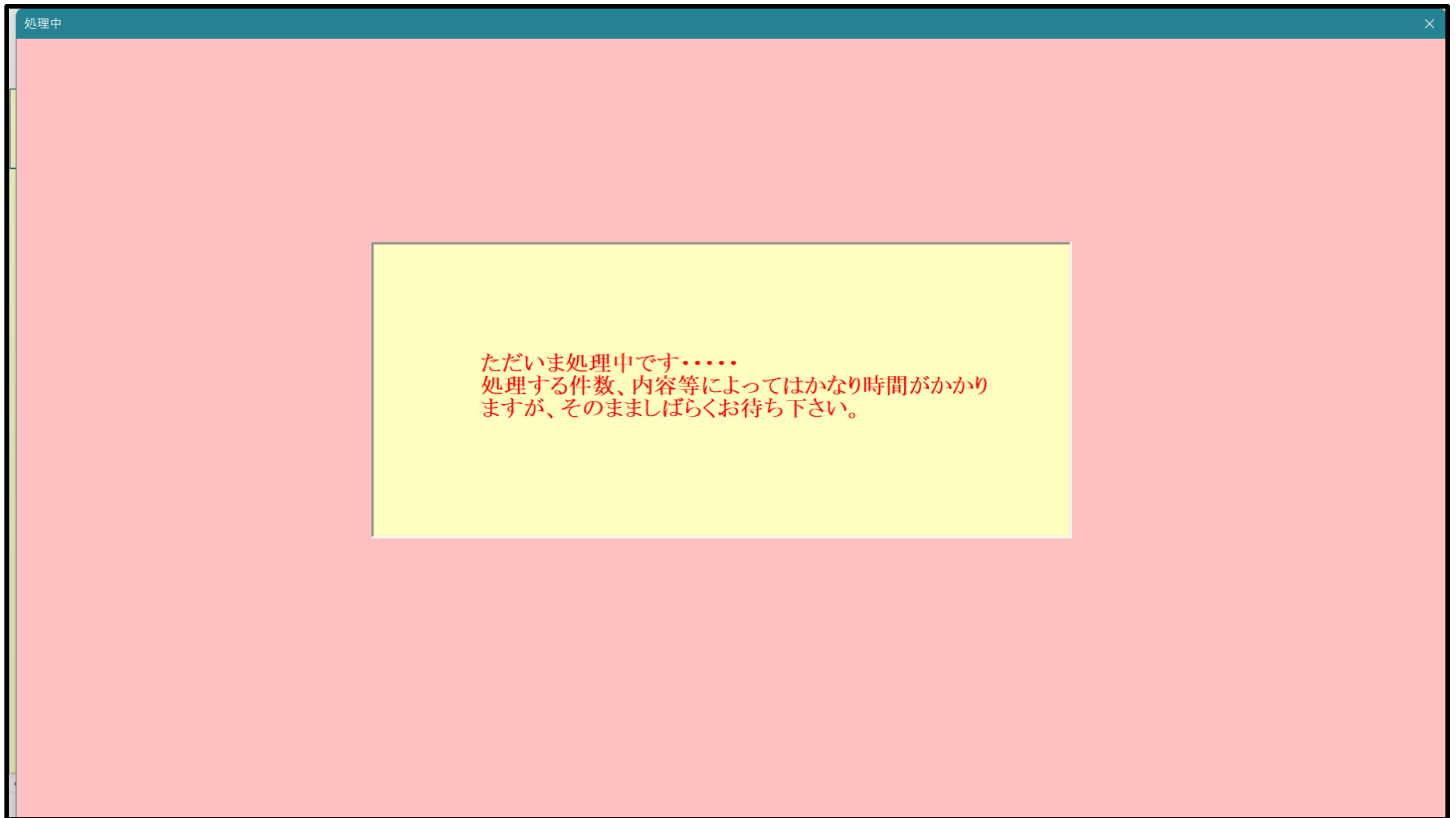
入力AA1 (高校入試通知書作成データー) とし、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 2 5]が表示され、再び[図 2 6]が表示されたら処理は完了です。

[図 2 5]

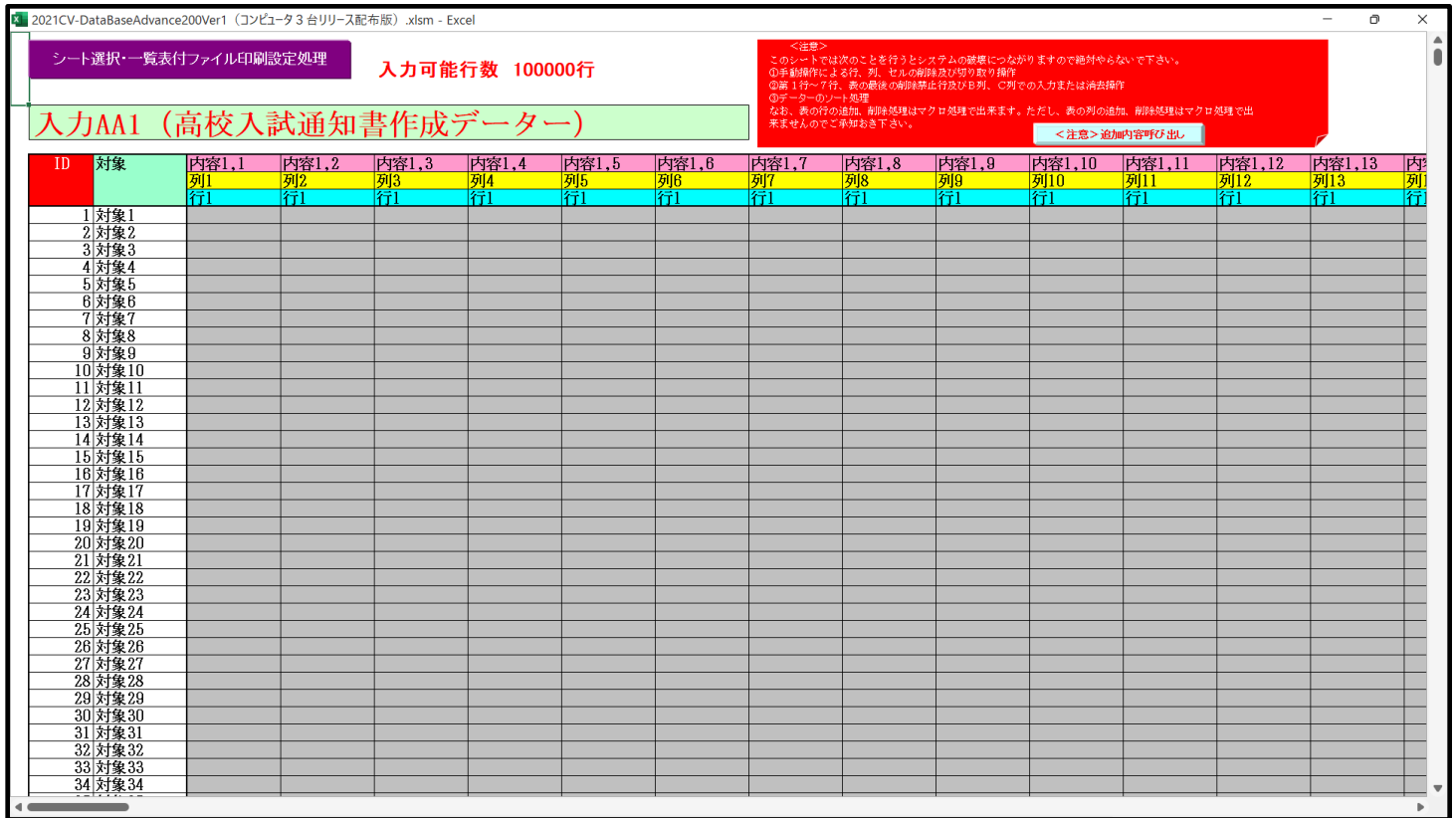


[図 2 6]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力化の行数は 100000 行となり、シートの状況は次の[図 2 7]のようになります。

[図 2 7]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので便利大変便利です。

4. ファイル



CV-DataBaseAdvance400Ver1 試用版.xslm



CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

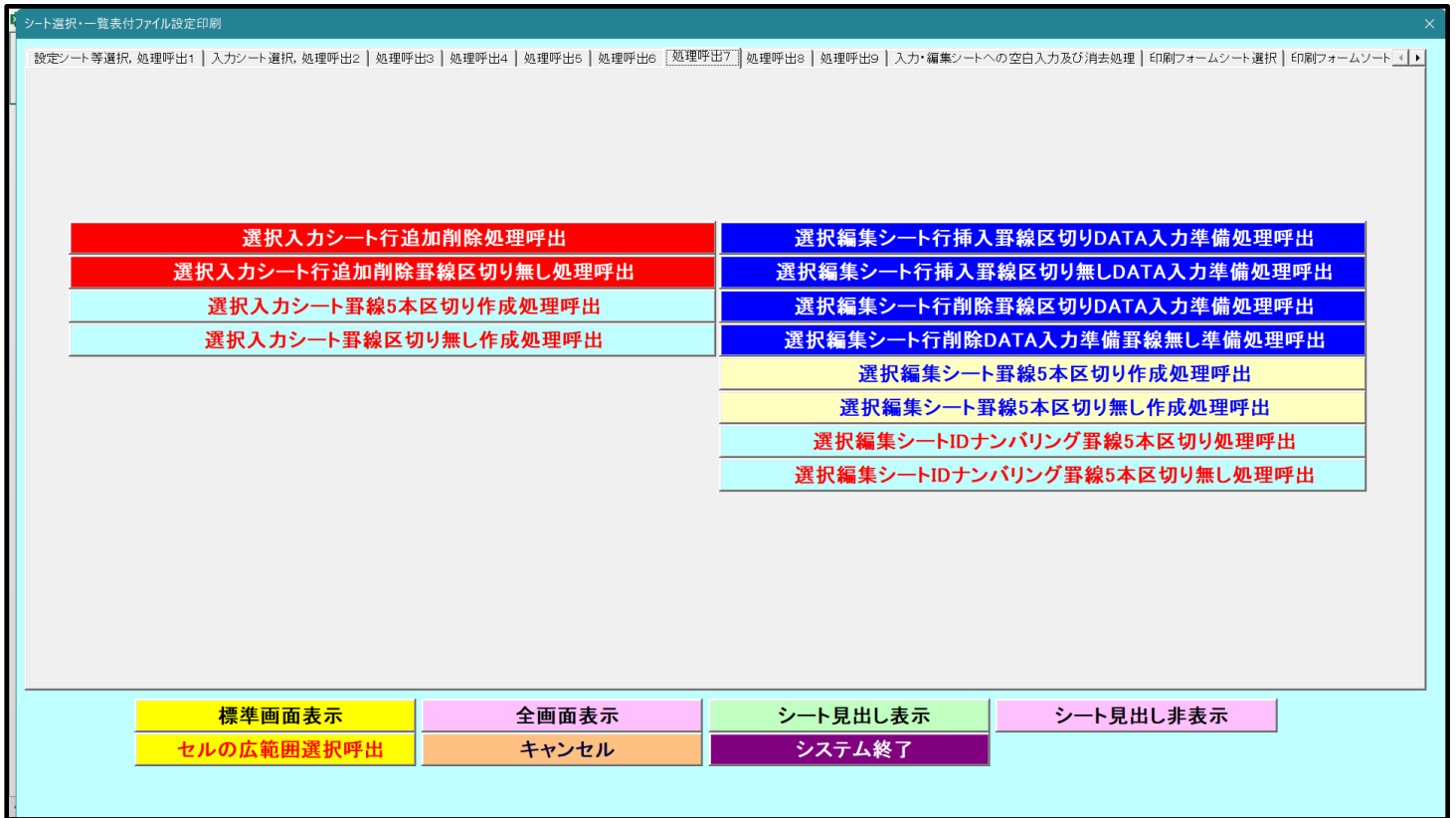
の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン  をクリックしユーザーフォーム「シ

ート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ  を選択すると次の[図 2 8]画面になります。

[図 2 8]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 2 8]のコマンドボタン

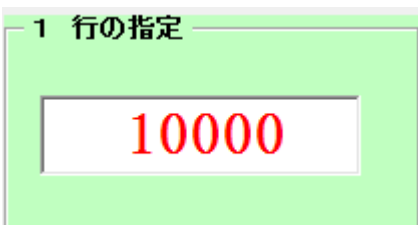
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 2 9]の画面になります。

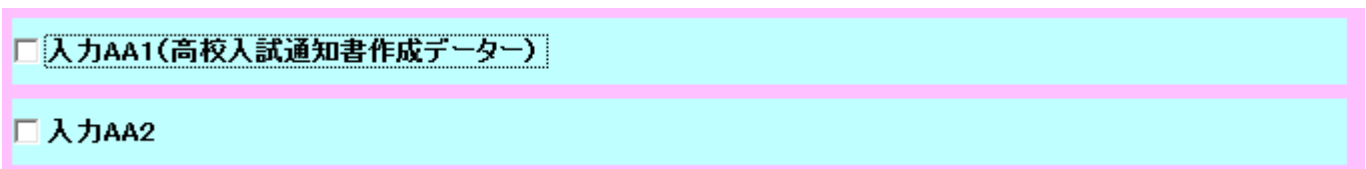
[図 2 9]



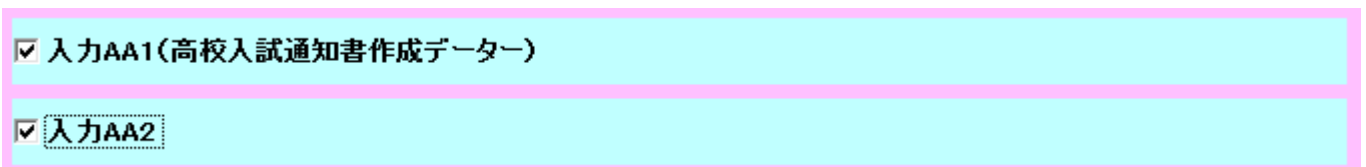
上の[図 2 9]の画面で の部分に



と入力し、



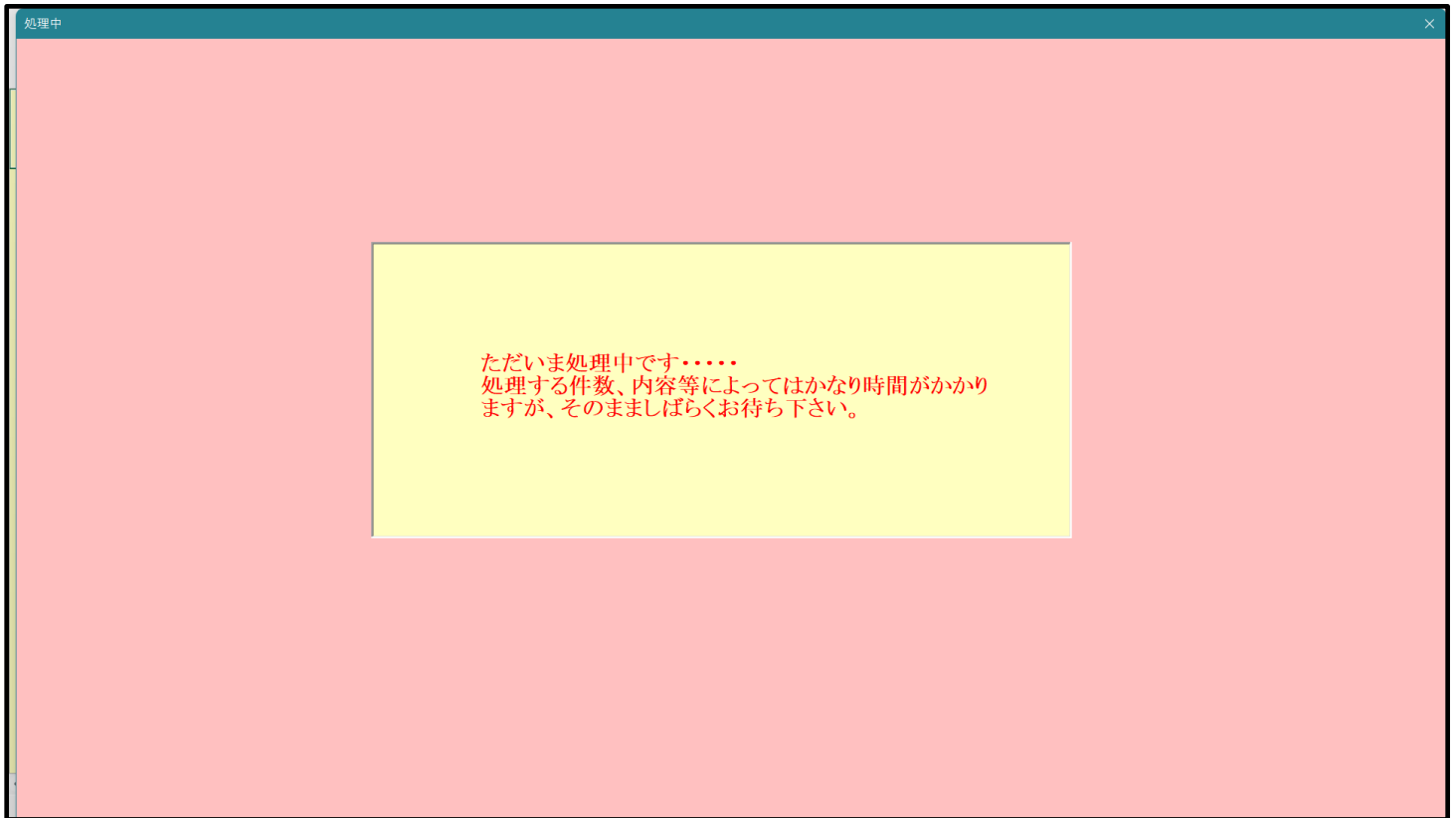
にチェックを入れて



行追加削除処理開始

として、コマンドボタン をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 3 0]が表示され、再び[図 3 1]が表示されたら処理は完了です。

[図 3 0]



[図 3 1]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」、「入力 AA2」の入力可能数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 3 2], [図 3 3]のようになります。

[図 3 2]

2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 10000行**

入力AA1 (高校入試通知書作成データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②第1行～1行、表の最後の削除禁止行及びB列、C列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロは処理出来ませんのでご了承ください。
<注意> 追加内容呼び出し

ID	対象	内容1,1	内容1,2	内容1,3	内容1,4	内容1,5	内容1,6	内容1,7	内容1,8	内容1,9	内容1,10	内容1,11	内容1,12	内容1,13	内容1,14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
1	対象1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

[図 3 3]

2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 10000行**

入力AA2

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②第1行～1行、表の最後の削除禁止行及びB列、C列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロは処理出来ませんのでご了承ください。
<注意> 追加内容呼び出し



ID	対象	内容11,1	内容11,2	内容11,3	内容11,4	内容11,5	内容11,6	内容11,7	内容11,8	内容11,9	内容11,10	内容11,11	内容11,12	内容11,13	内容11,14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
1	対象1	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 2 8]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図34]の画面が表示されます。

[図34]

上の[図34]の画面の  の部分に  と入力し、

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

入力AA2

にチェックを入れ、

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

入力AA2

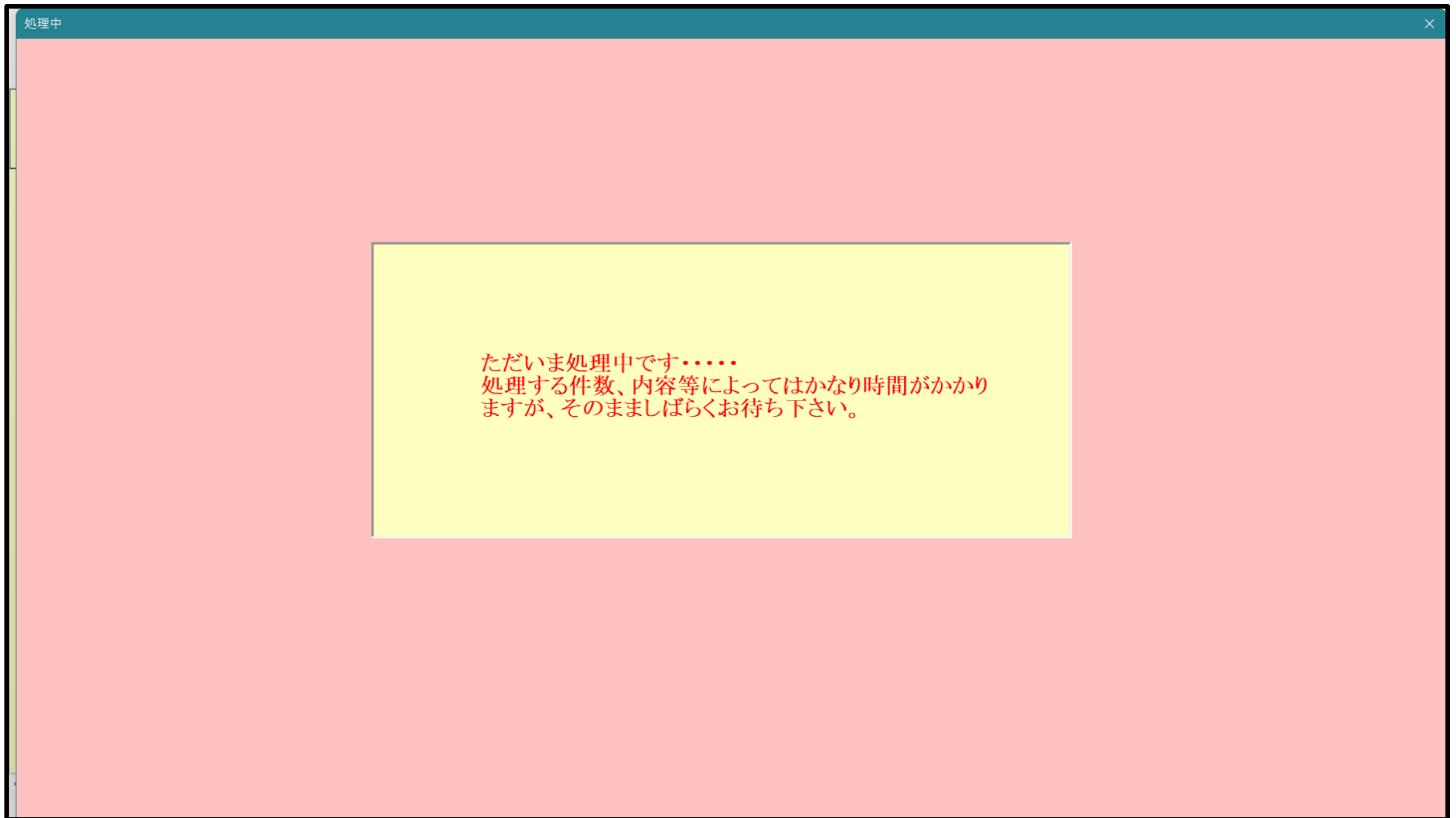
とし、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図35]が表示され、

再び[図36]が表示されたら処理は完了です。

[図 3 5]



[図 3 6]



この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データ)」、「入力 AA2」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 3 7], [図 3 8]のようになります。

[図 3 7]

2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 100000行**

入力AA1 (高校入試通知書作成データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②第1行～11行、表の最後の削除禁止行及び11列、11列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでご承知下さい。
<注意> 追加内容呼び出し

ID	対象	内容1,1	内容1,2	内容1,3	内容1,4	内容1,5	内容1,6	内容1,7	内容1,8	内容1,9	内容1,10	内容1,11	内容1,12	内容1,13	内容1,14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
		行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
1	対象1														
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

[図 3 8]

2021CV-DataBaseAdvance400Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 100000行**

入力AA2

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②第1行～11行、表の最後の削除禁止行及び11列、11列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでご承知下さい。
<注意> 追加内容呼び出し

ID	対象	内容11,1	内容11,2	内容11,3	内容11,4	内容11,5	内容11,6	内容11,7	内容11,8	内容11,9	内容11,10	内容11,11	内容11,12	内容11,13	内容11,14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
		行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11	行11
1	対象1														
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

5. ファイル

CV-DataBaseAdvance600Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

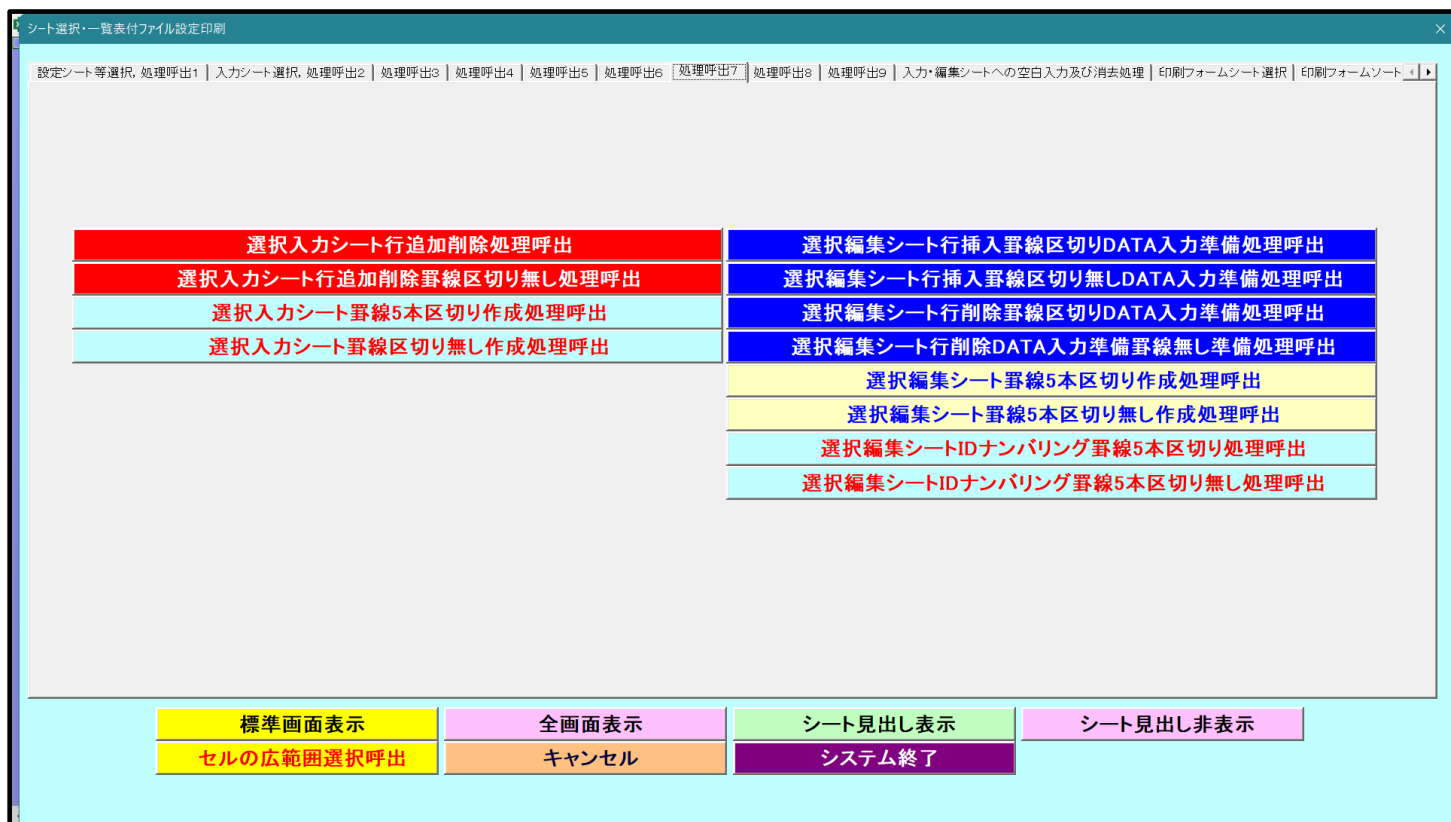
の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出7** を選択すると次の[図 3 9]画面になります。

[図 3 9]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 3 9]のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 4 0]の画面になります。

[図 4 0]

上の[図 4 0]の画面で の部分に と入力し、

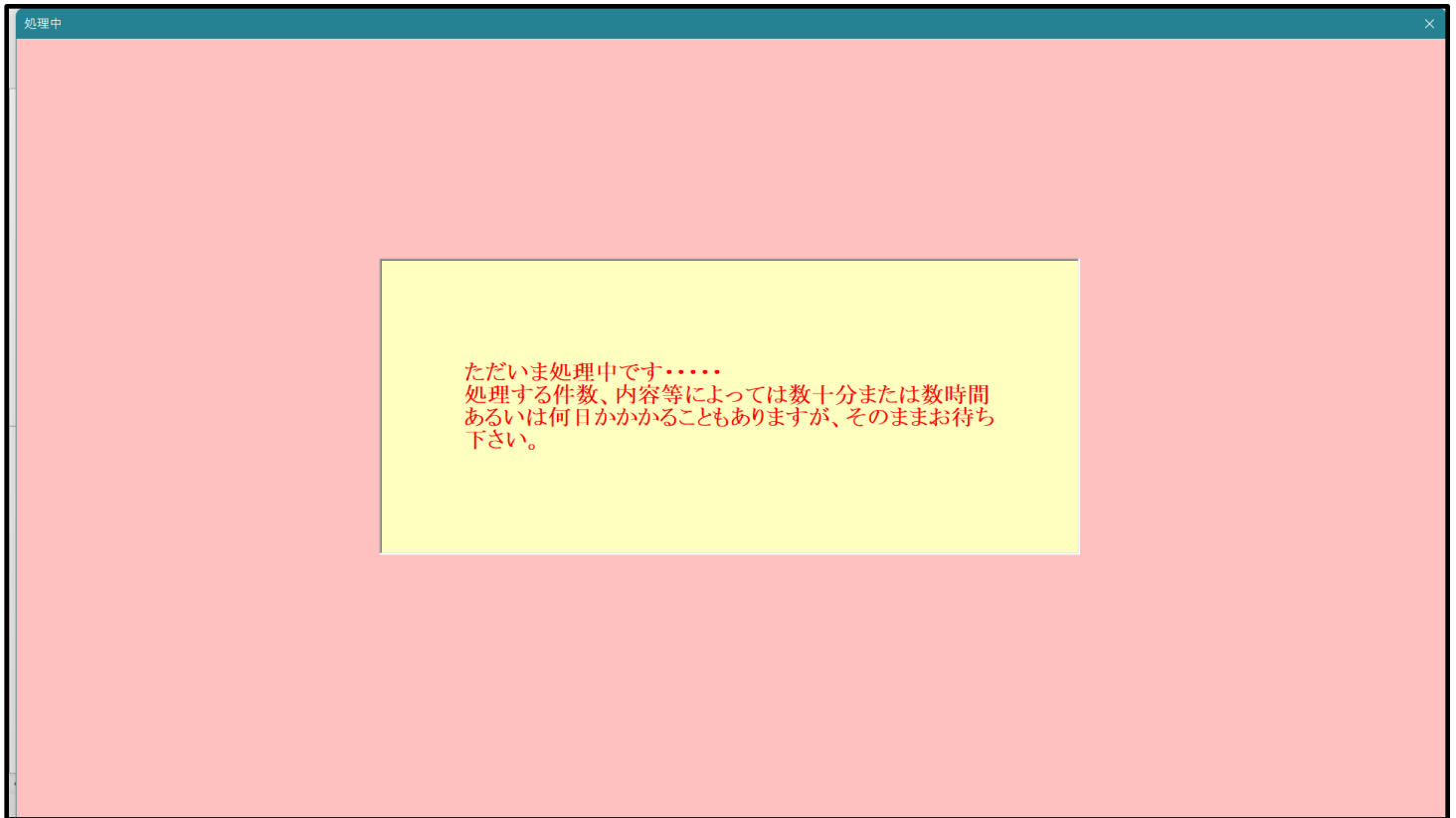
にチェックを入れて

として、コマンドボタン

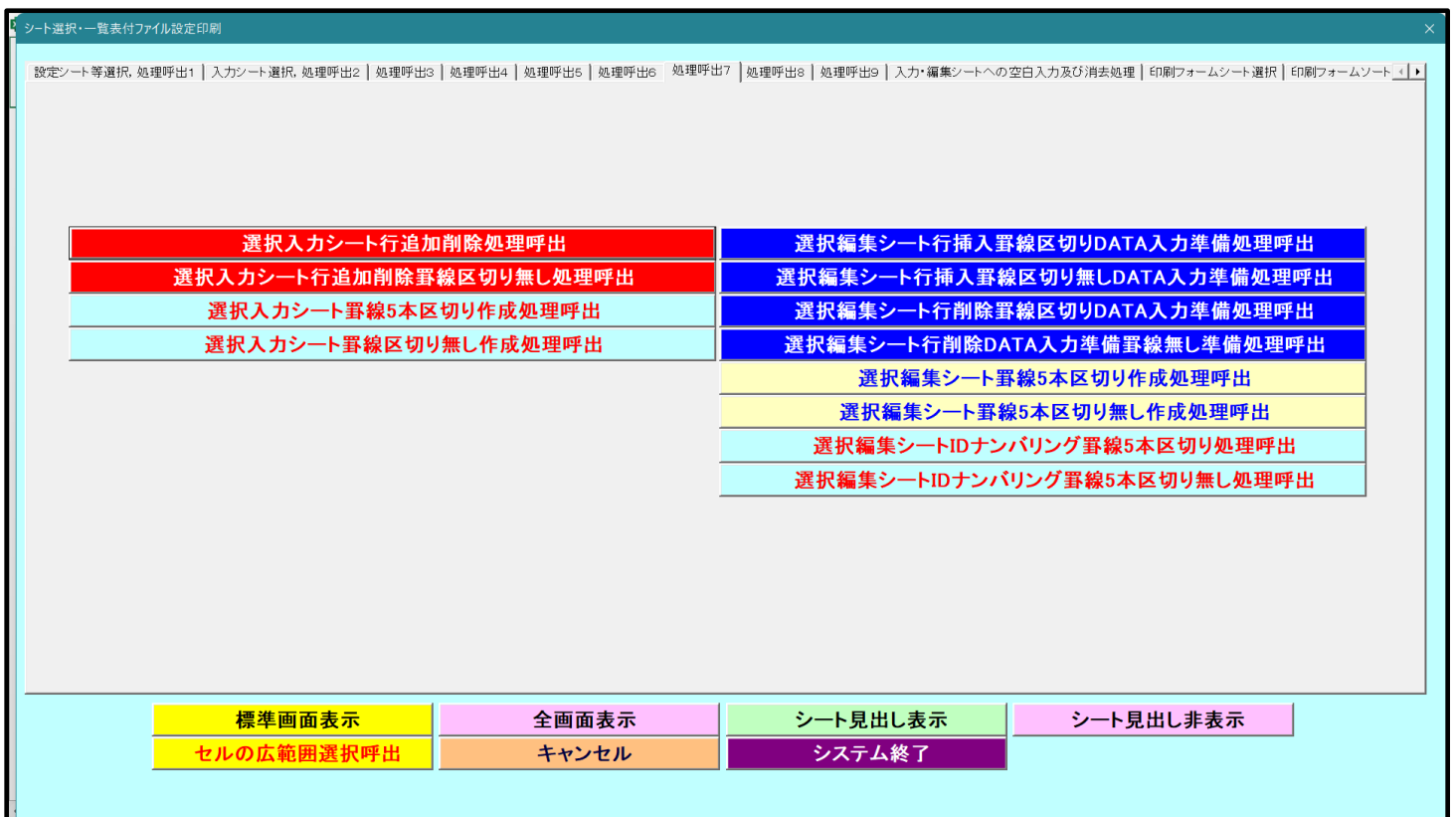
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 4 1]が表示され、

再び[図 4 2]が表示されたら処理は完了です。

図 4 1]



[図 4 2]



この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データ)」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 4 3], [図 4 4]のようになります。

[図 4 3]

2021CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 10000行**

入力AA1 (高校入試通知書作成データー)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの誤作動につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②挿入行・列・セルの最後の削除禁止行及び列、C列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでご承知下さい。

<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12	内容1.13	内容1.14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
		行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
1	対象1														
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

[図 4 4]

2021CV-DataBaseAdvance600Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 10000行**

入力AA3

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの誤作動につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②挿入行・列・セルの最後の削除禁止行及び列、C列での入力または消去操作
③データのソート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでご承知下さい。

<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12	内容21.13	内容21.14
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14
		行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21
1	対象1														
2	対象2														
3	対象3														
4	対象4														
5	対象5														
6	対象6														
7	対象7														
8	対象8														
9	対象9														
10	対象10														
11	対象11														
12	対象12														
13	対象13														
14	対象14														
15	対象15														
16	対象16														
17	対象17														
18	対象18														
19	対象19														
20	対象20														
21	対象21														
22	対象22														
23	対象23														
24	対象24														
25	対象25														
26	対象26														
27	対象27														
28	対象28														
29	対象29														
30	対象30														
31	対象31														
32	対象32														
33	対象33														
34	対象34														

ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 3 9]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図45]の画面が表示されます。

[図45]

選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理

Page1

1 行の指定

3 処理

全シート選択

左1の設定キャンセル

全チェックキャンセル

行追加削除処理開始

2 行追加削除罫線区切り無し入力シートの選択

入力AA1 (高校入試通知書作成データー)

入力AA2

入力AA3

キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

1 行の指定

1 行の指定

100000

上の[図45]の画面の の部分に と入力し、

- 入力AA1(高校入試通知書作成データー)
- 入力AA2
- 入力AA3

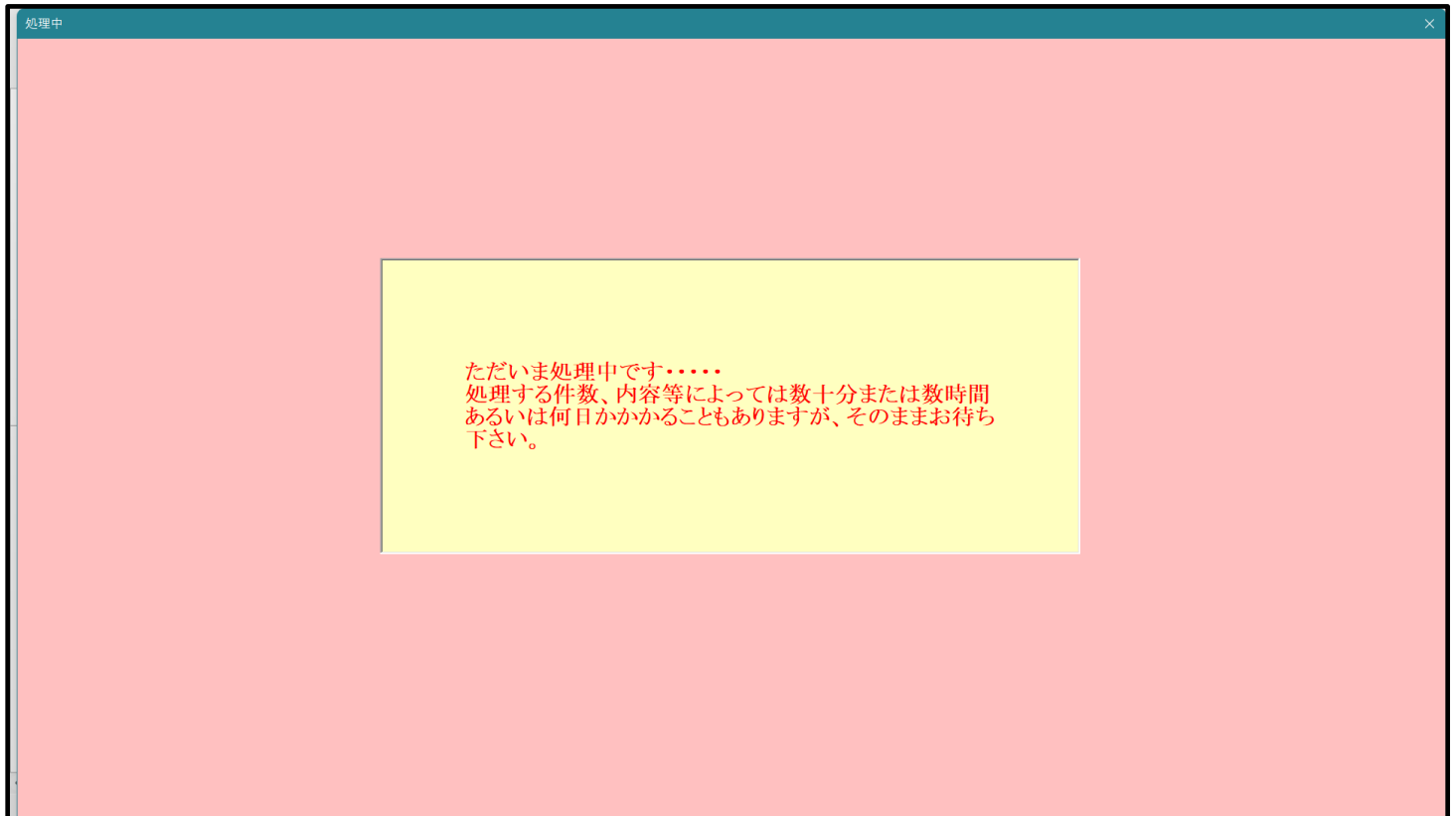
にチェックを入れ、

- 入力AA1(高校入試通知書作成データー)
- 入力AA2
- 入力AA3

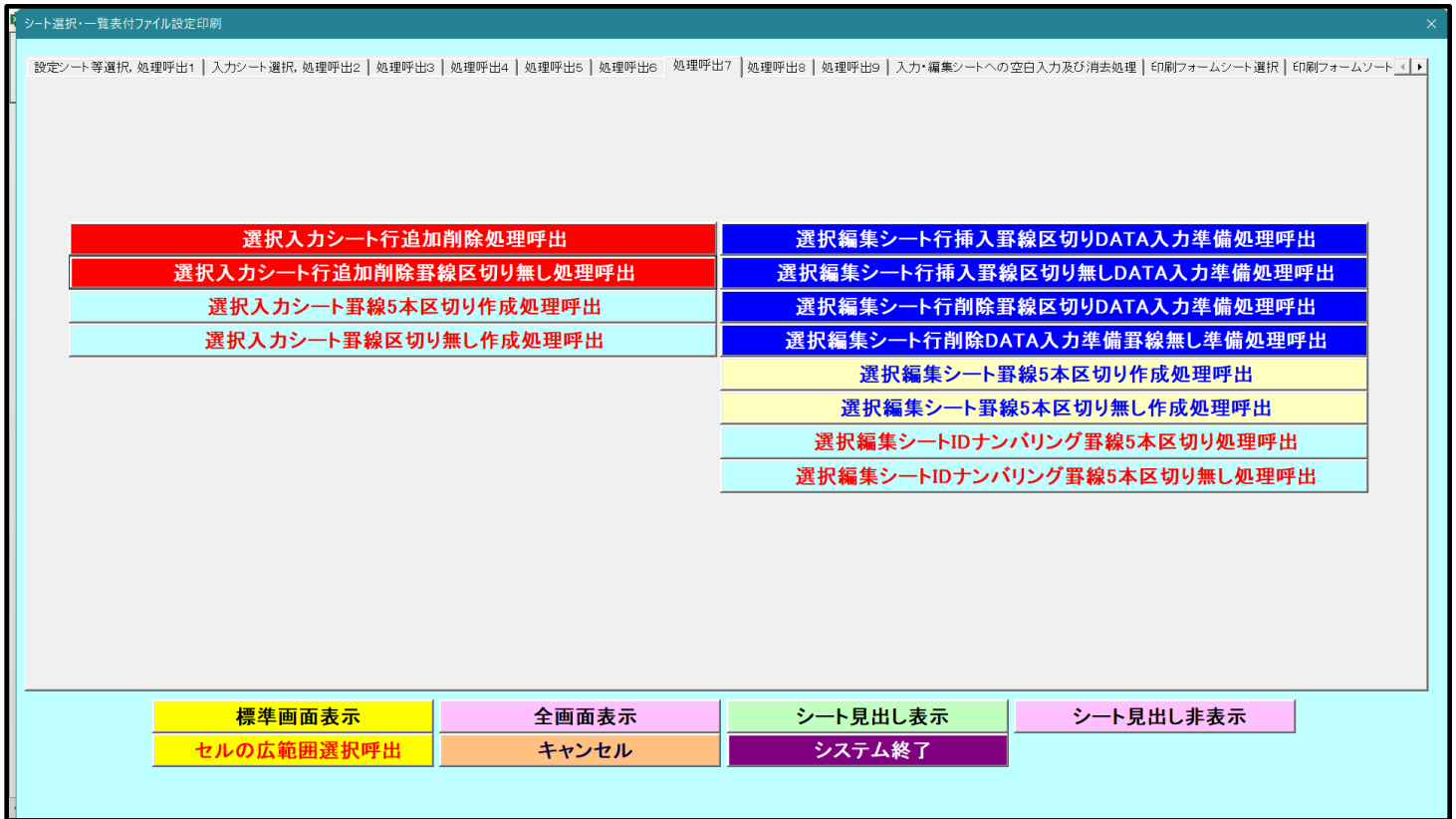
行追加削除処理開始

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図4 6]が表示され、再び[図4 7]が表示されたら処理は完了です。

[図4 6]

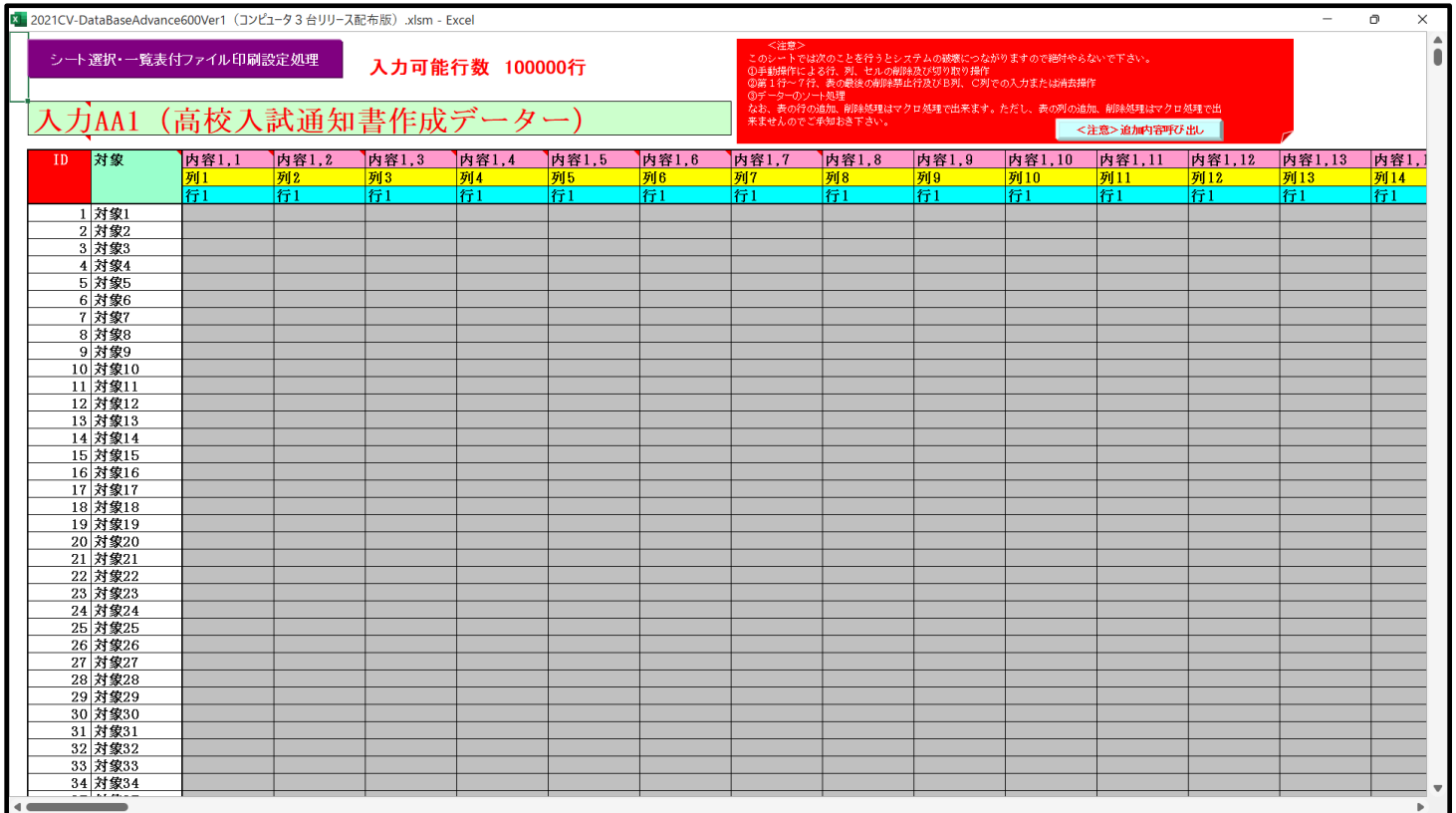


[図 4 7]

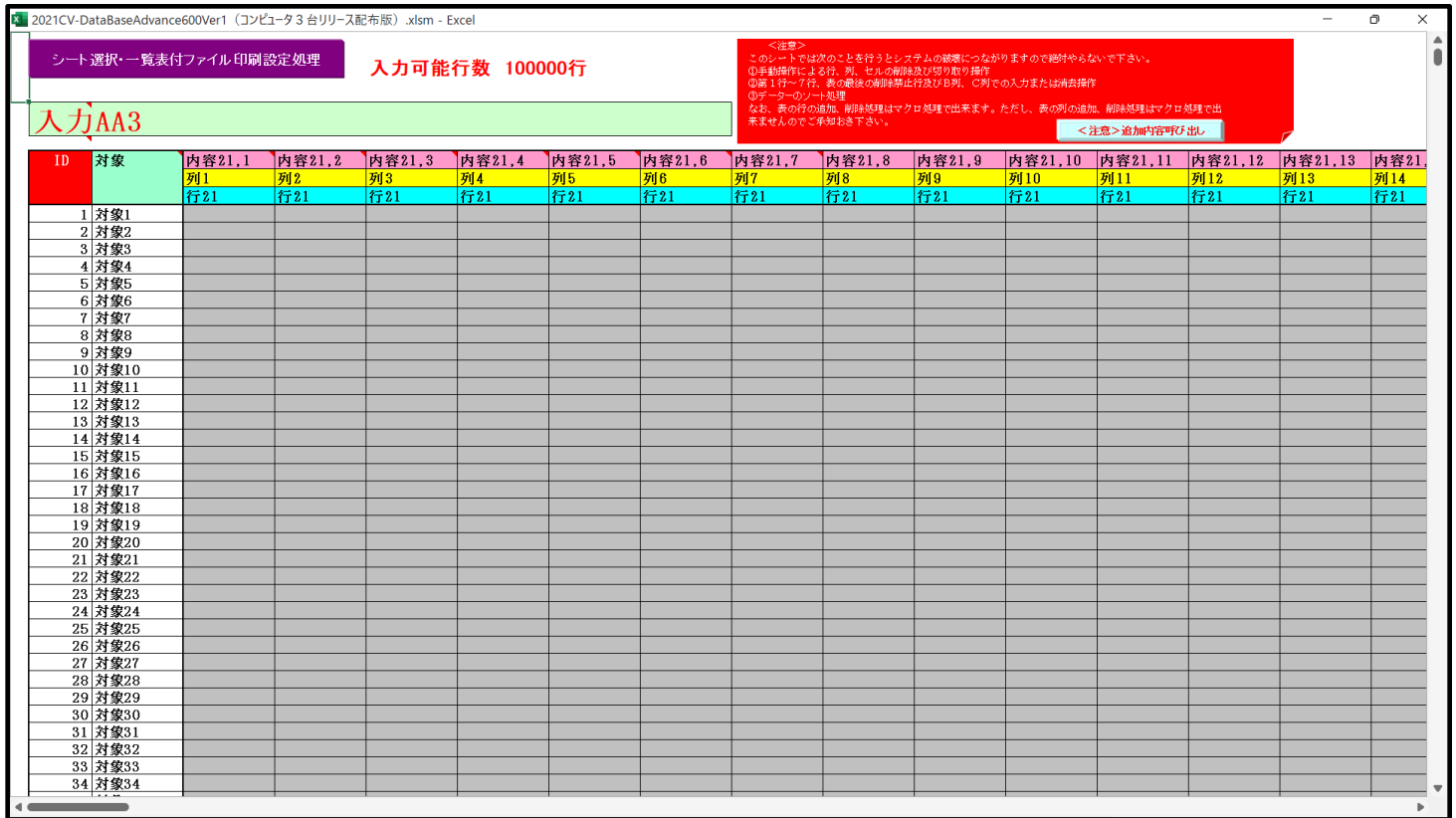


この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 4 8]、[図 4 9]のようになります。

[図 4 8]



[図 4 9]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

6. ファイル



CV-DataBaseAdvance800Ver1 試用版.xslm



CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

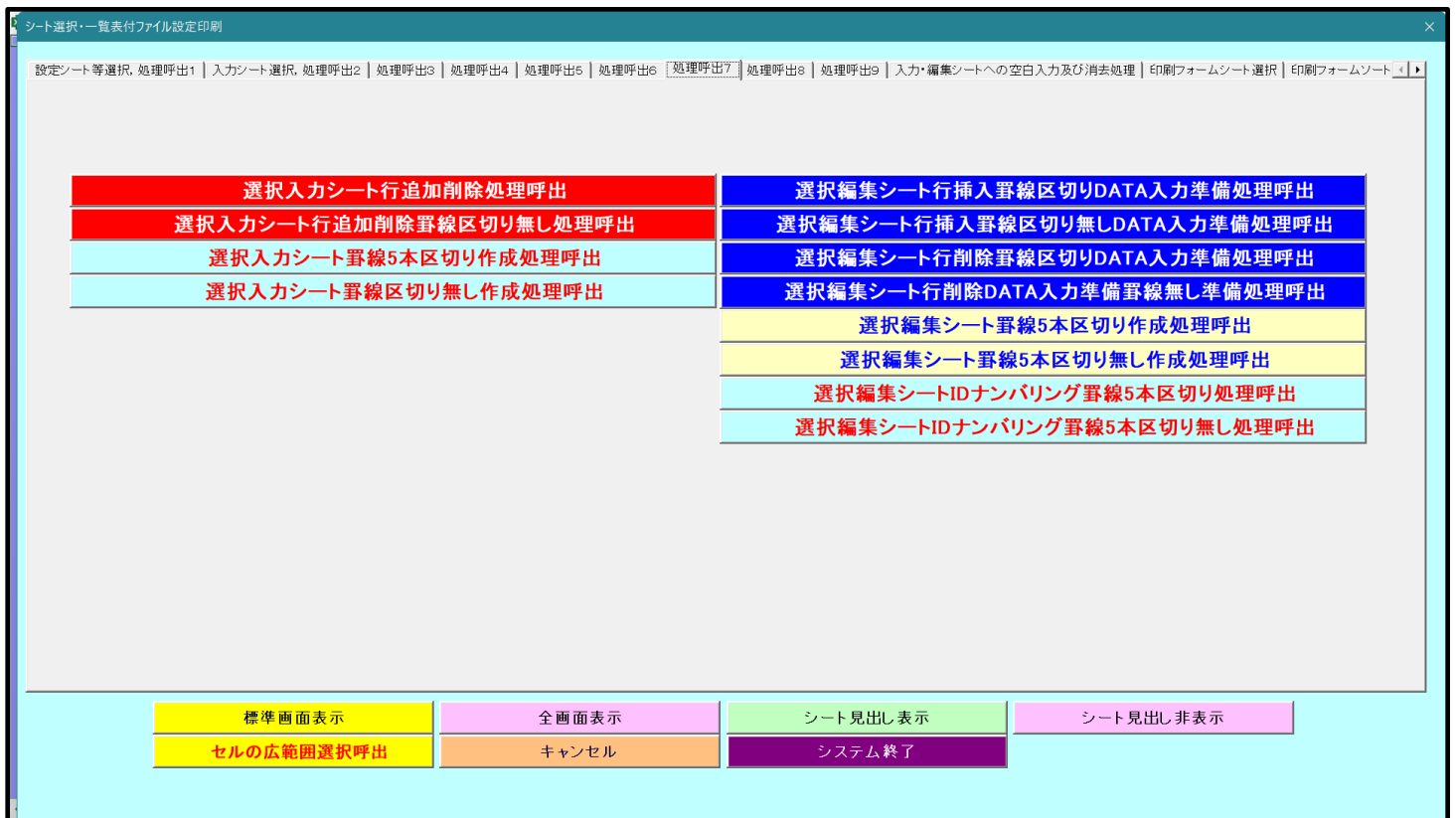
の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の[図 5 0]の画面になります。

[図 5 0]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図50]のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図51]の画面になります。

[図 5 1]

選択入力シート行追加削除処理

Page1

1 行の指定

3 処理

全シート選択

左1の設定キャンセル

全チェックキャンセル

行追加削除処理開始

2 行追加削除入力シートの選択

入力AA1 (高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

1 行の指定

上の[図 5 7]の画面で の部分に

1 行の指定

10000

と入力し、

入力AA1 (高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

にチェックを入れて

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

とし

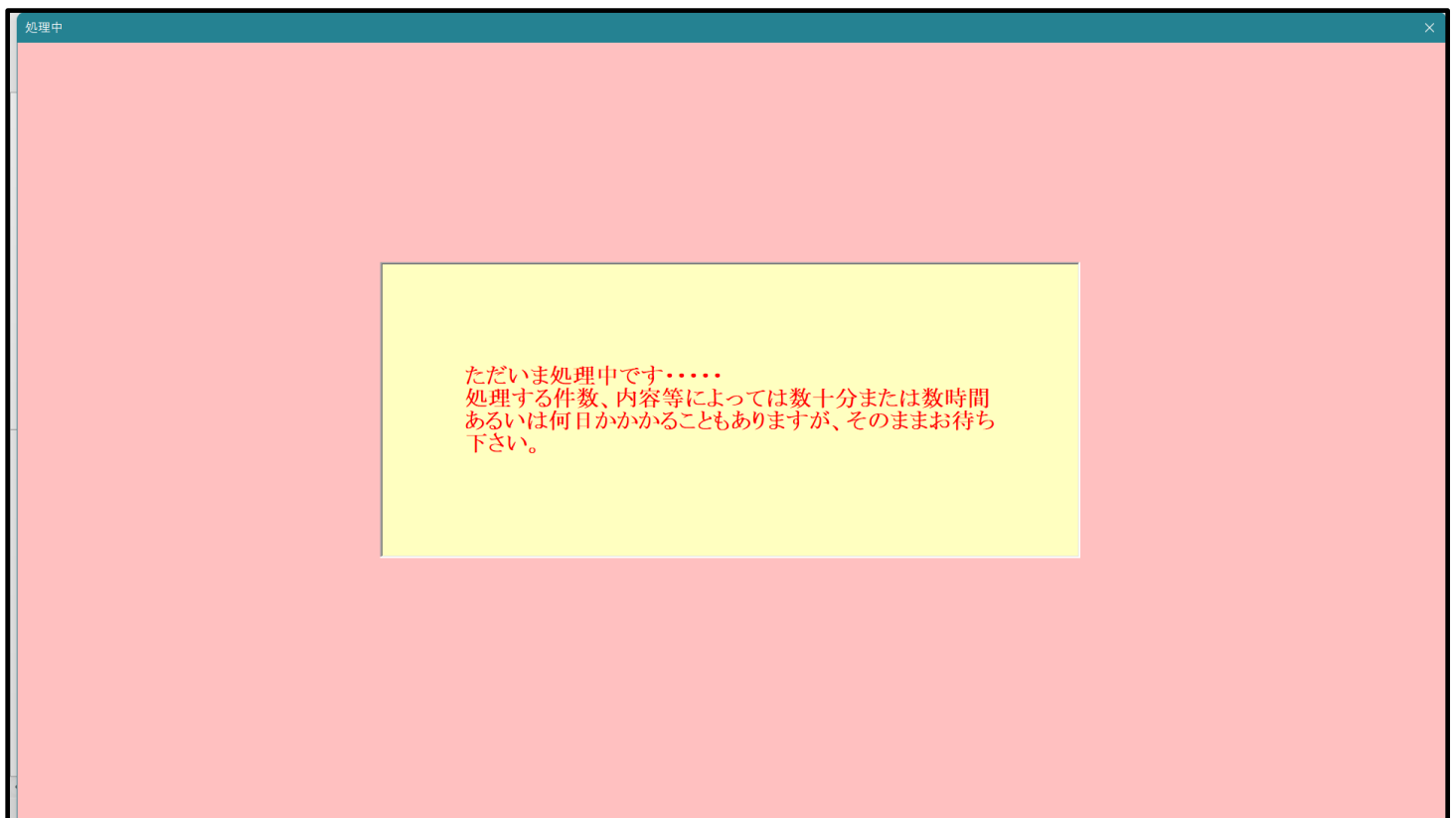
て、コマンドボタン

行追加削除処理開始

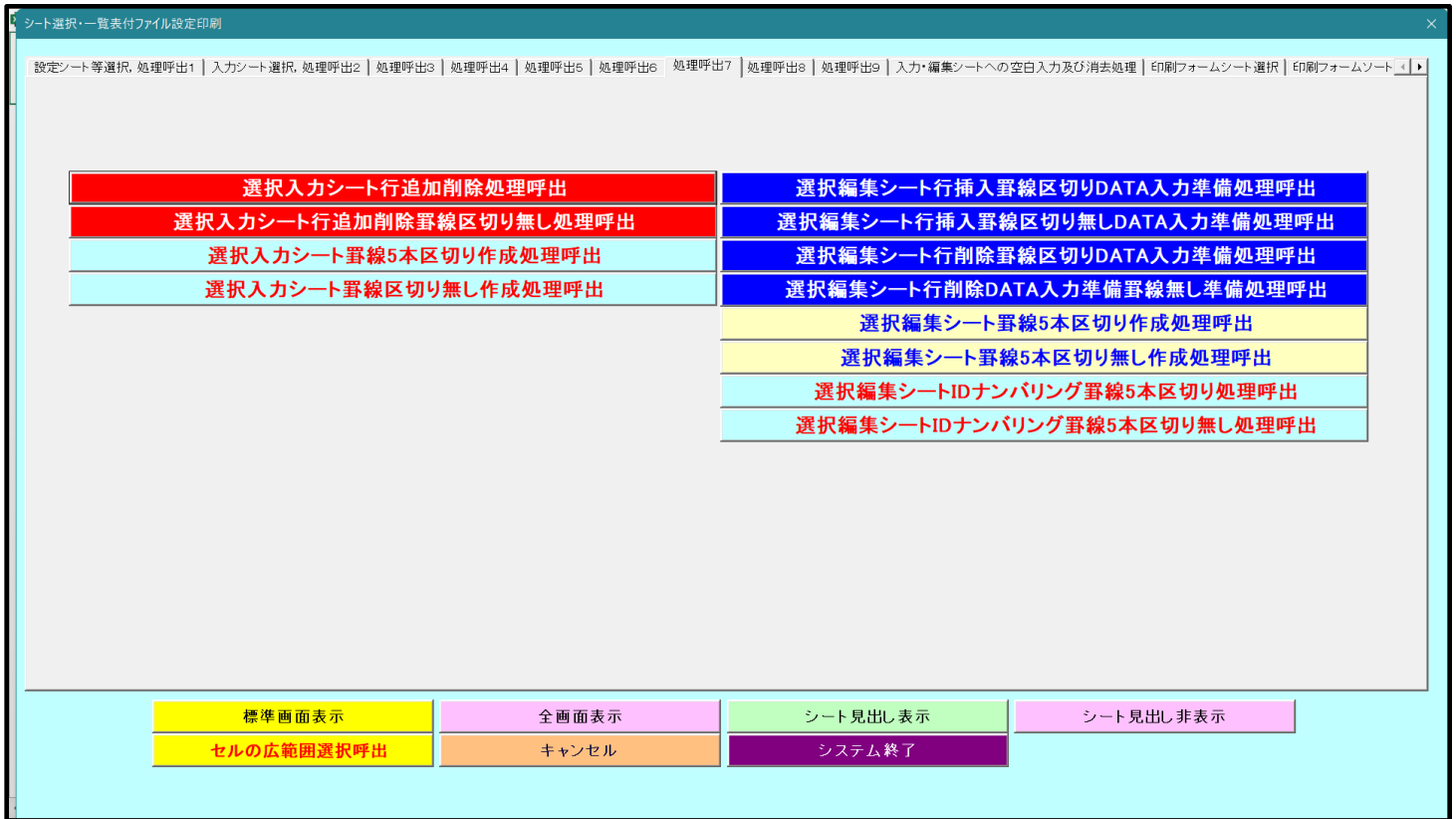
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図5 2]が表示され、

再び[図5 3]が表示されたら処理は完了です。

[図5 2]

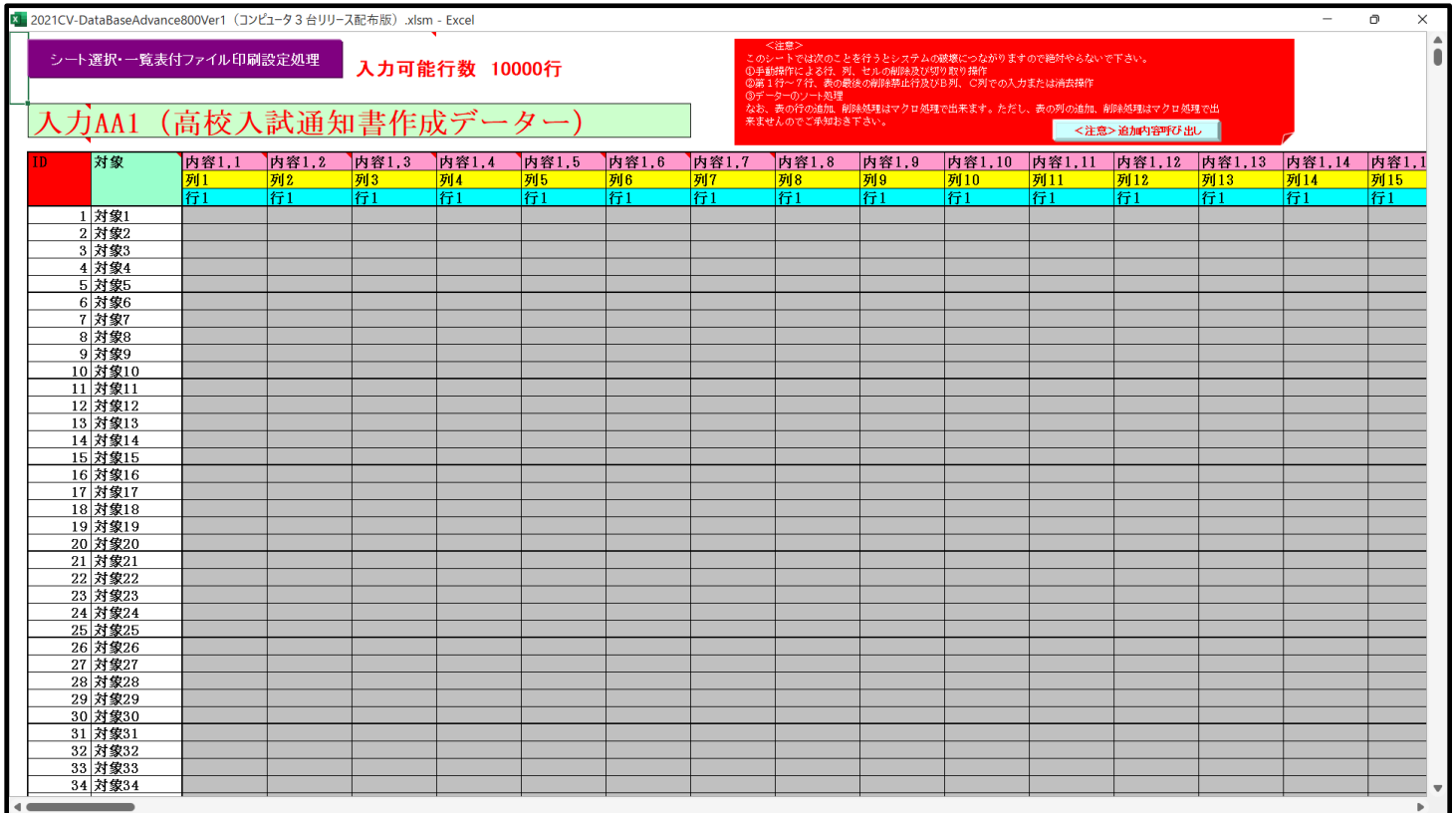


[図 5 3]

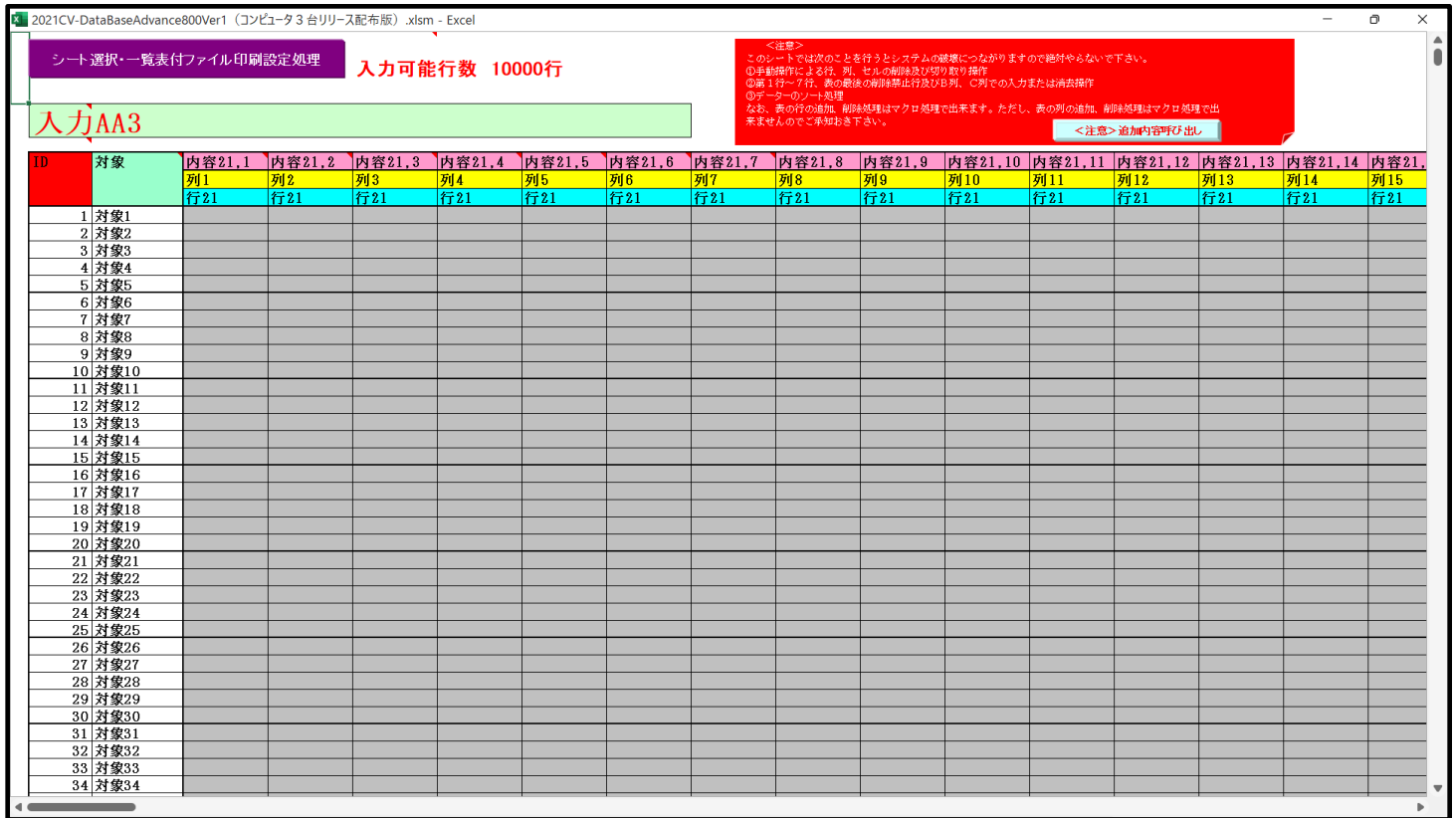


この処理の結果、シート「入力 AA1 (高校入試通知書等作成データ)」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 5 4]、[図 5 5]のようになります。

[図 5 4]



[図 5 5]

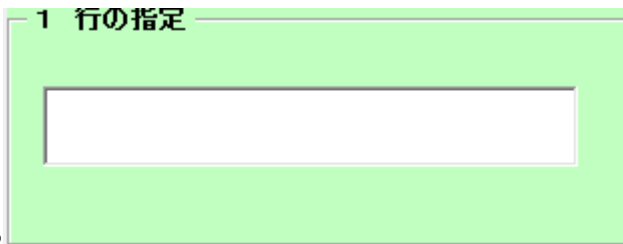


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 5 0]の画面で、コマンドボタン

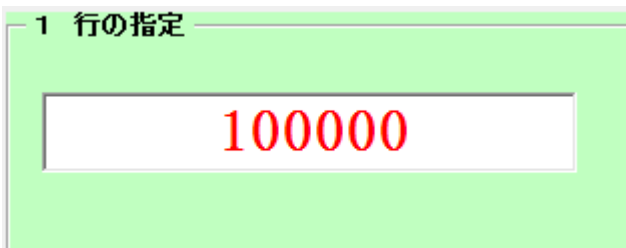
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 5 6]の画面が表示されます。

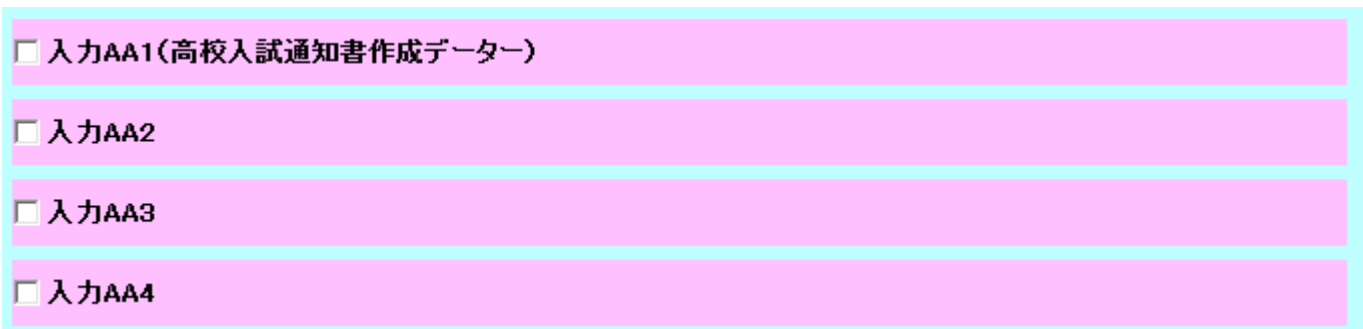
[図 5 6]



[図 3 8]の画面の の部分に



と入力し、



にチェックを入れ、

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

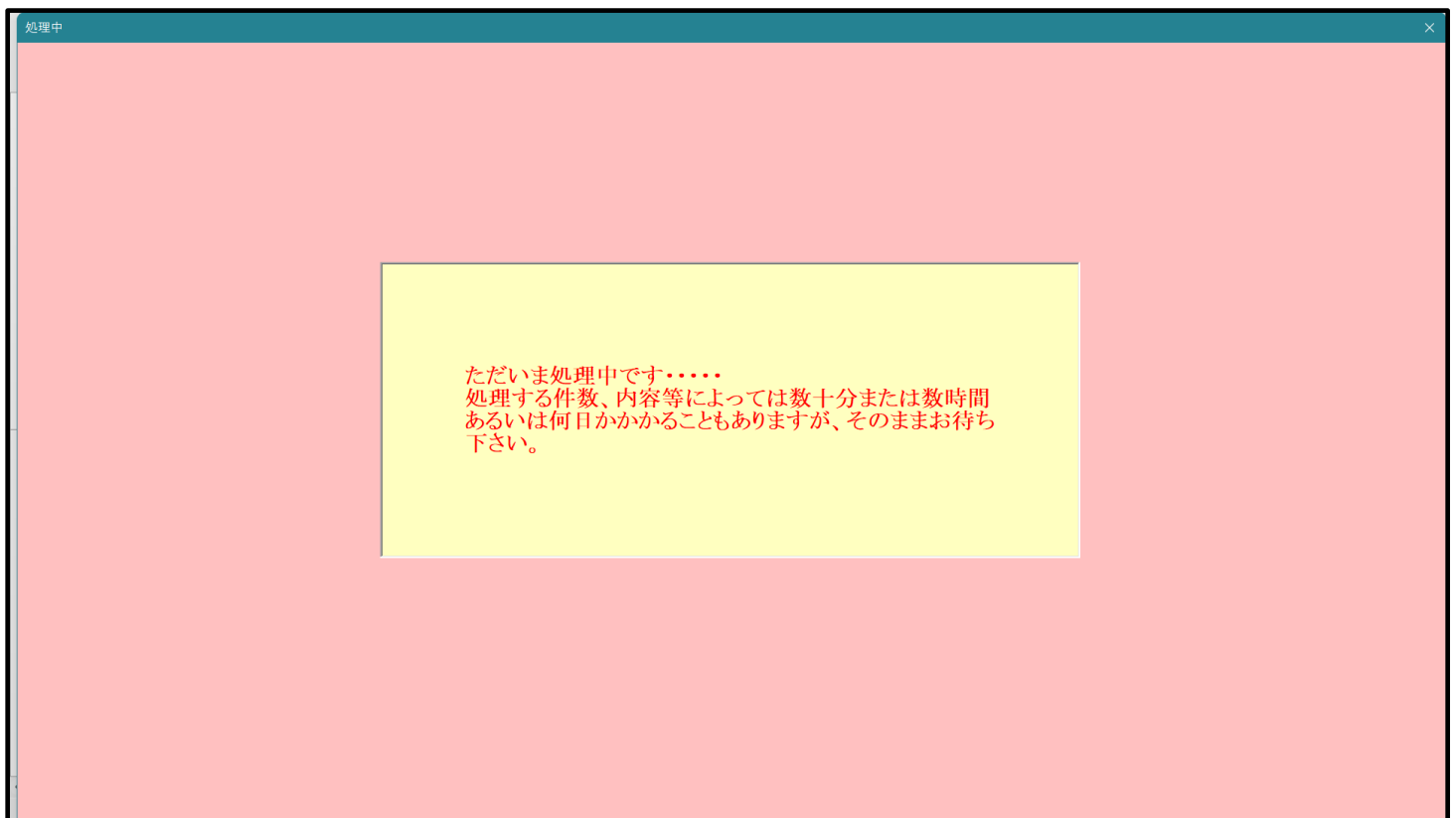
とし、コマンドボタン

行追加削除処理開始

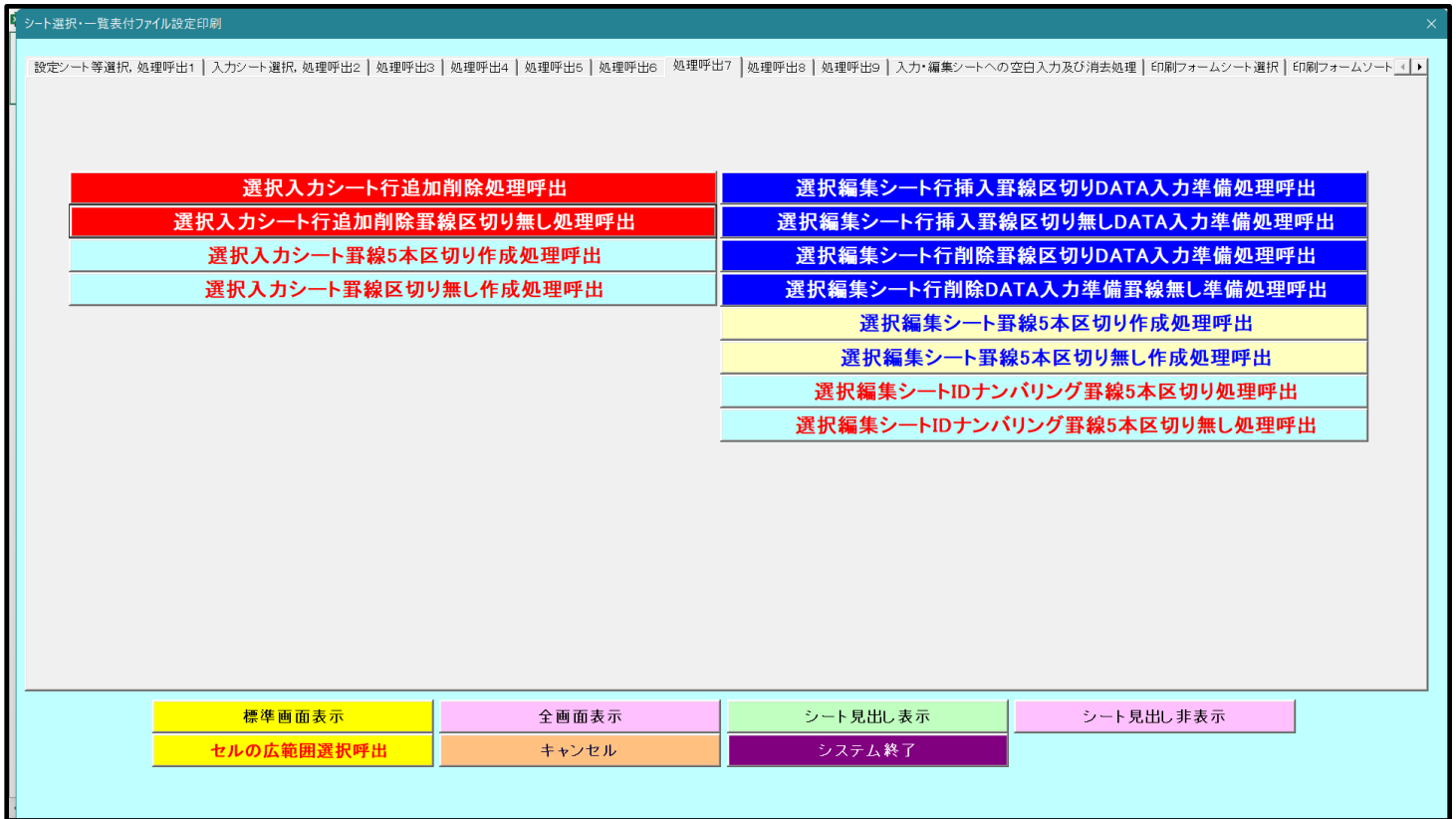
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図57]が表示され、

再び[図58]が表示されたら処理は完了です。

[図57]

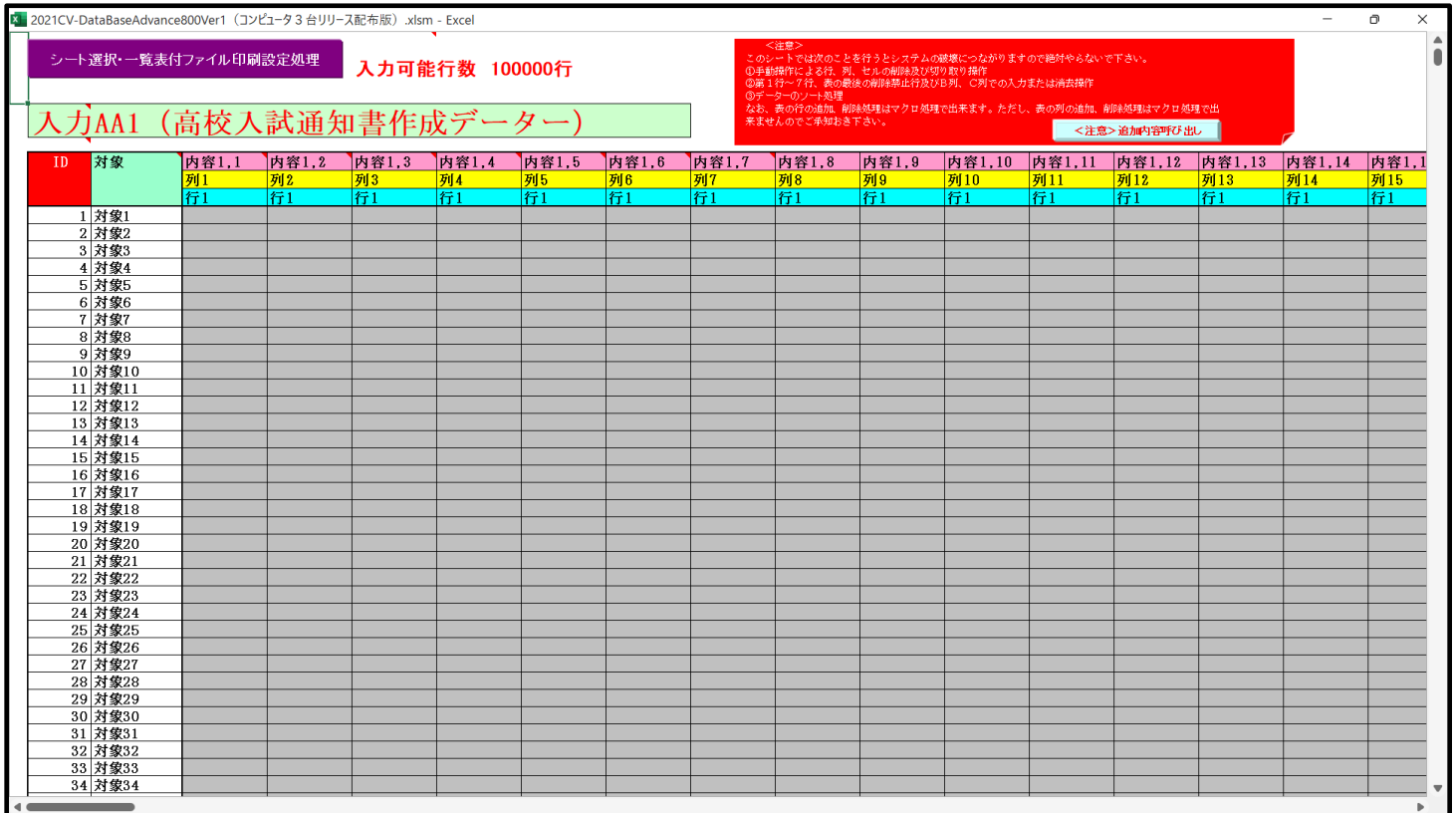


[図 5 8]

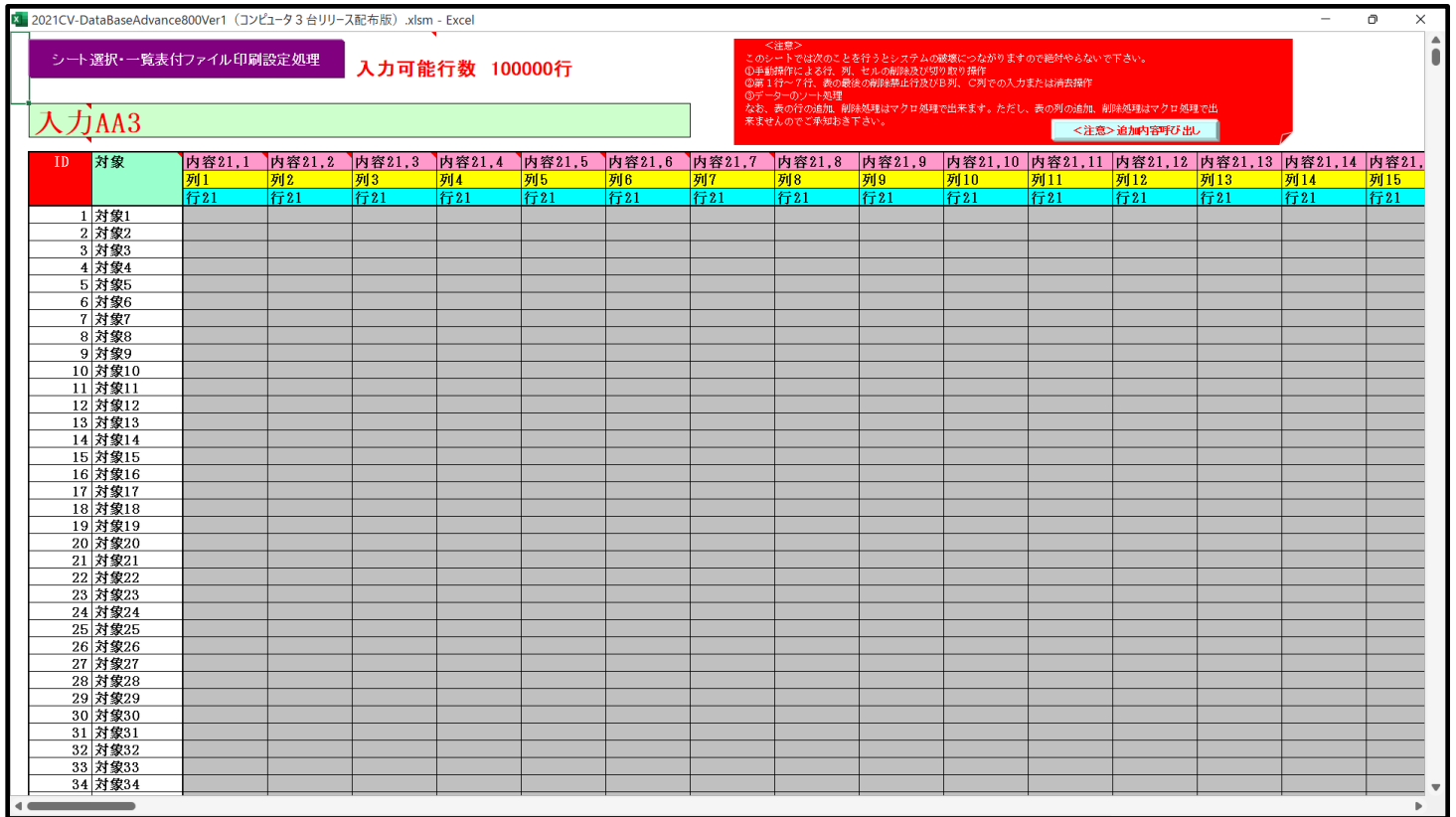


この処理の結果、シート「入力 AA1」, 「入力 AA3」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 5 9], [図 6 0]のようになります。

[図 5 9]



[図 6 0]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

7. ファイル



CV-DataBaseAdvance1000Ver1 試用版.xslm



CV-DataBaseAdvance1000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

の場合：

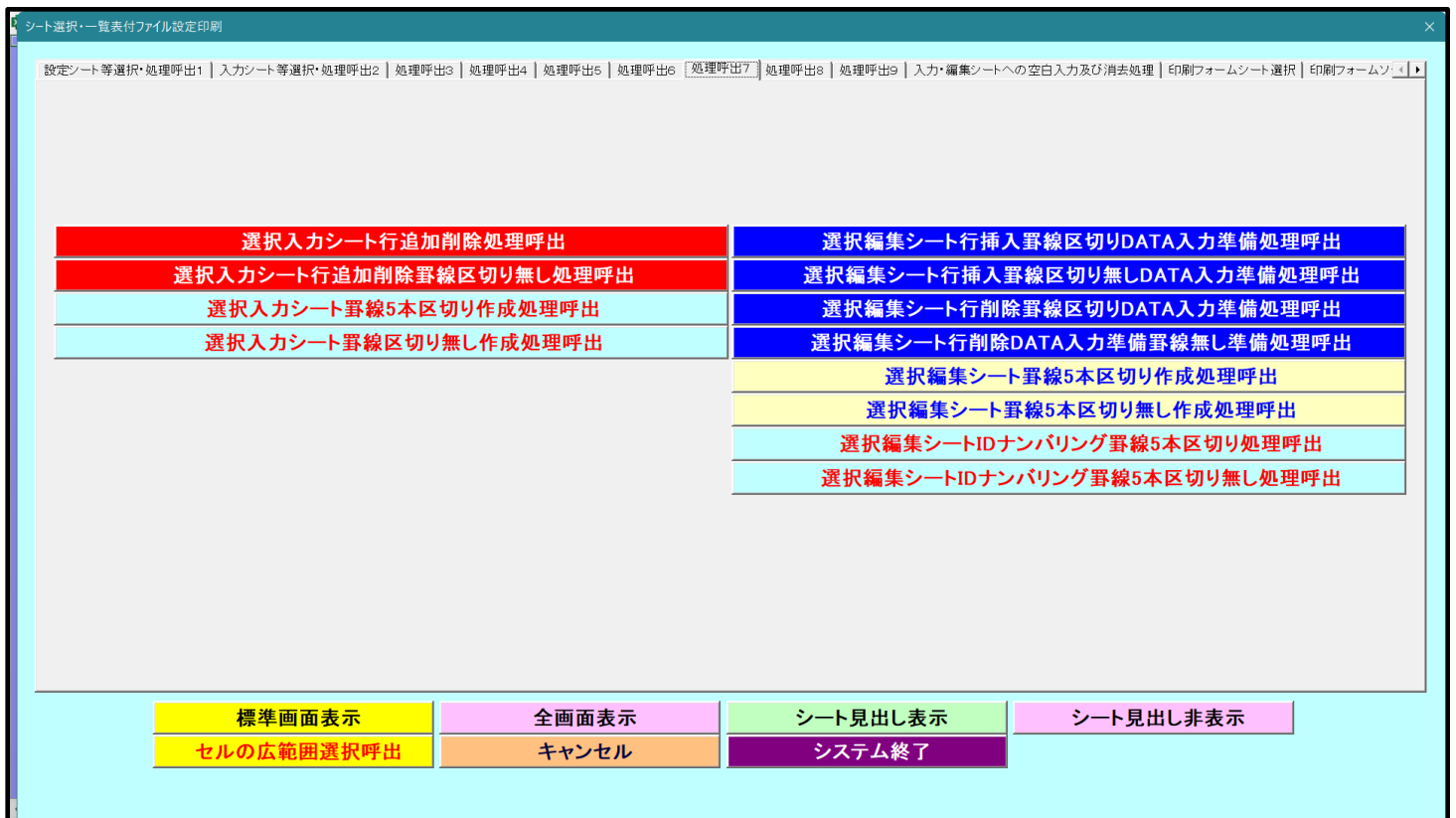
ファイル「2021CV-DataBaseAdvance800Ver1 (コンピュータ 3 台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出** を選択すると次の

[図 6 1]画面になります。

[図 6 1]



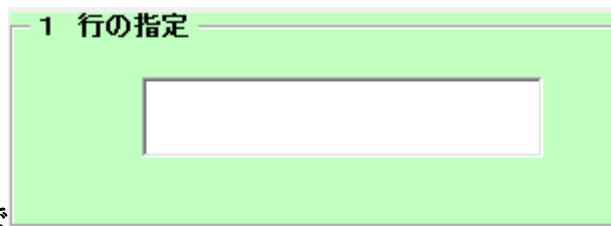
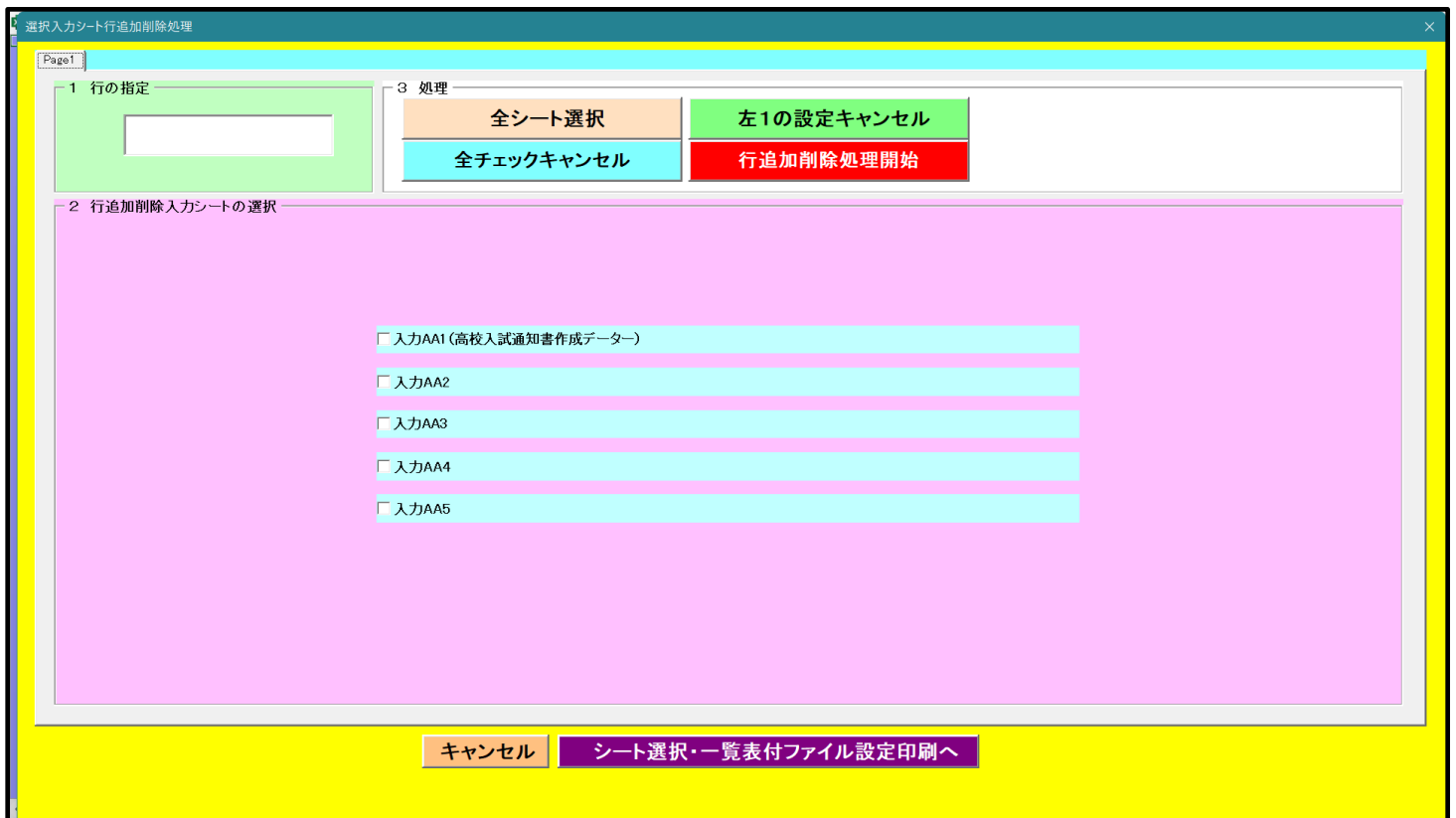
全ての入力シートの最初の入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 6 1]のコマンドボタン

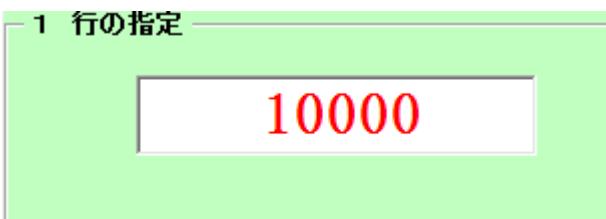
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 6 2]の画面になります。

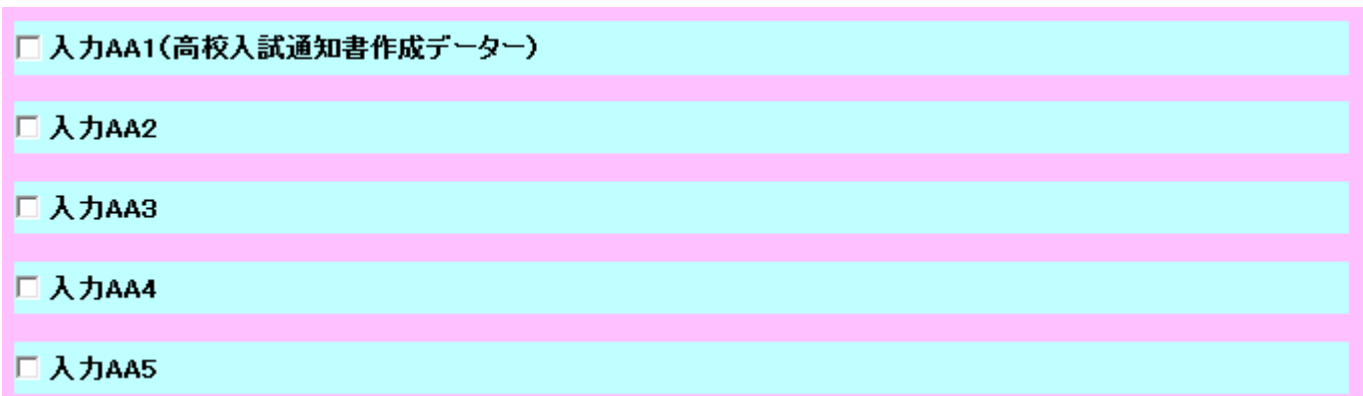
[図 6 2]



上の[図 6 2]の画面で の部分に



と入力し、



にチェックを入れて

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

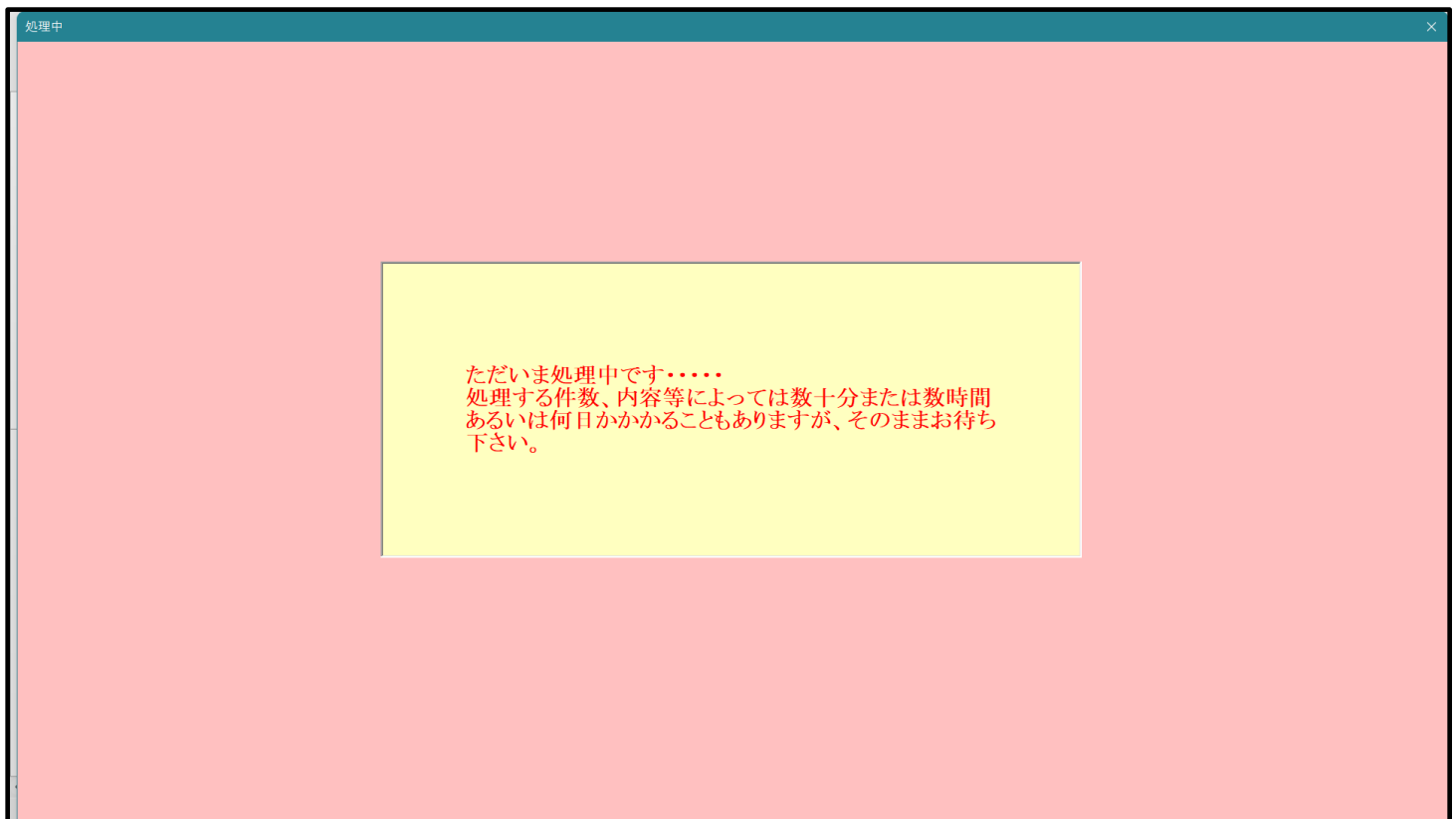
入力AA4

入力AA5

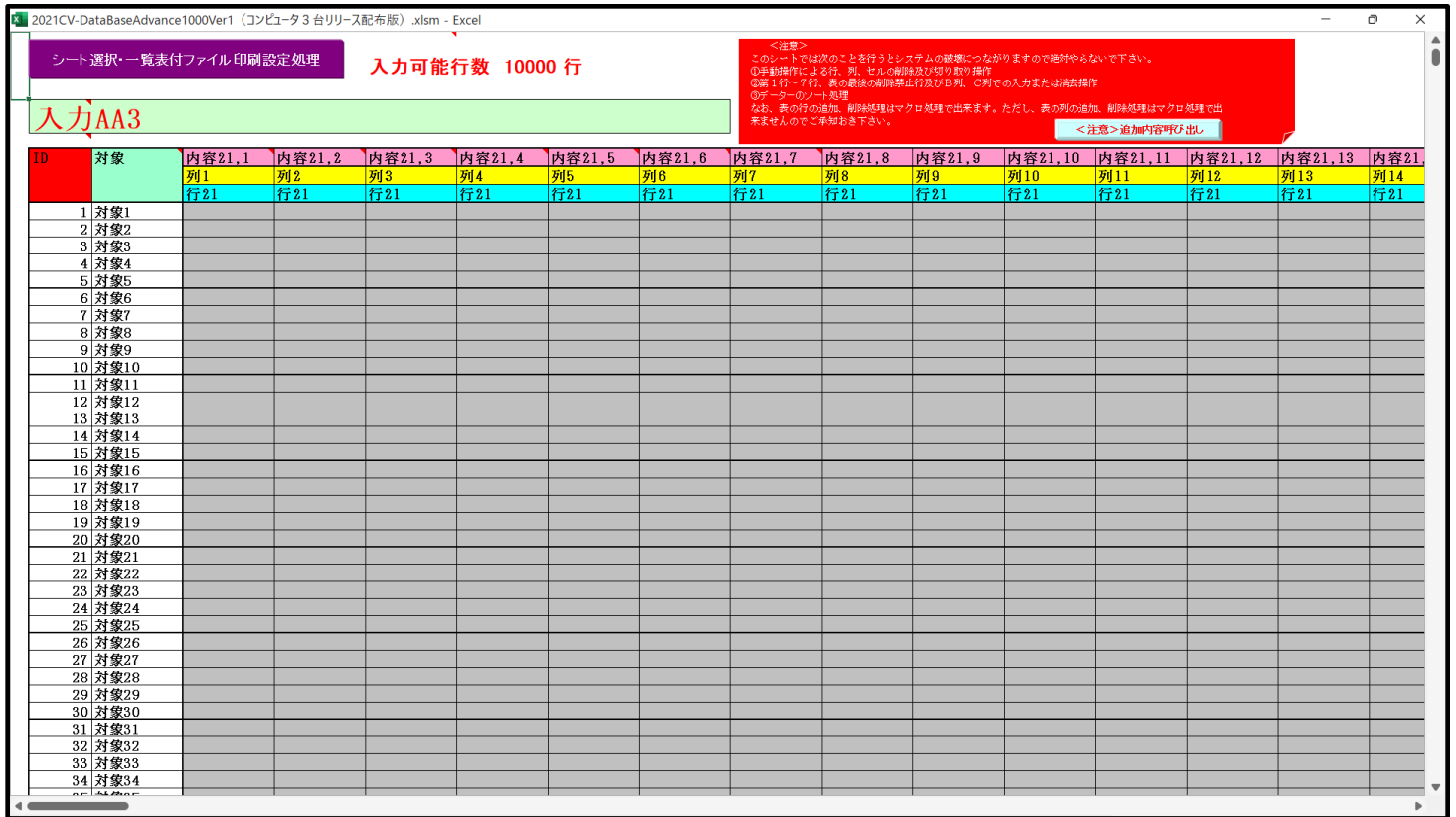
行追加削除処理開始

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図63]が表示され、再び[図64]が表示されたら処理は完了です。

[図63]



[図 6 6]

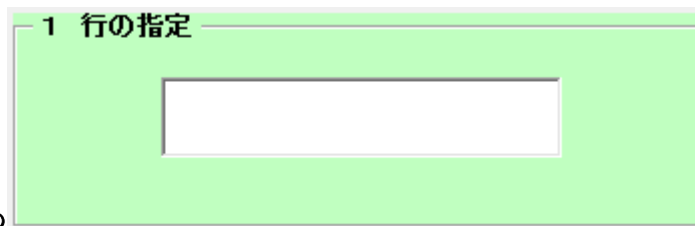


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 6 1]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

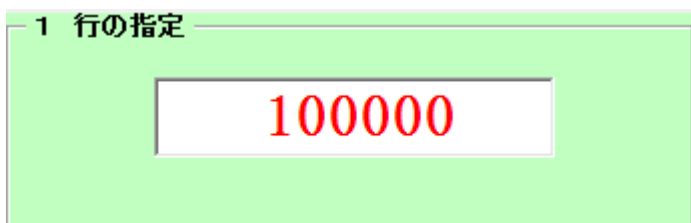
をクリックすると次の[図 6 7]の画面が表示されます。

[図 6 7]

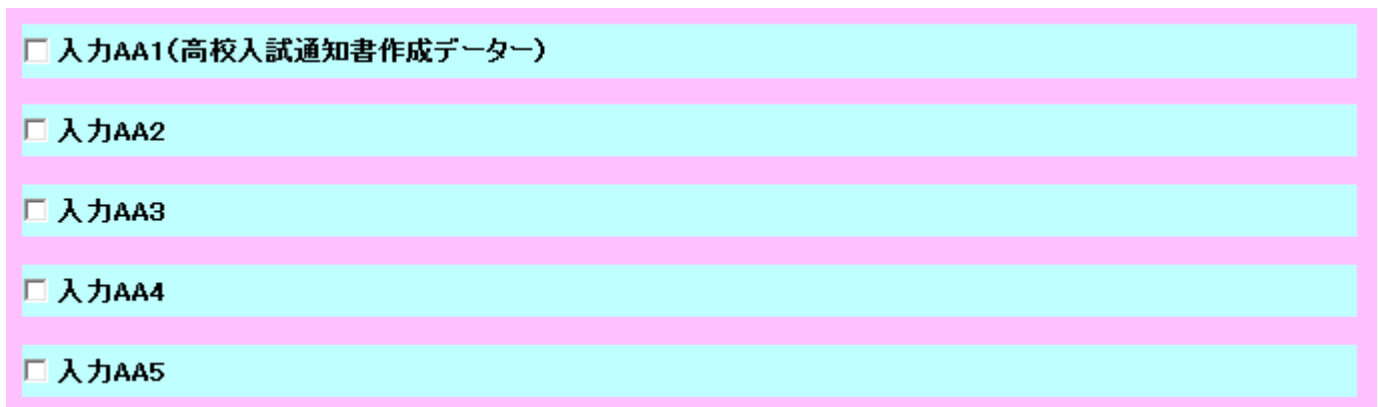


上の[図 6 7]の画面の

の部分に



と入力し、



にチェックを入れ、

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

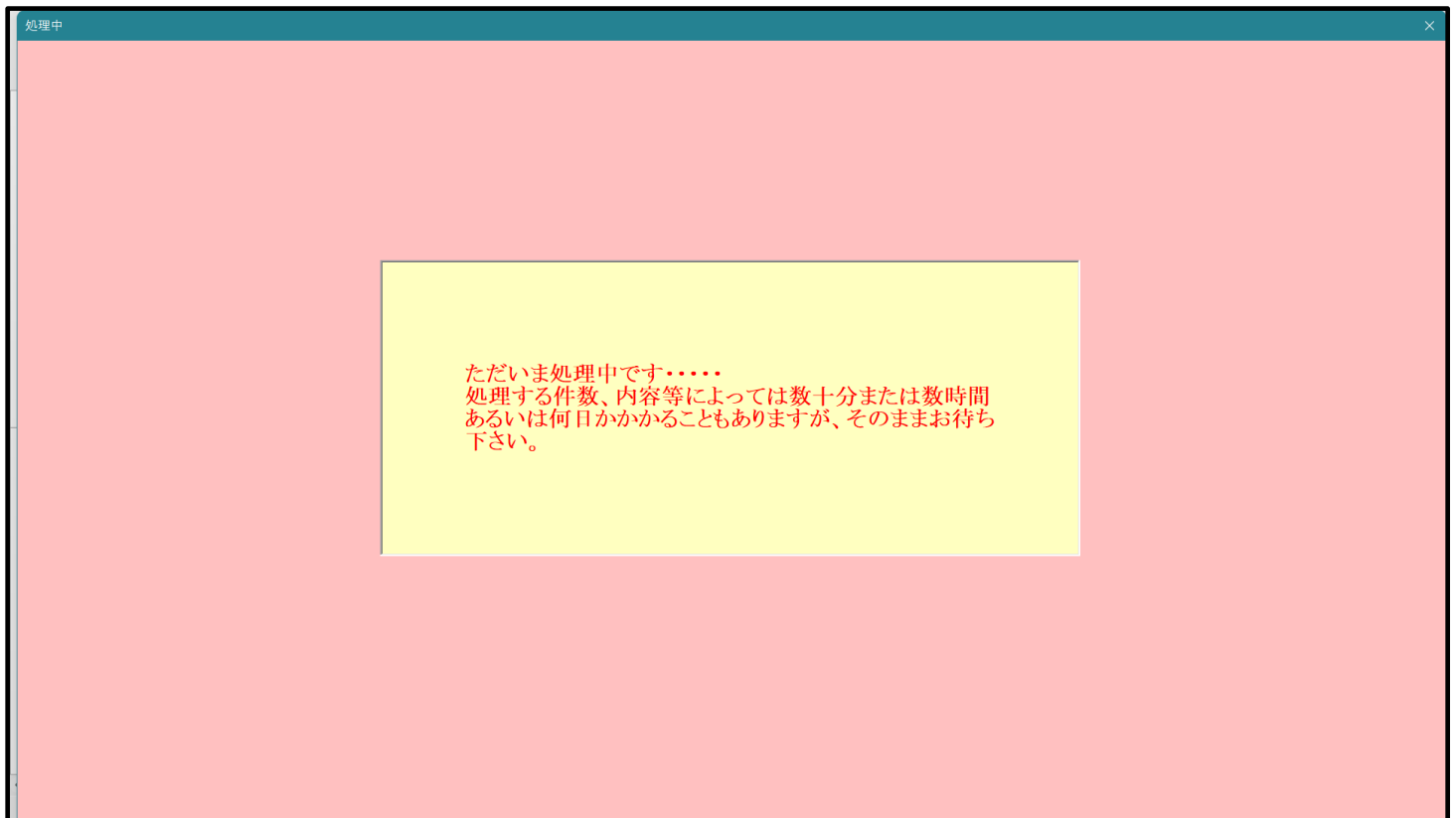
入力AA4

入力AA5

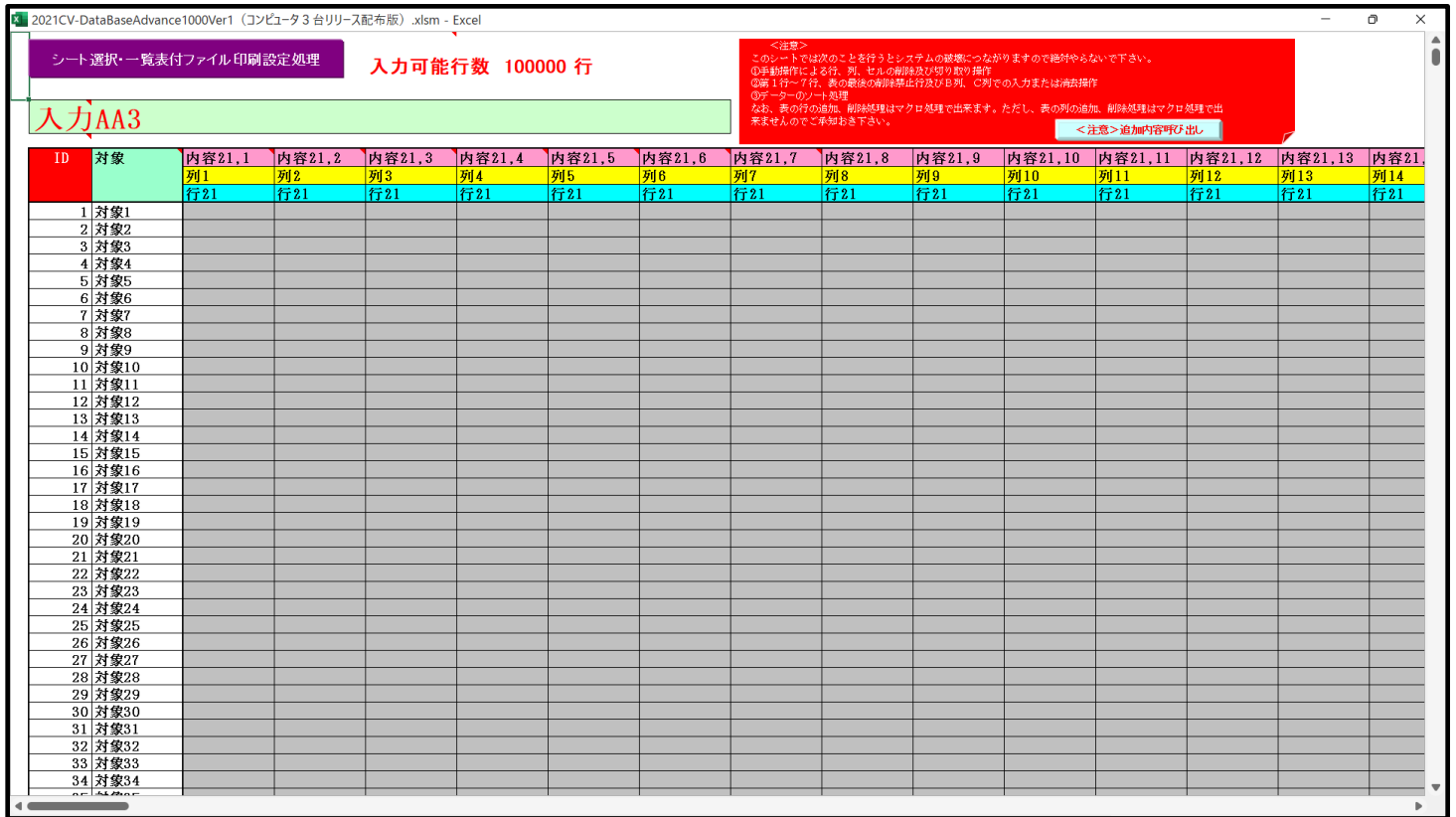
行追加削除処理開始

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図68]が表示され、再び[図69]が表示されたら処理は完了です。

[図68]



[図 7 1]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

8. ファイル



CV-DataBaseAdvance2000Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xism

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance2000Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xism」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の[図 7 2]画面になります。

[図 7 2]



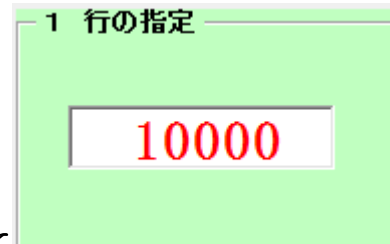
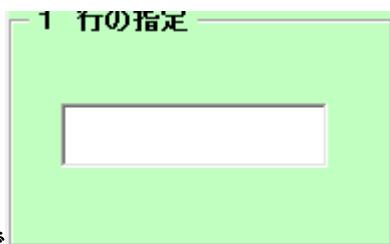
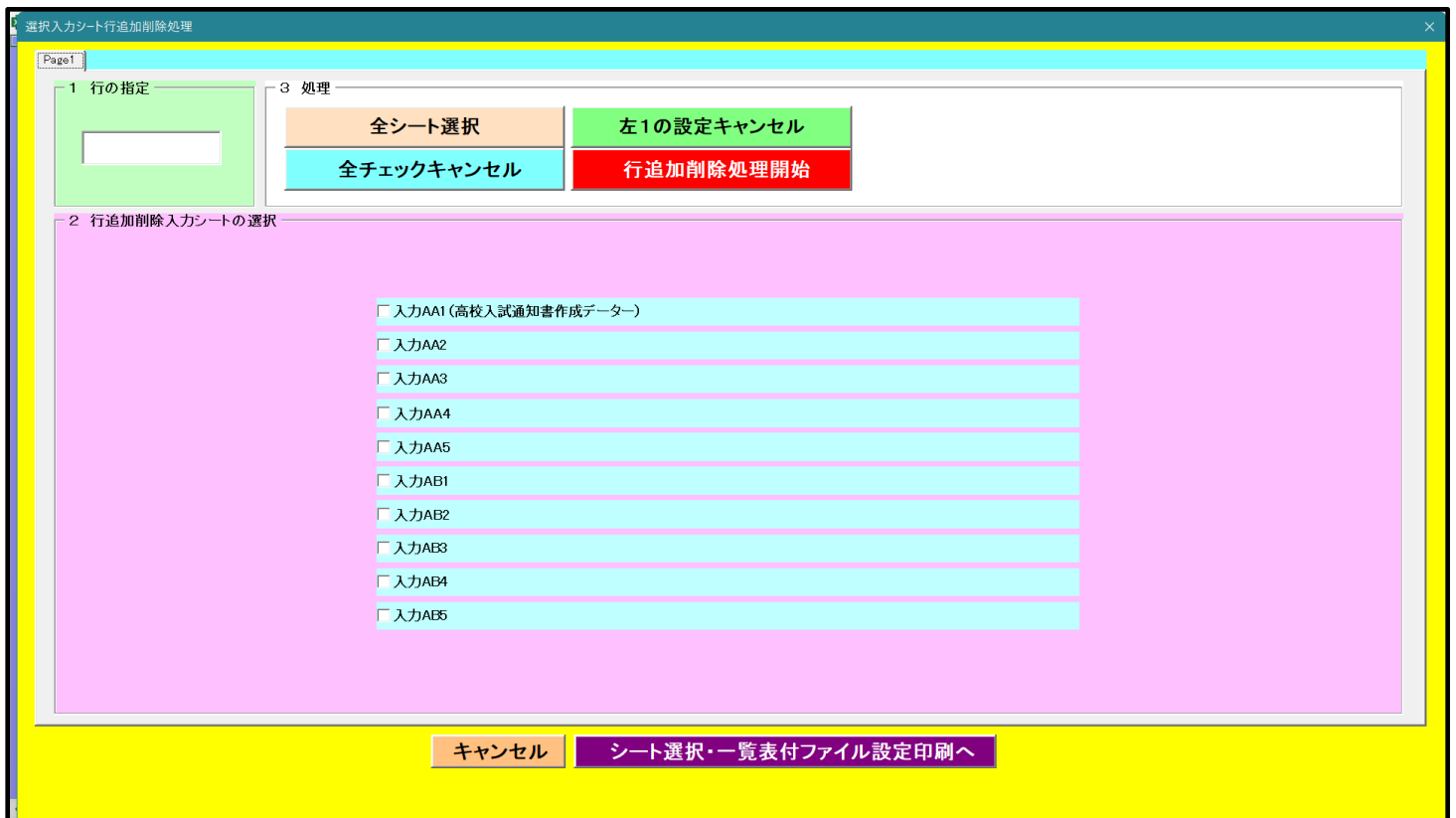
全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 7 2]のコマンドボタン

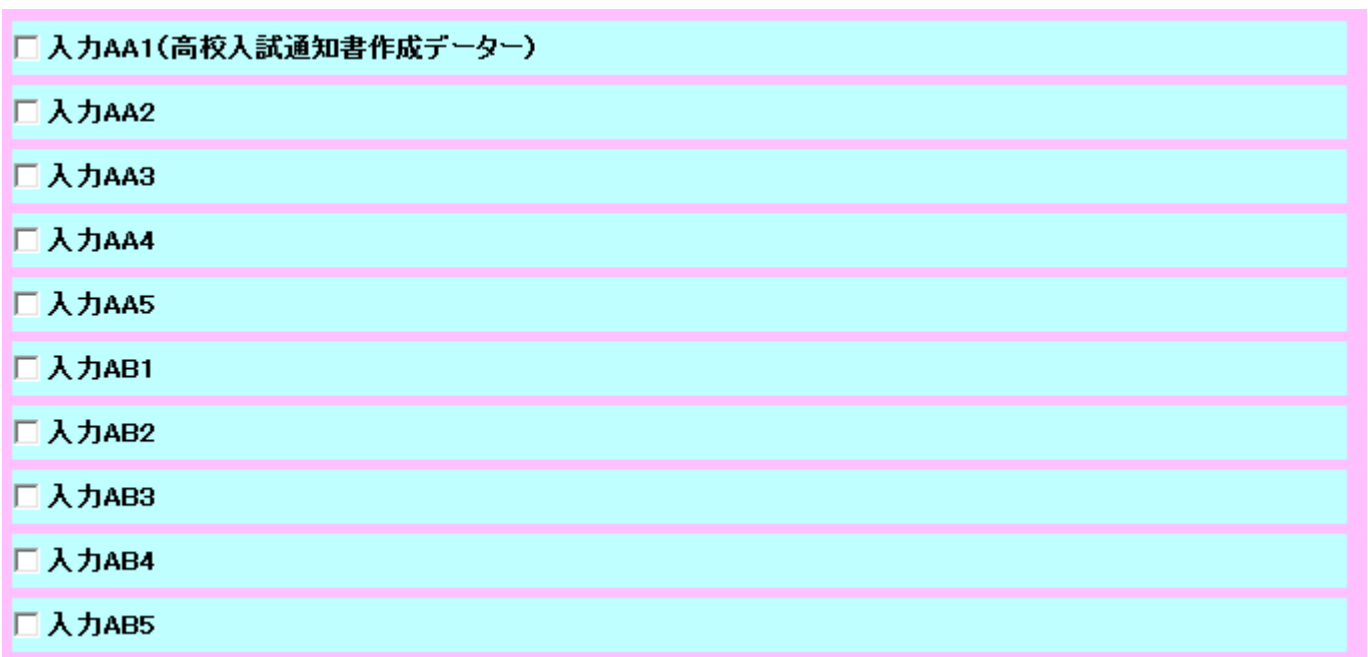
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 7 3]の画面になります。

[図73]



上の[図81]の画面で の部分に と入力し、



にチェックを入れて

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

入力AA5

入力AB1

入力AB2

入力AB3

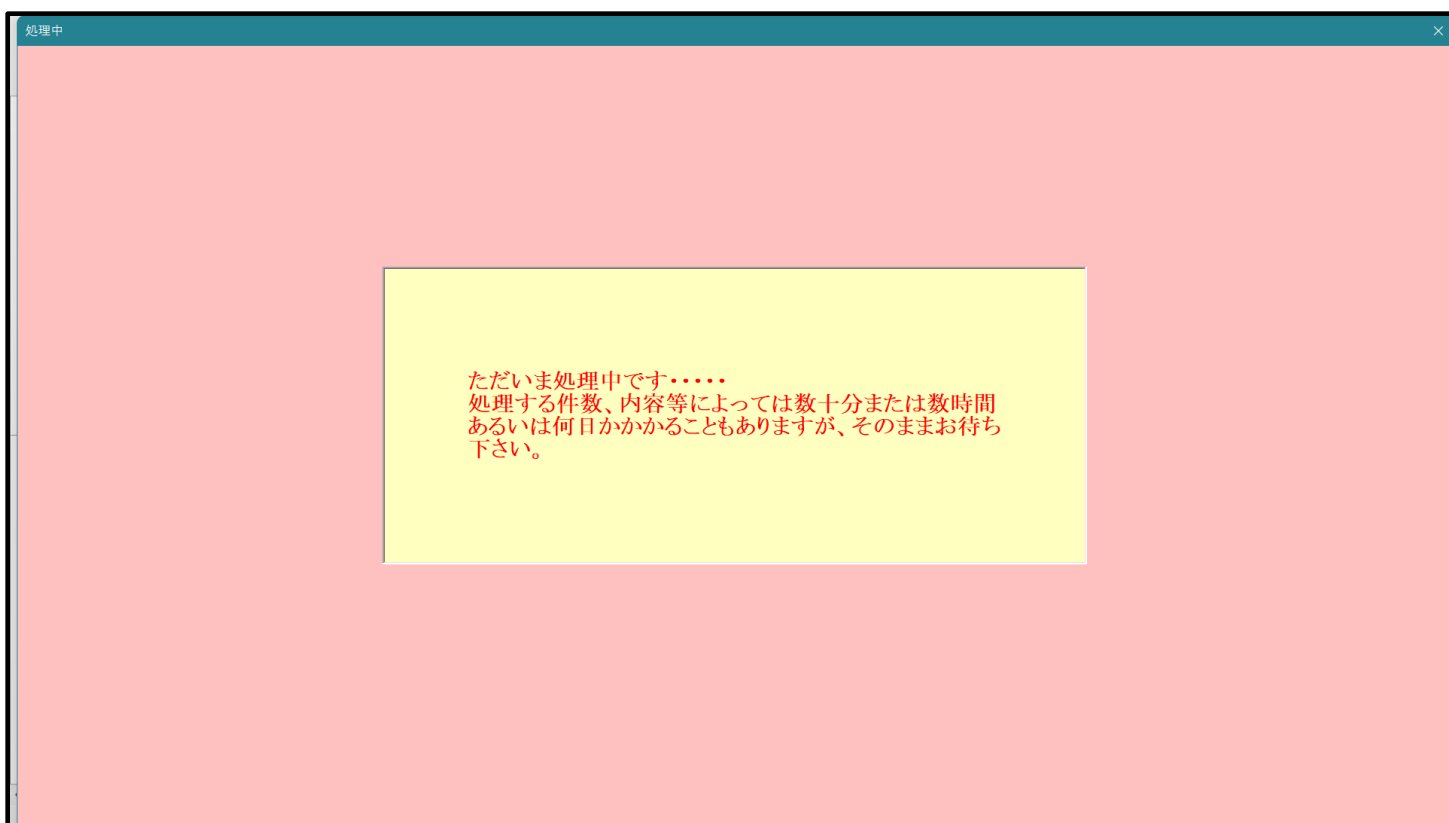
入力AB4

入力AB5

行追加削除処理開始

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図74]が表示され、再び[図75]が表示されたら処理は完了です。

図74]



[図 7 7]

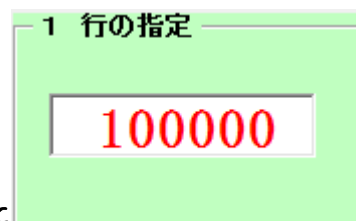
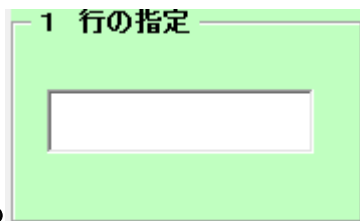
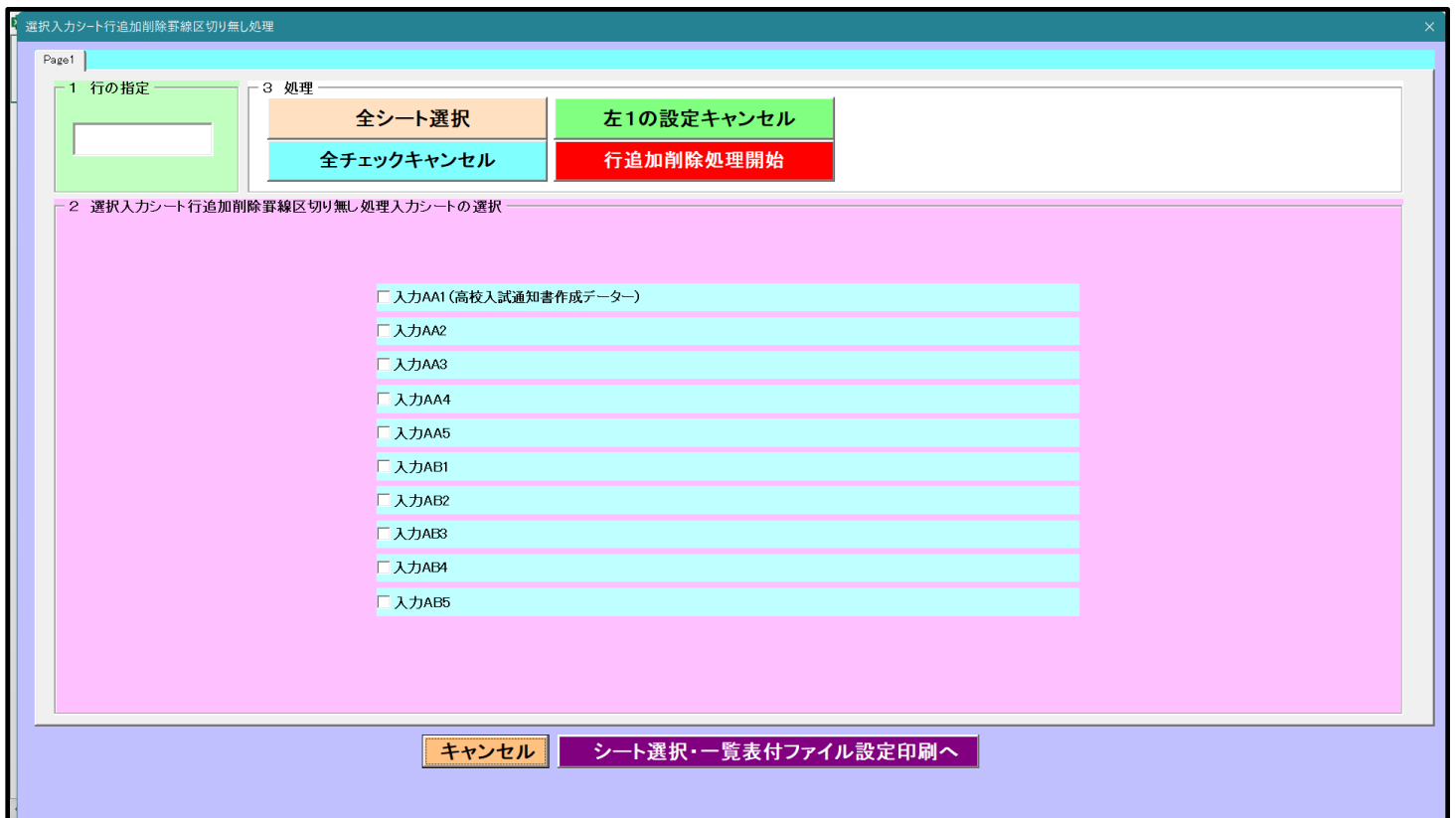


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 7 2]の画面で、コマンドボタン

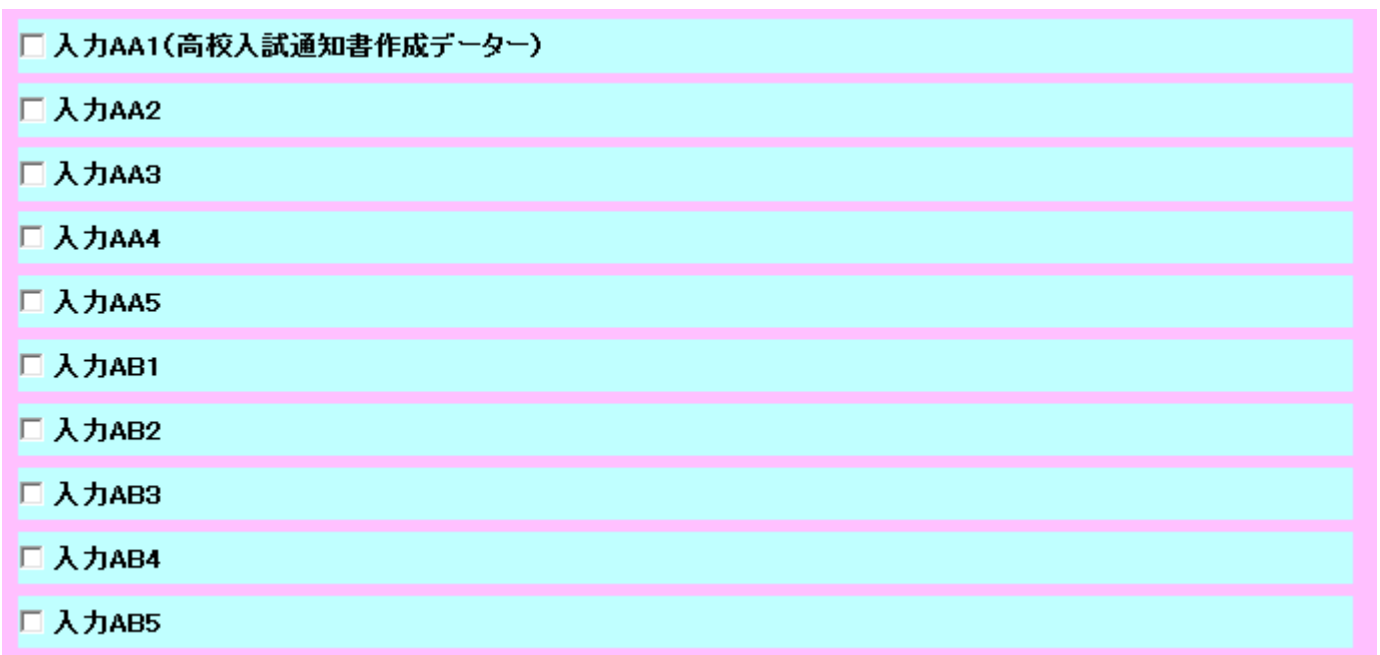
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 7 8]の画面が表示されます。

[図 7 8]



上の[図 8 6]の画面の の部分に と入力し、



にチェックを入れ、

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

入力AA2

入力AA3

入力AA4

入力AA5

入力AB1

入力AB2

入力AB3

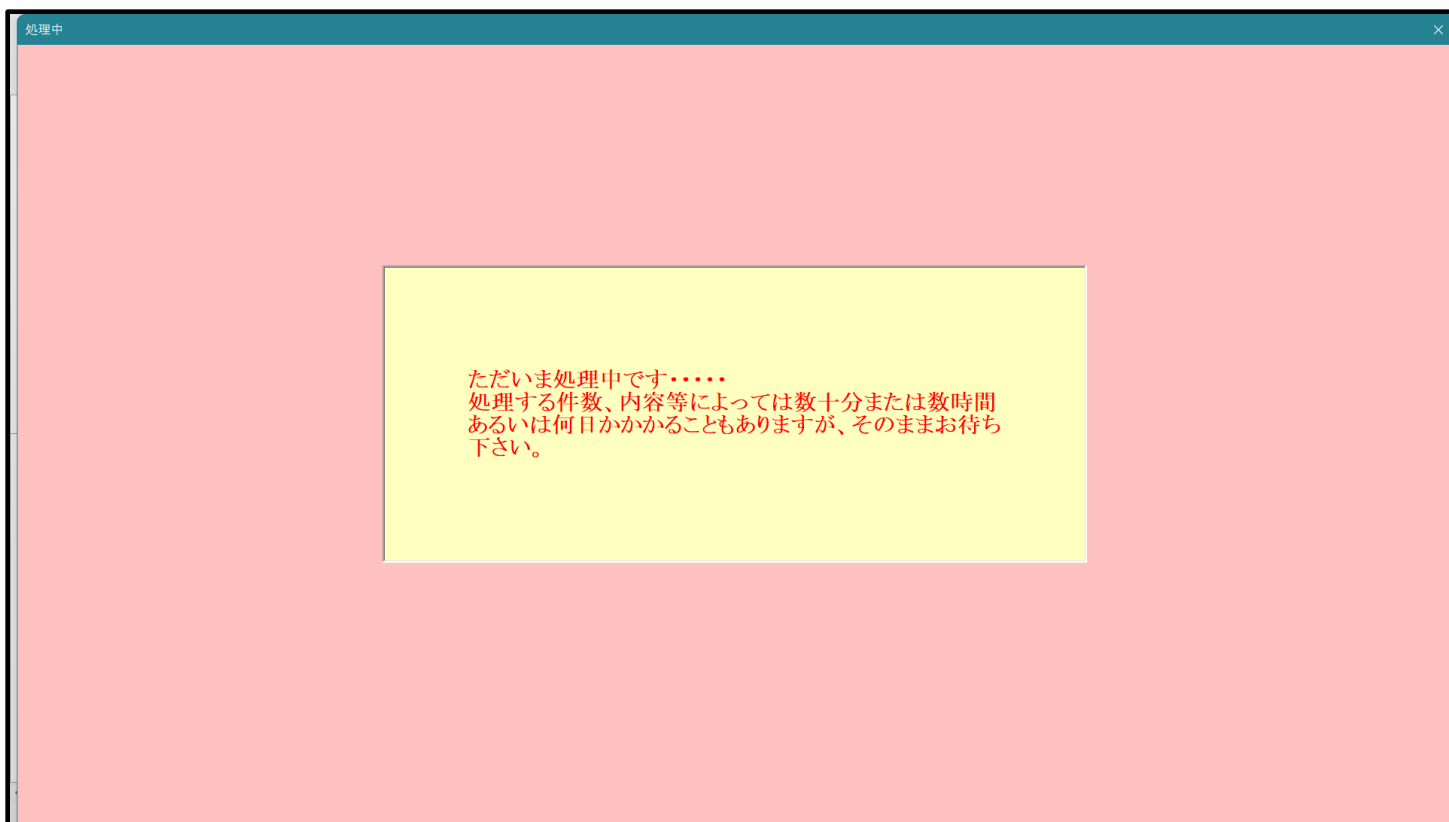
入力AB4

入力AB5

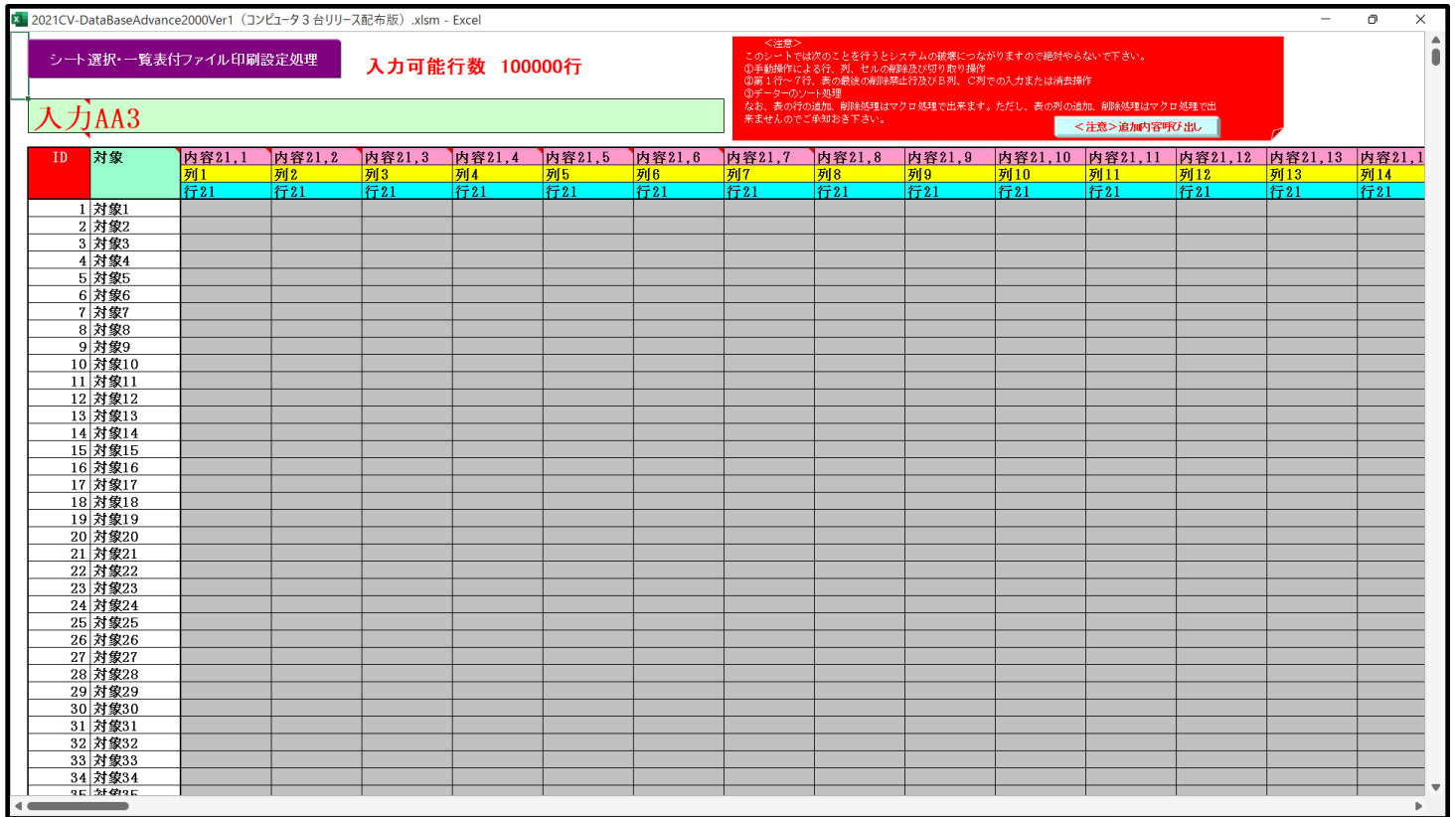
行追加削除処理開始

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図79]が表示され、再び[図80]が表示されたら処理は完了です。

[図79]



[図 8 2]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

9. ファイル



CV-DataBaseAdvance4000Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xism

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance4000Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xism」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の[図 8 3]画面になります。

[図 8 3]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 8 3]のコマンドボタン

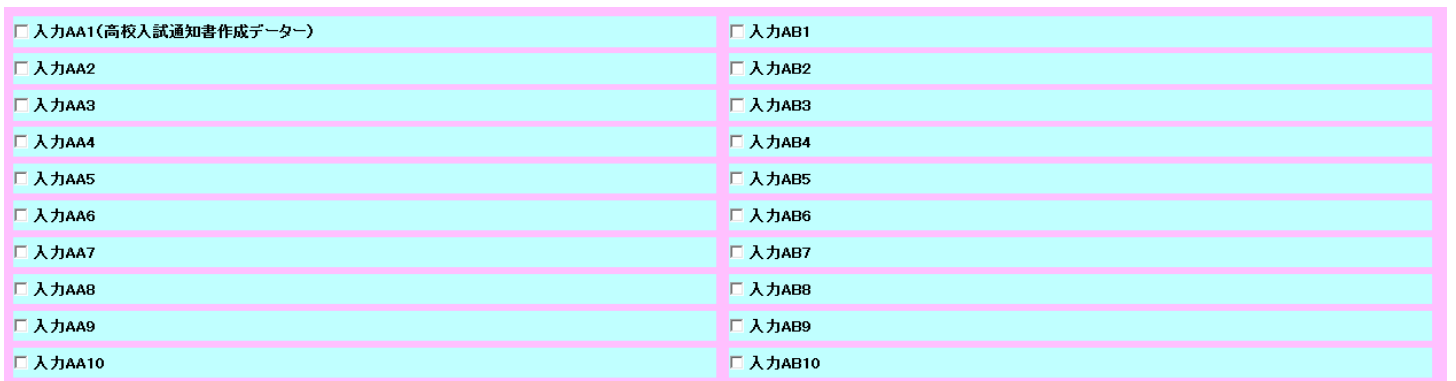
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 8 4]の画面になります。

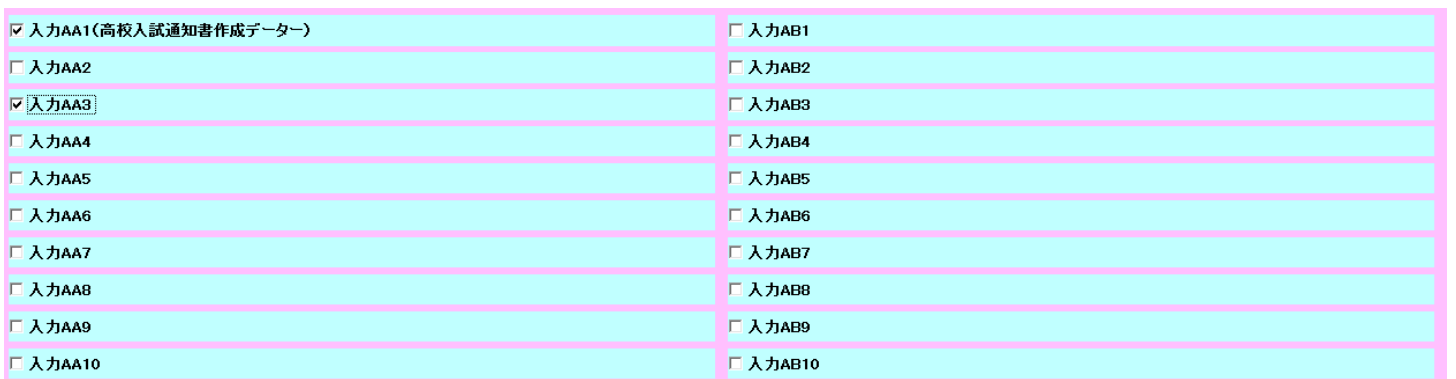
[図 8 4]



上の[図 8 4]の画面で の部分に と入力し、



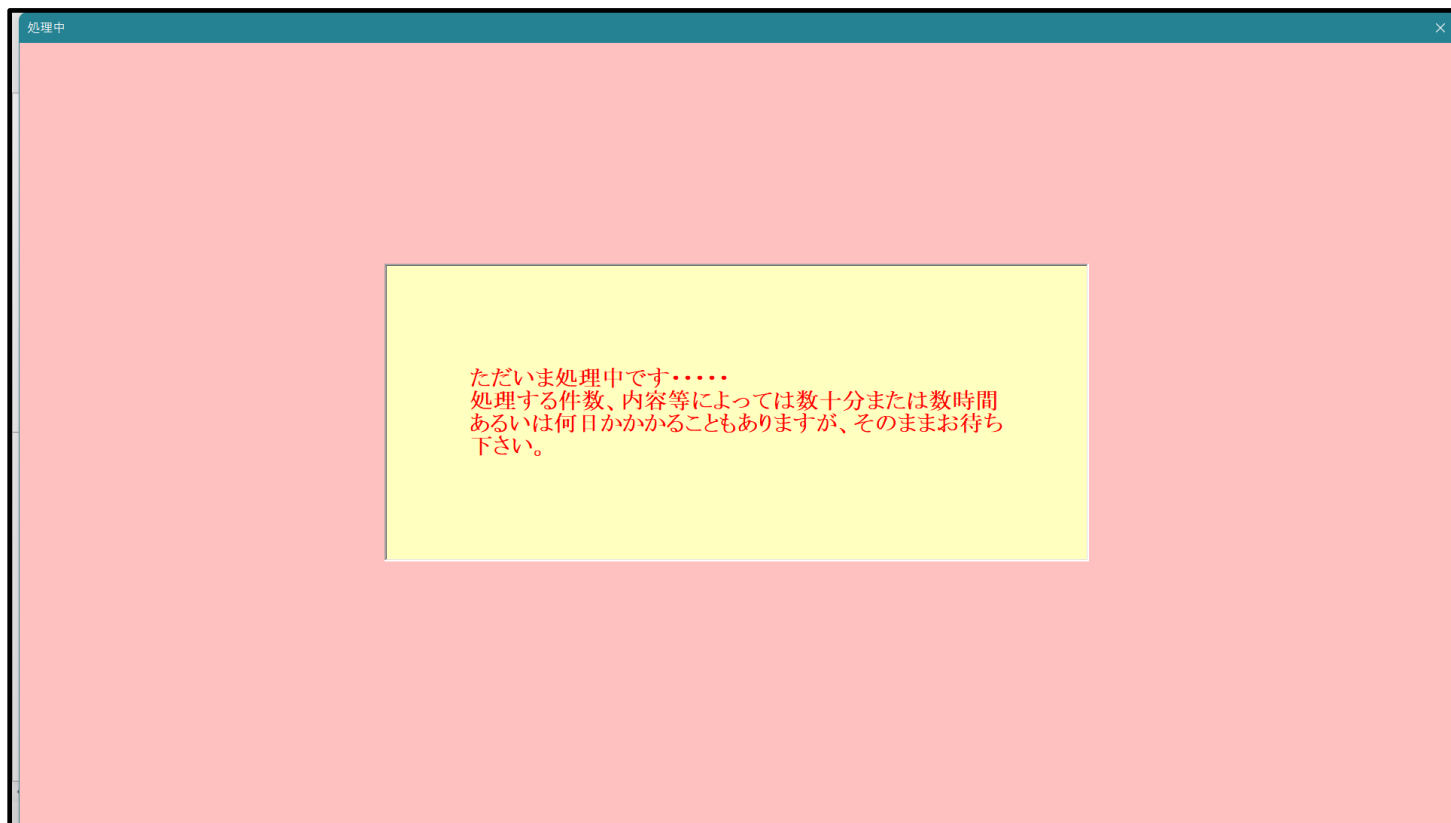
にチェックを入れて



行追加削除処理開始

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図85]が表示され、再び[図86]が表示されたら処理は完了です。

[図85]

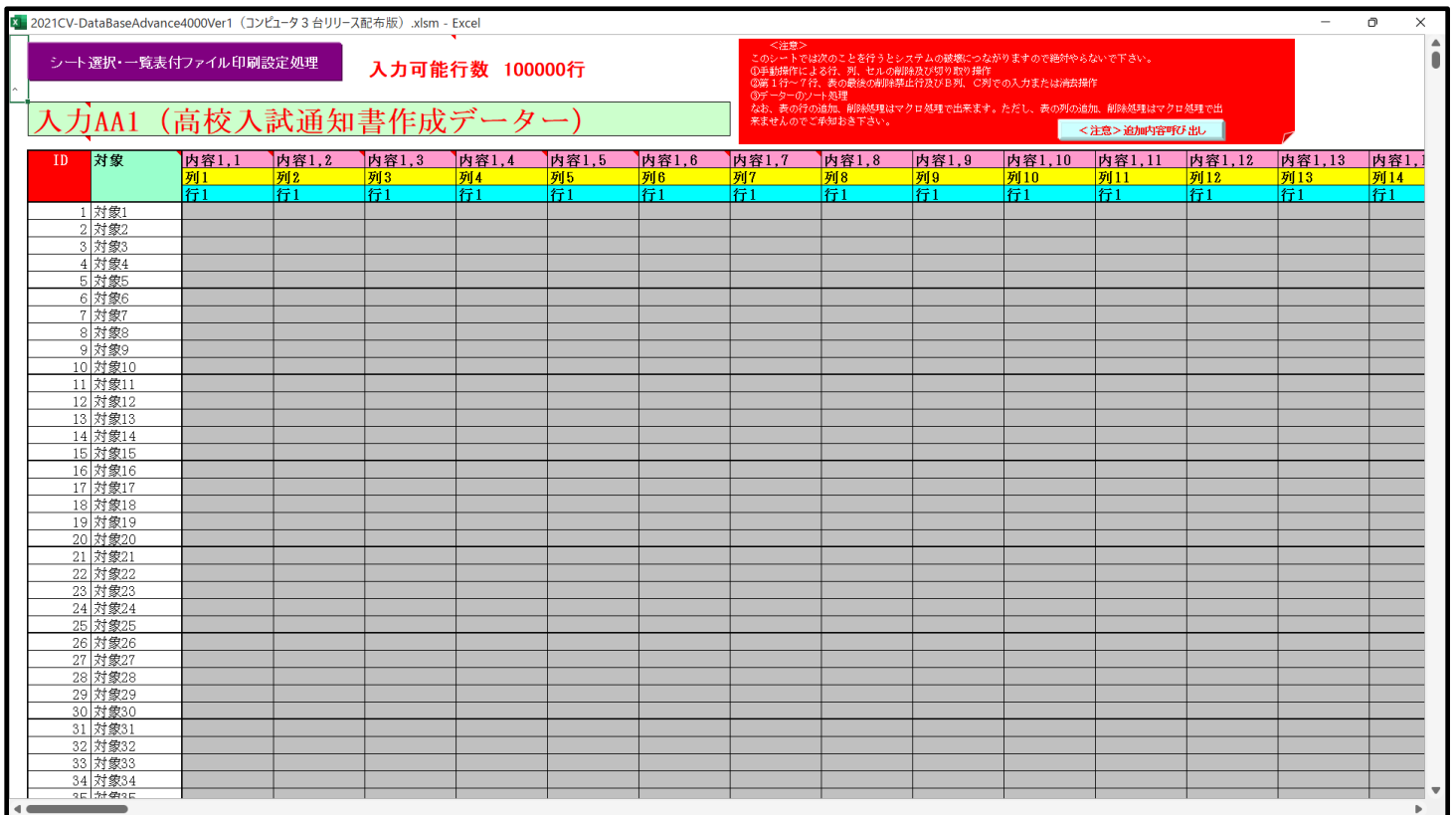


[図 8 6]



この処理の結果、シート「入力 AA1」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 8 7]、[図 8 8]のようになります。

[図 8 7]



[図 8 8]

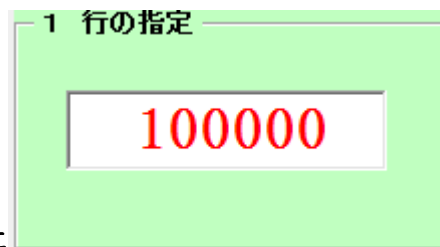


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 8 3]の画面で、コマンドボタン

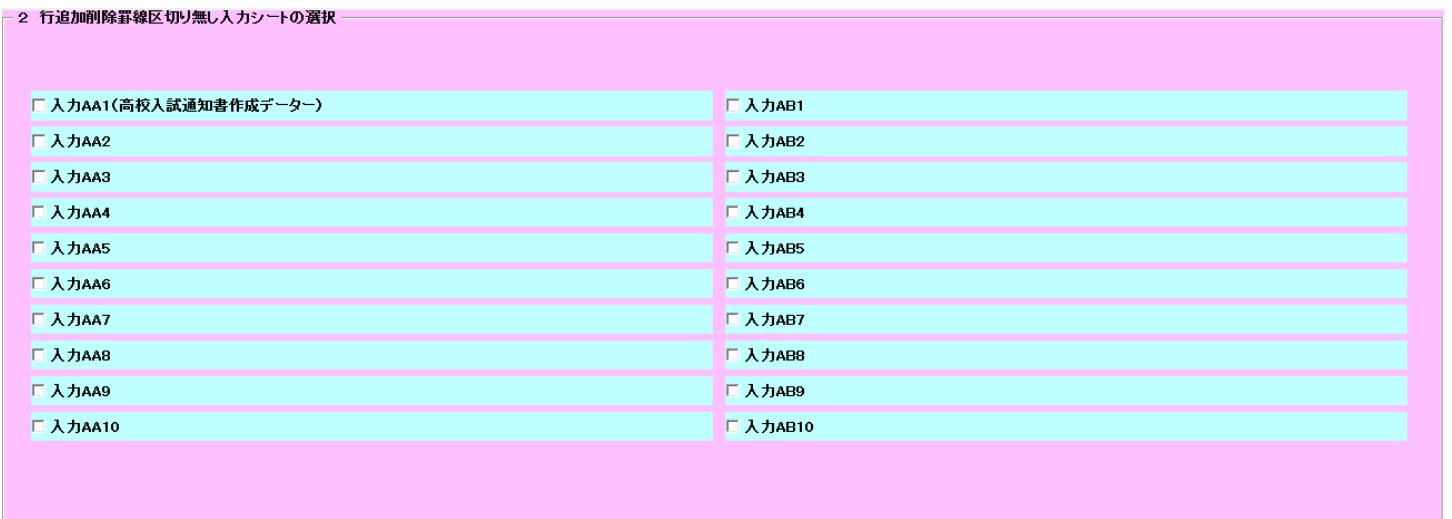
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 8 9]の画面が表示されます。

[図 8 9]



上の[図 8 9]の画面の の部分に と入力し、



にチェックを入れ、

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力AB1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力AB2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力AB3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力AB4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力AB5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力AB6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力AB7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力AB8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力AB9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力AB10

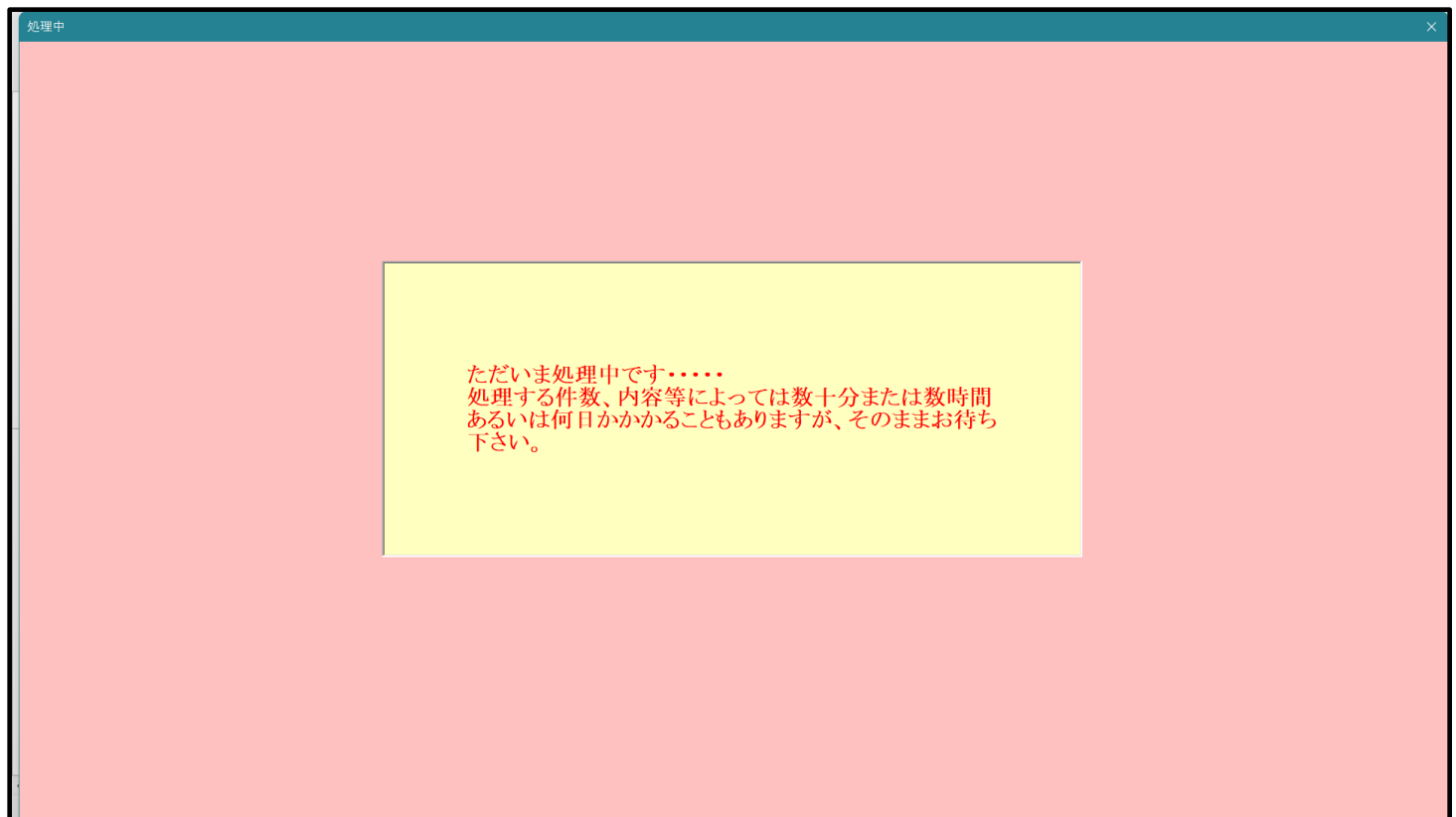
とし、コマンドボタン



をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図90]が表示され、

再び[図91]が表示されたら処理は完了です。

[図90]



[図 9 1]

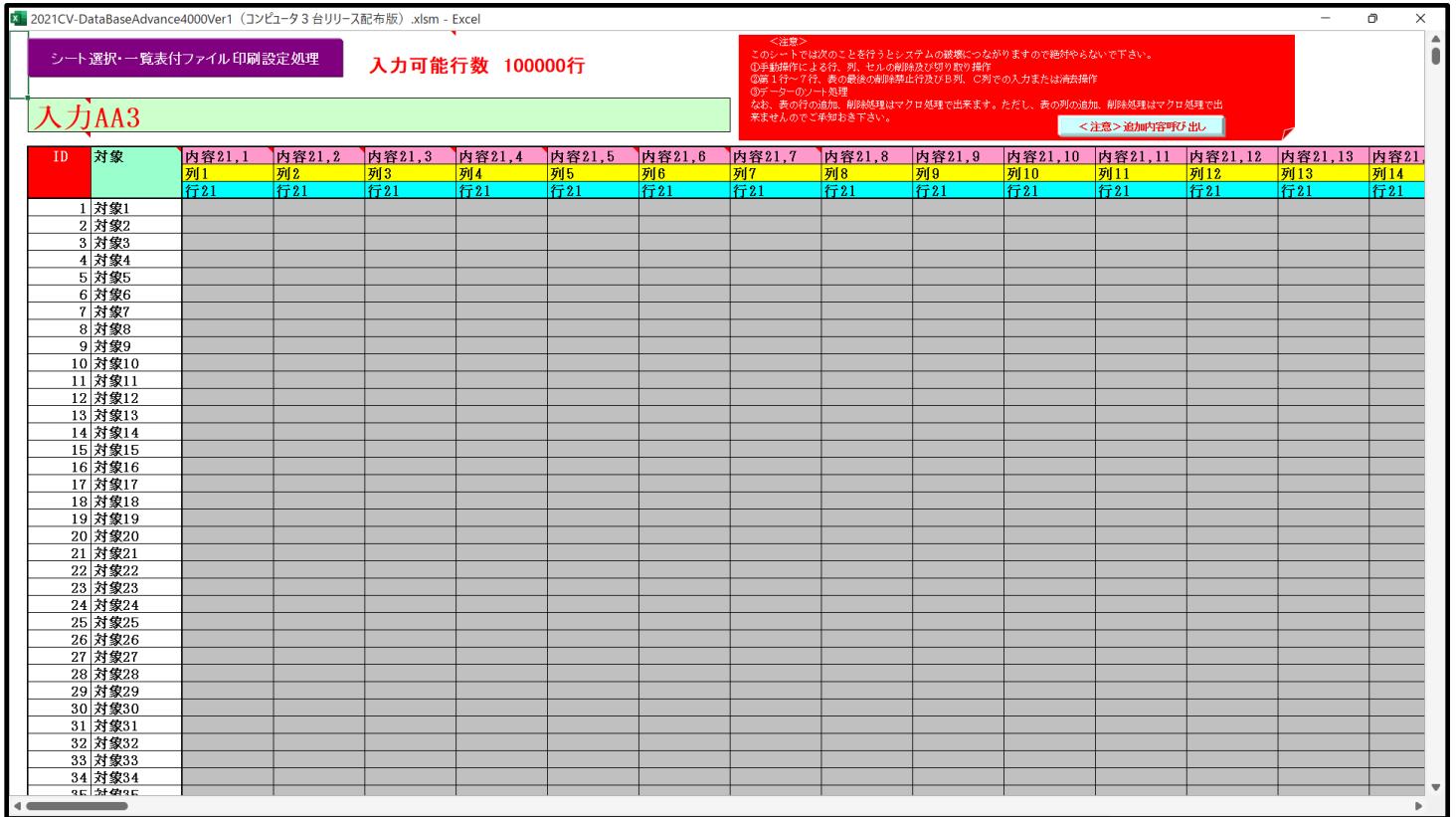


この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書作成データー)」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 9 2]、[図 9 3]のようになります。

[図 9 2]



[図 9 3]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

10. ファイル

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 試用版.xism

CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xism

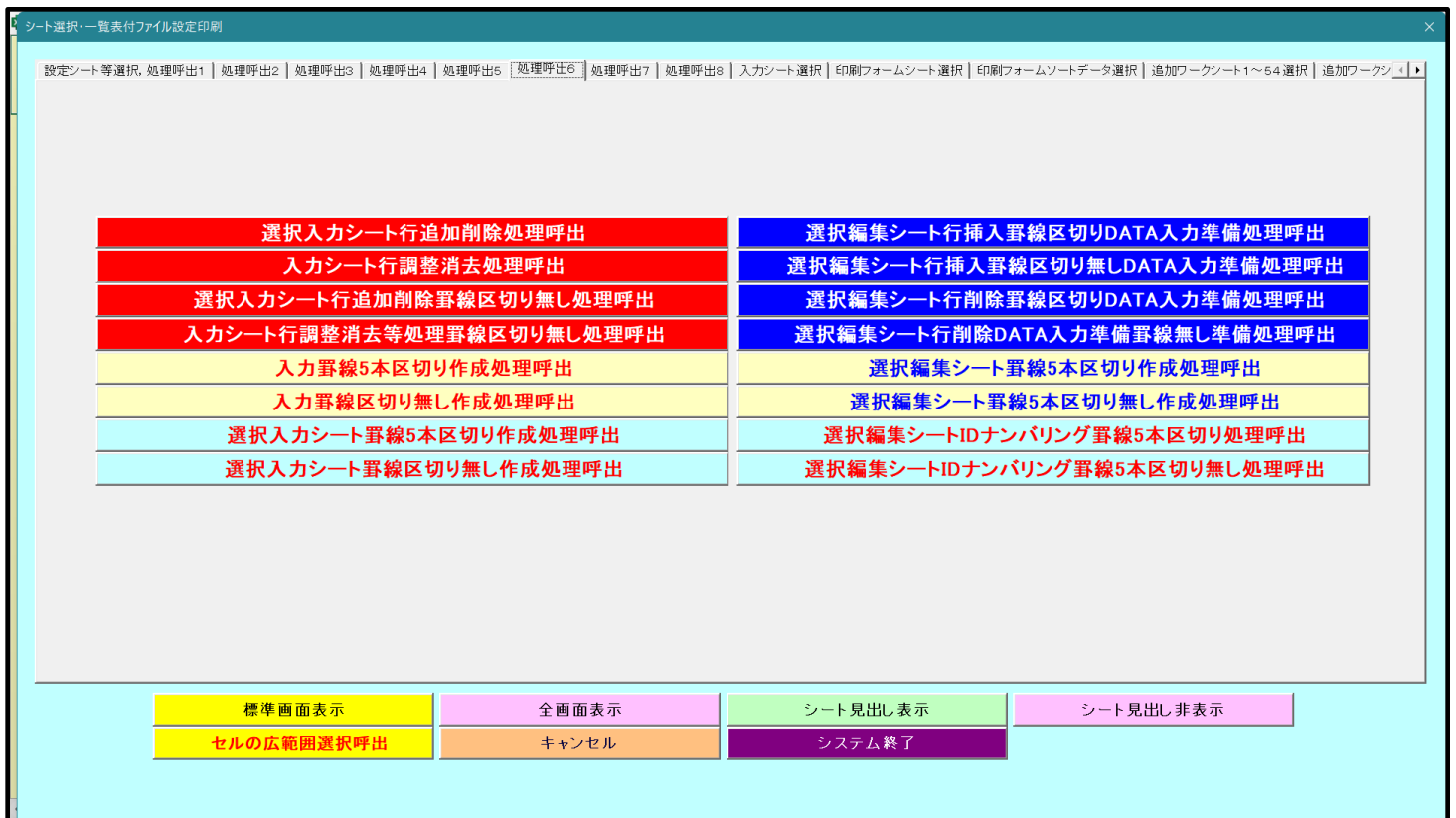
の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xism」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の [図 9 4]画面になります。

[図 9 4]



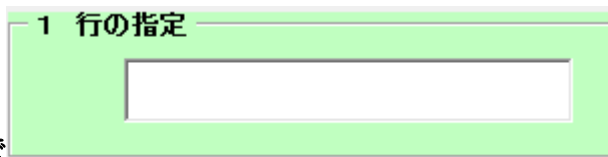
全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図94]のコマンドボタン

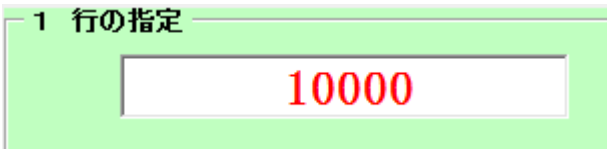
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図95]の画面になります。

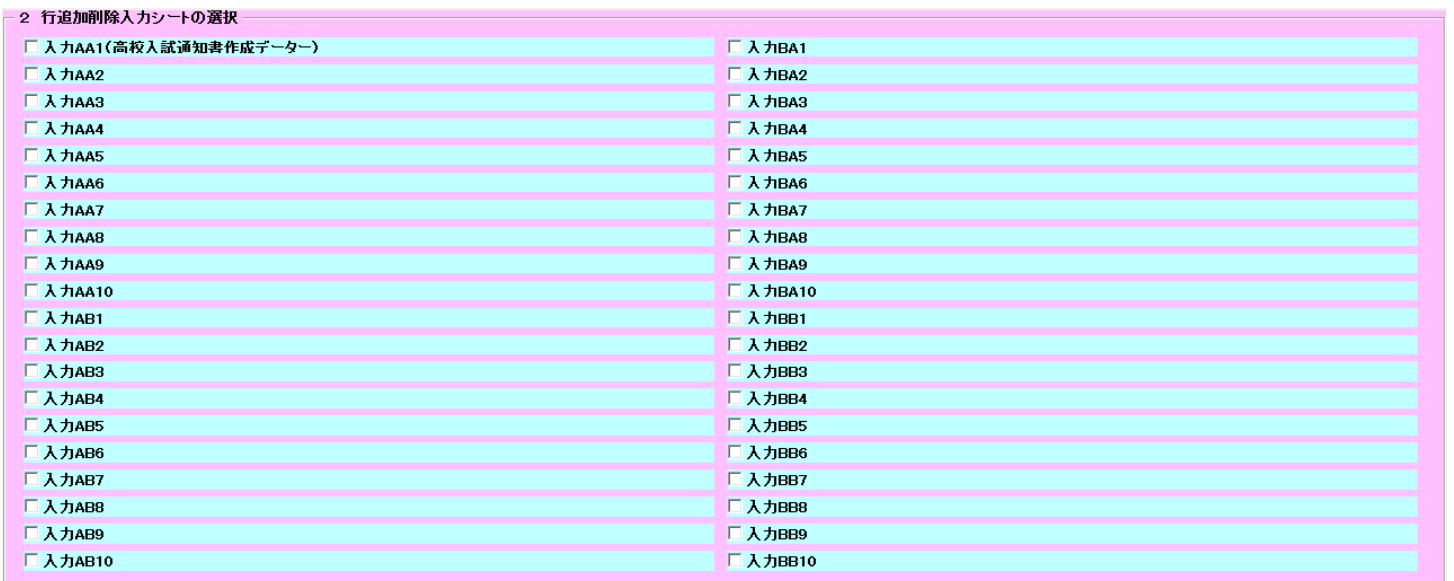
[図 9 5]



上の[図 1 0 5]の画面で の部分に



と入力し、



にチェックを入れて

2 行追加削除入力シートを選択

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

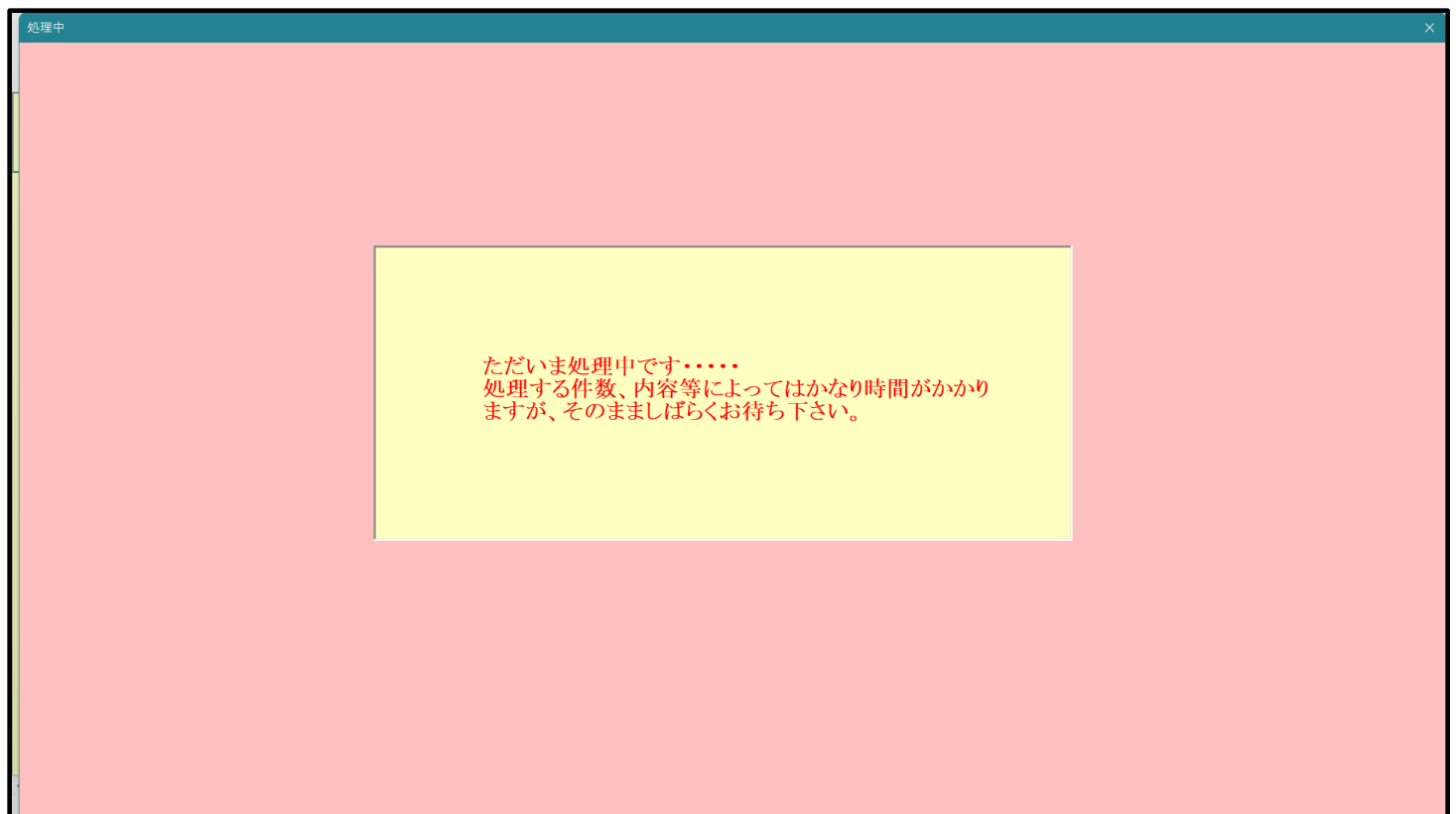
として、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図96]が表示さ

れ、再び[図107]が表示されたら処理は完了です。

[図96]



[図 9 9]



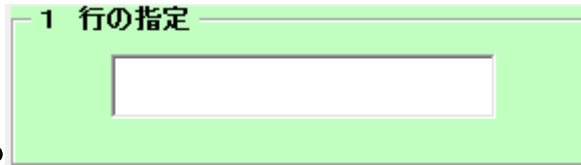
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 9 4]の画面で、コマンドボタン

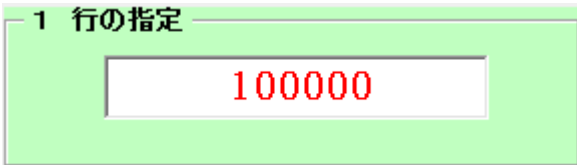
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 0 0]の画面が表示されます。

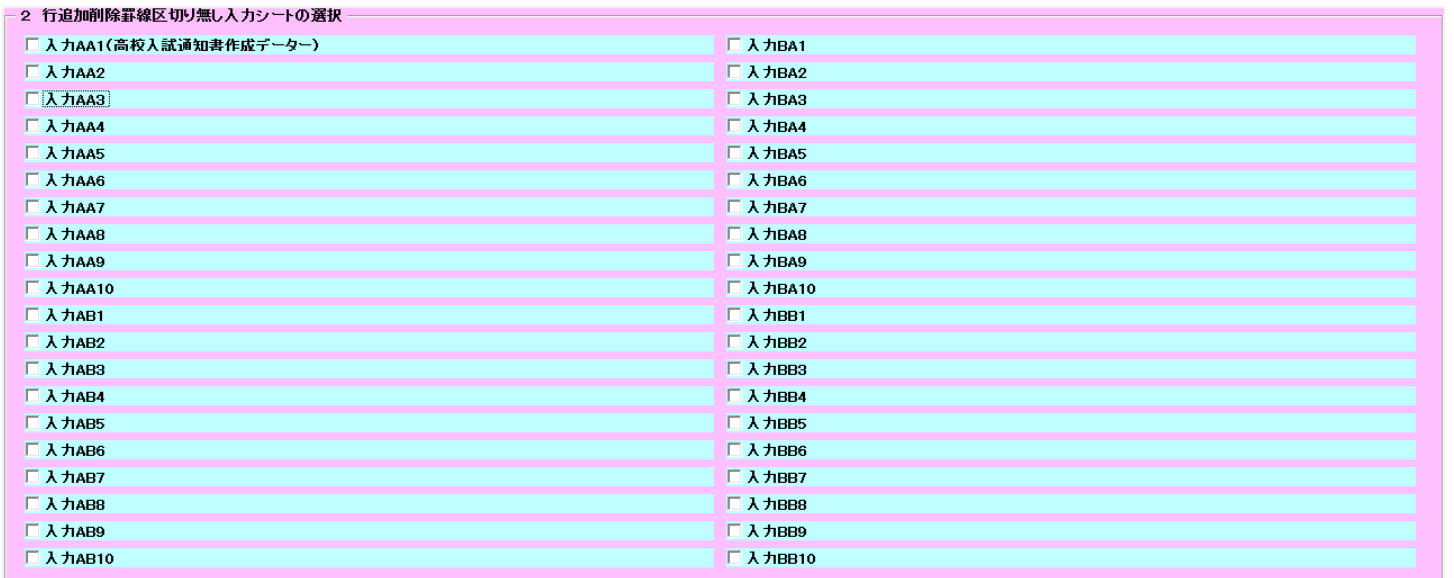
[図 1 0 0]



上の[図 8 6]の画面の の部分に



と入力し、



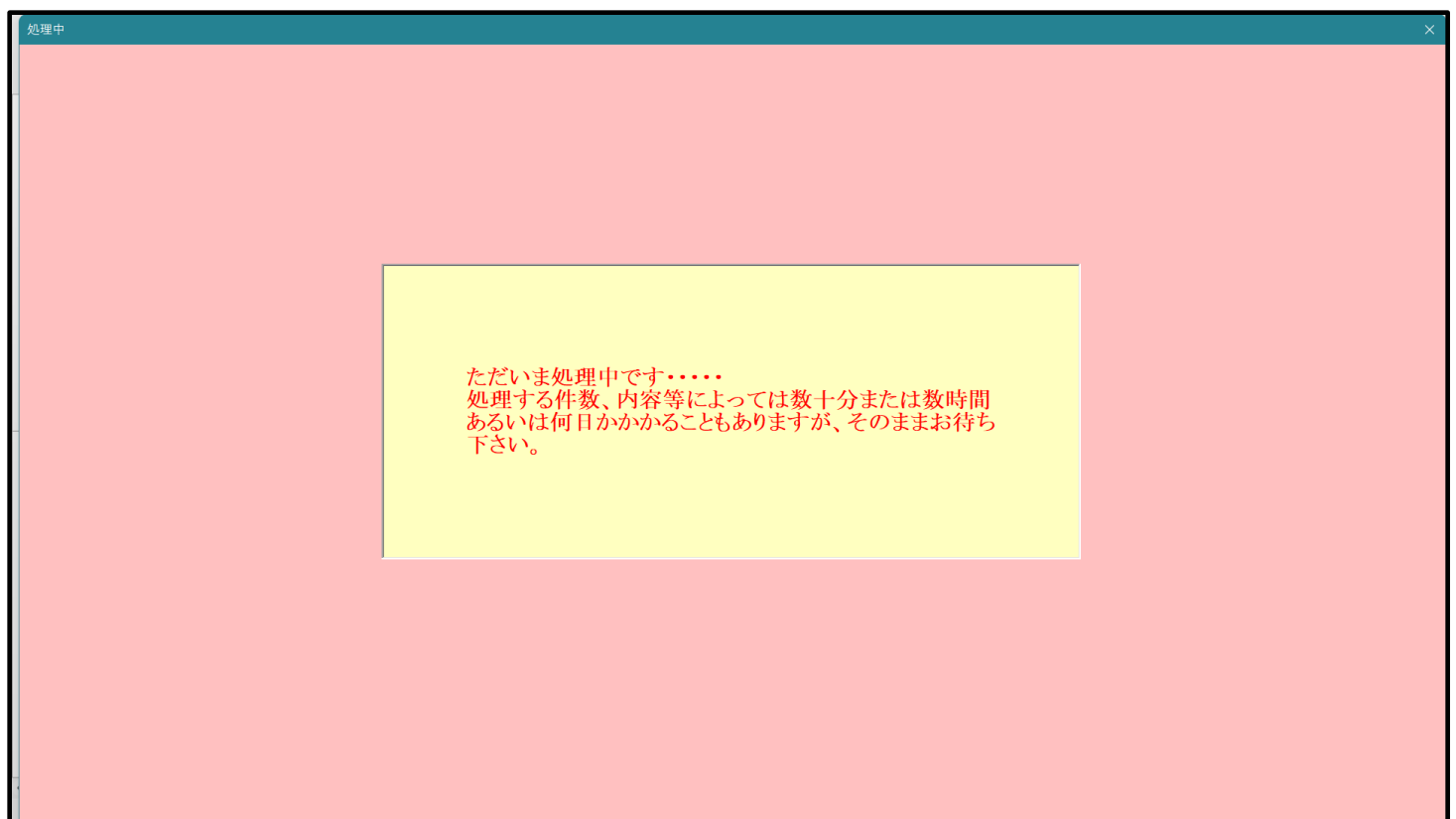
にチェックを入れ、

2 行追加削除罫線区切り無し入カシートの選択

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図101]が表示され、再び[図102]が表示されたら処理は完了です。

[図101]



[図 1 0 4]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

11. ファイル



CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm




CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xism

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (コンピュータ 3台リリース配布版) .xism」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン  をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ  を選択すると次の[図 1 0 5]画面になります。

[図 1 0 5]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図105]のコマンドボタン

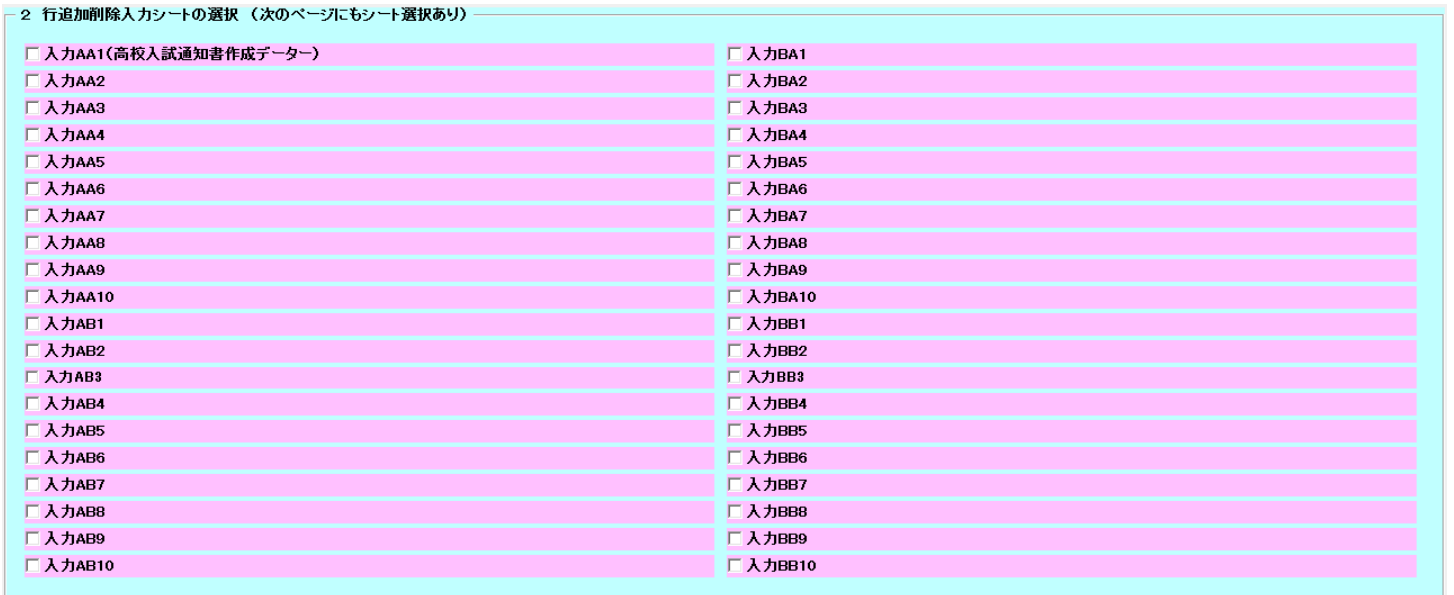
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図106]の画面になります。

[図 1 0 6]



上の[図 9 3]の画面で の部分に と入力し、



にチェックを入れて

2 行追加削除入力シートを選択（次のページにもシート選択あり）

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1 (高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AE2	<input type="checkbox"/> 入力BE2
<input type="checkbox"/> 入力AE3	<input type="checkbox"/> 入力BE3
<input type="checkbox"/> 入力AE4	<input type="checkbox"/> 入力BE4
<input type="checkbox"/> 入力AE5	<input type="checkbox"/> 入力BE5
<input type="checkbox"/> 入力AE6	<input type="checkbox"/> 入力BE6
<input type="checkbox"/> 入力AE7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AE8	<input type="checkbox"/> 入力BE8
<input type="checkbox"/> 入力AE9	<input type="checkbox"/> 入力BE9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

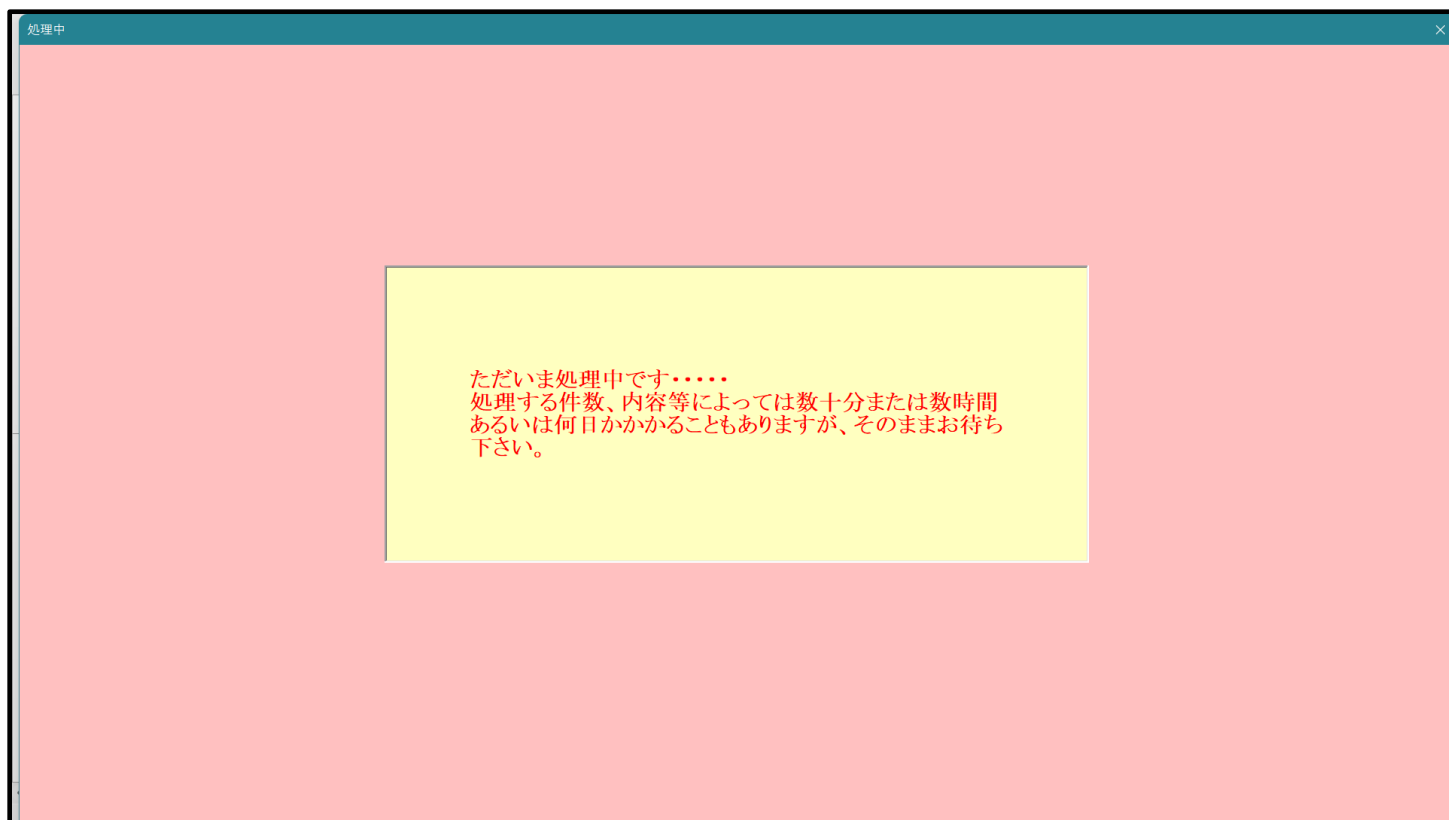
として、コマンドボタン

行追加削除処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図107]が表示さ

れ、再び[図108]が表示されたら処理は完了です。

[図107]



[図108]

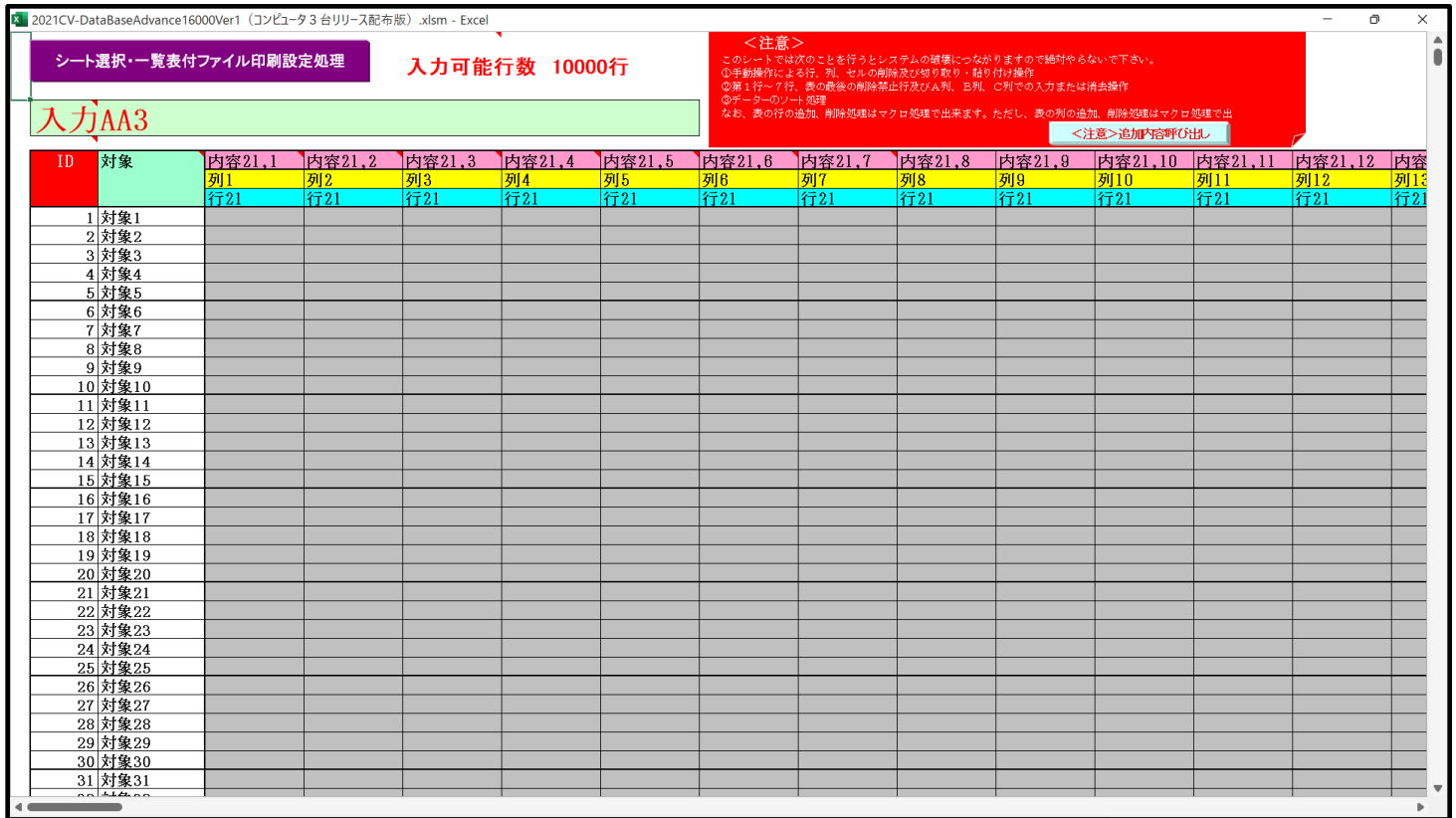


この処理の結果、シート「入力 AA1 (高校入試通知書等作成データ)」、「入力 AB3」の入力可能行数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図109], [図110]のようになります。

[図109]



[図 1 1 0]



ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 1 0 5]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 1 1]の画面が表示されます。

[図 1 1 1]



上の[図 1 1 1]の画面の の部分に と入力し、



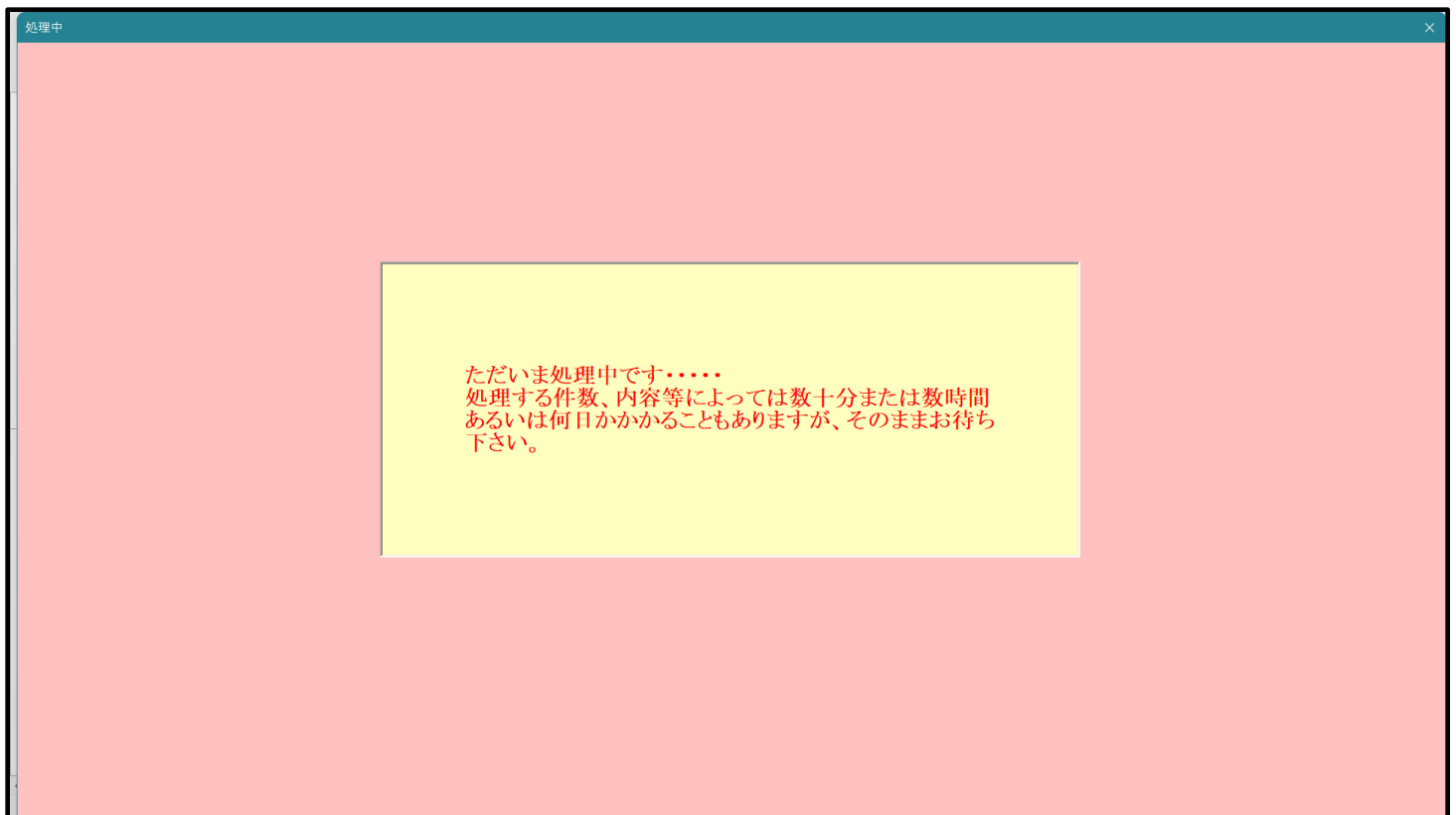
にチェックを入れ、

2 行追加削除罫線区切り無し入力シートを選択（次のページにもシート選択あり）

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1 (高技入試通知書等作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 1 2]が表示され、再び[図 1 1 3]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 1 2]



[図 1 1 3]



この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書作成データ)」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 1 1 4]、[図 1 1 5]のようになります。

[図 1 1 4]



[図 1 1 5]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

12. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 40Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** ををクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **入力シート行挿入・削除処理呼出** を選択すると次の

[図 1 1 6]画面になります。

[図 1 1 6]



シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の最初の入力可能行数が 5 0 行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 1 1 6]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 1 7]の画面になります。

[図 1 1 7]

選択入力シート挿入登録 5 本区切り有り処理

Page1

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

3 処理

全シート選択

左1の設定キャンセル

全チェックキャンセル

行挿入処理開始

2 行挿入登録5本区切り有り処理入力シートの選択

入力AAI (高校入試通知書作成データー)

キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

上の[図 1 1 7]の画面で の部分に

1 行の指定

行挿入開始位置 50

挿入行数 9950

と入力し、

入力(高校入試通知書作成データー)

にチェックを入れて

入力(高校入試通知書作成データー)

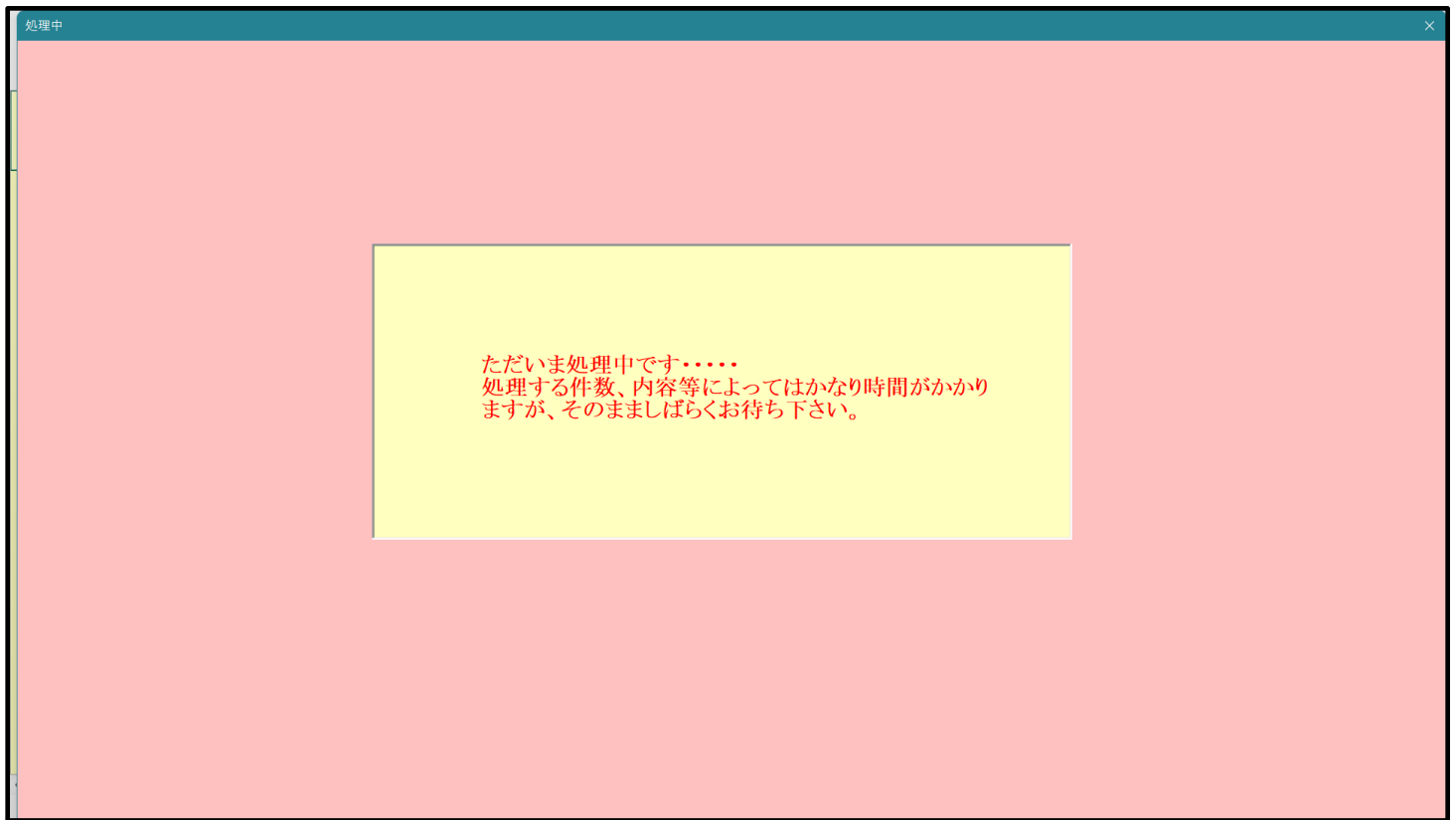
として、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 1 1 8]が表示され、再び[図 1 1 9]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 1 8]



[図 1 1 9]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力可能行数は 10000 行となり、シー

トの状況は次の[図120]のようになります。

[図120]

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 10000行

入力AA1(高校入試通知書作成データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びB列、C列での入力または消去操作
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでお知らせ下さい。

ID	対象	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12	内容1.13
1	対象1	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
2	対象2	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
3	対象3													
4	対象4													
5	対象5													
6	対象6													
7	対象7													
8	対象8													
9	対象9													
10	対象10													
11	対象11													
12	対象12													
13	対象13													
14	対象14													
15	対象15													
16	対象16													
17	対象17													
18	対象18													
19	対象19													
20	対象20													
21	対象21													
22	対象22													
23	対象23													
24	対象24													
25	対象25													
26	対象26													
27	対象27													
28	対象28													
29	対象29													
30	対象30													
31	対象31													
32	対象32													

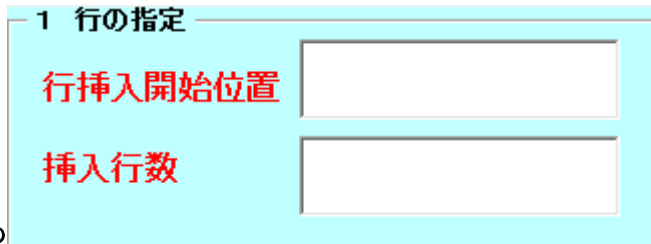
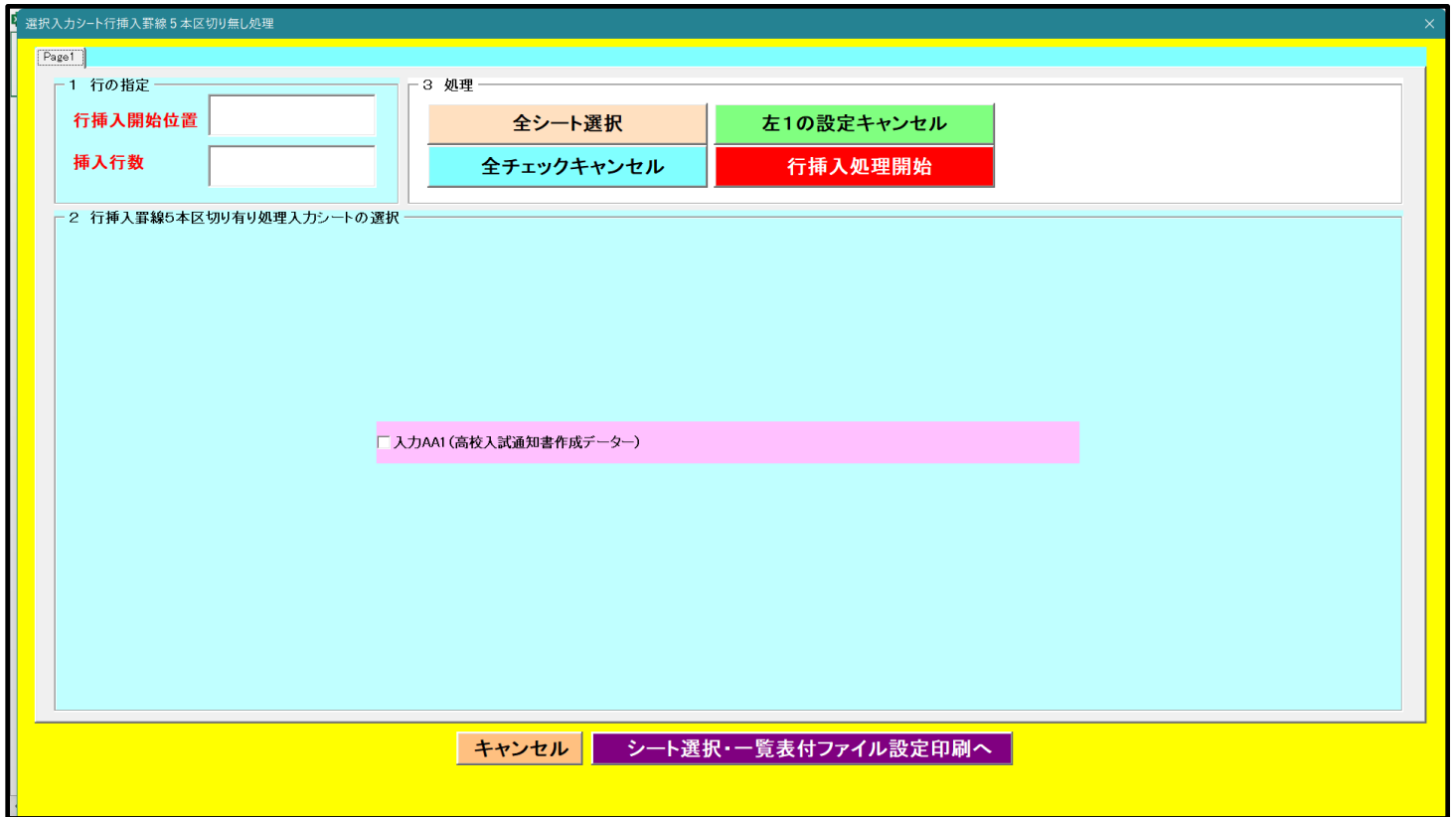
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図116]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると[図121]の画面が表示されます。

[図 1 2 1]



上の[図 1 2 1]の画面の の部分に



と入力し、

入力(高校入試通知書作成データー)

にチェックを入れ、

入力AA1 (高校入試通知書作成データー)

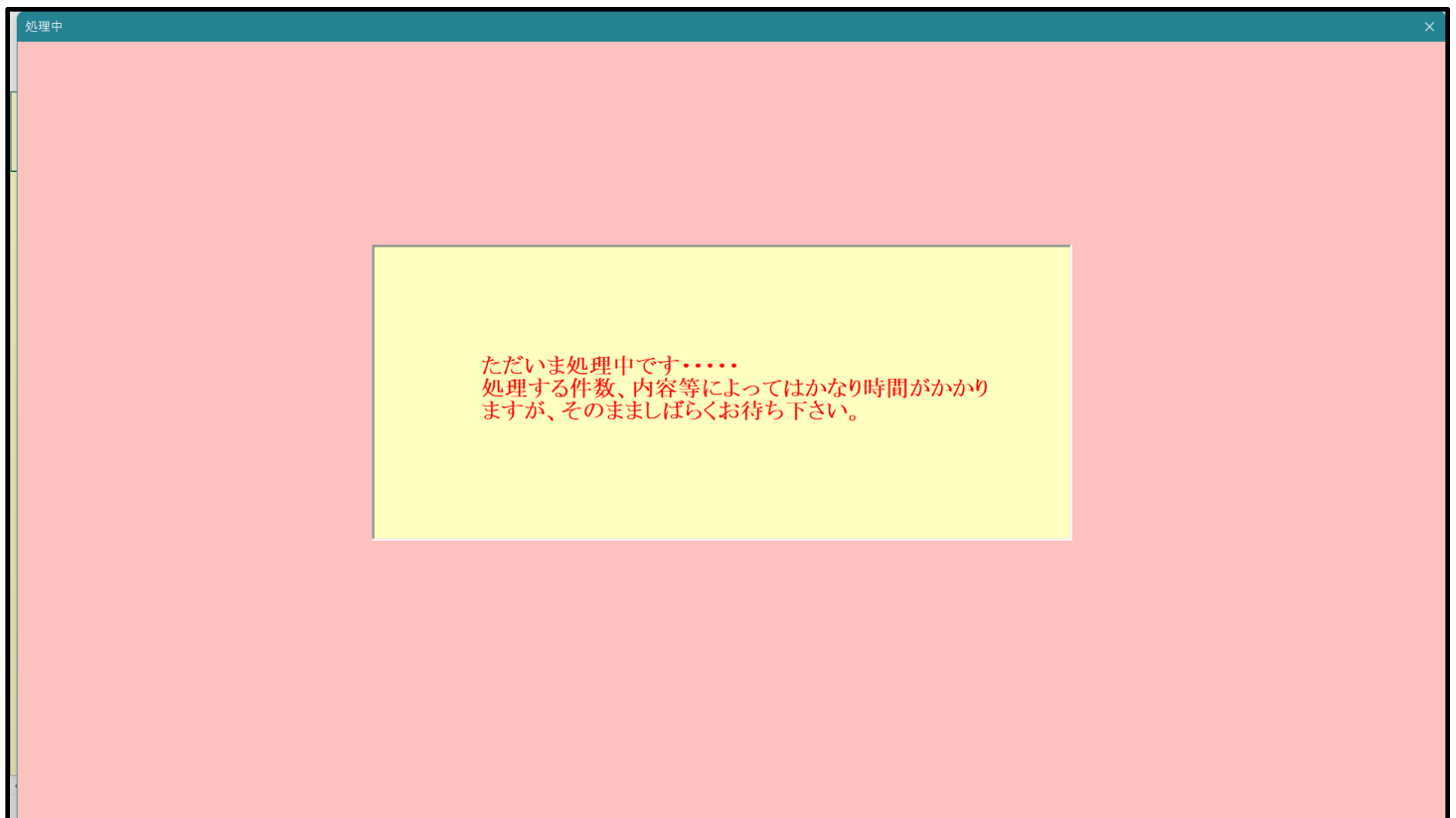
とし、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 2 2]が表示さ

れ、再び[図 1 2 3]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 2 2]



[図 1 2 3]



この処理の結果、シート「データ入力」の入力可能行数は 100000 行となり、シートの状況は次の[図 1 2 4]のようになります。

[図 1 2 4]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

13. ファイル

- CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 試用版.xslm
- CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

の場合：

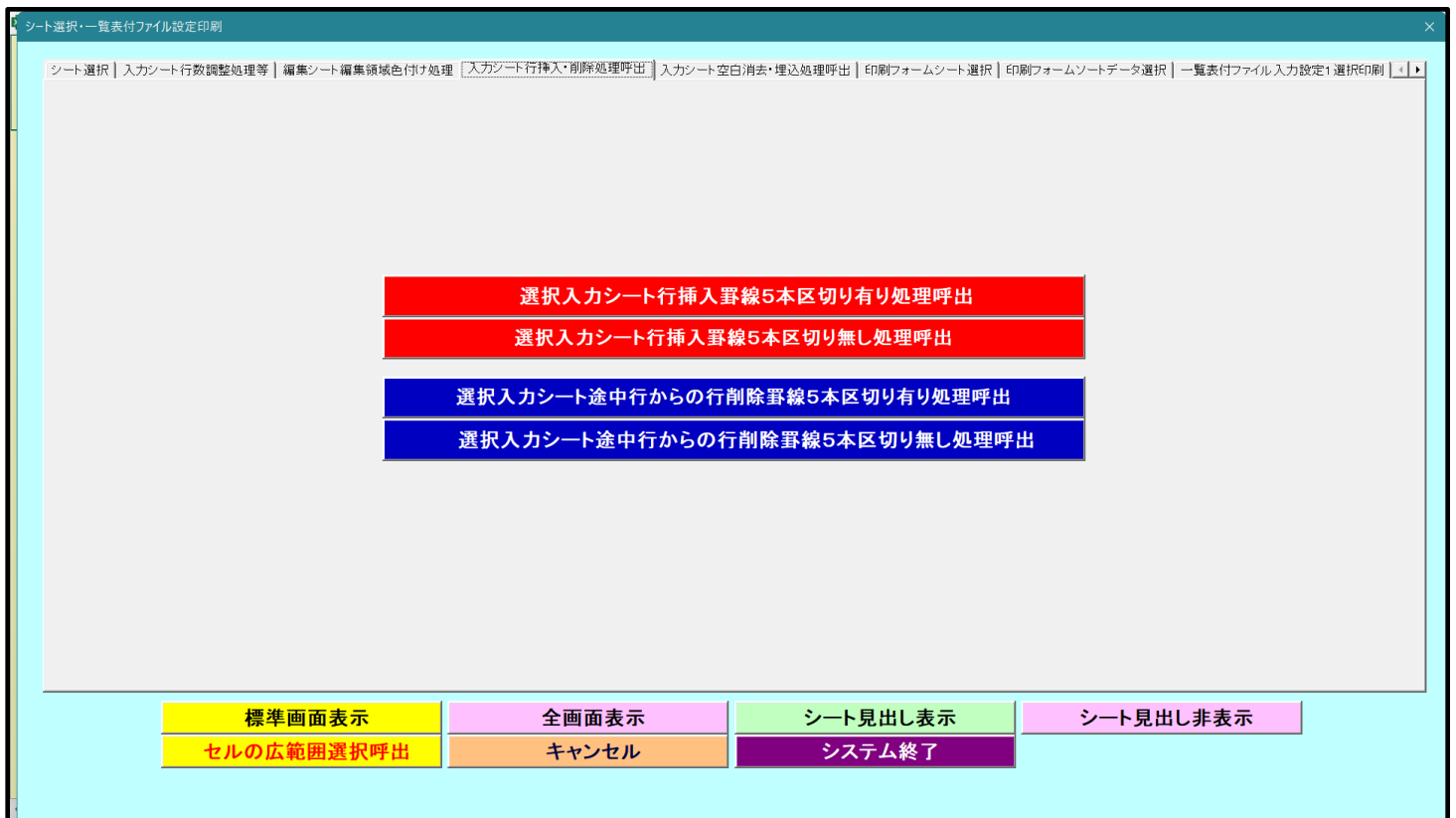
ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 100Ver1 (コンピュータ 3台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **入力シート下行挿入・削除処理呼出** を選択すると次の

[図 1 2 5]画面になります。

[図 1 2 5]



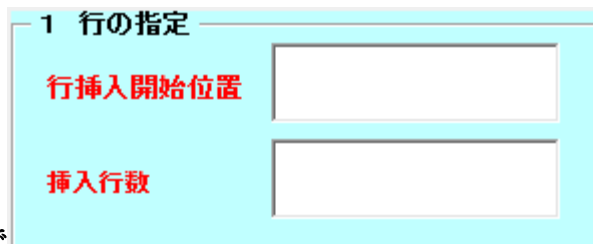
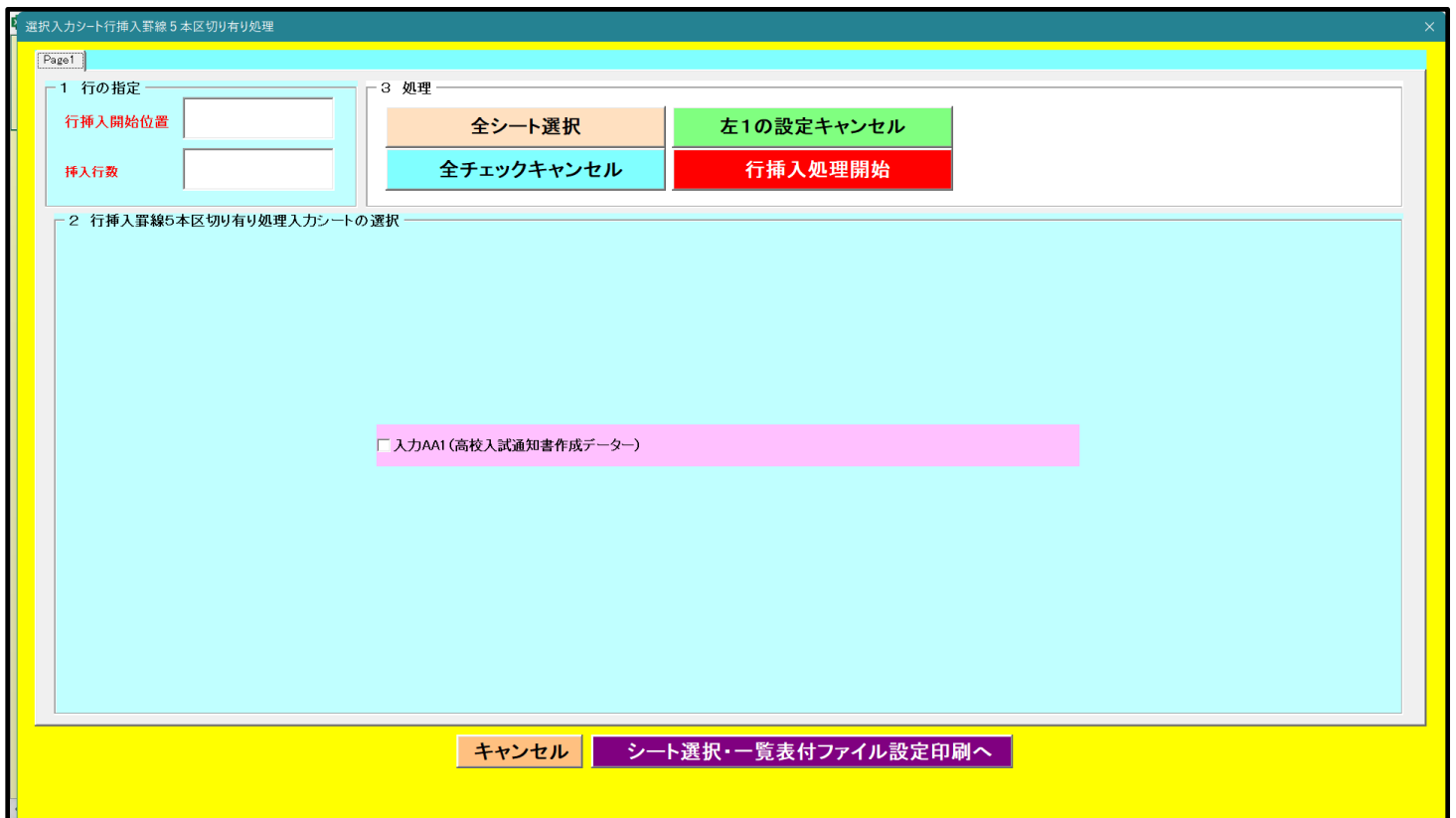
シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の最初の入力可能行数が 5 0 行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 1 2 5]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 2 6]の画面になります。

[図 1 2 6]



上の[図 1 3 9]の画面で の部分に



と入力し、

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

にチェックを入れて

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

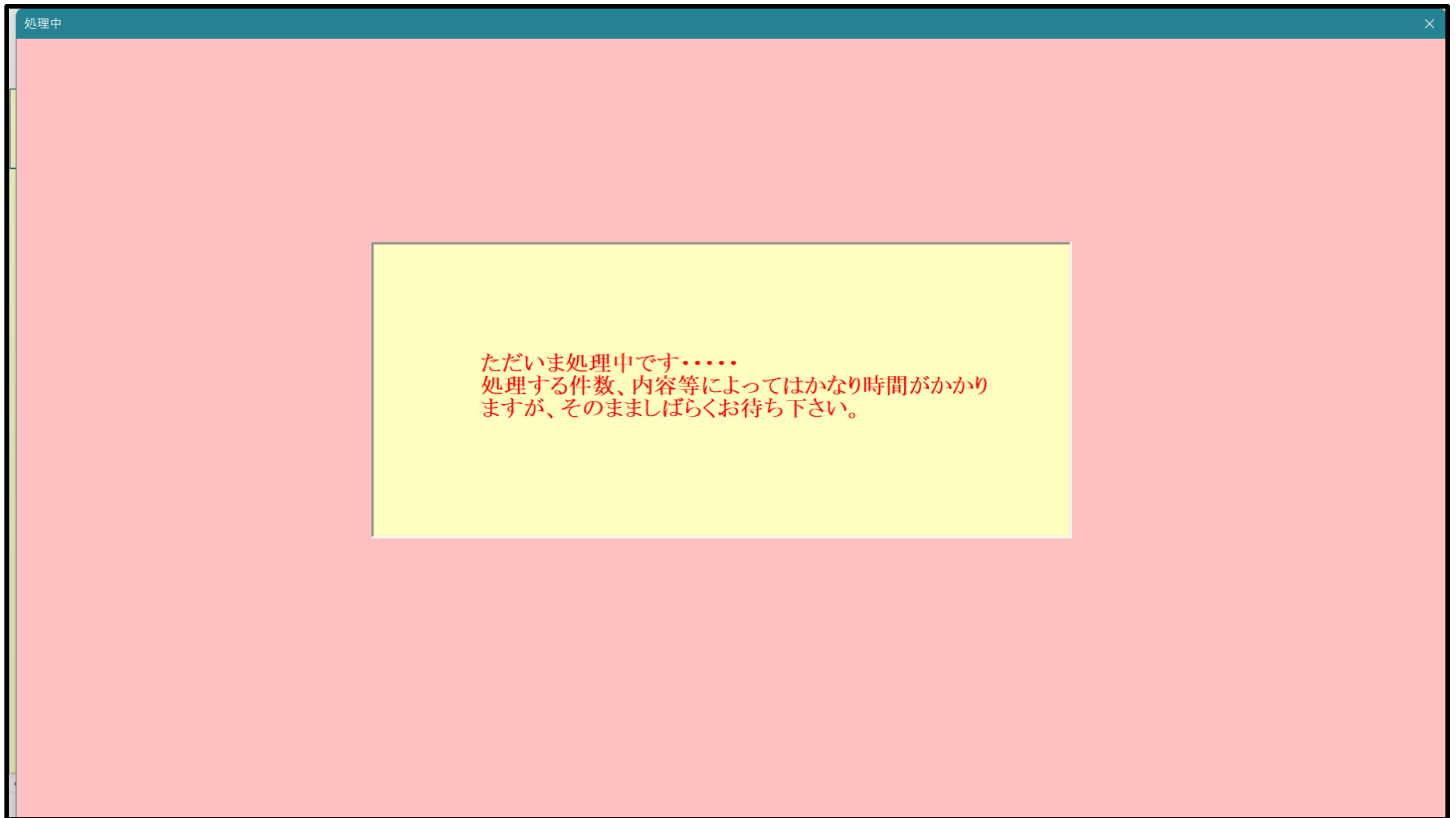
として、コマンドボタン

行挿入処理開始

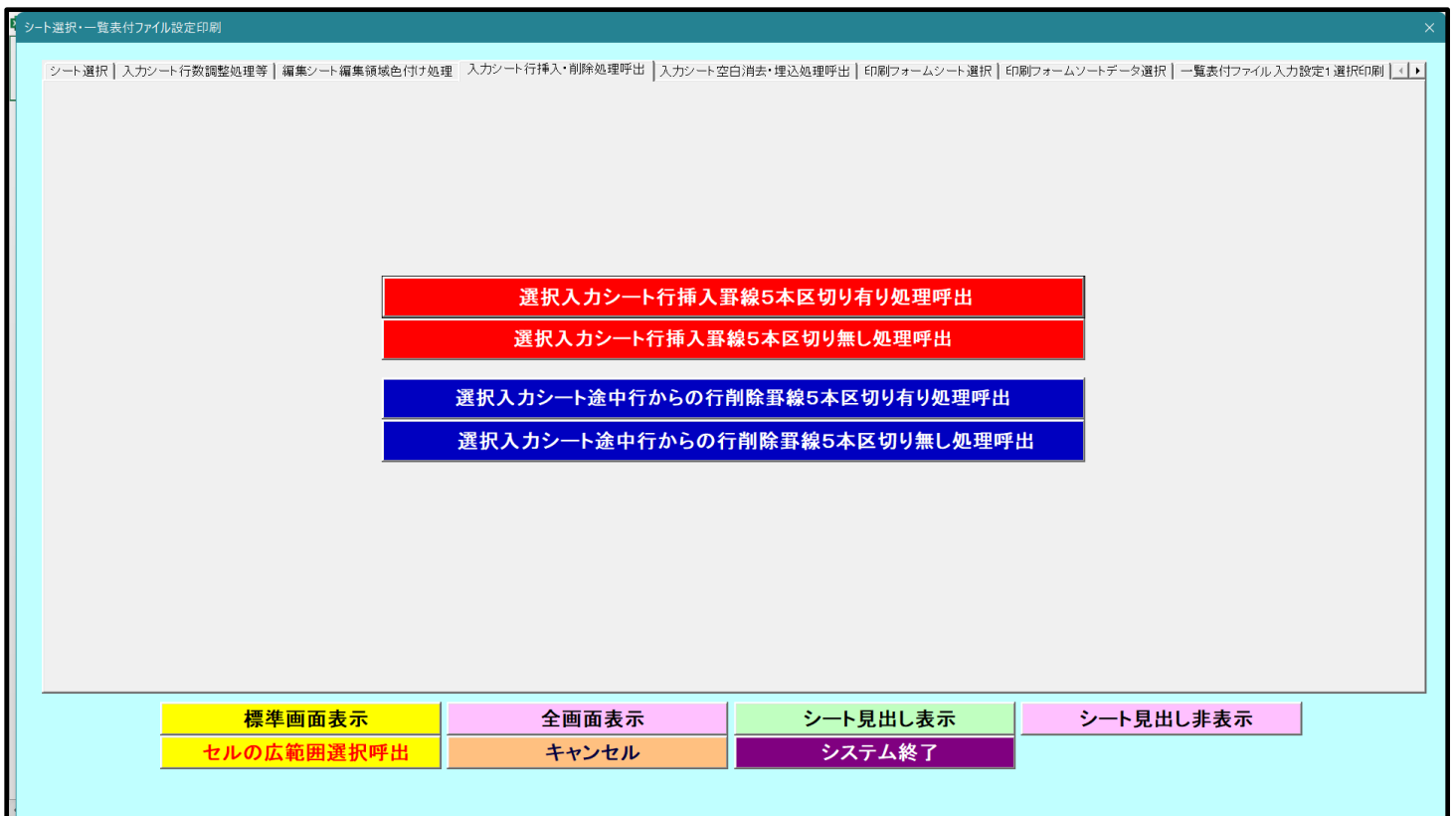
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 2 7]が表示さ

れ、再び[図 1 2 8]が表示されたら処理は完了です。

図 1 2 7]

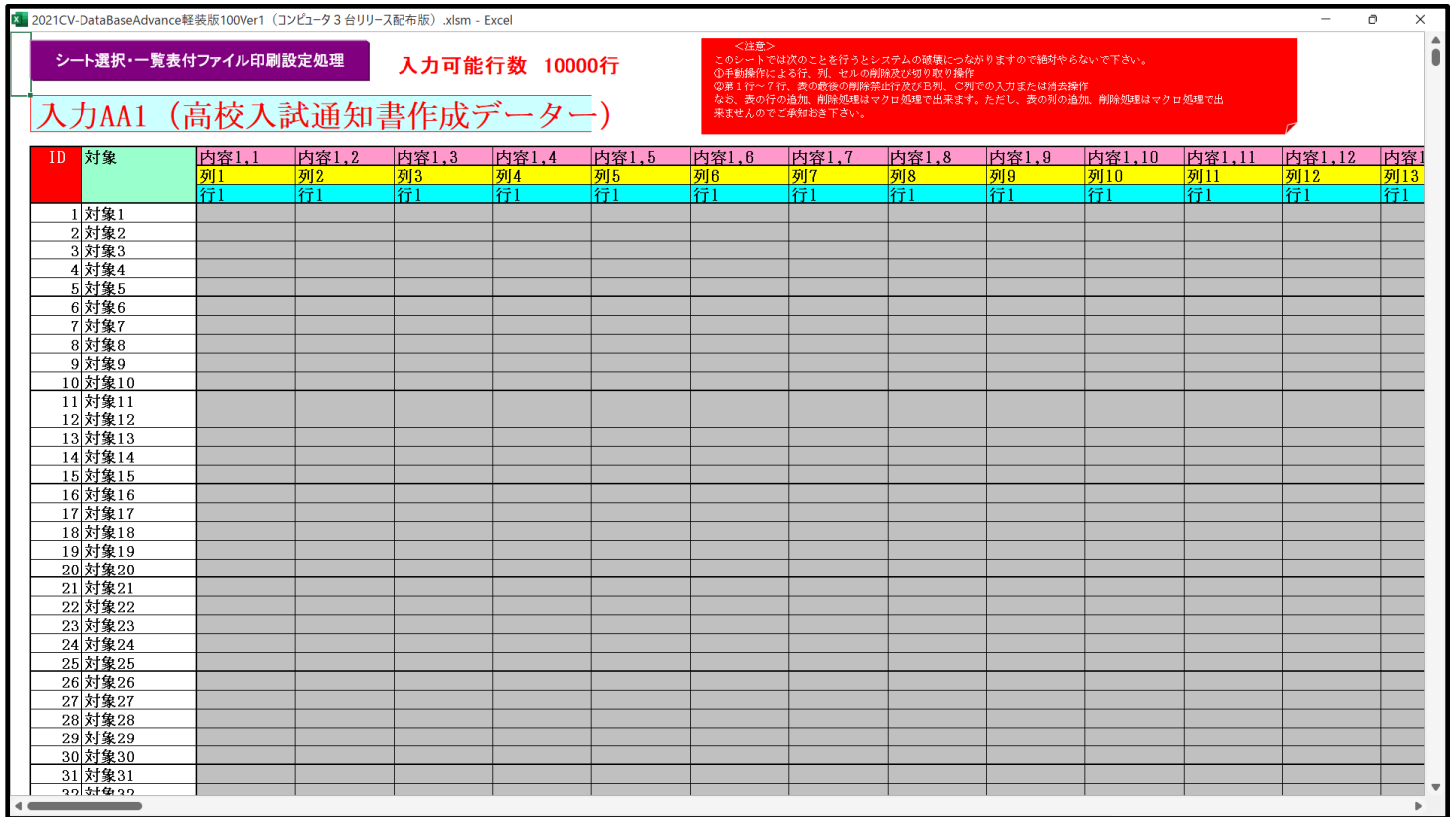


[図 1 2 8]



この処理の結果、シート「入力 AA1 (高校入試通知書等作成データ)」の入力可能行数は 10000 行となり、シートの状況は次の[図 1 2 9]のようになります。

[図 1 2 9]

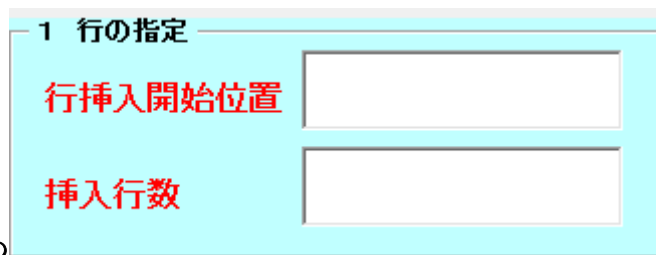
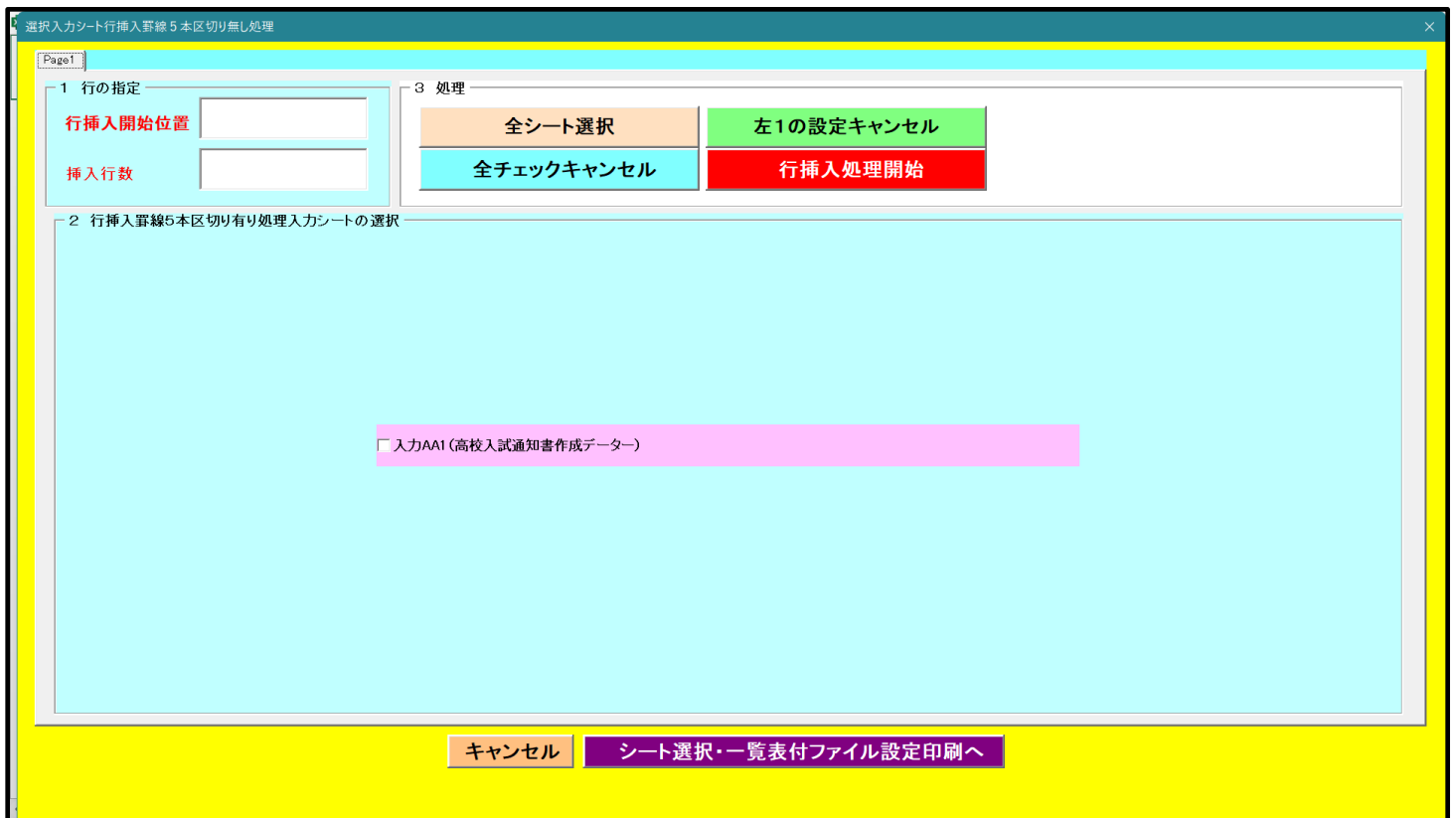


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 1 2 5]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 3 0]の画面が表示されます。

[図 1 3 0]



上の[図 1 3 0]の画面の の部分に



と入力し、

入力AA1(高校入試通知書作成データー)

にチェックを入れ、

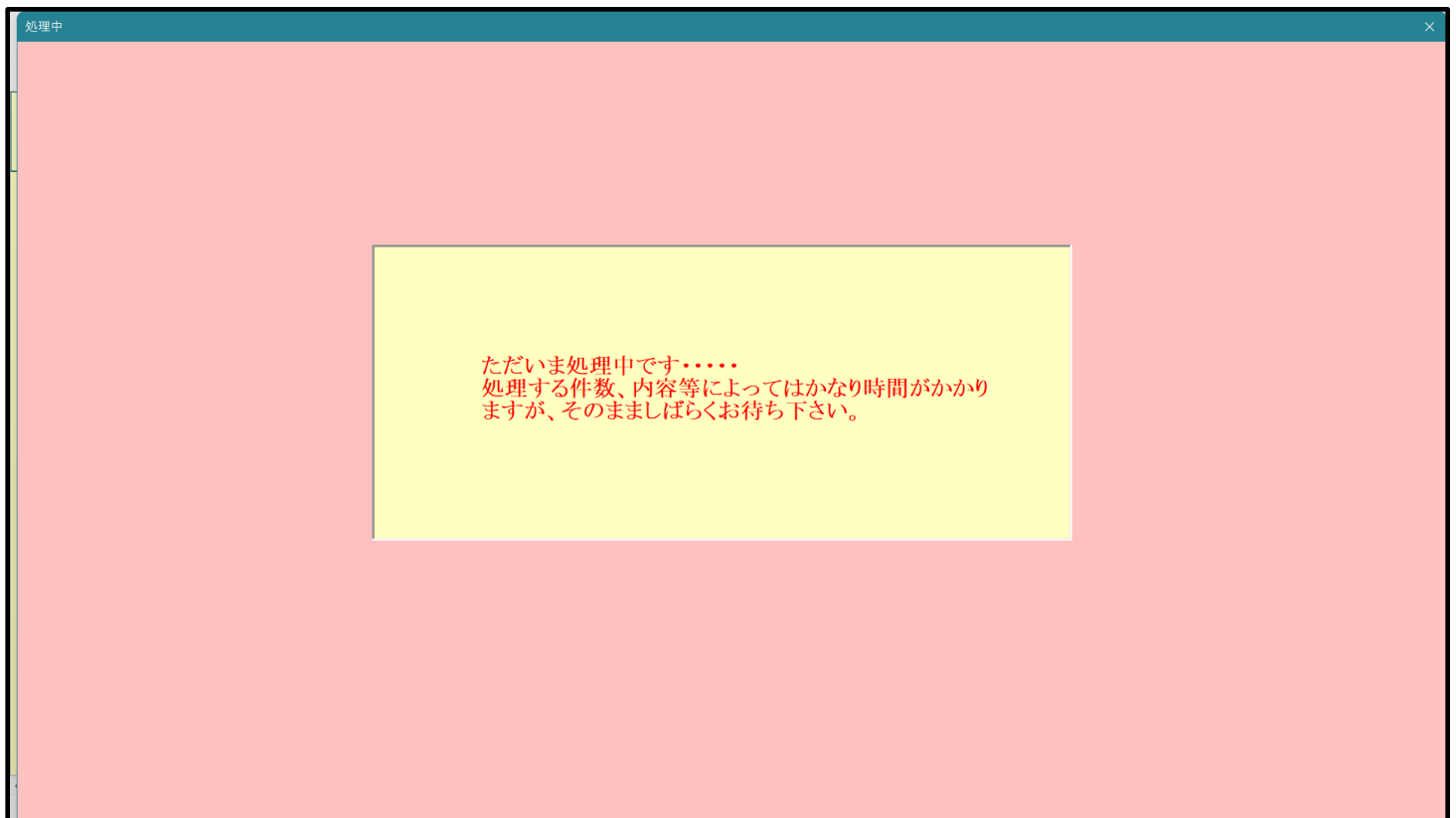
入力AA1(高校入試通知書作成データー)

とし、コマンドボタン

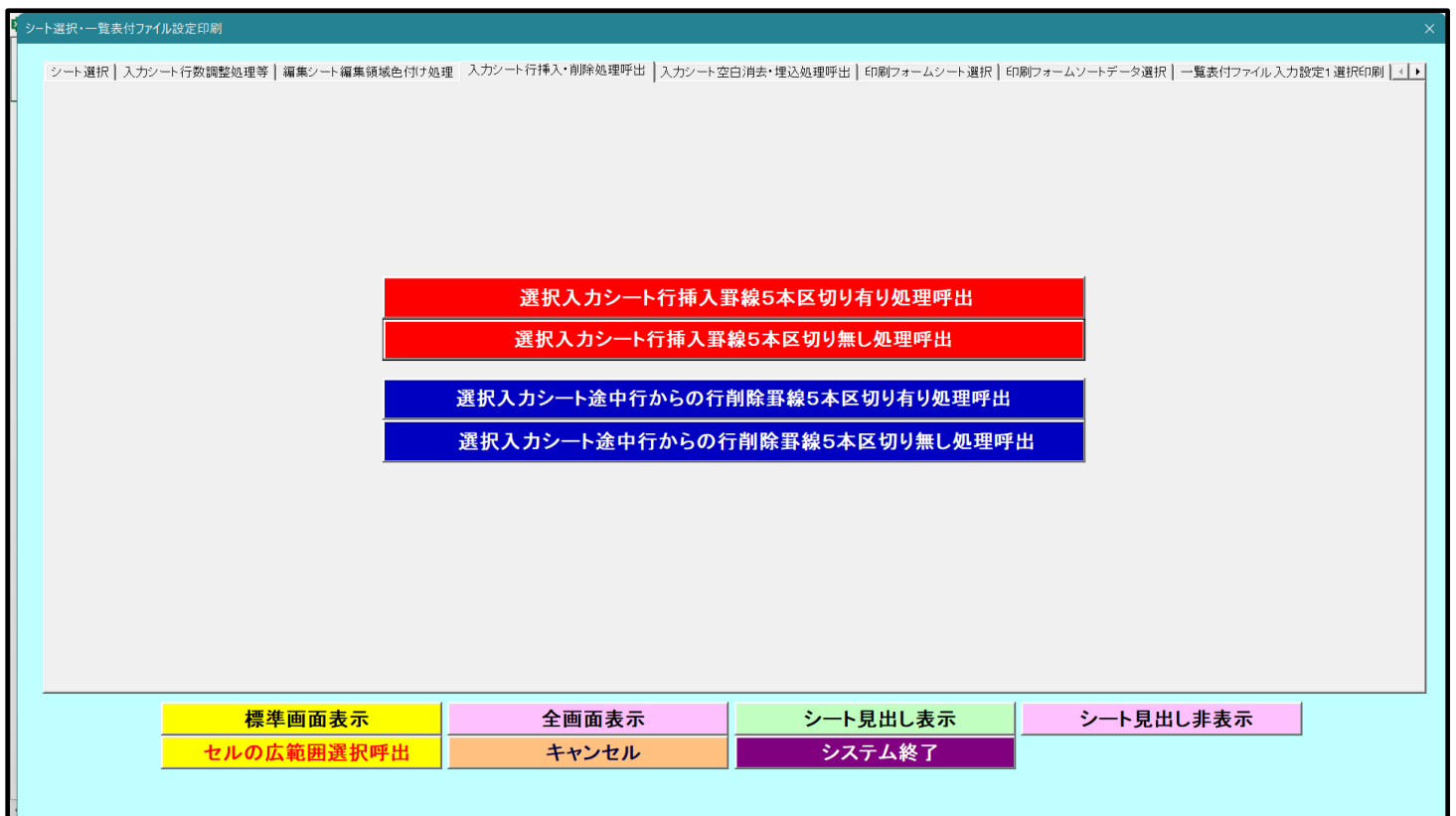
行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 3 1]が表示され、再び[図 1 3 2]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 3 1]



[図 1 3 2]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力可能行数は 100000 行となり、シートの状況は [図 1 3 3] のようになります。

[図 1 3 3]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

14. ファイル

- CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 試用版.xlsm
- CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xism

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 200Ver1 (コンピュータ 3台リリース配布版) .xism」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **入力シート下行挿入・削除処理呼出** を選択すると次の

[図 1 3 4]画面になります。

[図 1 3 4]



シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力可能行数が50行という前提で、入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図 1 3 4]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 3 5]の画面になります。

[図 1 3 5]

選択入力シート挿入登録 5 本区切り有り処理

Page1

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

3 処理

全シート選択

左1の設定キャンセル

全チェックキャンセル

行挿入処理開始

2 行挿入登録5本区切り有り処理入力シートの選択

入力AA1 (高校入試通知書作成データー)

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

の[図 1 3 5]の画面で の部分に

1 行の指定

行挿入開始位置 50

挿入行数 9950

と入力し、

入力(高校入試通知書作成データー)

にチェックを入れて

入力(高校入試通知書作成データー)

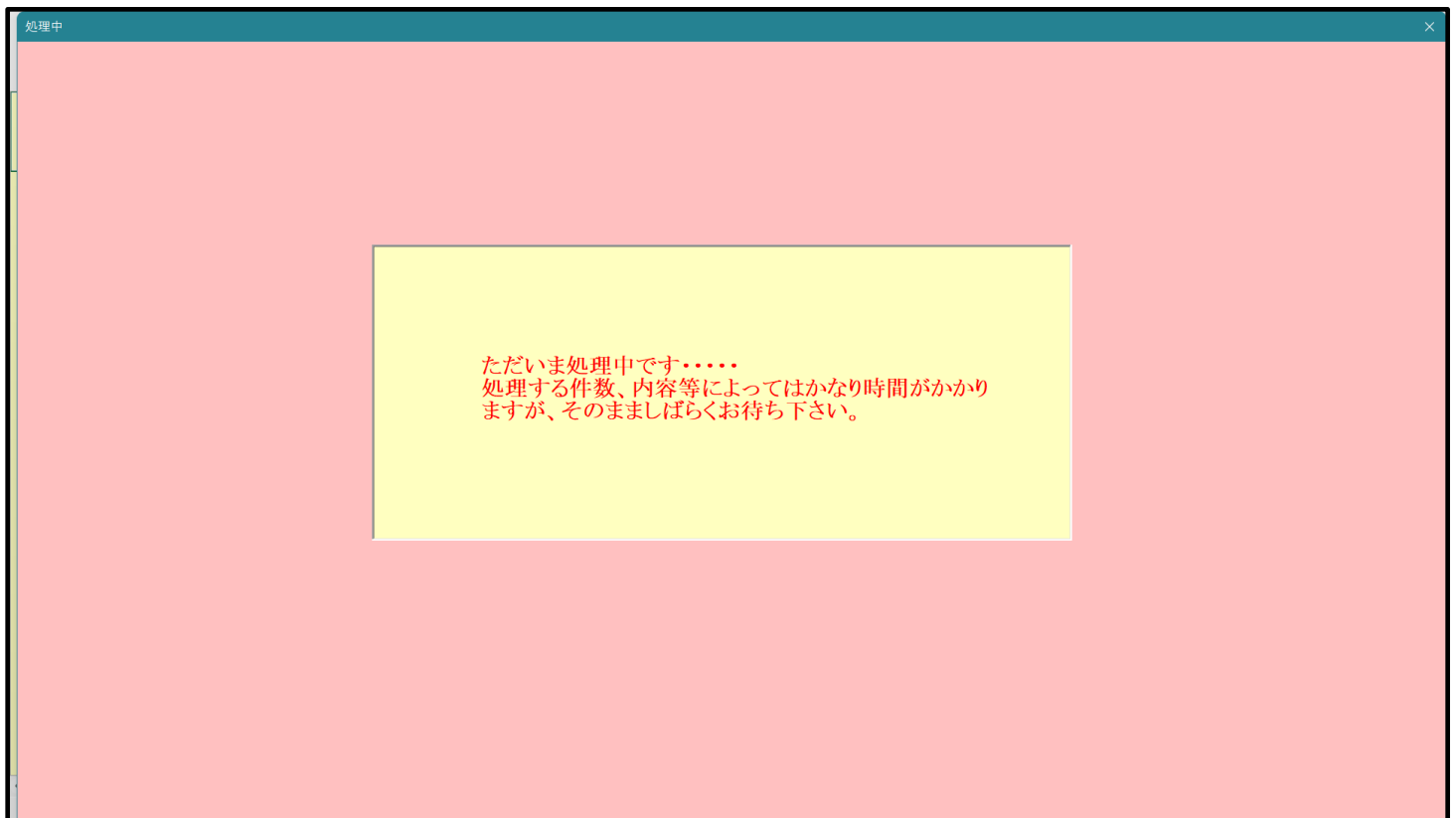
として、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 3 6]が表示さ

れ、再び[図 1 3 7]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 3 6]

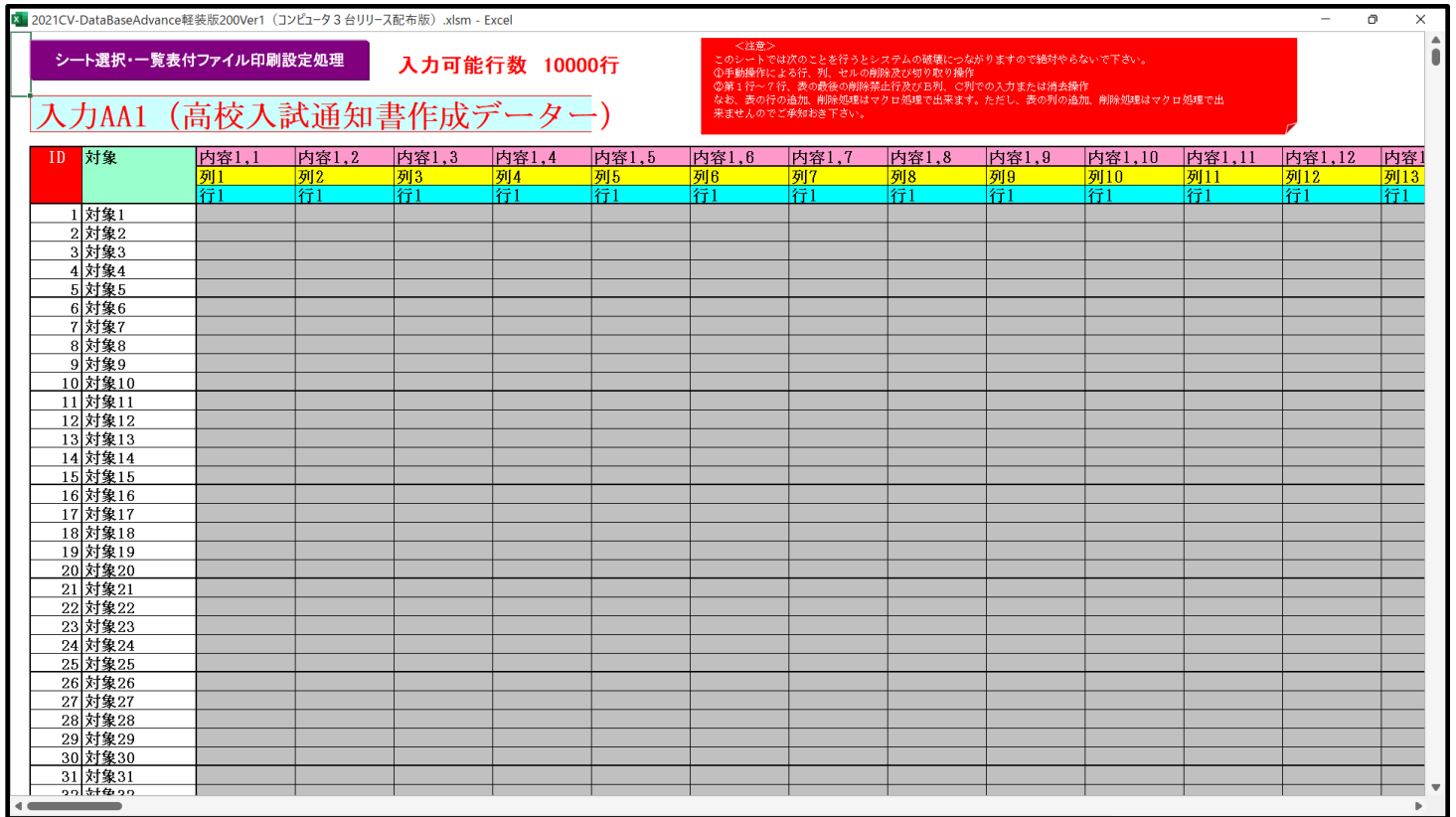


[図 1 3 7]



この処理の結果、シート「入力 AA1（高校入試通知書等作成データ）」の入力可能行数は 10000 行となり、シートの状況は次の[図 1 3 8]のようになります。

[図 1 3 8]



ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1 3 4]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 1 3 9]の画面が表示されます。

[図 1 3 9]

選択入力シート挿入罫線5本区切り無し処理

[Page1]

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

3 処理

全シート選択

左1の設定キャンセル

全チェックキャンセル

行挿入処理開始

2 行挿入罫線5本区切り有り処理入力シートの選択

入力AA1 (高校入試通知書作成データ-)

キャンセル

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

1 行の指定

行挿入開始位置

挿入行数

上の[図 1 5 3]の画面の の部分に

1 行の指定

行挿入開始位置 50

挿入行数 99950

と入力し、

入力(高校入試通知書作成データ-)

にチェックを入れ、

入力(高校入試通知書作成データ-)

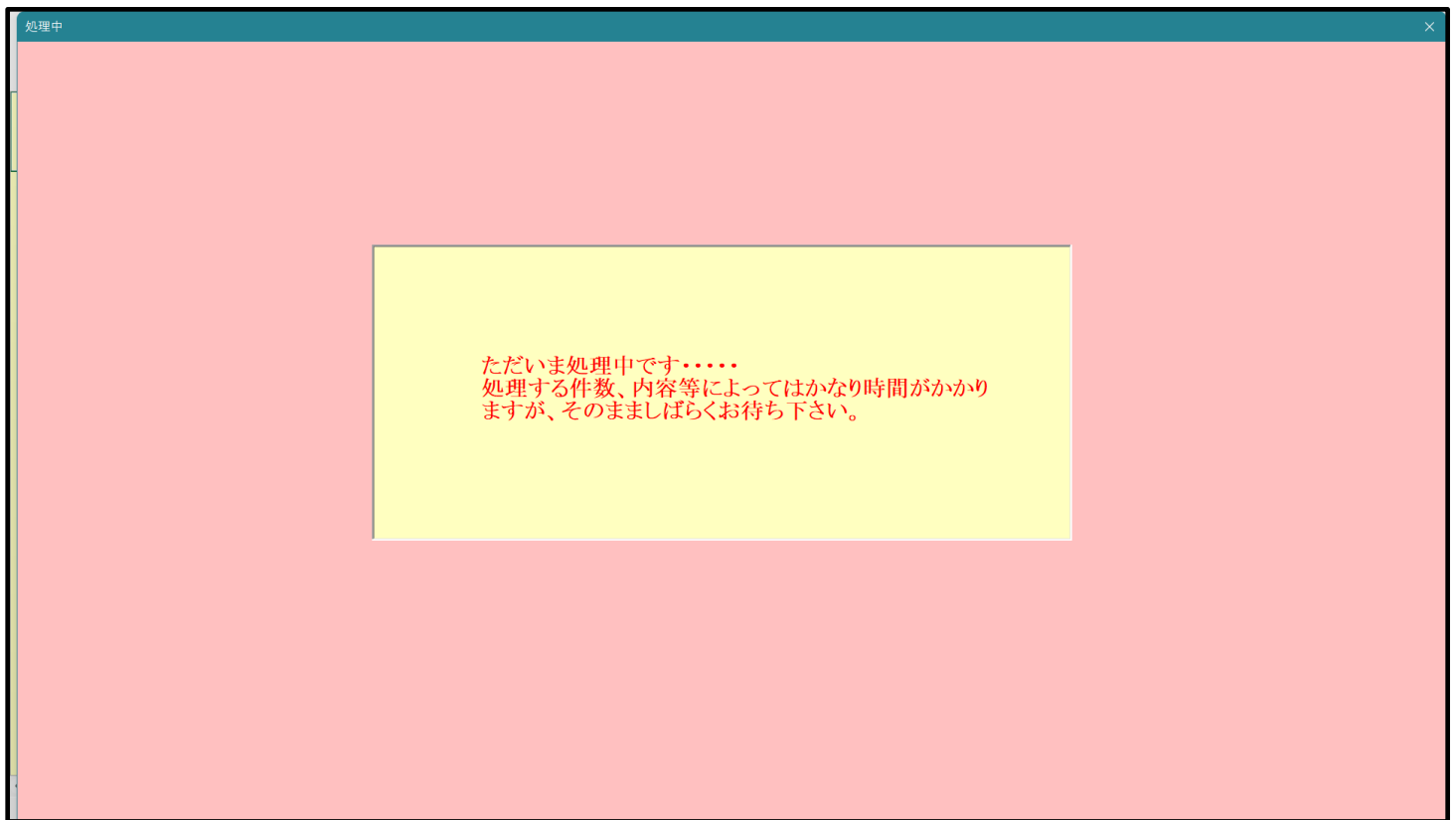
とし、コマンドボタン

行挿入処理開始

をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 1 4 0]が表示され、再び[図 1 4 1]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 4 0]



[図 1 4 1]



この処理の結果、シート「入力 AA 1（高校入試通知書等作成データ）」の入力可能行数は 100000 行となり、シートの状況は [図 1 4 2] のようになります。

[図 1 4 2]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

15. ファイル

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 試用版.xlsm

CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance 軽装版 400Ver1 (コンピュータ 3台リリース配布版) .xlsm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **入力シート行挿入・削除処理呼出** を選択すると次の

[図 1 4 3]画面になります。

[図 1 4 3]



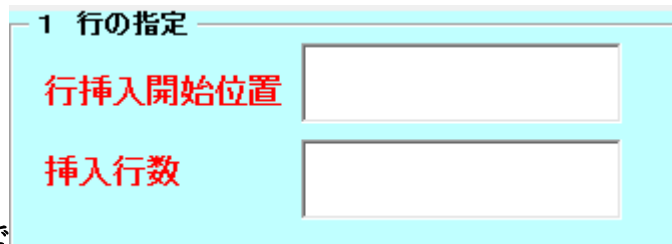
全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 1 4 3]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 4 4]の画面になります。

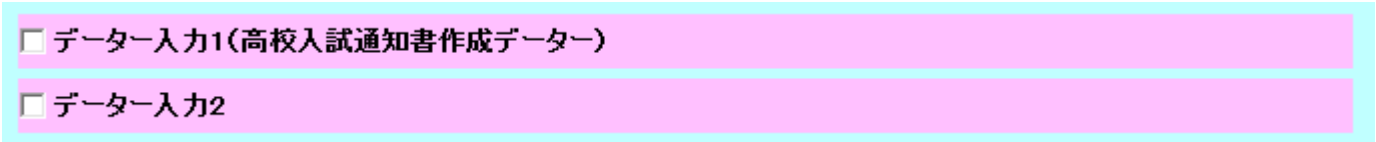
[図 1 4 4]



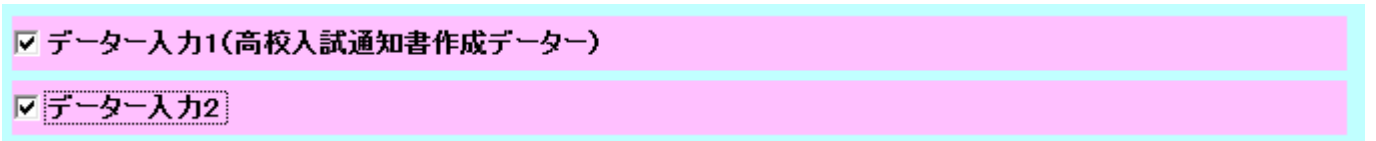
上の[図 1 5 9]の画面で の部分に



と入力し、



にチェックを入れて



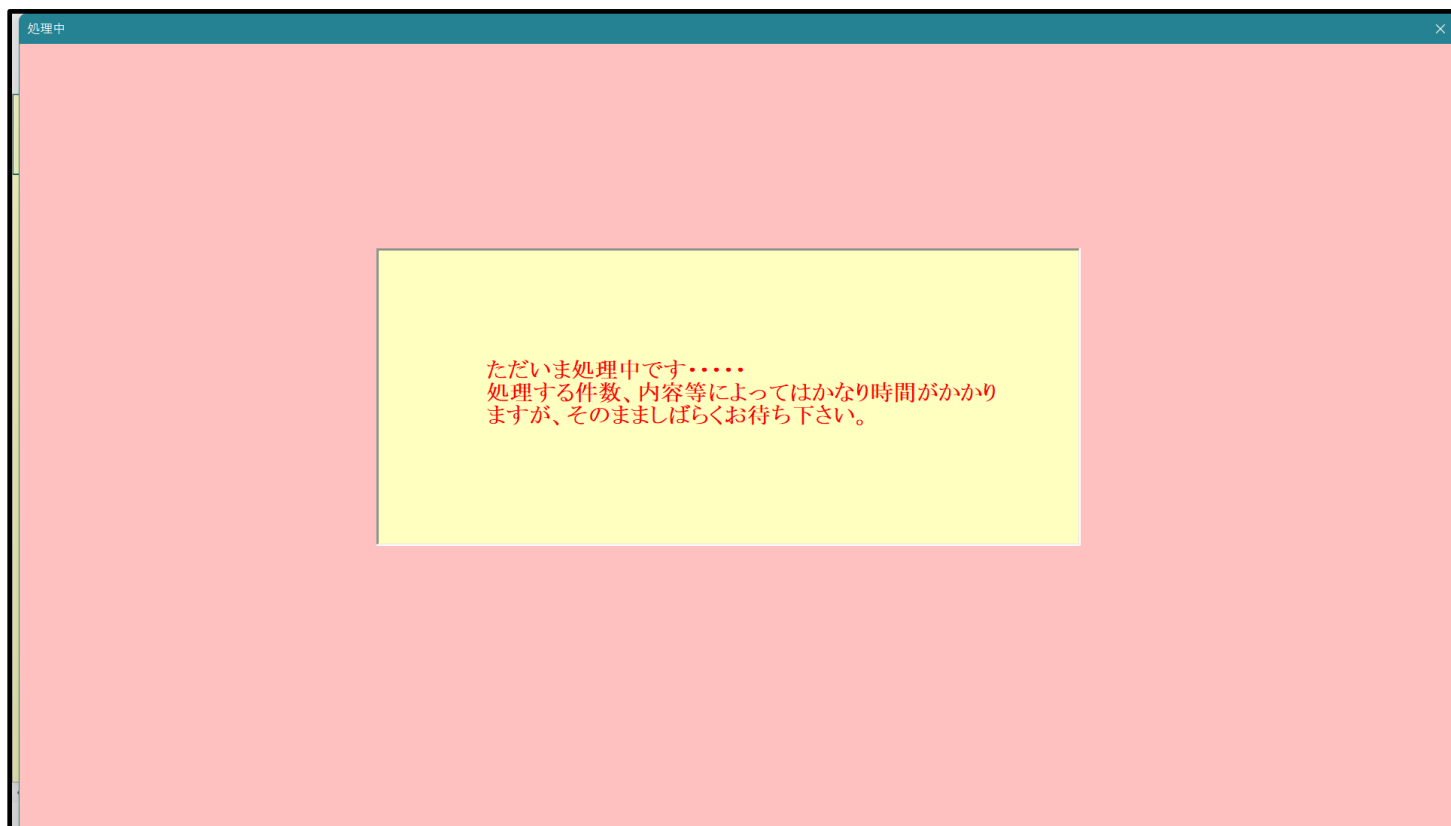
として、コマンドボタン



をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 4 5]が表示さ

れ、再び[図146]が表示されたら処理は完了です。

[図145]



[図146]



この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書等作成データ)」、「データ入力 2」の入力化の行数はとも

ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図143]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると[図149]の画面が表示されます。

[図149]

上の[図164]の画面のの部分に

と入力し、

- データー入力1(高校入試通知書作成データー)
- データー入力2

にチェックを入れ、

データ入力1(高校入試通知書作成データ)

データ入力2

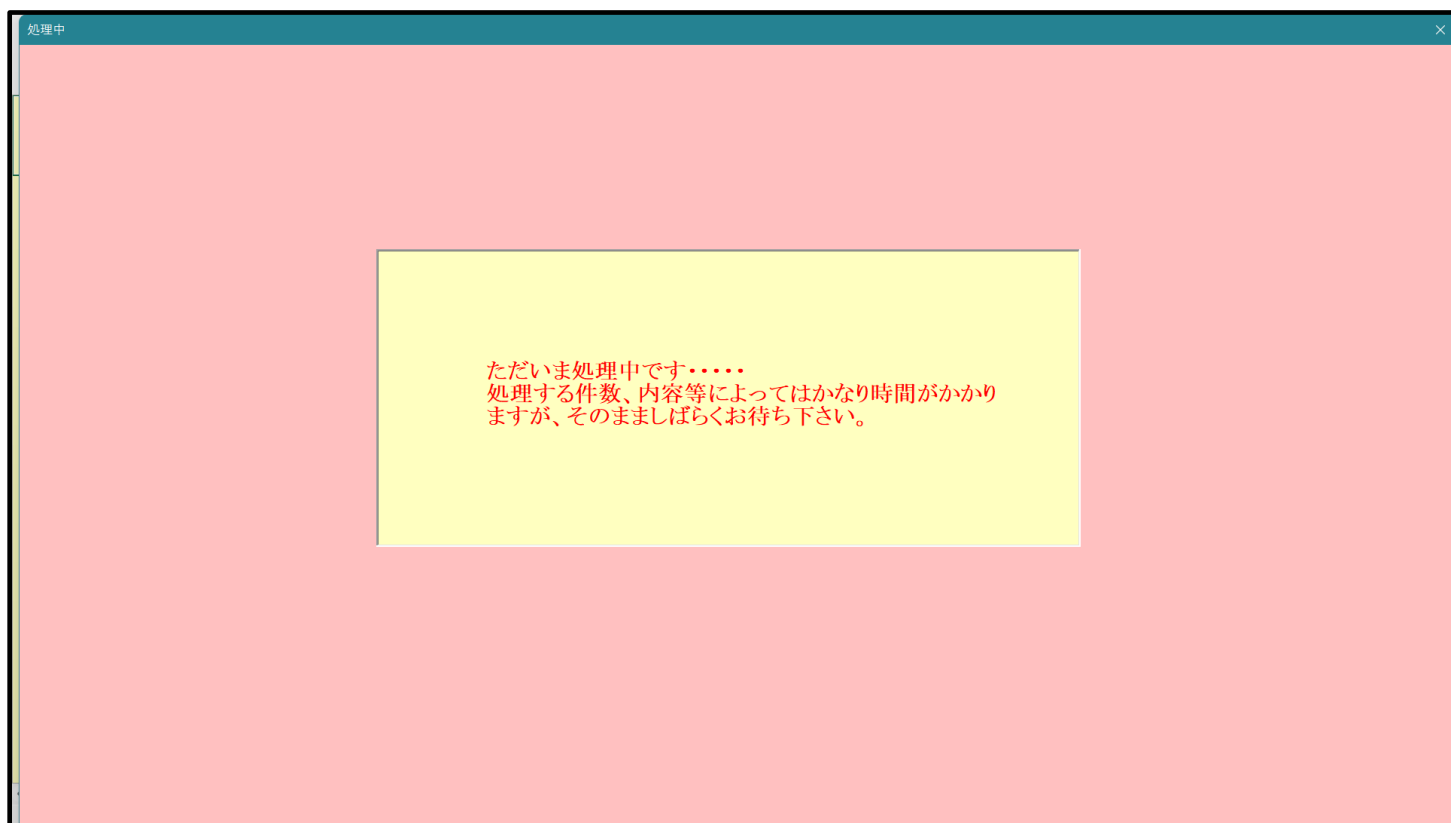
とし、コマンドボタン

行挿入処理開始

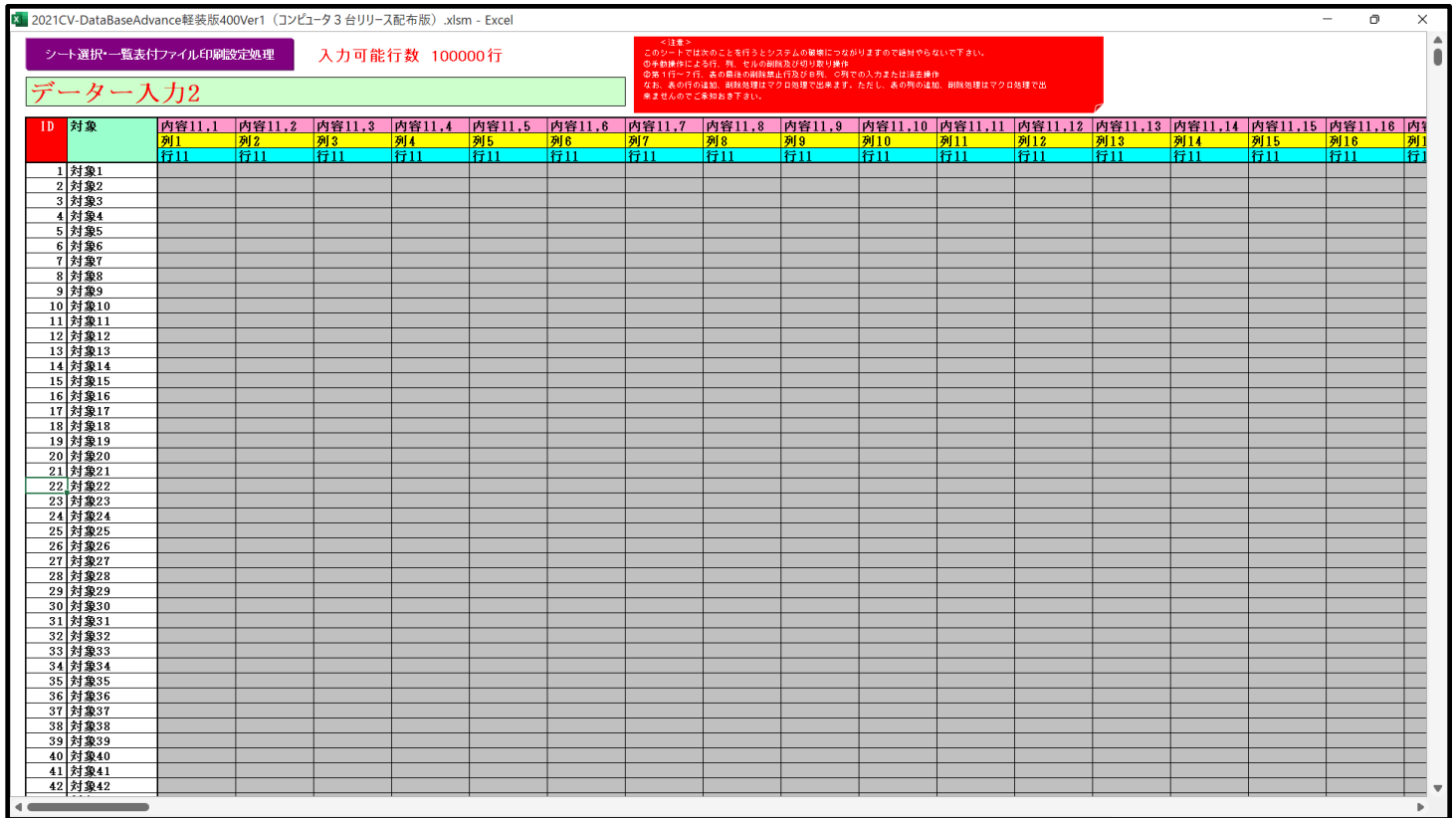
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図150]が表示され、再び[図151]が表示されたら処理は完了です。

[図150]



[図 1 5 3]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

16. ファイル



調査書等各種証明書作成システム Ver1 試用版 (CV-DataBase8000Ver1 サンプル) .xslm



調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ 台リリース版 サンプル) .xslm

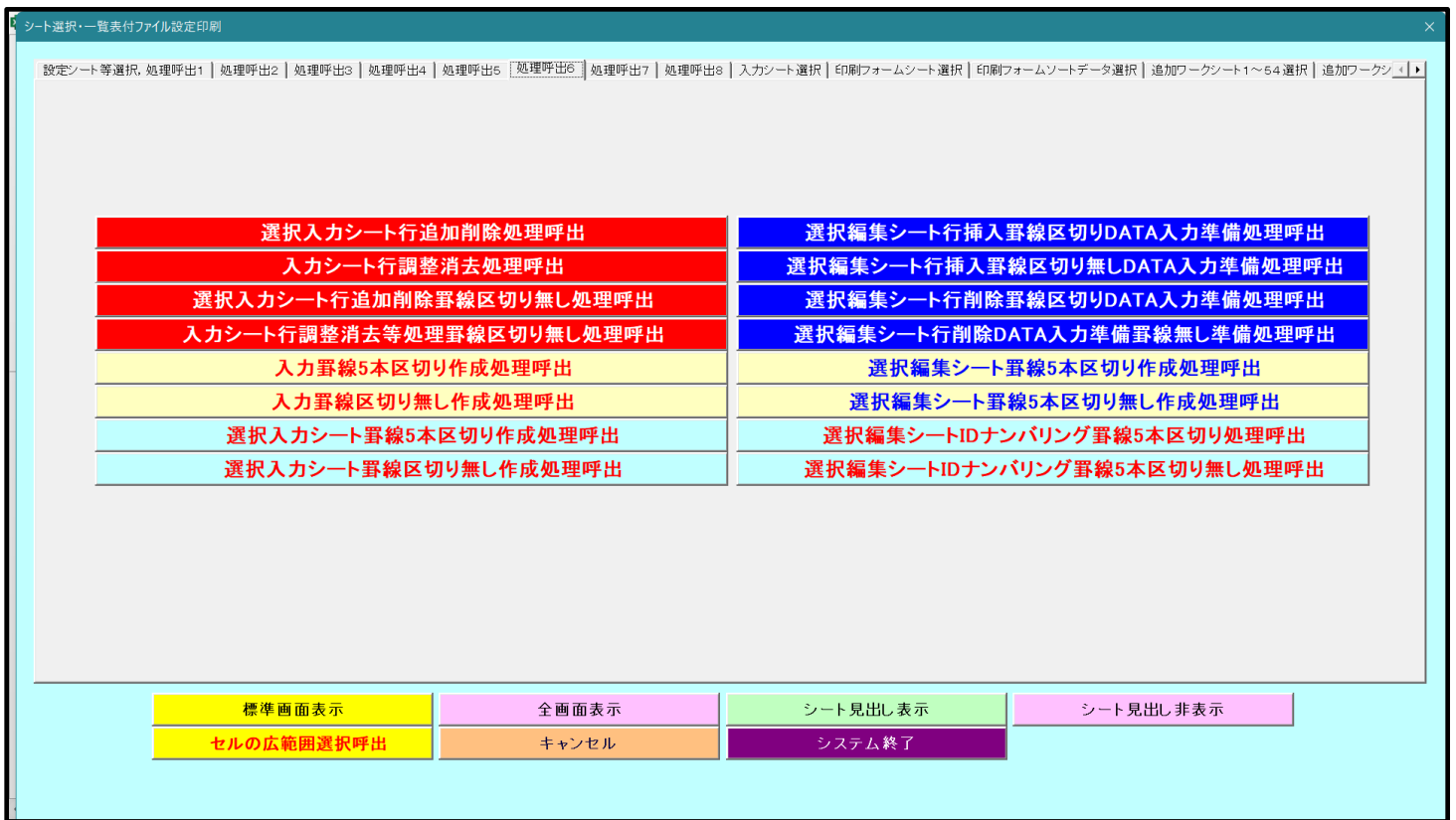
の場合：

ファイル「2021 調査書等各種証明書作成システム Ver1 (CV-DataBase8000Ver1 コンピュータ 3台リリース版 サンプル) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の [図 1 5 4]画面になります。

[図 1 5 4]



全ての入力シートの最初の入力可能行数が500行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 1 5 4]のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 5 5]の画面になります。

[図 1 5 5]

選択入カシート行追加削除処理

Page1

1 行の指定

3 処理

全シート選択
全チェックキャンセル

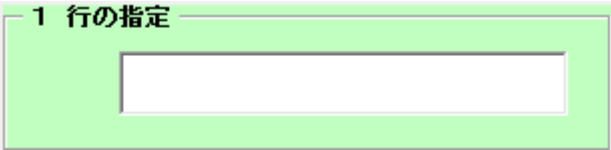
左1の設定キャンセル
行追加削除処理開始

2 行追加削除入カシートの選択

入力AA1(調査書等氏名, 科目名)
 入力AA2(調査書等評定)
 入力AA3(調査書等単位数)
 入力AA4(修得単位計, 成績証明書備考)
 入力AA5(調査書等出欠・コメント等)
 入力AA6(通知表科目)
 入力AA7(通知表各科目1・2学期評価)
 入力AA8(通知表各科目3学期評価)
 入力AA9(通知表学年評価)
 入力AA10(通知表学年評定)
 入力AB1(通知表履修単数・修得単位数)
 入力AB2(通知表各科目1・2学期欠課)
 入力AB3(通知表各科目3学期欠課)
 入力AB4(通知表科目欠課出欠備考修得単位数)
 入力AB5(高校入試通知書等作成データー)
 入力AB6
 入力AB7
 入力AB8
 入力AB9
 入力AB10

入力BA1
 入力BA2
 入力BA3
 入力BA4
 入力BA5
 入力BA6
 入力BA7
 入力BA8
 入力BA9
 入力BA10
 入力BB1
 入力BB2
 入力BB3
 入力BB4
 入力BB5
 入力BB6
 入力BB7
 入力BB8
 入力BB9
 入力BB10

キャンセル シート選択・一覧表付ファイル設定印刷へ

上の[図 1 5 5]の画面で  の部分に

1 行の指定

10000

と入力し、

2 行追加削除入カシートの選択

入力AA1(調査書等氏名, 科目名)
 入力AA2(調査書等評定)
 入力AA3(調査書等単位数)
 入力AA4(修得単位計, 成績証明書備考)
 入力AA5(調査書等出欠・コメント等)
 入力AA6(通知表科目)
 入力AA7(通知表各科目1・2学期評価)
 入力AA8(通知表各科目3学期評価)
 入力AA9(通知表学年評価)
 入力AA10(通知表学年評定)
 入力AB1(通知表履修単数・修得単位数)
 入力AB2(通知表各科目1・2学期欠課)
 入力AB3(通知表各科目3学期欠課)
 入力AB4(通知表科目欠課出欠備考修得単位数)
 入力AB5(高校入試通知書等作成データー)
 入力AB6
 入力AB7
 入力AB8
 入力AB9
 入力AB10

入力BA1(高校入試通知書等作成データー)
 入力BA2
 入力BA3
 入力BA4
 入力BA5
 入力BA6
 入力BA7
 入力BA8
 入力BA9
 入力BA10
 入力BB1
 入力BB2
 入力BB3
 入力BB4
 入力BB5
 入力BB6
 入力BB7
 入力BB8
 入力BB9
 入力BB10

にチェックを入れて

2 行追加削除入力シートの選択

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(調査書等氏名、科目名)	<input type="checkbox"/> 入力BA1(高校入試通知書等作成データ)
<input type="checkbox"/> 入力AA2(調査書等評定)	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3(調査書等単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4(修得単位数、成績証明書備考)	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5(調査書等出欠・コメント等)	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6(通知表科目)	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7(通知表各科目1・2学期評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8(通知表各科目3学期評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9(通知表学年評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10(通知表学年評定)	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1(通知表履修単数・修得単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2(通知表各科目1・2学期欠課)	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3(通知表各科目3学期欠課)	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4(通知表科目欠課出欠備考修得単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5(高校入試通知書等作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

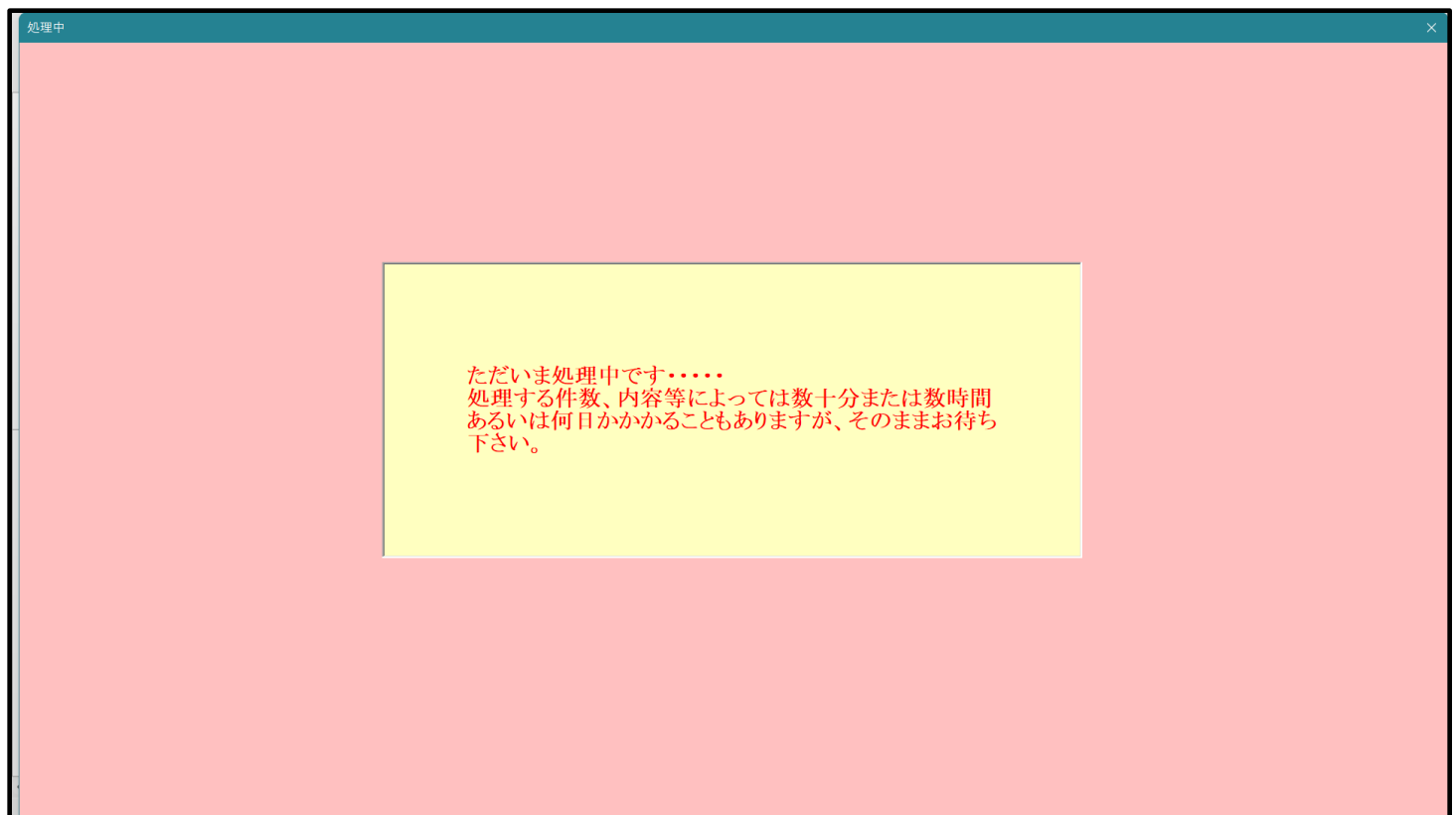
として、コマンドボタン

行追加削除処理開始

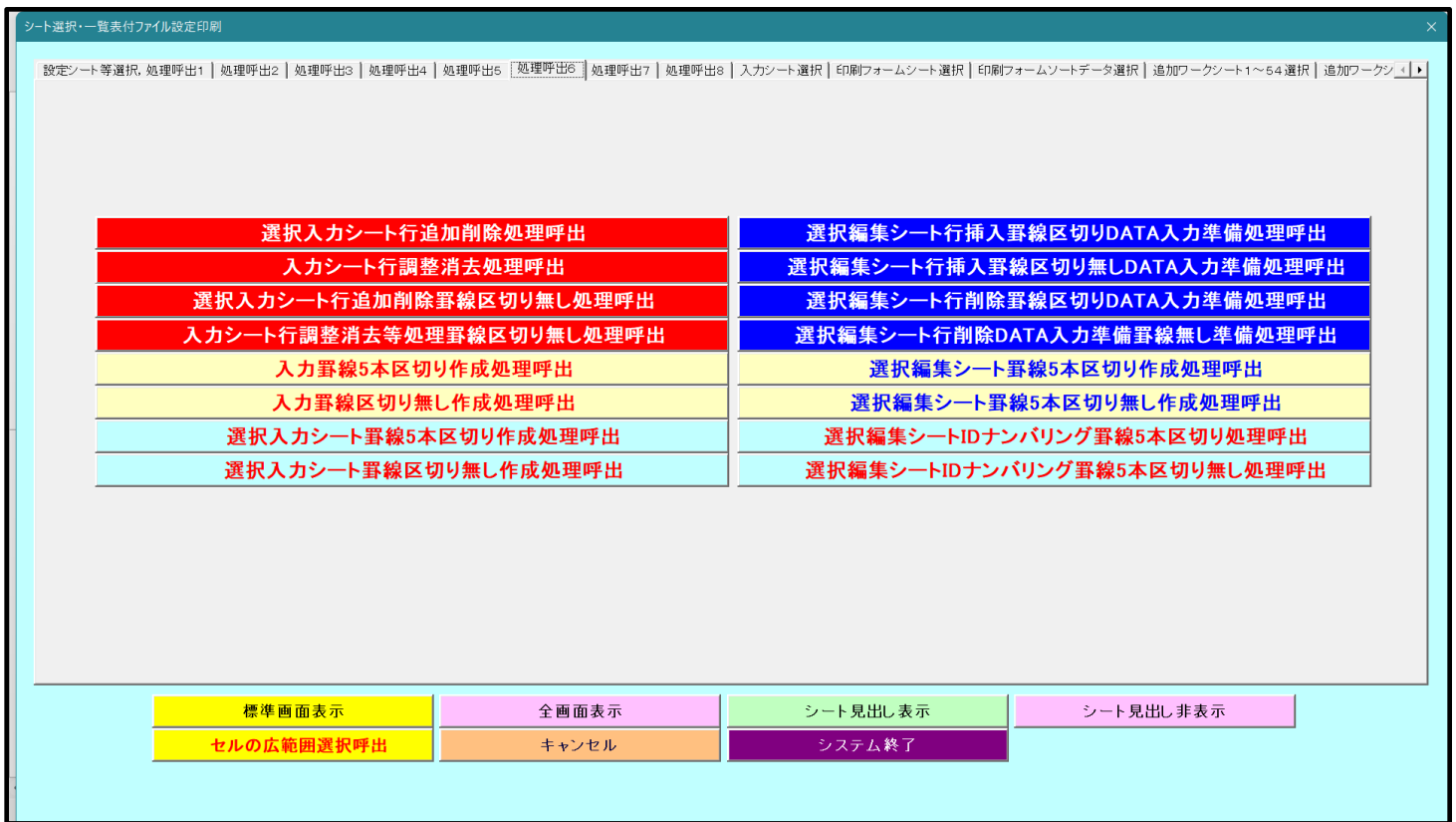
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の

[図 1 5 6]が表示され、再び[図 1 5 7]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 5 6]

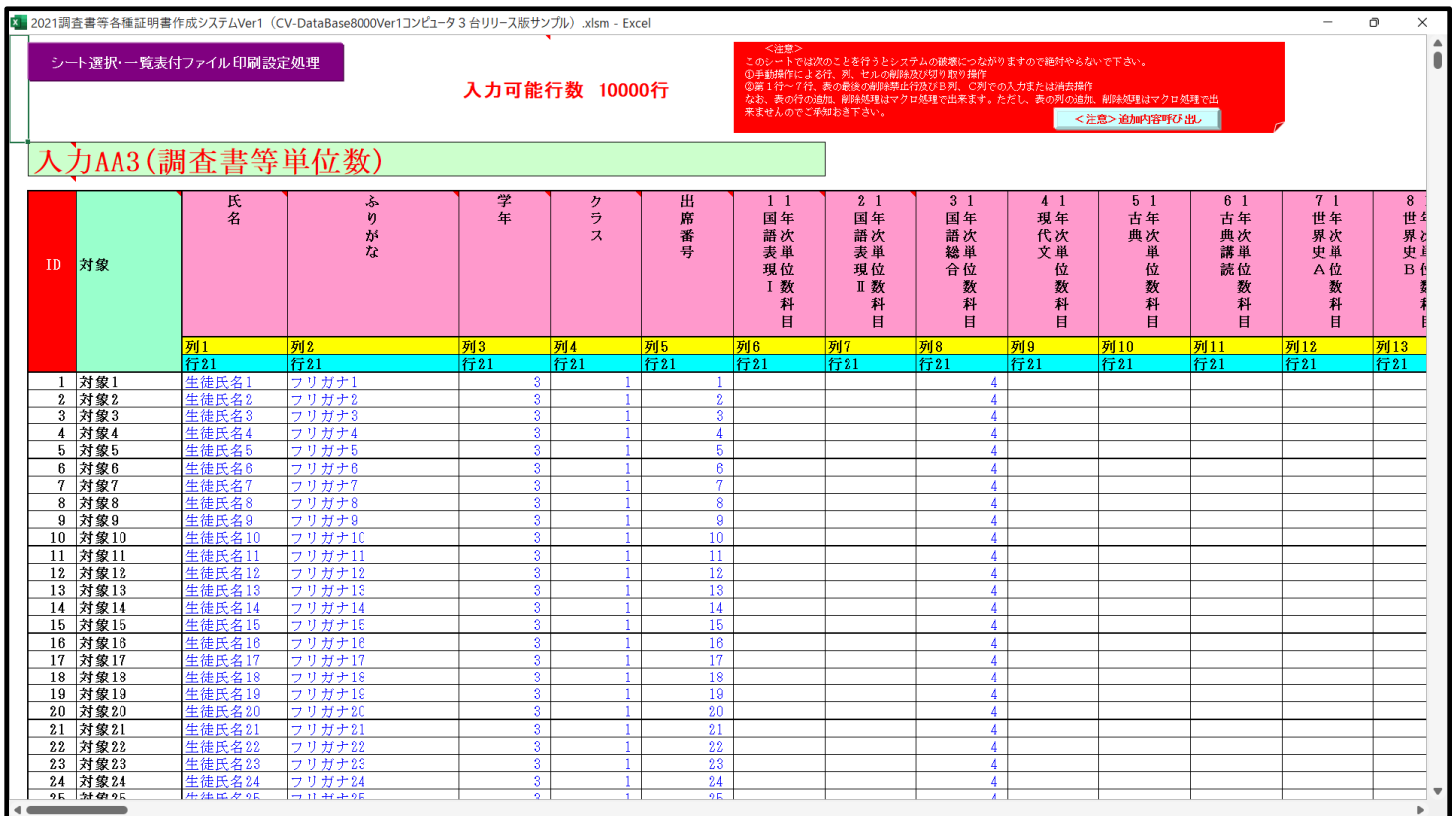


[図 1 5 7]



この処理の結果、シート「入力 AA1(調査書等氏名, 科目名)」, 「入力 AA3(調査書等単位数)」の入力可能行数はともに 10000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 1 5 8], [図 1 5 9]のようになります。

[図 1 5 8]



[図 1 5 9]

2021調査書等各種証明書作成システムVer1 (CV-DataBase8000Ver1コンピュータ3台リリース版サンプル).xism - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

入力可能行数 10000行

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破壊につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②1行～1万行、最後の行の削除操作は行単位、③列中の入力または補完操作
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ません。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでご注意ください。
<注意> 追加内容呼び出し

入力AA3(調査書等単位数)

ID	対象	氏名	ふりがな	学年	クラス	出席番号	1 1年次単位数科目	2 1年次単位数科目	3 1年次単位数科目	4 1年次単位数科目	5 1年次単位数科目	6 1年次単位数科目	7 1年次単位数科目	8 1年次単位数科目
							1 国語表現Ⅰ	2 国語表現Ⅱ	3 国語総合	4 現代文	5 古典	6 古典講読	7 世界史A	8 世界史B
列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13		
行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	行21	
1	対象1	生徒氏名1	フリガナ1	3	1	1			4					
2	対象2	生徒氏名2	フリガナ2	3	1	2			4					
3	対象3	生徒氏名3	フリガナ3	3	1	3			4					
4	対象4	生徒氏名4	フリガナ4	3	1	4			4					
5	対象5	生徒氏名5	フリガナ5	3	1	5			4					
6	対象6	生徒氏名6	フリガナ6	3	1	6			4					
7	対象7	生徒氏名7	フリガナ7	3	1	7			4					
8	対象8	生徒氏名8	フリガナ8	3	1	8			4					
9	対象9	生徒氏名9	フリガナ9	3	1	9			4					
10	対象10	生徒氏名10	フリガナ10	3	1	10			4					
11	対象11	生徒氏名11	フリガナ11	3	1	11			4					
12	対象12	生徒氏名12	フリガナ12	3	1	12			4					
13	対象13	生徒氏名13	フリガナ13	3	1	13			4					
14	対象14	生徒氏名14	フリガナ14	3	1	14			4					
15	対象15	生徒氏名15	フリガナ15	3	1	15			4					
16	対象16	生徒氏名16	フリガナ16	3	1	16			4					
17	対象17	生徒氏名17	フリガナ17	3	1	17			4					
18	対象18	生徒氏名18	フリガナ18	3	1	18			4					
19	対象19	生徒氏名19	フリガナ19	3	1	19			4					
20	対象20	生徒氏名20	フリガナ20	3	1	20			4					
21	対象21	生徒氏名21	フリガナ21	3	1	21			4					
22	対象22	生徒氏名22	フリガナ22	3	1	22			4					
23	対象23	生徒氏名23	フリガナ23	3	1	23			4					
24	対象24	生徒氏名24	フリガナ24	3	1	24			4					
25	対象25	生徒氏名25	フリガナ25	3	1	25			4					

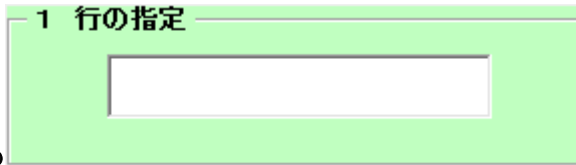
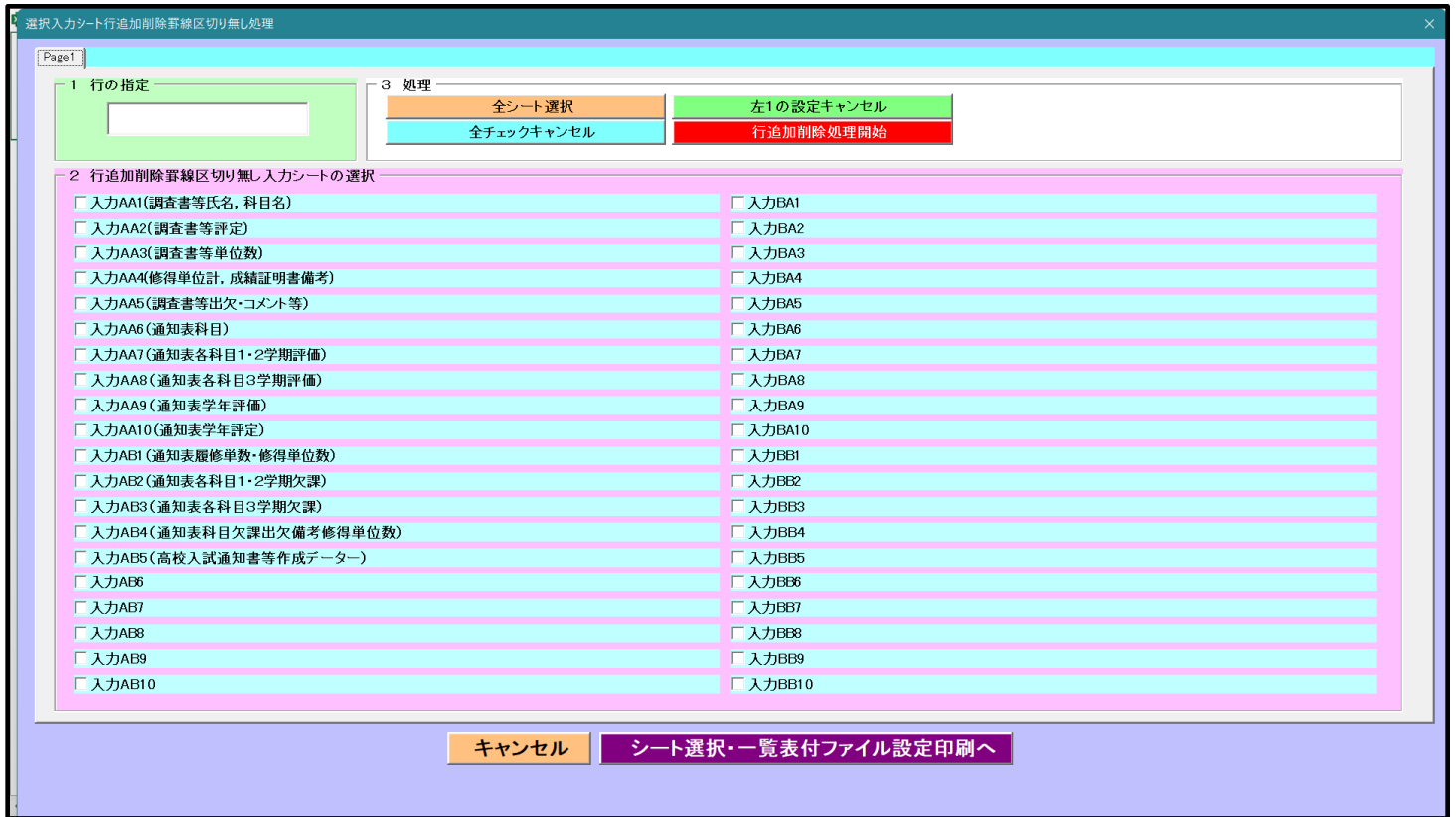
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1 5 4]の画面で、コマンドボタン

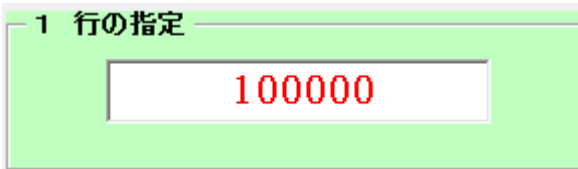
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 6 0]の画面が表示されます。

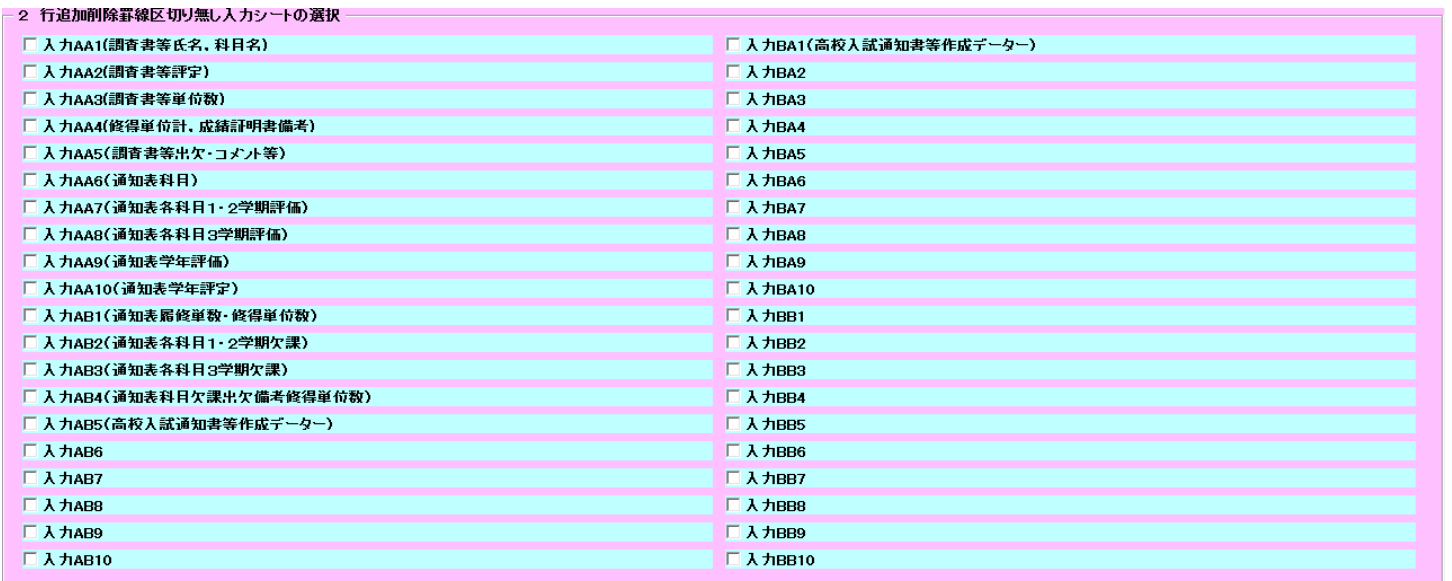
[図 1 6 0]



上の[図 8 6]の画面の の部分に



と入力し、



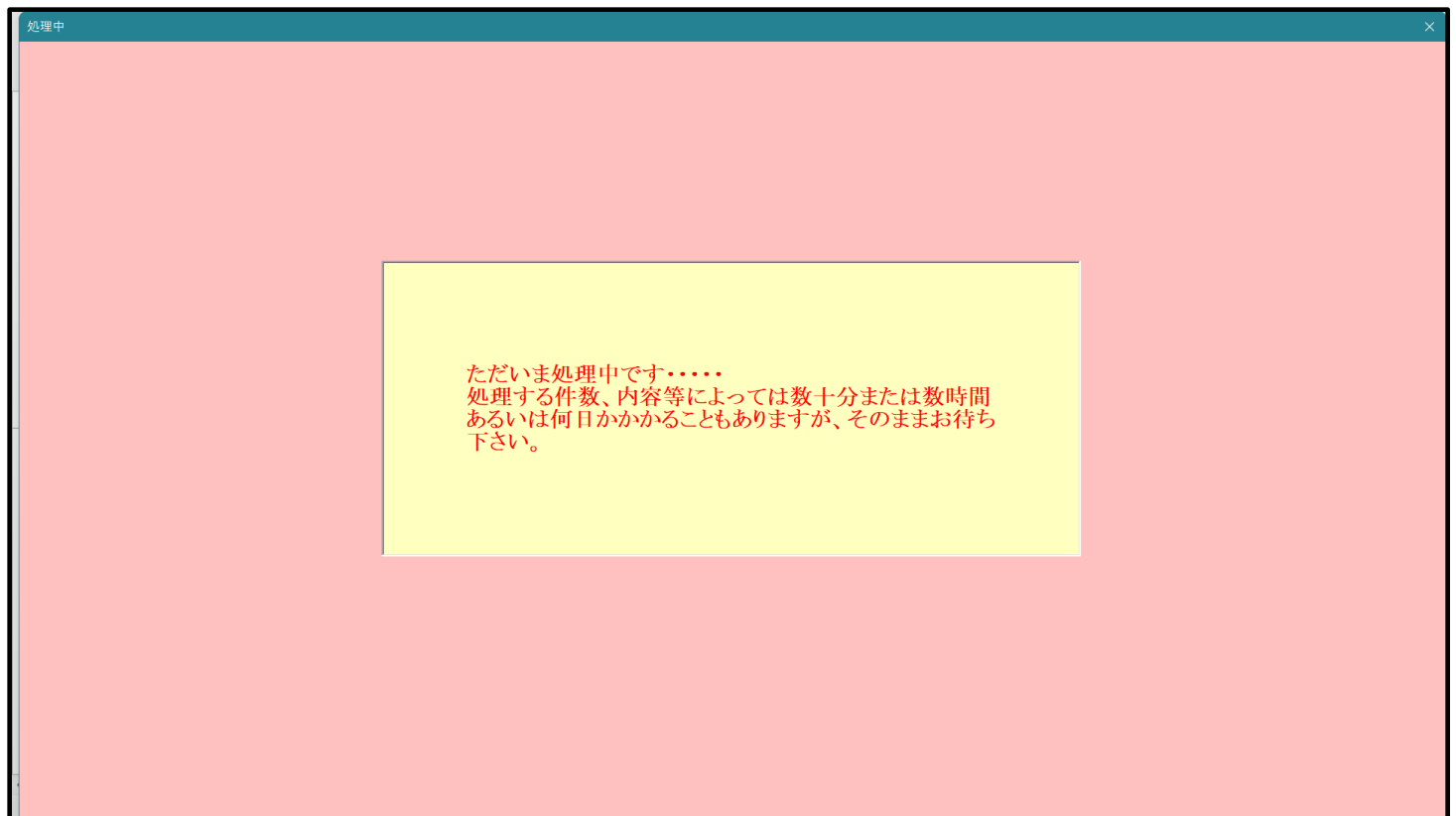
にチェックを入れ、

2 行追加削除登録区切り無し入力シートの選択

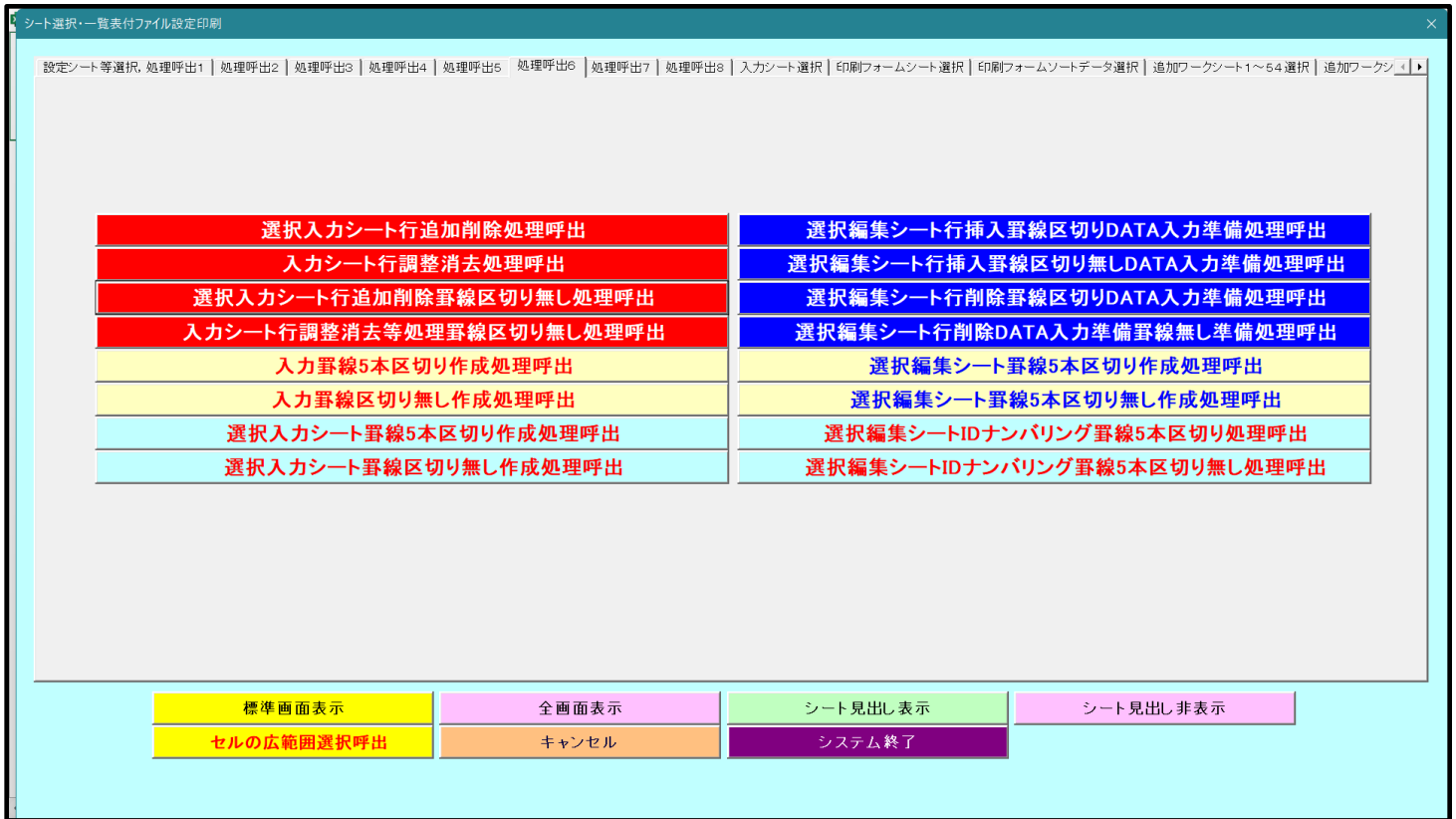
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(調査書等氏名、科目名)	<input type="checkbox"/> 入力BA1(高校入試通知書等作成データ)
<input type="checkbox"/> 入力AA2(調査書等評定)	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3(調査書等単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4(修得単位数計、成績証明書備考)	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5(調査書等出欠・コメント等)	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6(通知表科目)	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7(通知表各科目1・2学期評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8(通知表各科目3学期評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9(通知表学年評価)	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10(通知表学年評定)	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1(通知表履修単数・修得単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2(通知表各科目1・2学期欠課)	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3(通知表各科目3学期欠課)	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4(通知表科目欠課出欠備考修得単位数)	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5(高校入試通知書等作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図161]が表示され、再び[図162]が表示されたら処理は完了です。

[図161]

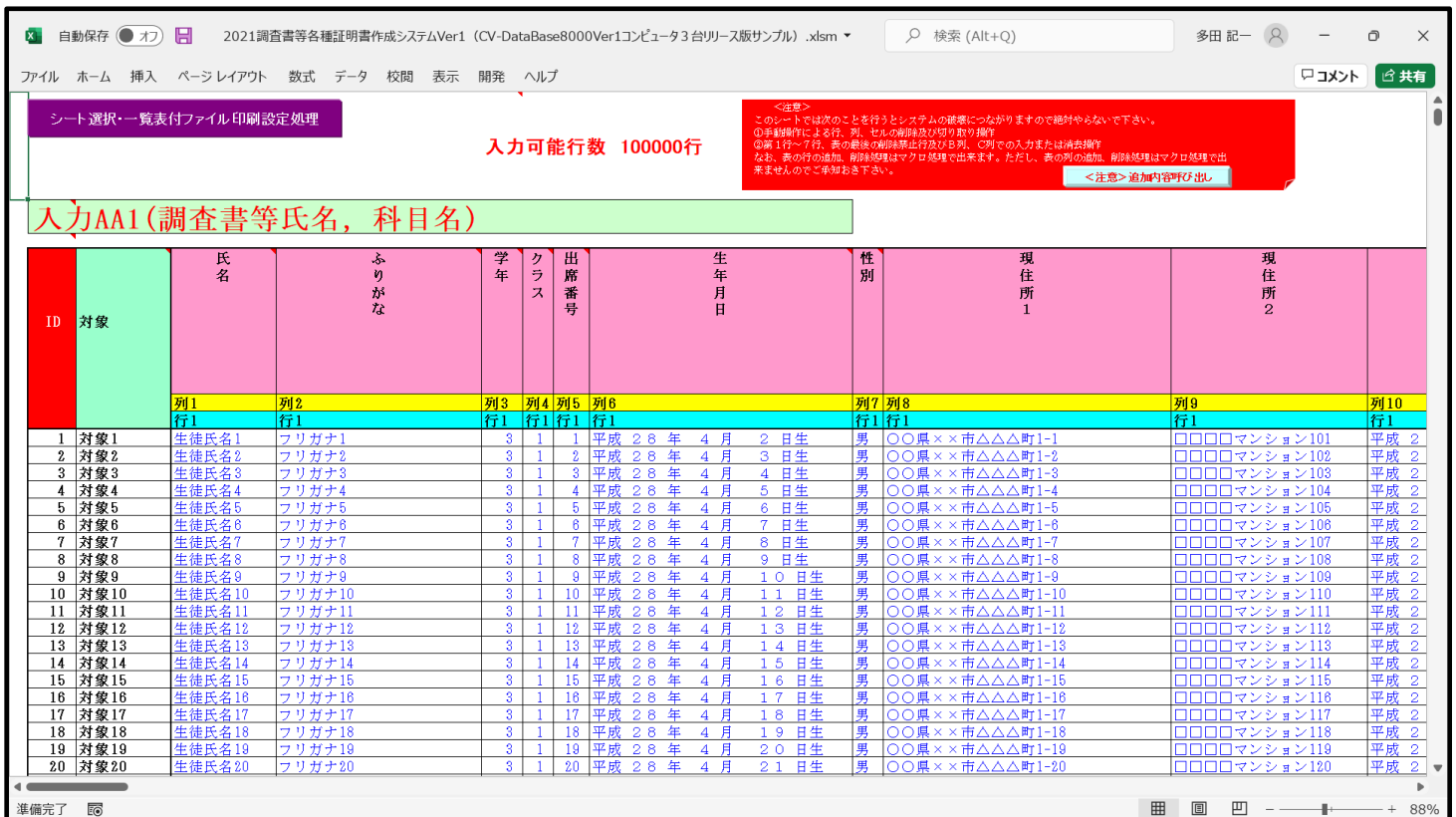


[図 1 6 2]



この処理の結果、シート「入力 AA1(調査書等氏名, 科目名)」, 「入力 AA3(調査書等单位数)」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 1 6 3], [図 1 6 4]のようになります。

[図 1 6 3]



[図 1 6 4]

入力可能行数 100000行

入力AA3 (調査書等単位数)

ID	対象	氏名	ふりがな	学年	クラス	出席番号	1 国語 1 年次単 位教科 目	2 国語 2 年次単 位教科 目	3 国語 3 年次単 位教科 目	4 現代 文 4 年次単 位教科 目	5 古典 5 年次単 位教科 目	6 古典 6 年次単 位教科 目	7 世界 7 年次単 位教科 目	8 世界 8 年次単 位教科 目
		列1 行21	列2 行21	列3 行21	列4 行21	列5 行21	列6 行21	列7 行21	列8 行21	列9 行21	列10 行21	列11 行21	列12 行21	列13 行21
1	対象1	生徒氏名1	フリガナ1	3	1	1				4				
2	対象2	生徒氏名2	フリガナ2	3	1	2				4				
3	対象3	生徒氏名3	フリガナ3	3	1	3				4				
4	対象4	生徒氏名4	フリガナ4	3	1	4				4				
5	対象5	生徒氏名5	フリガナ5	3	1	5				4				
6	対象6	生徒氏名6	フリガナ6	3	1	6				4				
7	対象7	生徒氏名7	フリガナ7	3	1	7				4				
8	対象8	生徒氏名8	フリガナ8	3	1	8				4				
9	対象9	生徒氏名9	フリガナ9	3	1	9				4				
10	対象10	生徒氏名10	フリガナ10	3	1	10				4				
11	対象11	生徒氏名11	フリガナ11	3	1	11				4				
12	対象12	生徒氏名12	フリガナ12	3	1	12				4				
13	対象13	生徒氏名13	フリガナ13	3	1	13				4				
14	対象14	生徒氏名14	フリガナ14	3	1	14				4				
15	対象15	生徒氏名15	フリガナ15	3	1	15				4				
16	対象16	生徒氏名16	フリガナ16	3	1	16				4				
17	対象17	生徒氏名17	フリガナ17	3	1	17				4				
18	対象18	生徒氏名18	フリガナ18	3	1	18				4				
19	対象19	生徒氏名19	フリガナ19	3	1	19				4				
20	対象20	生徒氏名20	フリガナ20	3	1	20				4				

上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

17. ファイル

- 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版 (CV-DataBase100Ver1 サンプル) .xslm
- 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ 台リリース版) .xslm

の場合：

ファイル「2021 平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1 コンピュータ3台リリース版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックしてユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の[図 1 6 5]画面になります。

[図 1 6 5]



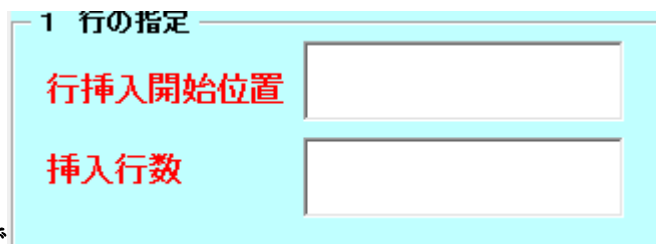
シート「入力 AA1（3 学年生徒データ）」の最初の入力可能行数が 250 行という前提で、入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 1 6 5]のコマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り有り処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 6 6]の画面になります。

[図 1 6 6]



上の[図 1 2]の画面で

の部分に



と入力し、

入力AA1(3学年生徒データ)

にチェックを入れて

入力AA1(3学年生徒データ)

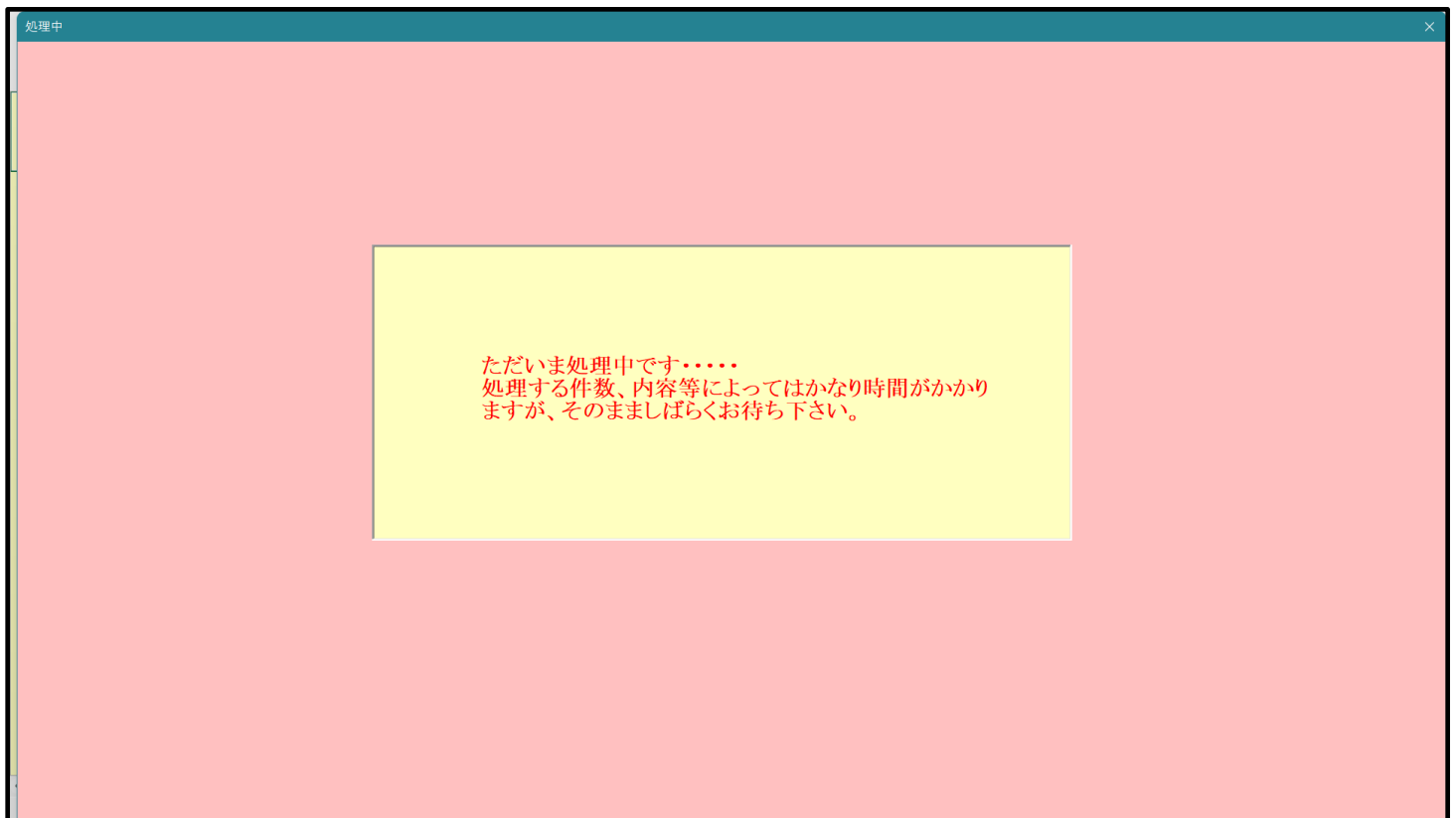
として、コマンドボタン

行挿入処理開始

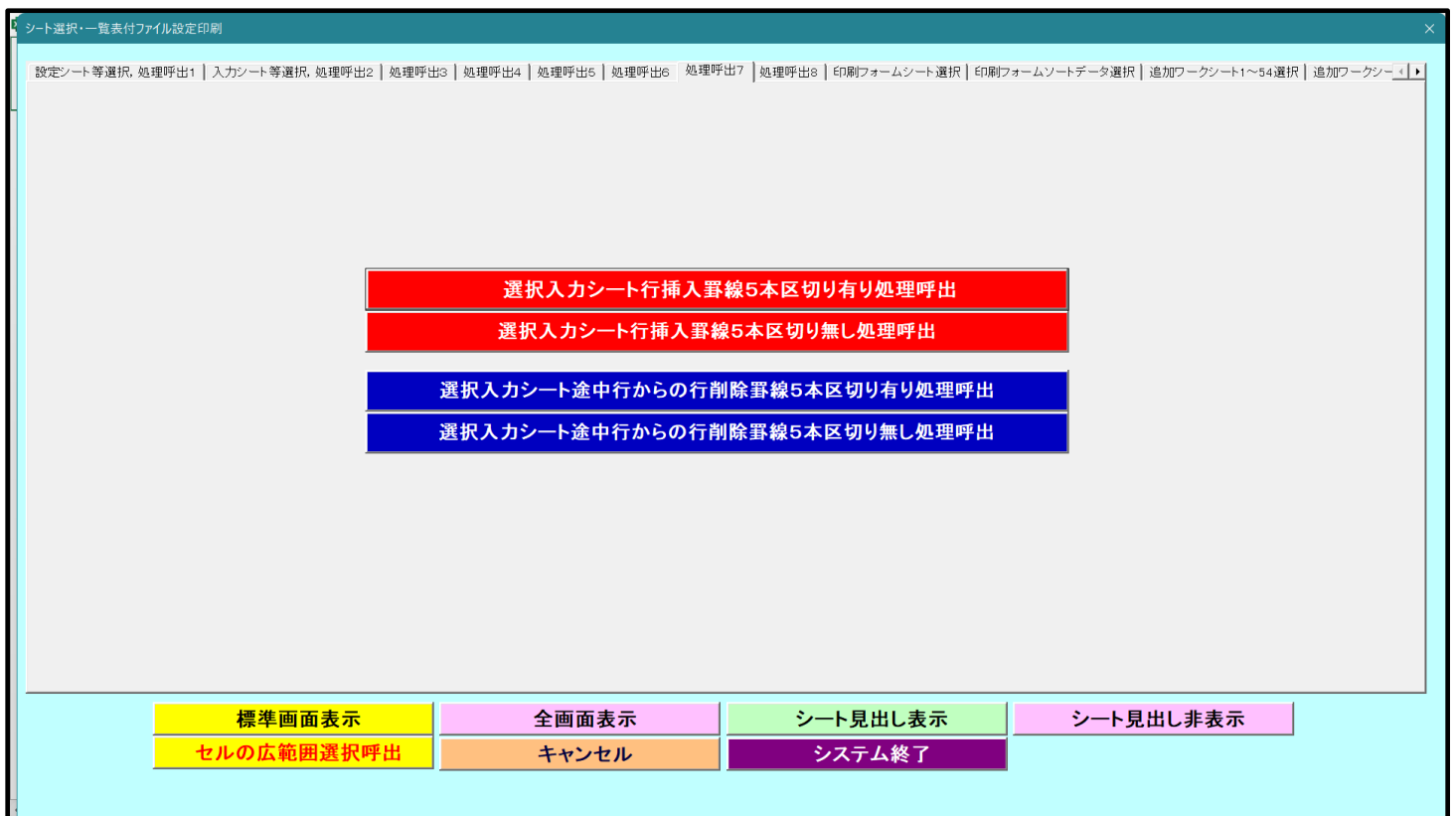
をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 6 7]が表示さ

れ、再び[図 1 6 8]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 6 7]



[図 1 6 8]



この処理の結果、シート「入力 AA1 (3 学年生徒データー)」の入力可能行数は 10050 行となり、シートの状況は次の[図 1 6 9]のようになります。

[図 1 6 9]

2021平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1コンピュータ3台リリース版) .xlsx - Excel

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 10000行**

入力AA1 (3学年生徒データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらない下さい。
○手動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
○第1行(ヘッダ)行、表の最後の行(停止行及びB列、C列)での入力または消去操作
○マクロのインストール処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で発生します。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で発生しませんのでお知らせ下さい。

<注意> 追加内容呼び出し

ID	対象	3年次NO		3年組		3No		氏名		ふりがな	性別	保護者氏名		郵便番号	住所1		内容1,10	預金者氏名		預金者氏名フリガ	
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8			列9	列10		列11	列12					
1	対象1	3101	1	1	生徒氏名1	フリガナ1	男	保護者氏名1	郵便番号1	〇〇市×××町1-1-1								預金者氏名1	預金者フリガナ1		
2	対象2	3102	1	2	生徒氏名2	フリガナ2	男	保護者氏名2	郵便番号2	〇〇市×××町1-1-2								預金者氏名2	預金者フリガナ2		
3	対象3	3103	1	3	生徒氏名3	フリガナ3	男	保護者氏名3	郵便番号3	〇〇市×××町1-1-3								預金者氏名3	預金者フリガナ3		
4	対象4	3104	1	4	生徒氏名4	フリガナ4	男	保護者氏名4	郵便番号4	〇〇市×××町1-1-4								預金者氏名4	預金者フリガナ4		
5	対象5	3105	1	5	生徒氏名5	フリガナ5	男	保護者氏名5	郵便番号5	〇〇市×××町1-1-5								預金者氏名5	預金者フリガナ5		
6	対象6	3106	1	6	生徒氏名6	フリガナ6	男	保護者氏名6	郵便番号6	〇〇市×××町1-1-6								預金者氏名6	預金者フリガナ6		
7	対象7	3107	1	7	生徒氏名7	フリガナ7	男	保護者氏名7	郵便番号7	〇〇市×××町1-1-7								預金者氏名7	預金者フリガナ7		
8	対象8	3108	1	8	生徒氏名8	フリガナ8	男	保護者氏名8	郵便番号8	〇〇市×××町1-1-8								預金者氏名8	預金者フリガナ8		
9	対象9	3109	1	9	生徒氏名9	フリガナ9	男	保護者氏名9	郵便番号9	〇〇市×××町1-1-9								預金者氏名9	預金者フリガナ9		
10	対象10	3110	1	10	生徒氏名10	フリガナ10	男	保護者氏名10	郵便番号10	〇〇市×××町1-1-10								預金者氏名10	預金者フリガナ10		
11	対象11	3111	1	11	生徒氏名11	フリガナ11	男	保護者氏名11	郵便番号11	〇〇市×××町1-1-11								預金者氏名11	預金者フリガナ11		
12	対象12	3112	1	12	生徒氏名12	フリガナ12	男	保護者氏名12	郵便番号12	〇〇市×××町1-1-12								預金者氏名12	預金者フリガナ12		
13	対象13	3113	1	13	生徒氏名13	フリガナ13	男	保護者氏名13	郵便番号13	〇〇市×××町1-1-13								預金者氏名13	預金者フリガナ13		
14	対象14	3114	1	14	生徒氏名14	フリガナ14	男	保護者氏名14	郵便番号14	〇〇市×××町1-1-14								預金者氏名14	預金者フリガナ14		
15	対象15	3115	1	15	生徒氏名15	フリガナ15	男	保護者氏名15	郵便番号15	〇〇市×××町1-1-15								預金者氏名15	預金者フリガナ15		
16	対象16	3116	1	16	生徒氏名16	フリガナ16	男	保護者氏名16	郵便番号16	〇〇市×××町1-1-16								預金者氏名16	預金者フリガナ16		
17	対象17	3117	1	17	生徒氏名17	フリガナ17	男	保護者氏名17	郵便番号17	〇〇市×××町1-1-17								預金者氏名17	預金者フリガナ17		
18	対象18	3118	1	18	生徒氏名18	フリガナ18	男	保護者氏名18	郵便番号18	〇〇市×××町1-1-18								預金者氏名18	預金者フリガナ18		
19	対象19	3119	1	19	生徒氏名19	フリガナ19	男	保護者氏名19	郵便番号19	〇〇市×××町1-1-19								預金者氏名19	預金者フリガナ19		
20	対象20	3120	1	20	生徒氏名20	フリガナ20	男	保護者氏名20	郵便番号20	〇〇市×××町1-1-20								預金者氏名20	預金者フリガナ20		
21	対象21	3121	1	21	生徒氏名21	フリガナ21	男	保護者氏名21	郵便番号21	〇〇市×××町1-1-21								預金者氏名21	預金者フリガナ21		
22	対象22	3122	1	22	生徒氏名22	フリガナ22	男	保護者氏名22	郵便番号22	〇〇市×××町1-1-22								預金者氏名22	預金者フリガナ22		
23	対象23	3123	1	23	生徒氏名23	フリガナ23	女	保護者氏名23	郵便番号23	〇〇市×××町1-1-23								預金者氏名23	預金者フリガナ23		
24	対象24	3124	1	24	生徒氏名24	フリガナ24	女	保護者氏名24	郵便番号24	〇〇市×××町1-1-24								預金者氏名24	預金者フリガナ24		
25	対象25	3125	1	25	生徒氏名25	フリガナ25	女	保護者氏名25	郵便番号25	〇〇市×××町1-1-25								預金者氏名25	預金者フリガナ25		
26	対象26	3126	1	26	生徒氏名26	フリガナ26	女	保護者氏名26	郵便番号26	〇〇市×××町1-1-26								預金者氏名26	預金者フリガナ26		
27	対象27	3127	1	27	生徒氏名27	フリガナ27	女	保護者氏名27	郵便番号27	〇〇市×××町1-1-27								預金者氏名27	預金者フリガナ27		
28	対象28	3128	1	28	生徒氏名28	フリガナ28	女	保護者氏名28	郵便番号28	〇〇市×××町1-1-28								預金者氏名28	預金者フリガナ28		
29	対象29	3129	1	29	生徒氏名29	フリガナ29	女	保護者氏名29	郵便番号29	〇〇市×××町1-1-29								預金者氏名29	預金者フリガナ29		
30	対象30	3130	1	30	生徒氏名30	フリガナ30	女	保護者氏名30	郵便番号30	〇〇市×××町1-1-30								預金者氏名30	預金者フリガナ30		
31	対象31	3131	1	31	生徒氏名31	フリガナ31	女	保護者氏名31	郵便番号31	〇〇市×××町1-1-31								預金者氏名31	預金者フリガナ31		
32	対象32	3132	1	32	生徒氏名32	フリガナ32	女	保護者氏名32	郵便番号32	〇〇市×××町1-1-32								預金者氏名32	預金者フリガナ32		
33	対象33	3133	1	33	生徒氏名33	フリガナ33	女	保護者氏名33	郵便番号33	〇〇市×××町1-1-33								預金者氏名33	預金者フリガナ33		
34	対象34	3134	1	34	生徒氏名34	フリガナ34	女	保護者氏名34	郵便番号34	〇〇市×××町1-1-34								預金者氏名34	預金者フリガナ34		

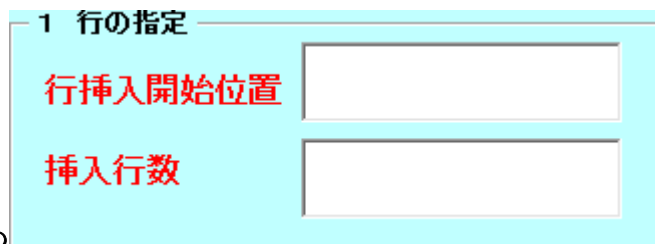
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりますが、入力行を5万行以上のように大量にしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1 6 5]の画面で、コマンドボタン

選択入力シート行挿入罫線5本区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 1 7 0]の画面が表示されます。

[図 1 7 0]



上の[図 1 7 0]の画面の の部分に



と入力し、

入力AA1(3学年生徒データー)

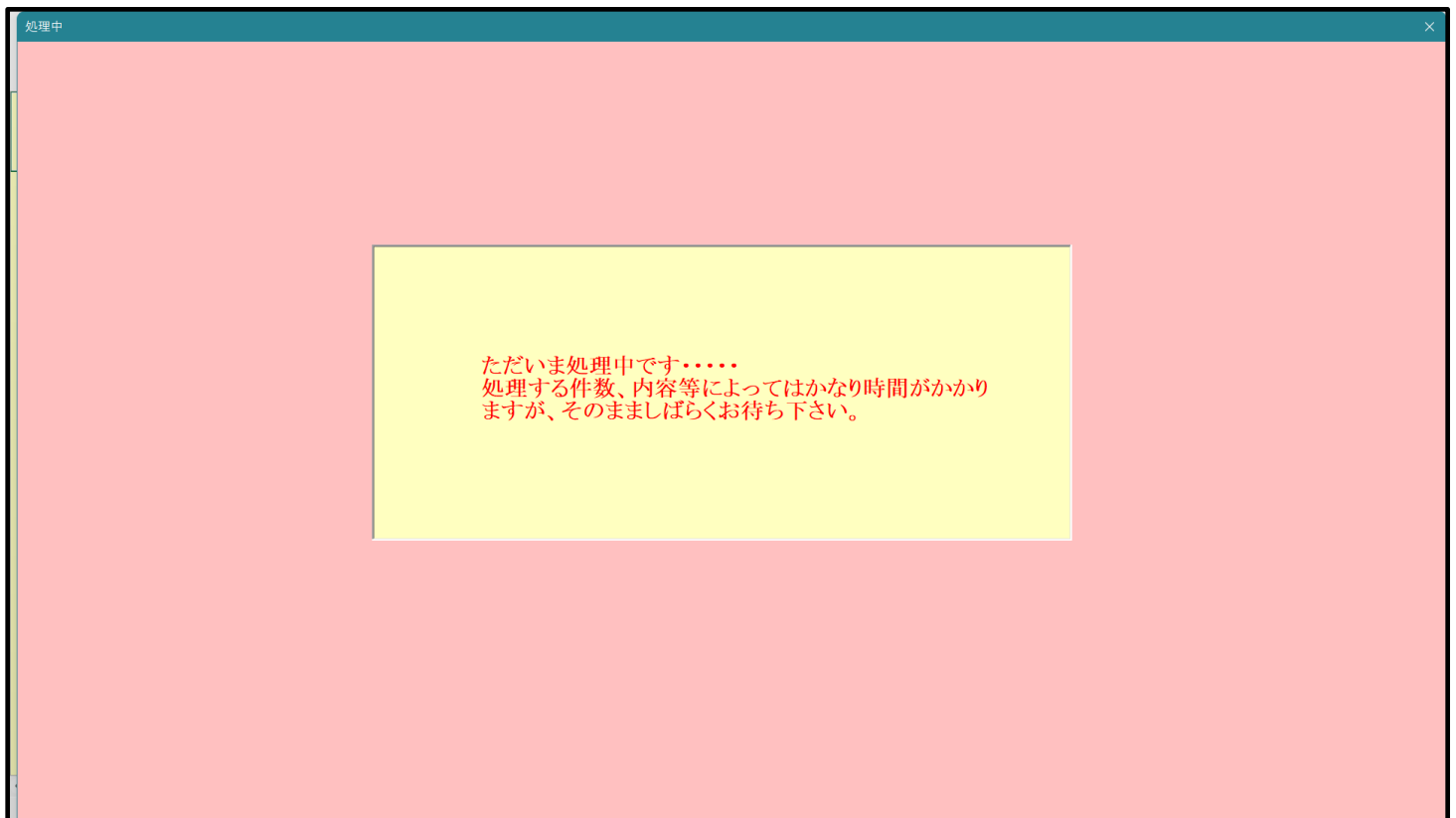
にチェックを入れ、

入力AA1(3学年生徒データー)

行挿入処理開始

とし、コマンドボタン をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図 1 7 1]が表示され、再び[図 1 7 2]が表示されたら処理は完了です。

[図 1 7 1]



[図 1 7 2]



この処理の結果、シート「入力 AA1」の入力化の行数は 100000 行となり、シートの状況は次の[図 1 7 3]のようになります。

[図 1 7 3]

2021平成28年度第3学年個人別会計報告学年分 (CV-DataBase100Ver1コンピュータ3台リリース版) .xlsx - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 **入力可能行数 100000行**

入力AA1 (3学年生徒データ)

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①の自動操作による行、列、セルの削除及び切り取り操作
②の第1行/1列、表の最後の行/列の削除、C列での入力または消去操作
③のユーザーの削除
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出来ませんのでお知らせ下さい。

<注意> 追加内容呼び出し

ID	対象	3年次NO	3年組	3No	氏名	ふりがな	性別	保護者氏名	郵便番号	住所1	内容1,10	預金者氏名	預金者氏名フリガ
		列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12
		行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1	行1
1	対象1	3101	1	1	生徒氏名1	フリガナ1	男	保護者氏名1	郵便番号1	〇〇市×××町1-1-1		預金者氏名1	預金者フリガナ1
2	対象2	3102	1	2	生徒氏名2	フリガナ2	男	保護者氏名2	郵便番号2	〇〇市×××町1-1-2		預金者氏名2	預金者フリガナ2
3	対象3	3103	1	3	生徒氏名3	フリガナ3	男	保護者氏名3	郵便番号3	〇〇市×××町1-1-3		預金者氏名3	預金者フリガナ3
4	対象4	3104	1	4	生徒氏名4	フリガナ4	男	保護者氏名4	郵便番号4	〇〇市×××町1-1-4		預金者氏名4	預金者フリガナ4
5	対象5	3105	1	5	生徒氏名5	フリガナ5	男	保護者氏名5	郵便番号5	〇〇市×××町1-1-5		預金者氏名5	預金者フリガナ5
6	対象6	3106	1	6	生徒氏名6	フリガナ6	男	保護者氏名6	郵便番号6	〇〇市×××町1-1-6		預金者氏名6	預金者フリガナ6
7	対象7	3107	1	7	生徒氏名7	フリガナ7	男	保護者氏名7	郵便番号7	〇〇市×××町1-1-7		預金者氏名7	預金者フリガナ7
8	対象8	3108	1	8	生徒氏名8	フリガナ8	男	保護者氏名8	郵便番号8	〇〇市×××町1-1-8		預金者氏名8	預金者フリガナ8
9	対象9	3109	1	9	生徒氏名9	フリガナ9	男	保護者氏名9	郵便番号9	〇〇市×××町1-1-9		預金者氏名9	預金者フリガナ9
10	対象10	3110	1	10	生徒氏名10	フリガナ10	男	保護者氏名10	郵便番号10	〇〇市×××町1-1-10		預金者氏名10	預金者フリガナ10
11	対象11	3111	1	11	生徒氏名11	フリガナ11	男	保護者氏名11	郵便番号11	〇〇市×××町1-1-11		預金者氏名11	預金者フリガナ11
12	対象12	3112	1	12	生徒氏名12	フリガナ12	男	保護者氏名12	郵便番号12	〇〇市×××町1-1-12		預金者氏名12	預金者フリガナ12
13	対象13	3113	1	13	生徒氏名13	フリガナ13	男	保護者氏名13	郵便番号13	〇〇市×××町1-1-13		預金者氏名13	預金者フリガナ13
14	対象14	3114	1	14	生徒氏名14	フリガナ14	男	保護者氏名14	郵便番号14	〇〇市×××町1-1-14		預金者氏名14	預金者フリガナ14
15	対象15	3115	1	15	生徒氏名15	フリガナ15	男	保護者氏名15	郵便番号15	〇〇市×××町1-1-15		預金者氏名15	預金者フリガナ15
16	対象16	3116	1	16	生徒氏名16	フリガナ16	男	保護者氏名16	郵便番号16	〇〇市×××町1-1-16		預金者氏名16	預金者フリガナ16
17	対象17	3117	1	17	生徒氏名17	フリガナ17	男	保護者氏名17	郵便番号17	〇〇市×××町1-1-17		預金者氏名17	預金者フリガナ17
18	対象18	3118	1	18	生徒氏名18	フリガナ18	男	保護者氏名18	郵便番号18	〇〇市×××町1-1-18		預金者氏名18	預金者フリガナ18
19	対象19	3119	1	19	生徒氏名19	フリガナ19	男	保護者氏名19	郵便番号19	〇〇市×××町1-1-19		預金者氏名19	預金者フリガナ19
20	対象20	3120	1	20	生徒氏名20	フリガナ20	男	保護者氏名20	郵便番号20	〇〇市×××町1-1-20		預金者氏名20	預金者フリガナ20
21	対象21	3121	1	21	生徒氏名21	フリガナ21	男	保護者氏名21	郵便番号21	〇〇市×××町1-1-21		預金者氏名21	預金者フリガナ21
22	対象22	3122	1	22	生徒氏名22	フリガナ22	男	保護者氏名22	郵便番号22	〇〇市×××町1-1-22		預金者氏名22	預金者フリガナ22
23	対象23	3123	1	23	生徒氏名23	フリガナ23	女	保護者氏名23	郵便番号23	〇〇市×××町1-1-23		預金者氏名23	預金者フリガナ23
24	対象24	3124	1	24	生徒氏名24	フリガナ24	女	保護者氏名24	郵便番号24	〇〇市×××町1-1-24		預金者氏名24	預金者フリガナ24
25	対象25	3125	1	25	生徒氏名25	フリガナ25	女	保護者氏名25	郵便番号25	〇〇市×××町1-1-25		預金者氏名25	預金者フリガナ25
26	対象26	3126	1	26	生徒氏名26	フリガナ26	女	保護者氏名26	郵便番号26	〇〇市×××町1-1-26		預金者氏名26	預金者フリガナ26
27	対象27	3127	1	27	生徒氏名27	フリガナ27	女	保護者氏名27	郵便番号27	〇〇市×××町1-1-27		預金者氏名27	預金者フリガナ27
28	対象28	3128	1	28	生徒氏名28	フリガナ28	女	保護者氏名28	郵便番号28	〇〇市×××町1-1-28		預金者氏名28	預金者フリガナ28
29	対象29	3129	1	29	生徒氏名29	フリガナ29	女	保護者氏名29	郵便番号29	〇〇市×××町1-1-29		預金者氏名29	預金者フリガナ29
30	対象30	3130	1	30	生徒氏名30	フリガナ30	女	保護者氏名30	郵便番号30	〇〇市×××町1-1-30		預金者氏名30	預金者フリガナ30
31	対象31	3131	1	31	生徒氏名31	フリガナ31	女	保護者氏名31	郵便番号31	〇〇市×××町1-1-31		預金者氏名31	預金者フリガナ31
32	対象32	3132	1	32	生徒氏名32	フリガナ32	女	保護者氏名32	郵便番号32	〇〇市×××町1-1-32		預金者氏名32	預金者フリガナ32
33	対象33	3133	1	33	生徒氏名33	フリガナ33	女	保護者氏名33	郵便番号33	〇〇市×××町1-1-33		預金者氏名33	預金者フリガナ33
34	対象34	3134	1	34	生徒氏名34	フリガナ34	女	保護者氏名34	郵便番号34	〇〇市×××町1-1-34		預金者氏名34	預金者フリガナ34

上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいますが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

18. ファイル



CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) 試用版.xlsx



CV -DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 3台リリース配布版) .xlsx

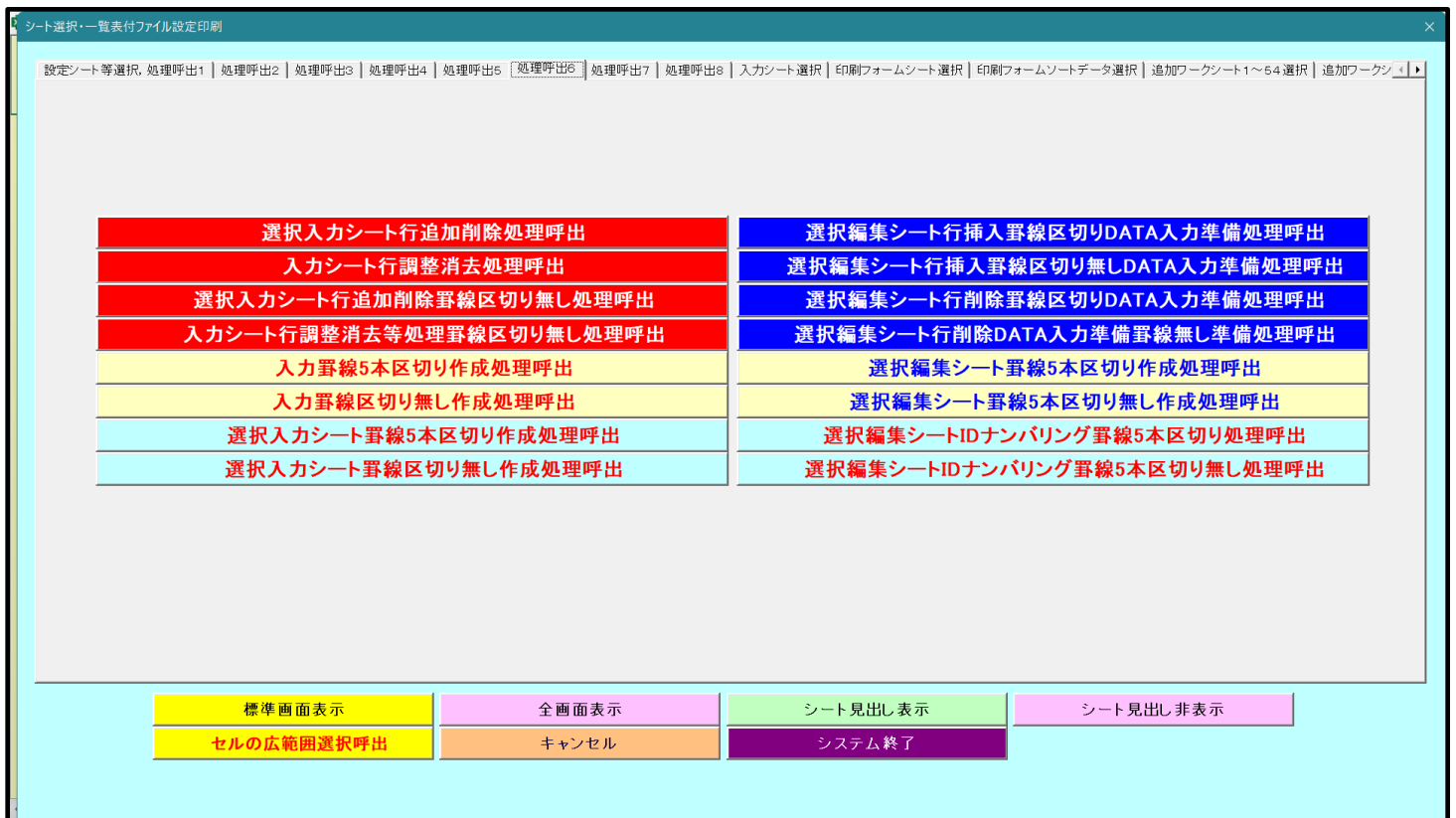
の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance8000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 3台リリース配布版) .xlsx」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の [図 1 7 4]画面になります。

[図 174]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させことを説明いたします。

まず、上の[図174]のコマンドボタン

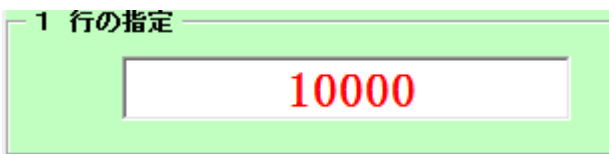
選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図175]の画面になります。

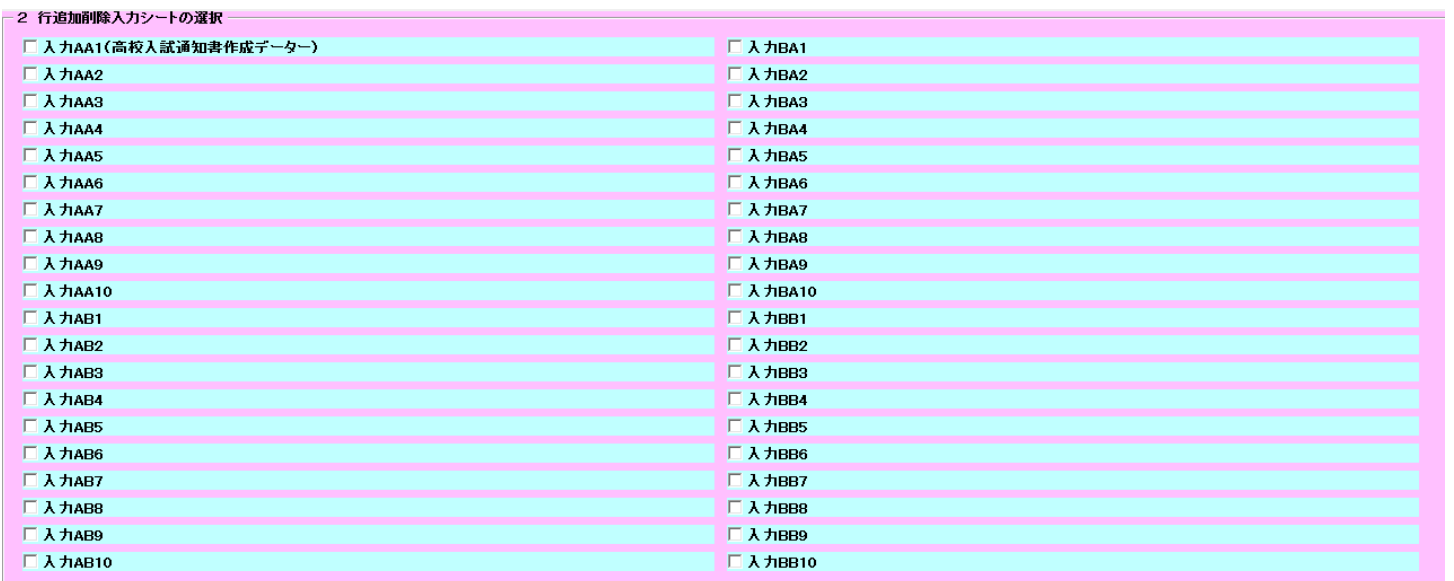
[図 1 7 5]



上の[図 1 7 5]の画面で の部分に



と入力し、



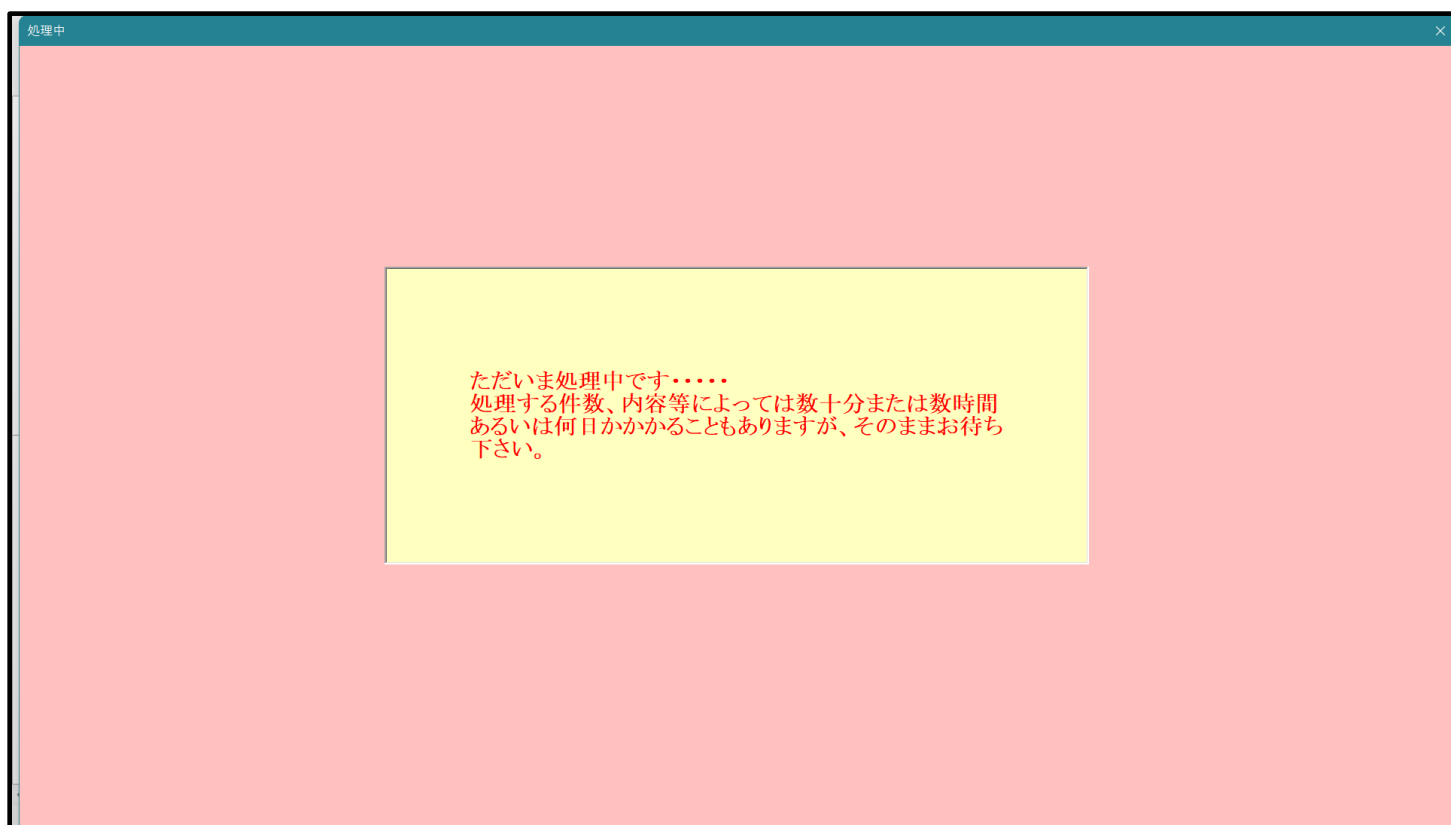
にチェックを入れて

2 行追加削除入力シートを選択

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図176]が表示され、再び[図177]が表示されたら処理は完了です。

[図176]



[図 1 7 9]



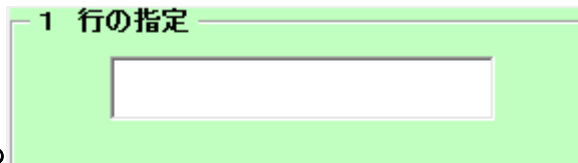
ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。

[図 1 7 4]の画面で、コマンドボタン

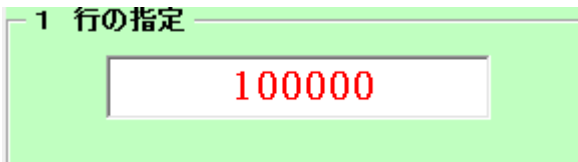
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 8 0]の画面が表示されます。

[図 1 8 0]



上の[図 1 8 0]の画面のこの部分に



と入力し、



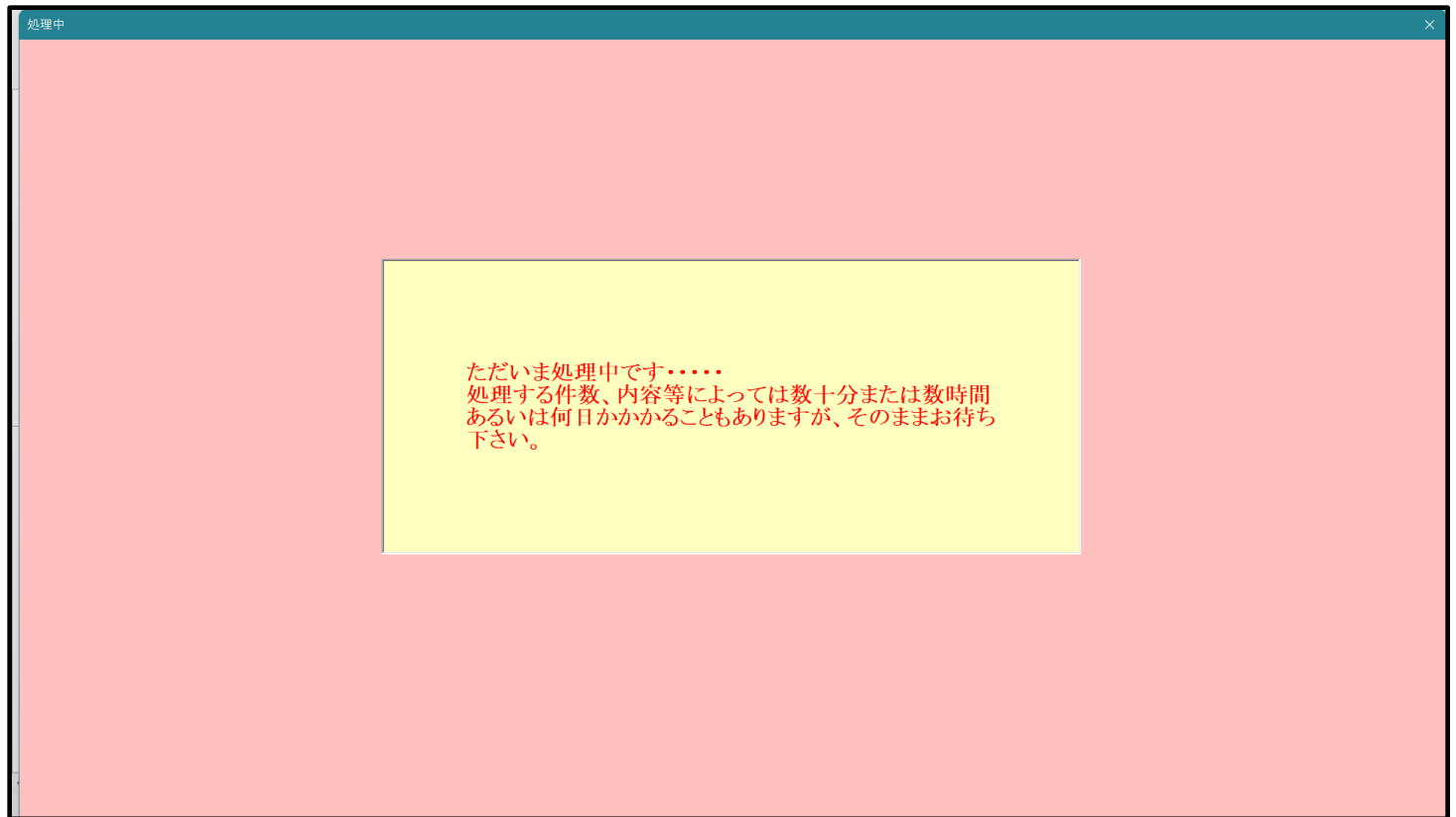
にチェックを入れ、

2 行追加削除罫線区切り無し入力シートを選択

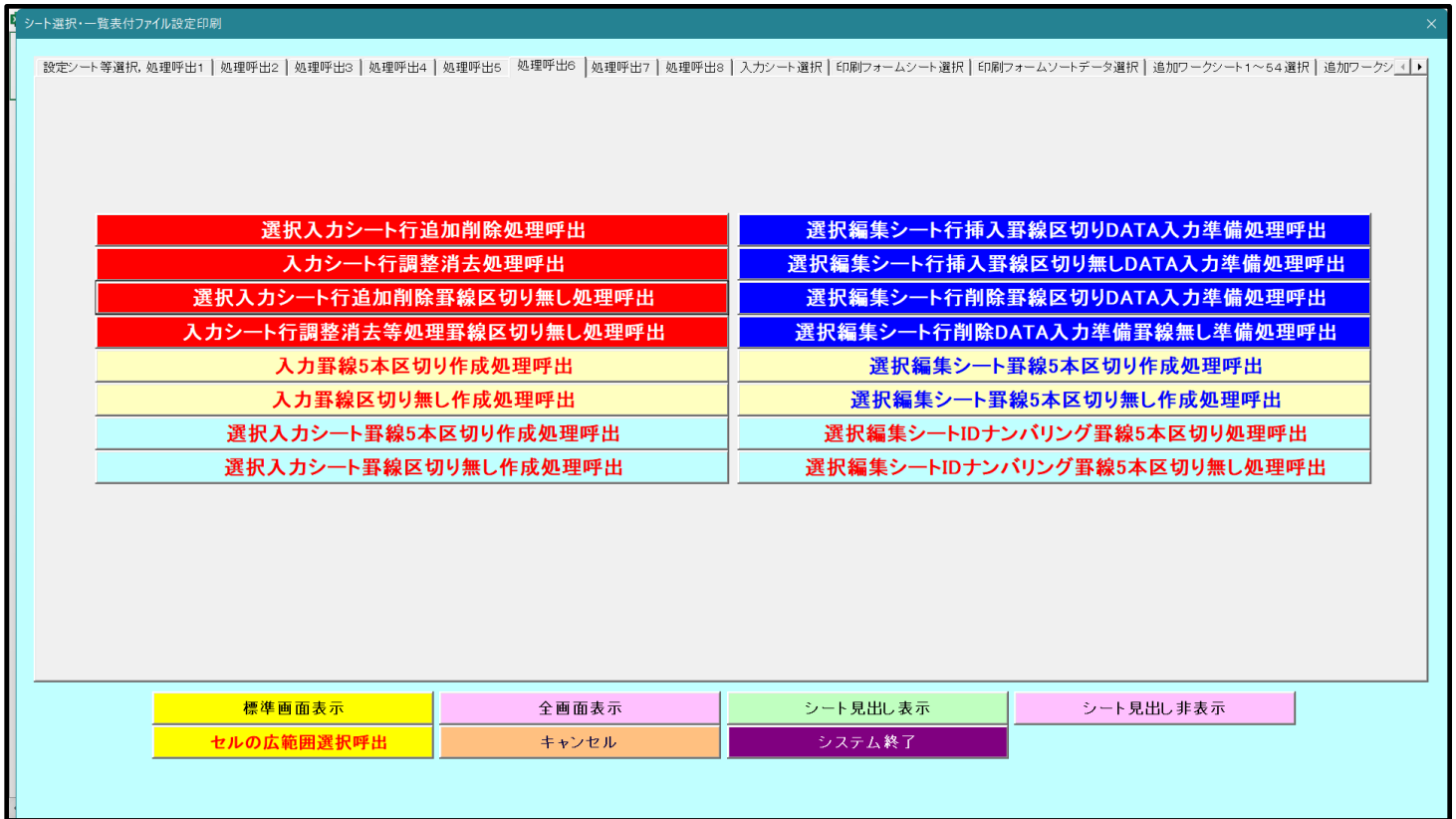
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図181]が表示され、再び[図182]が表示されたら処理は完了です。

[図181]

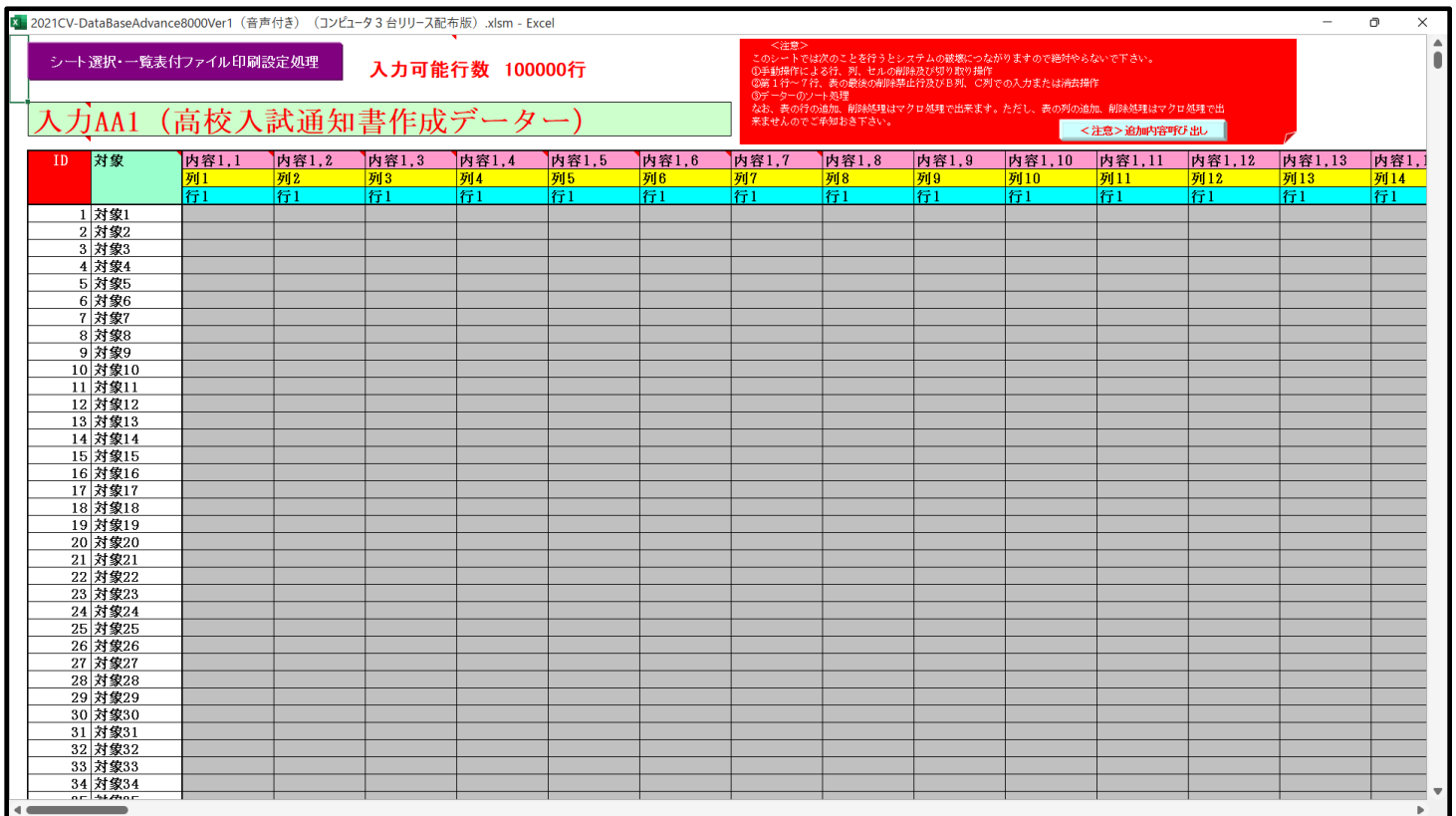


[図 1 8 2]



この処理の結果、シート「入力 AA 1 (高校入試通知書作成データ)」、「入力 AA3」の入力可能行数はともに 100000 行となり、シートの状況はそれぞれ次の[図 1 8 3]、[図 1 8 4]のようになります。

[図 1 8 3]



[図 1 8 4]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

19. ファイル

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) 試用版.xslm

CV -DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ 台リリース配布版) .xslm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseAdvance16000Ver1 (音声付き) (コンピュータ3台リリース配布版) .xslm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出し** を選択すると次の[図 1 8 5]画面になります。

[図 1 8 5]



全ての入力シートの入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 1 8 5]のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 8 6]の画面になります。

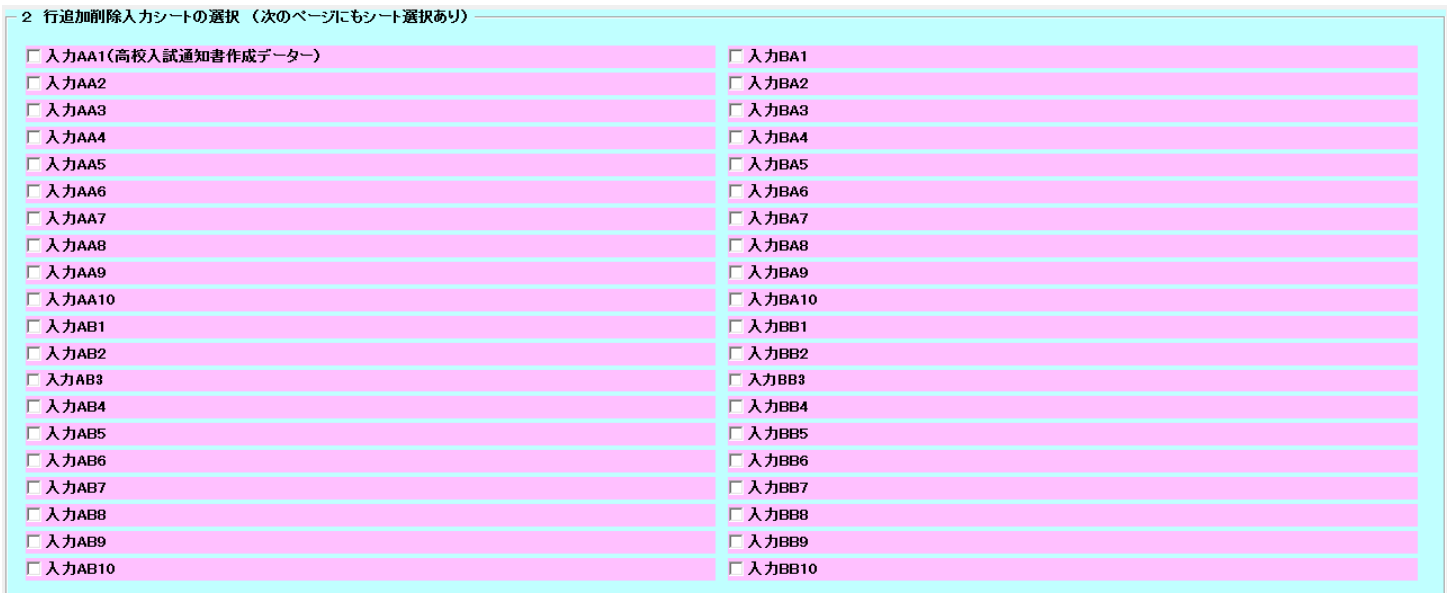
[図 1 8 6]



上の[図 1 8 6]の画面で の部分に



と入力し、



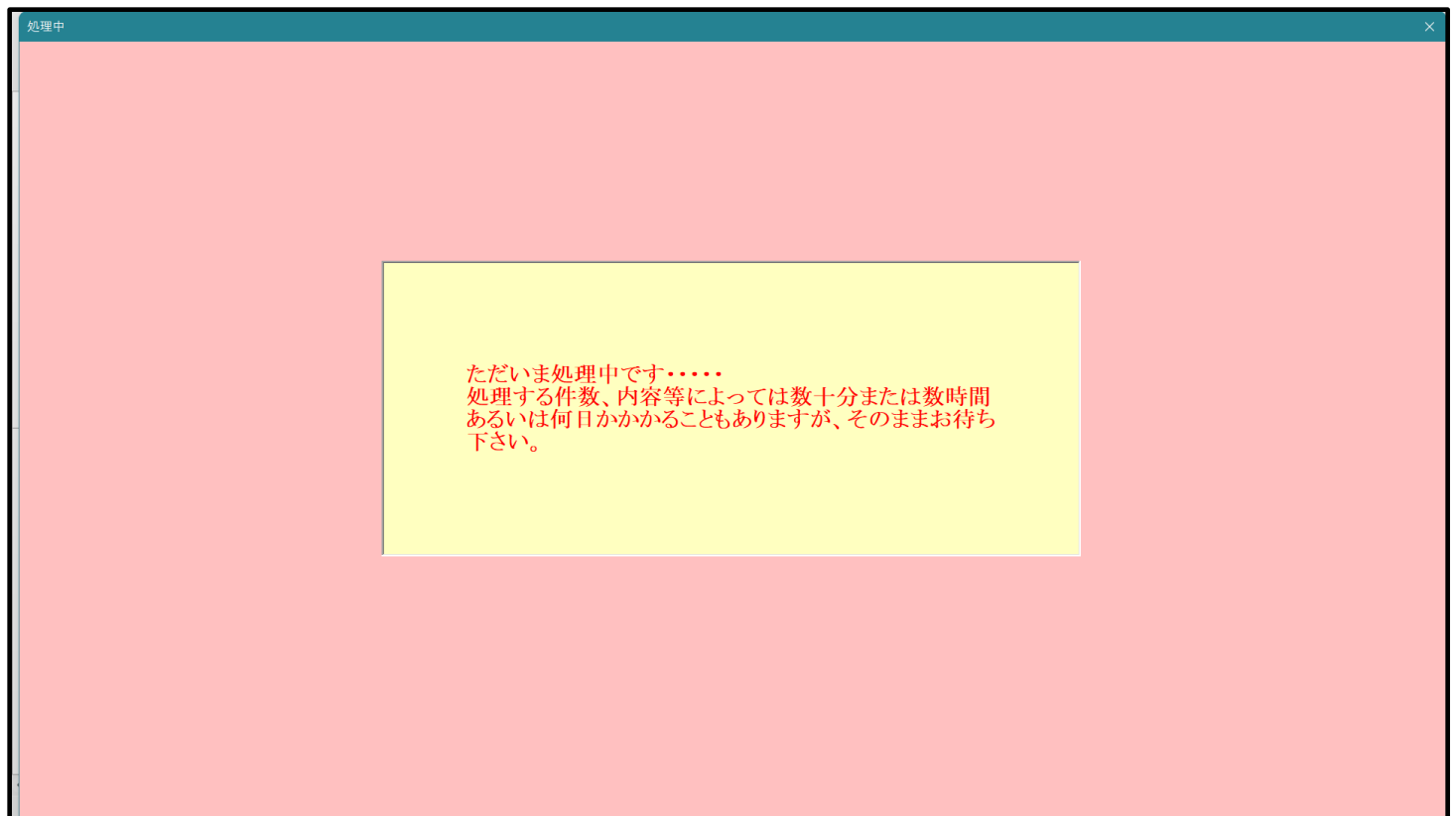
にチェックを入れて

2 行追加削除入力シートを選択（次のページにもシート選択あり）

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図187]が表示され、再び[図188]が表示されたら処理は完了です。

[図187]



[図 1 9 0]

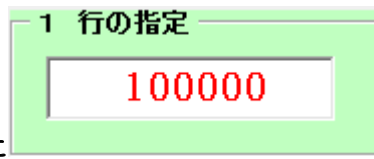


ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなってはいますが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 1 8 5]の画面で、コマンドボタン

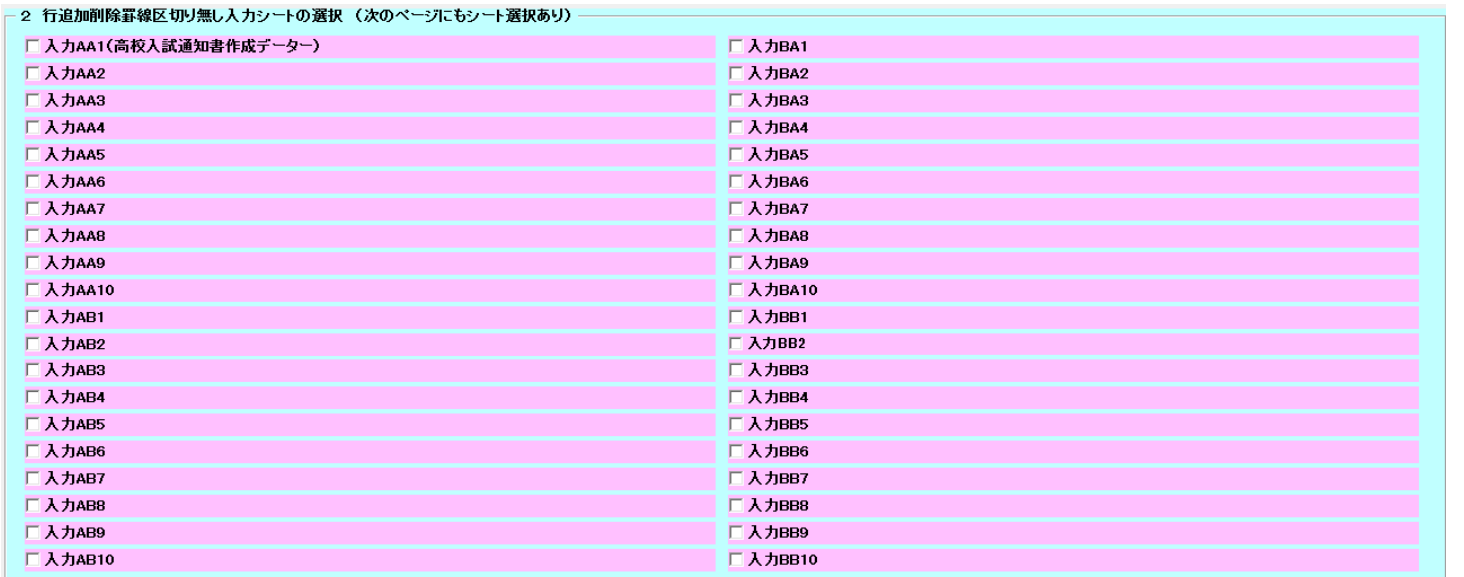
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると[図 1 9 1]の画面が表示されます。

[図 1 9 1]



上の[図 1 9 1]の画面の の部分に と入力し、



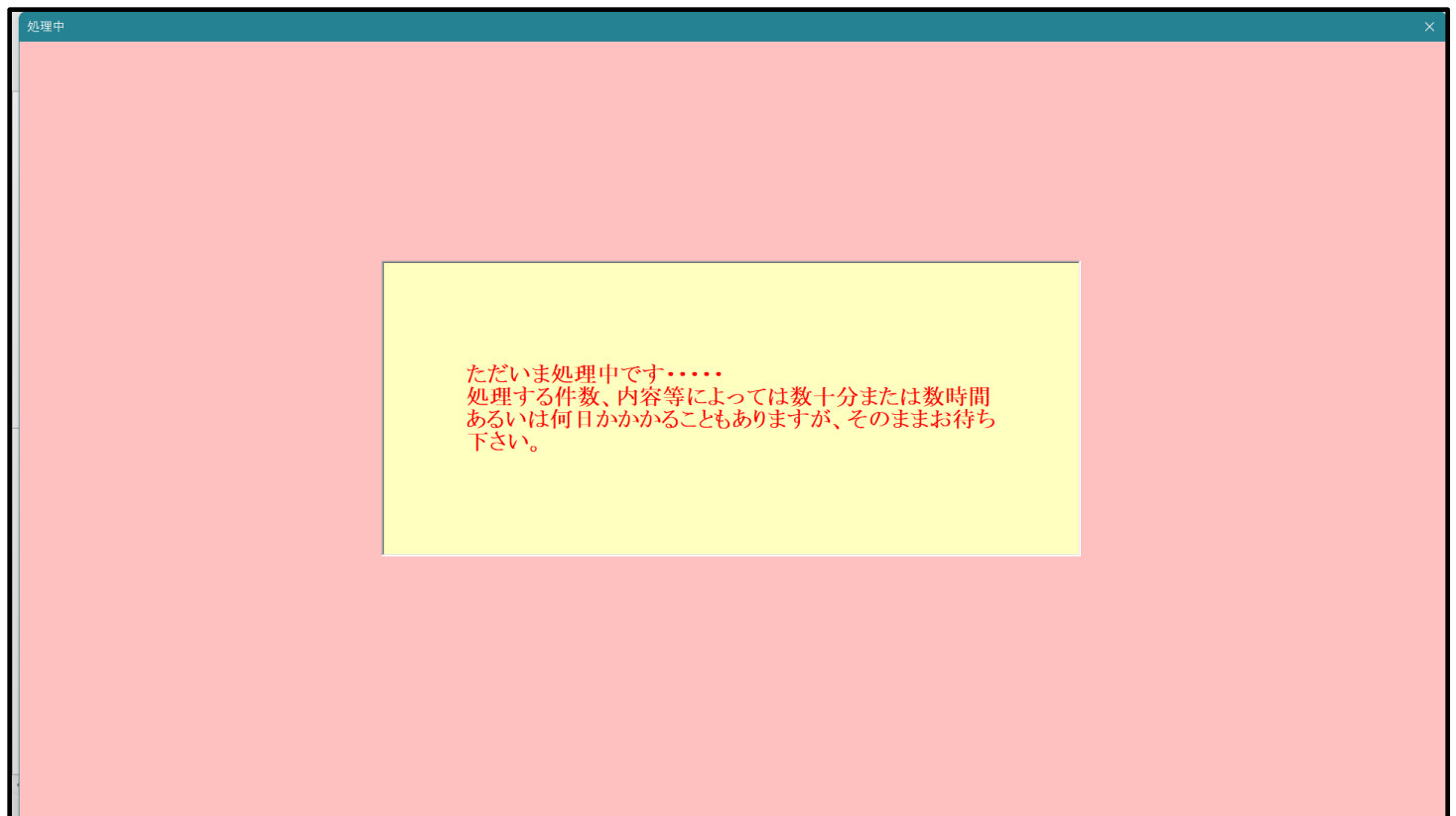
にチェックを入れ、

2 行追加削除入力シートを選択（次のページにもシート選択あり）

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図192]が表示され、再び[図193]が表示されたら処理は完了です。

[図192]



[図 1 9 5]



上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。

20. ファイル



CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm



CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ 台リリース配布版) .xlsm

の場合：

ファイル「2021CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版).xlsm」を用いて説明いたします。

各シートに配置したコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックし、ユーザーフォーム

「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を表示してタブ **処理呼出** を選択すると次の[図 1 9 6]画面になります。

[図 1 9 6]



全ての入力シートの最初の入力可能行数が50行という前提で、入力シートの入力可能行数を増加させることを説明いたします。

まず、上の[図 1 9 6]のコマンドボタン

選択入力シート行追加削除処理呼出

をクリックすると、次の[図 1 9 7]の画面になります。

[図 1 9 7]



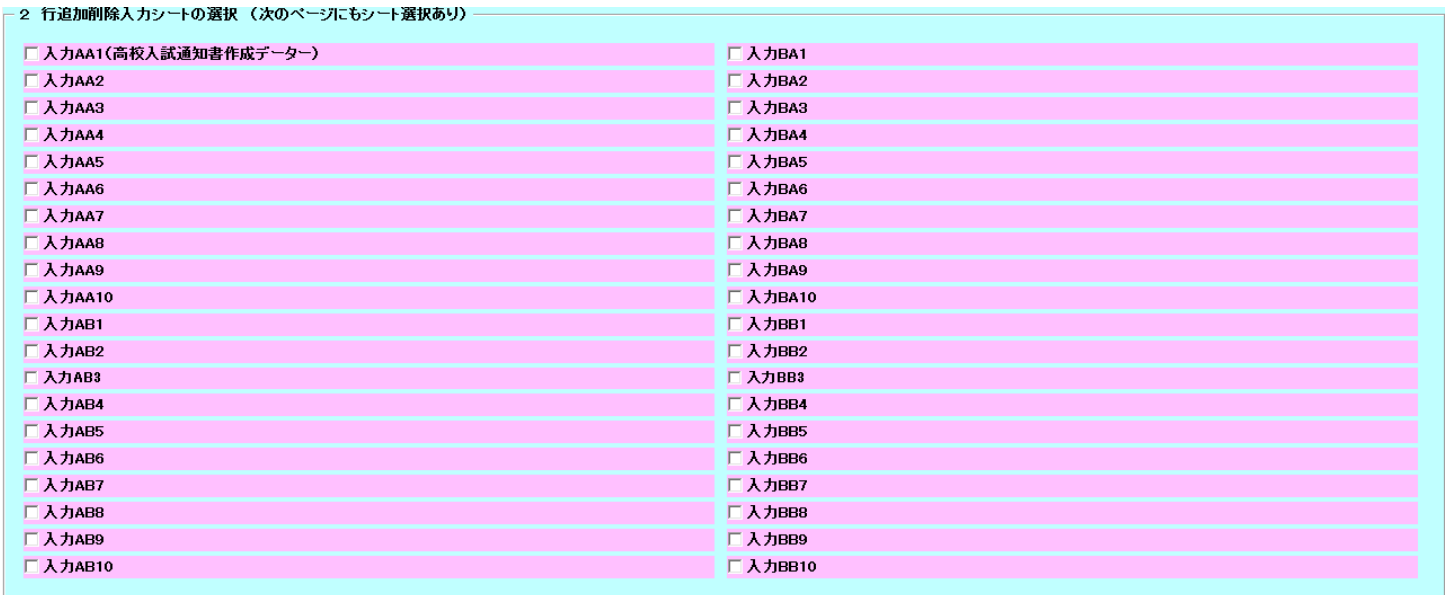
上の[図 1 9 7]の画面で



の部分に



と入力し、



にチェックを入れて

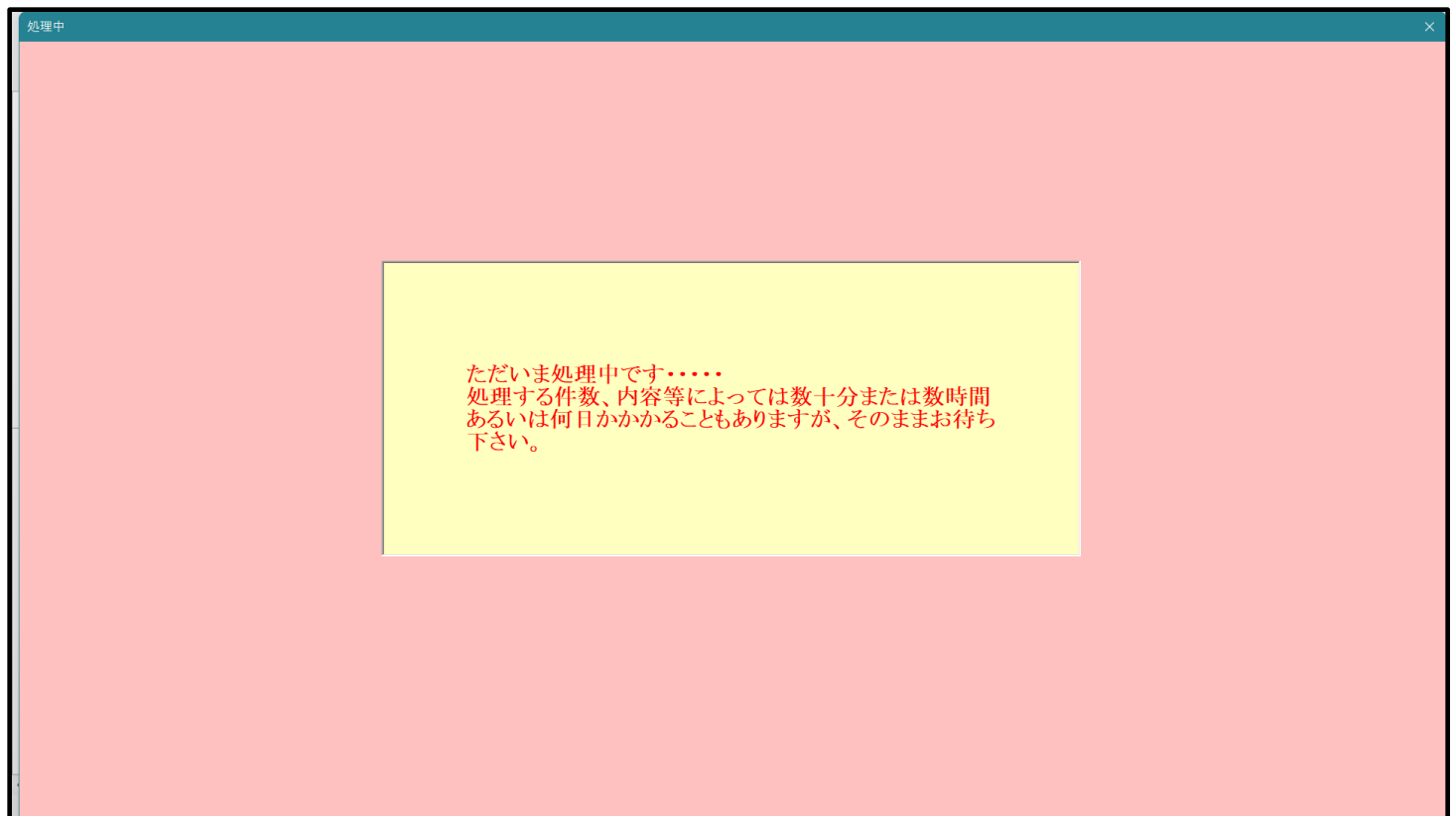
2 行追加削除入力シートを選択（次のページにもシート選択あり）

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

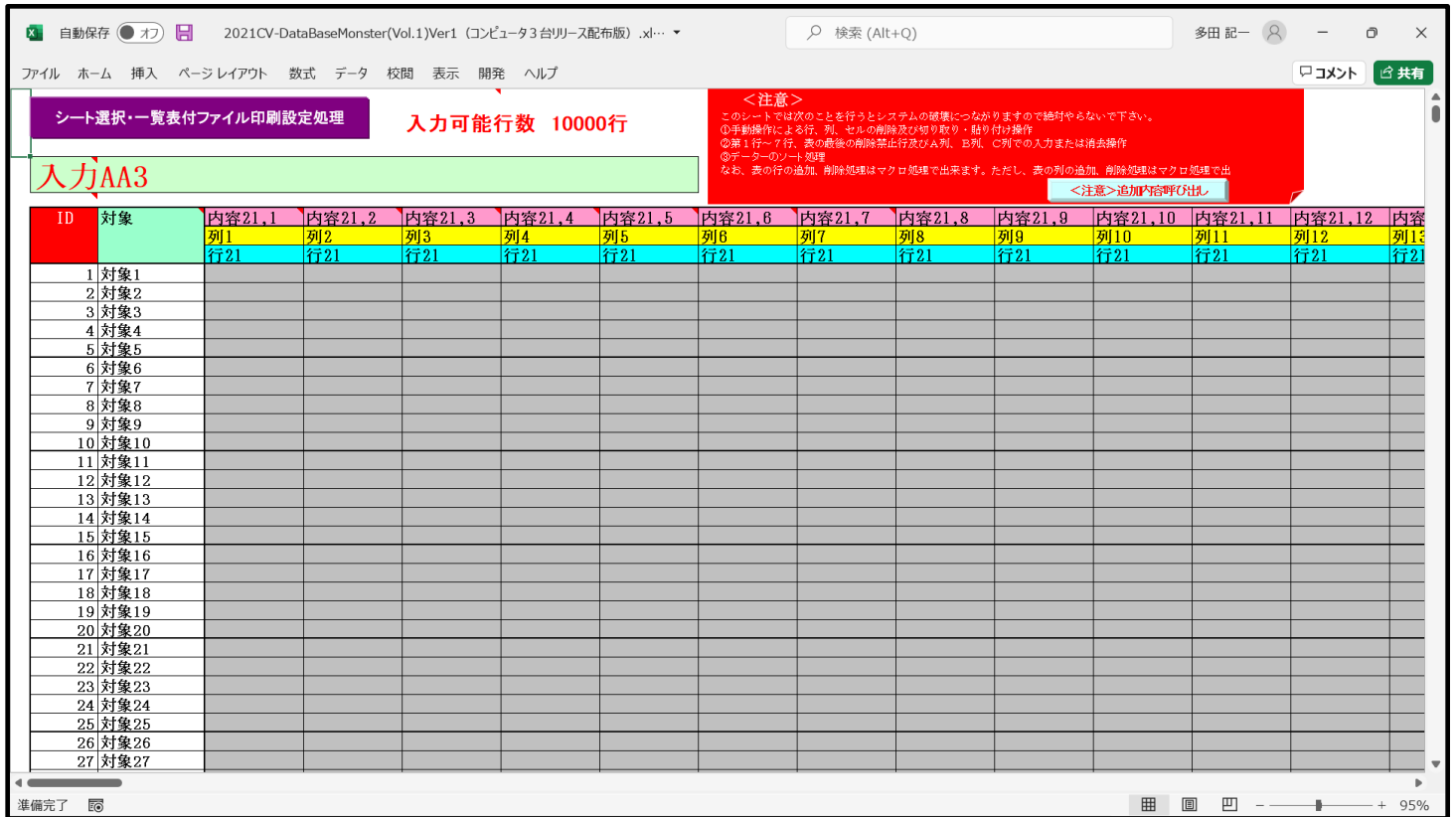
行追加削除処理開始

として、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図198]が表示され、再び[図199]が表示されたら処理は完了です。

198]



[図 2 0 1]



ただ、上の場合、横罫線が5本おきに太くなっており見易くなっておりませんが、入力行を5万行以上のように大量に増やしたい場合は、かなり時間がかかります。そのような場合は、次のようにすると処理時間が大幅に短縮できます。上の[図 1 9 6]の画面で、コマンドボタン

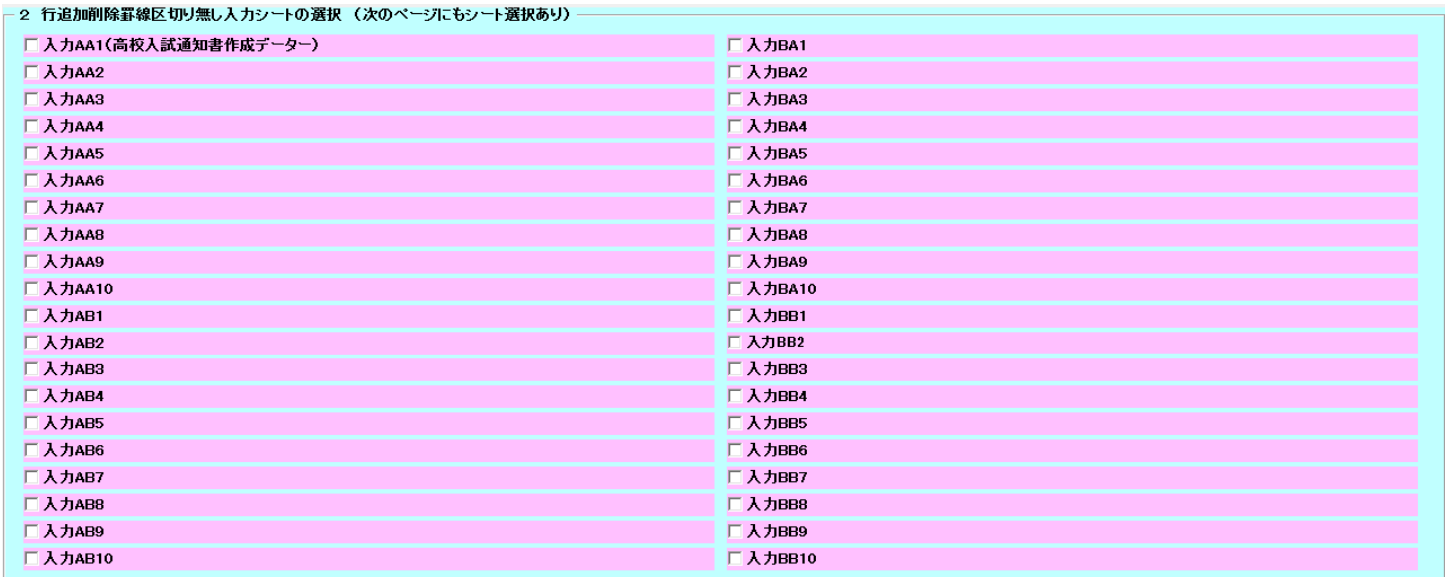
選択入力シート行追加削除罫線区切り無し処理呼出

をクリックすると次の[図 2 0 2]の画面が表示されます。

[図 2 0 2]



上の[図 2 0 2]の画面の の部分に と入力し、



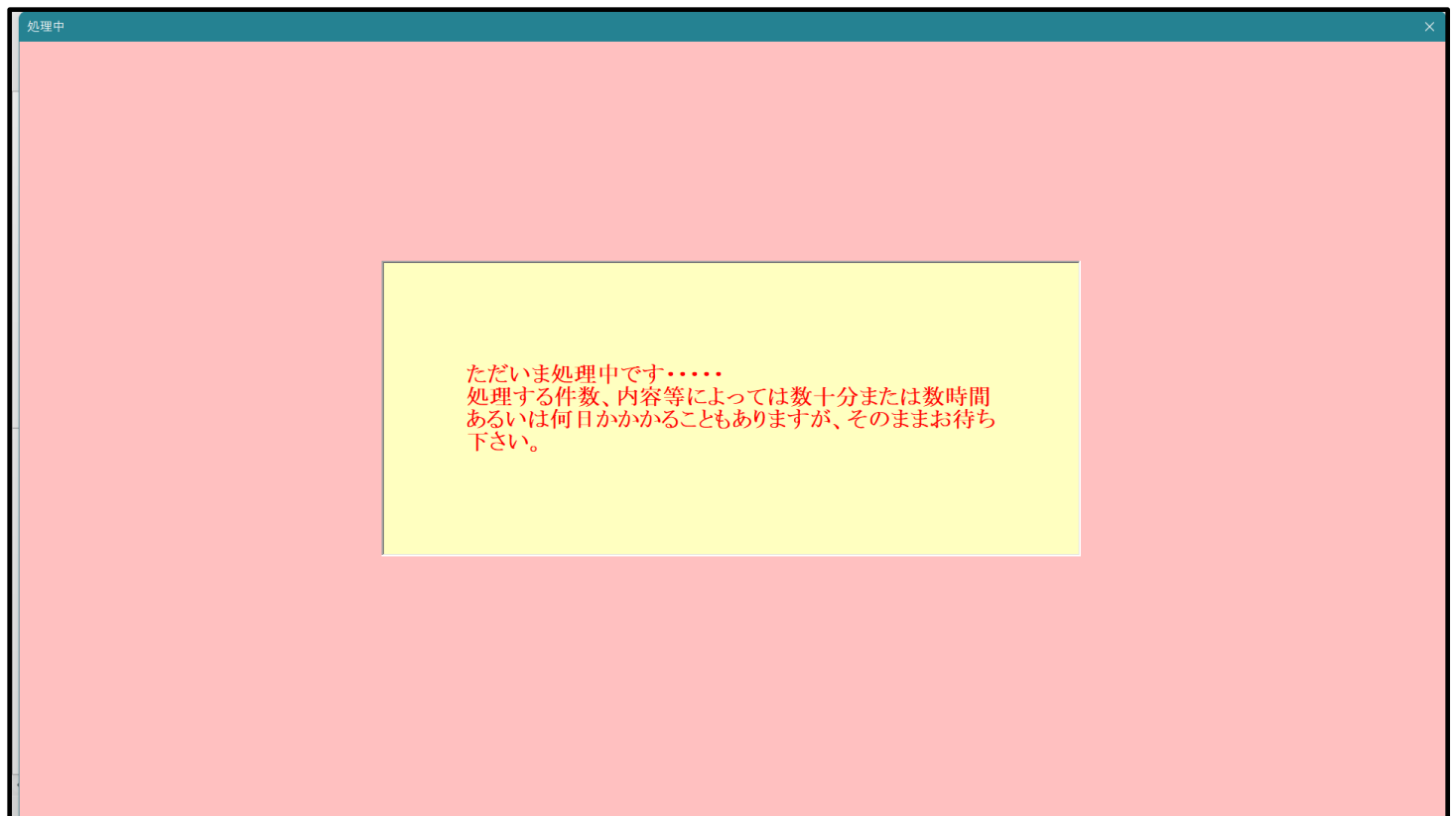
にチェックを入れ、

2 行追加削除罫線区切り無し入力シートの選択 (次のページにもシート選択あり)

<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA1(高校入試通知書作成データ)	<input type="checkbox"/> 入力BA1
<input type="checkbox"/> 入力AA2	<input type="checkbox"/> 入力BA2
<input checked="" type="checkbox"/> 入力AA3	<input type="checkbox"/> 入力BA3
<input type="checkbox"/> 入力AA4	<input type="checkbox"/> 入力BA4
<input type="checkbox"/> 入力AA5	<input type="checkbox"/> 入力BA5
<input type="checkbox"/> 入力AA6	<input type="checkbox"/> 入力BA6
<input type="checkbox"/> 入力AA7	<input type="checkbox"/> 入力BA7
<input type="checkbox"/> 入力AA8	<input type="checkbox"/> 入力BA8
<input type="checkbox"/> 入力AA9	<input type="checkbox"/> 入力BA9
<input type="checkbox"/> 入力AA10	<input type="checkbox"/> 入力BA10
<input type="checkbox"/> 入力AB1	<input type="checkbox"/> 入力BB1
<input type="checkbox"/> 入力AB2	<input type="checkbox"/> 入力BB2
<input type="checkbox"/> 入力AB3	<input type="checkbox"/> 入力BB3
<input type="checkbox"/> 入力AB4	<input type="checkbox"/> 入力BB4
<input type="checkbox"/> 入力AB5	<input type="checkbox"/> 入力BB5
<input type="checkbox"/> 入力AB6	<input type="checkbox"/> 入力BB6
<input type="checkbox"/> 入力AB7	<input type="checkbox"/> 入力BB7
<input type="checkbox"/> 入力AB8	<input type="checkbox"/> 入力BB8
<input type="checkbox"/> 入力AB9	<input type="checkbox"/> 入力BB9
<input type="checkbox"/> 入力AB10	<input type="checkbox"/> 入力BB10

とし、コマンドボタン **行追加削除処理開始** をクリックすると行の挿入処理が開始され、途中次の[図203]が表示され、再び[図204]が表示されたら処理は完了です。

[図203]



[図206]

自動保存 オフ 2021CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 (コンピュータ3台リリース配布版) .xl... 検索 (Alt+Q) 多田 記一 コメント 共有

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 入力可能行数 100000行

入力AA3

<注意>
このシートでは次のことを行うとシステムの破損につながりますので絶対やらないで下さい。
①手動操作による行、列、セルの削除及び取り取り・貼り付け操作
②第1行～7行、表の最後の削除禁止行及びA列、B列、C列での入力または消去操作
③データのシート処理
なお、表の行の追加、削除処理はマクロ処理で出来ます。ただし、表の列の追加、削除処理はマクロ処理で出
<注意>追加内容呼び出し

ID	対象	内容21.1 列1 行21	内容21.2 列2 行21	内容21.3 列3 行21	内容21.4 列4 行21	内容21.5 列5 行21	内容21.6 列6 行21	内容21.7 列7 行21	内容21.8 列8 行21	内容21.9 列9 行21	内容21.10 列10 行21	内容21.11 列11 行21	内容21.12 列12 行21	内容21.13 列13 行21
1	対象1													
2	対象2													
3	対象3													
4	対象4													
5	対象5													
6	対象6													
7	対象7													
8	対象8													
9	対象9													
10	対象10													
11	対象11													
12	対象12													
13	対象13													
14	対象14													
15	対象15													
16	対象16													
17	対象17													
18	対象18													
19	対象19													
20	対象20													
21	対象21													
22	対象22													
23	対象23													
24	対象24													
25	対象25													
26	対象26													
27	対象27													

準備完了 95%

上の場合、横罫線が5本おきに罫線が太くならず見づらいですが、大量に入力シートの行を増やしたい場合には、処理時間が大幅に短縮できますので大変便利です。